

むつ市
地域福祉計画施策中間評価に関する

アンケート調査報告書
(市民・中高生)

青森県 むつ市
令和4年3月

■ ■ 目 次 ■ ■

I	調査概要	1
1	調査の目的と実施概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査概要	1
(3)	配布・回収	1
2	集計結果を読む際の留意事項	2
II	市民アンケート調査結果	3
1	あなた自身のことについて（回答者の属性）	3
(1)	性別・年齢	3
(2)	職業	4
(3)	家族構成	4
(4)	むつ市の居住年数	5
(5)	居住地域	6
(6)	現在の地域での居住年数	6
(7)	居住形態	7
(8)	興味・関心のある福祉分野	7
2	あなたと地域の関わりについて	9
(1)	地域の暮らしやすさ	9
(2)	居住地域の特徴	10
(3)	隣近所との付き合い	12
(4)	町内会の加入について	13
(5)	地域活動への参加状況の変化	18
(6)	地域活動に参加していない理由	19
(7)	ボランティア活動への参加状況の変化	21
(8)	ボランティア活動に参加していない理由	22
3	むつ市地域福祉計画について	24
(1)	むつ市地域福祉計画の認知度	24
(2)	地域福祉に関する取り組み状況	25
4	日常生活について	50
(1)	外出頻度	50
(2)	主な外出先	51
(3)	外出時の移動手段	53
(4)	外出しない理由	54

(5) 外出機会	55
(6) 入手が困難な生活必需品	57
(7) 幸せを感じることに	58
(8) 大切なもの	59
(9) 身近な問題	60
5 生活意識・行動の変化について	61
(1) 感染症拡大による生活の変化	61
(2) 感染症拡大により不安が増していること	63
6 情報の収集と今後の福祉のあり方	64
(1) 情報の入手先	64
(2) 特に知りたいと思う福祉の情報	66
(3) 地域の人口が減少することに対して思うこと	67
(4) むつ市に必要なだと思う取り組み	68
(5) むつ市に最も取り組んでほしいこと	74
Ⅲ 中高生アンケート調査結果	75
1 あなた自身や家族のことについて	75
(1) 性別	75
(2) 家族構成	75
(3) 居住地区	76
(4) 居住年数	77
2 福祉に関する関心や理解	78
(1) 地域福祉の認知度	78
(2) 福祉への関心	79
(3) 関心のある福祉のテーマ	80
(4) 福祉に関心を持たない理由	81
(5) 地域行事や福祉・ボランティア活動などへの関心	82
(6) 感染症収束後の地域行事などへの参加意向	83
(7) 参加できると思う福祉活動などについて	83
(8) 周りの人が困っている時にできると思うこと	84
(9) 隣近所や地域の大人にしてほしいこと	84
3 日常生活について	85
(1) 不安や悩みの相談先	85
(2) 日常生活で感じている悩みや不安	86
(3) 進路や学業、就職に関する悩みの状況	87
(4) 健康や体調に関する悩みの状況	87

(5) 生活必需品が入手できない悩みの状況	88
(6) 自由な時間が取れない理由	88
(7) 家事や家族の世話などにかかっている時間・内容	89
(8) ヤングケアラーの認知度	90
4 地域での居場所に関して	91
(1) あったら利用したい場所	91
(2) 人との関わりが大切だと感じる時	91
5 新型コロナウイルス感染症について	92
(1) 感染症拡大による日常の変化	92
(2) 感染症拡大にともなう悩みや不安	95
6 むつ市のことや将来のことについて	96
(1) むつ市の住みやすさ	96
(2) 定住意向	97
(3) むつ市に住み続けたい理由	98
(4) 将来住みたいまち	99
(5) むつ市に住み続けたいと思えない理由	100
(6) 将来就きたい職業	101
(7) 家族形成意向	102
(8) 子育て意向	102
(9) 大切だと思うもの	103
(10) むつ市の人口が減少することに対して思うこと	103
(11) むつ市に必要なと思う取り組み	104
(12) むつ市に最も取り組んでほしいこと	109
IV 資料編	110
1 今後の地域福祉への意見	110
(1) 一般市民	110
(2) 中高生	134
2 調査票	164
(1) 一般市民	164
(2) 中高生	184

I 調査概要

1 調査の目的と実施概要

(1) 調査の目的

「むつ市地域福祉計画」の推進にあたり、計画の中間年である本年に市民・中高生の皆様のお考えや御意見をお伺いすることで、地域福祉に対する意識・ニーズの基本動向を把握・分析するとともに、課題を整理し、より効果的な取り組みが行えるよう、アンケートを実施しました。

(2) 調査概要

本調査の対象及び調査方式は、以下のとおりとなっています。

	市民	中高生
調査地域	むつ市全域	
調査対象	18歳～80歳の市民の方	中学校・高等学校
抽出法	住民基本台帳に基づく無作為抽出	むつ市内の中学校・高等学校
調査方法	郵送配付・郵送回収 (WEB回答も可能)	学校配付・学校回収
調査期間	令和3年6月18日～年7月9日	令和3年6月18日～7月15日

(3) 配布・回収

配布数及び回収結果は以下のとおりとなっています。

	市民	中高生
配付数	2,000票	864票
回収数	802票	818票
紙	709票 (88.4%)	818票 (100%)
Web	93票 (11.6%)	—
無効回収	2票※	0票
有効回収数	800票	818票
有効回収率	40.0%	94.7%

※無効回答は、web回答の確認コード違いによるものです。

2 集計結果を読む際の留意事項

この調査の集計結果を読む際の留意事項は以下のとおりです。

《 留 意 事 項 》

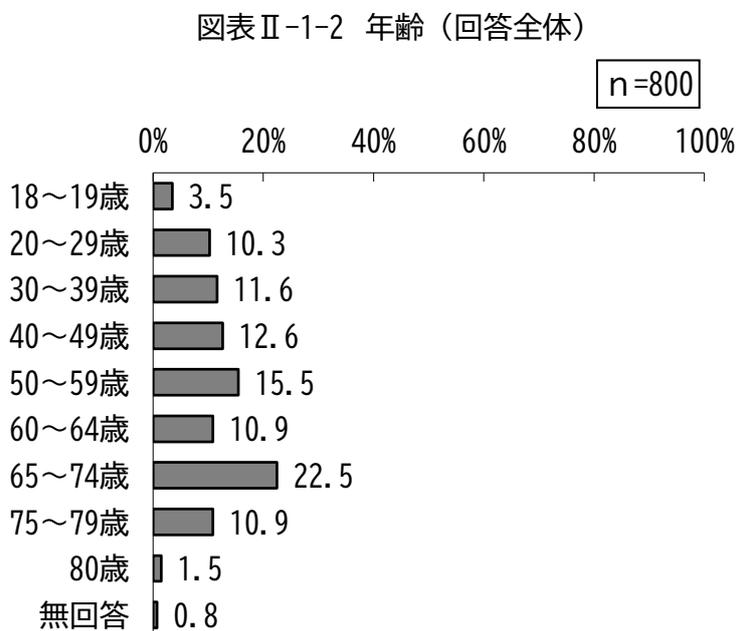
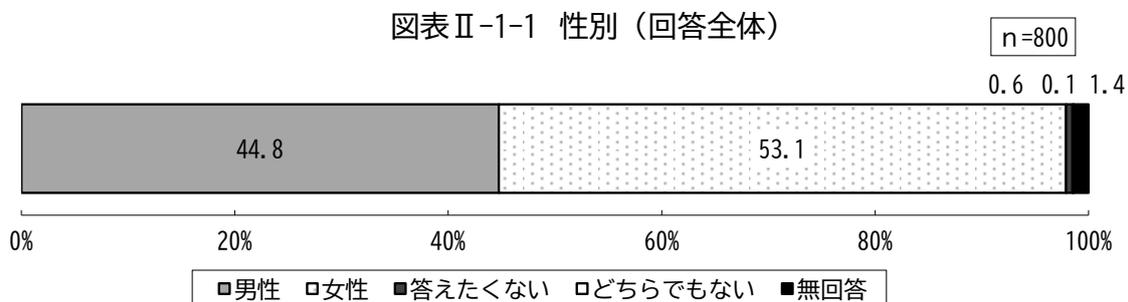
- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で示しています。
- 調査結果の図表に示す「n」は「Number of case」の略で、構成比算出の母数、つまり、当該設問の回答者数（限定設問においては該当者数）を示しています。
- 設問には、当該設問に回答した人のみが答える「限定設問」があり、この場合の「n」（該当者数）は回答者数全数より少ない場合があります。
- 図表の構成比（百分率）は、回答者数（限定設問においては該当者数）を100%として算出しており、本文及び図表の構成比（百分率）は小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。
(※四捨五入のため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても各比率の合計が100.0%とならない場合があります。)
- 複数回答の設問では、各比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「0.0」、「-」は、四捨五入の結果、または回答者が皆無であることを示しています。
- 属性別分析結果において、構成比算出の母数（属性毎の回答者数）が少数になる場合、各比率は統計的な誤差の大きい可能性があるため、比率の取り扱いに注意する必要があります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中で省略した表現を用いている場合があります。
- 今回のアンケート調査の地域とは、小学校区別としています。

II 市民アンケート調査結果

1 あなた自身のことについて（回答者の属性）

(1) 性別・年齢

- 回答者の性別は、「男性」が 44.8%、「女性」が 53.1%、「答えたくない」が 0.6%、「どちらでもない」が 0.1%となっています。
- 回答者の年齢は、「65～74 歳」が 22.5%と最も多く、次いで「50～59 歳」が 15.5%、「40～49 歳」が 12.6%となっています。



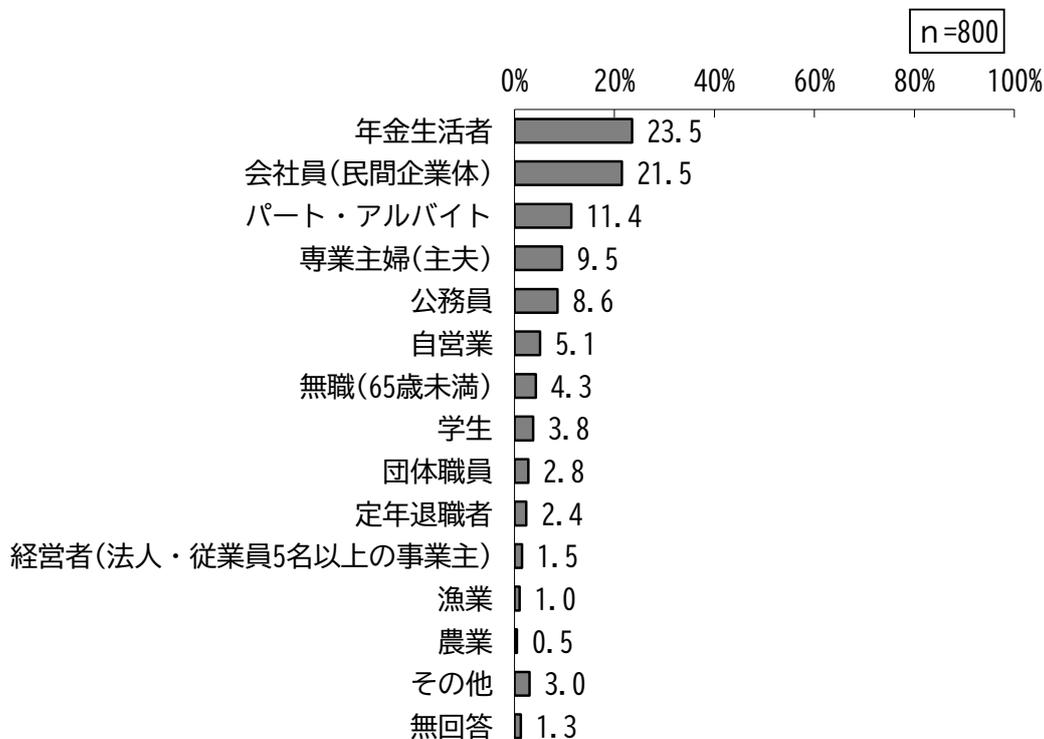
図表 II-1-3 性別・年代の構成比（性別・年代別）

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～74歳	75～79歳	80歳	無回答
男性 (n=358)	4.2%	9.2%	11.2%	9.5%	14.8%	10.3%	27.4%	12.0%	0.8%	0.6%
女性 (n=425)	3.1%	11.1%	12.5%	15.3%	16.5%	11.1%	18.6%	9.9%	2.1%	0.0%

(2) 職業

- 回答者の職業は、「年金生活者」が 23.5%と最も多く、次いで「会社員（民間企業体）」が 21.5%、「パート・アルバイト」が 11.4%となっています。

図表Ⅱ-1-4 職業

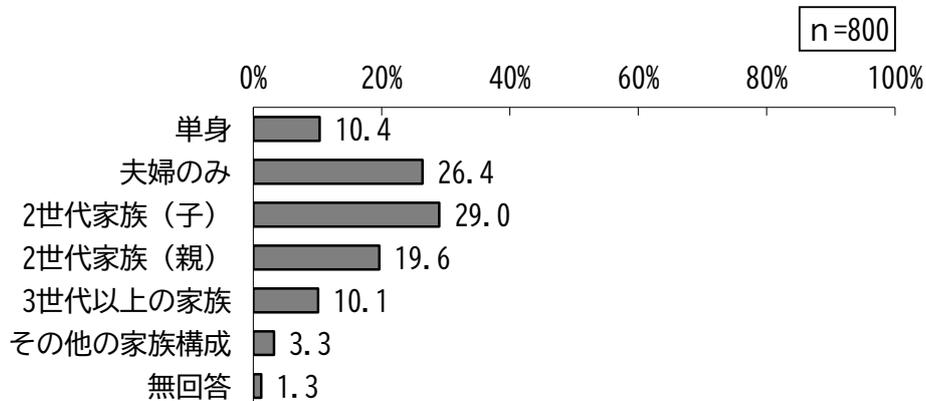


(3) 家族構成

① 大分類

- 回答者の家族構成（大分類）は、「2世代家族（子）」が 29.0%と最も多く、次いで「夫婦のみ」が 26.4%、「2世代家族（親）」が 19.6%となっています。

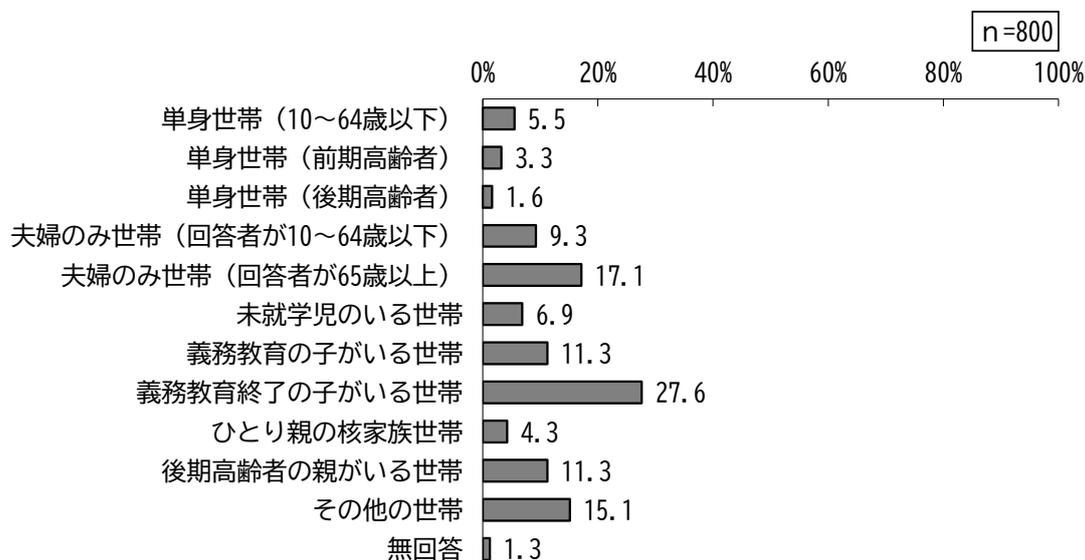
図表Ⅱ-1-5 家族構成（大分類）



② 小分類

- 回答者の家族構成（小分類）は、「義務教育終了の子がいる世帯」が 27.6%と最も多く、次いで「夫婦のみ世帯（回答者が 65 歳以上）」が 17.1%、「義務教育の子がいる世帯」、「後期高齢者の親がいる世帯」がともに 11.3%となっています。

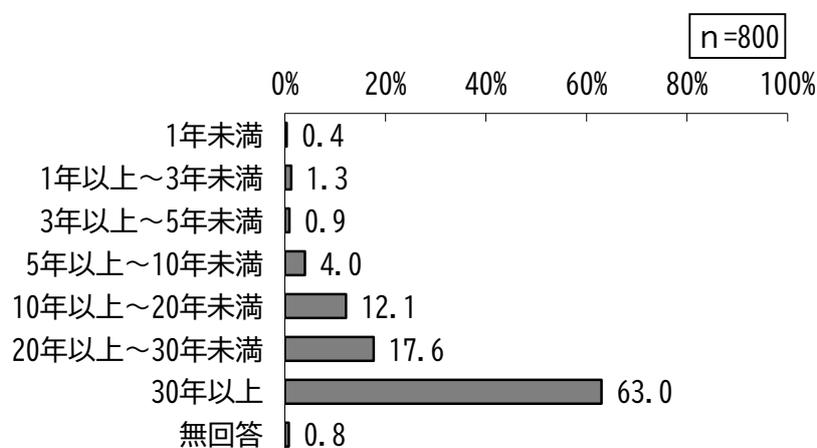
図表Ⅱ-1-6 家族構成（小分類）



（４）むつ市の居住年数

- 回答者のむつ市での居住年数は、「30 年以上」が 63.0%と最も多く、次いで「20 年以上～30 年未満」が 17.6%、「10 年以上～20 年未満」が 12.1%となっています。

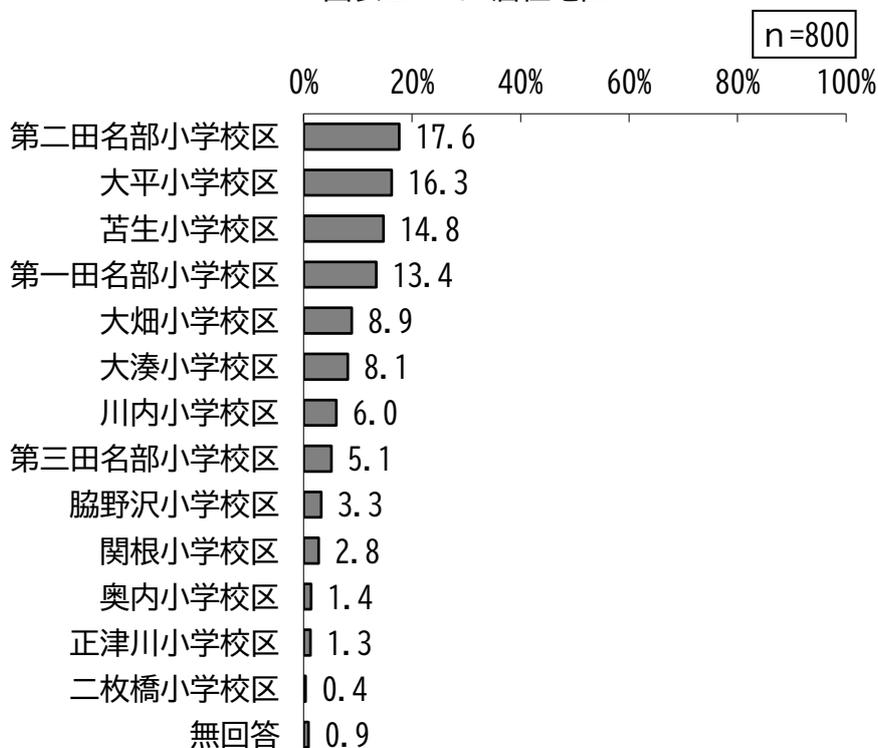
図表Ⅱ-1-7 むつ市の居住年数



(5) 居住地域

- 回答者の居住地域は、「第二田名部小学校区」が 17.6%と最も多く、次いで「大平小学校区」が 16.3%、「苫生小学校区」が 14.8%となっています。

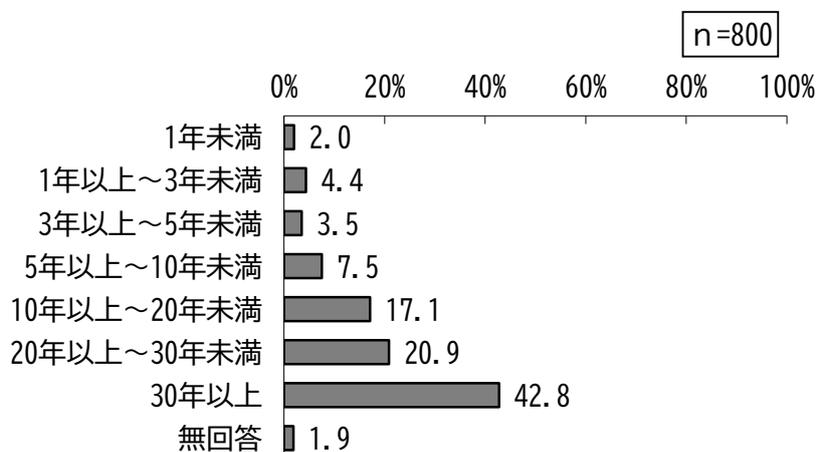
図表Ⅱ-1-8 居住地区



(6) 現在の地域での居住年数

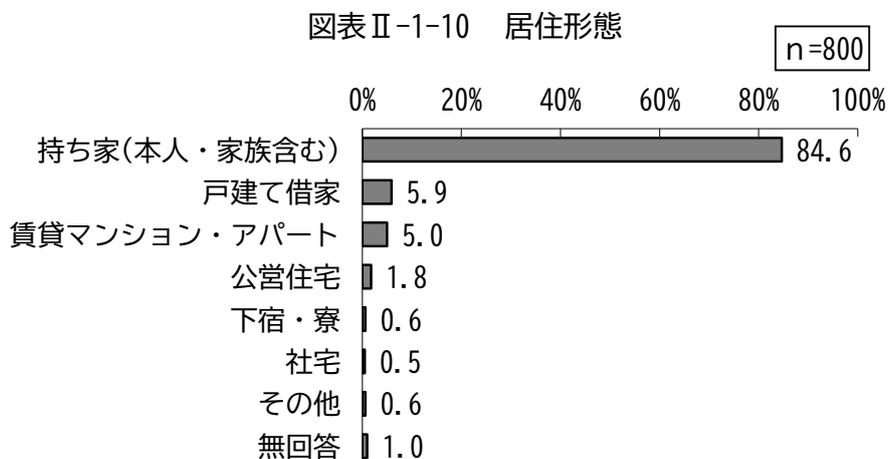
- 回答者の現在の地域での居住年数は、「30年以上」が 42.8%と最も多く、次いで「20年以上～30年未満」が 20.9%、「10年以上～20年未満」が 17.1%となっています。

図表Ⅱ-1-9 現在の地域での居住年数



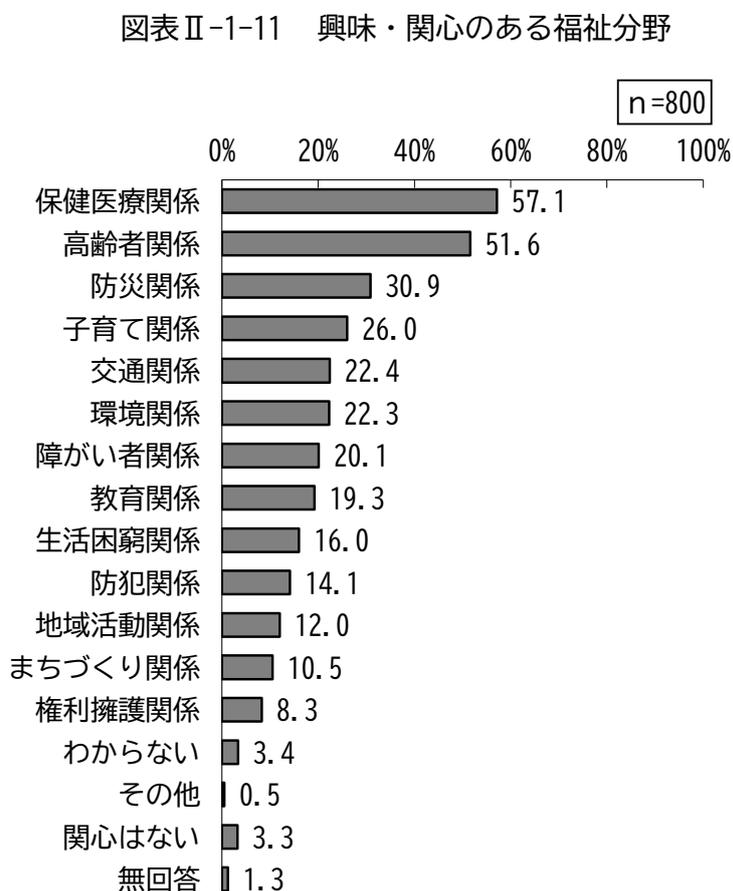
(7) 居住形態

- 回答者の居住形態は、「持ち家(本人・家族含む)」が 84.6%と最も多く、次いで「戸建て借家」が 5.9%、「賃貸マンション・アパート」が 5.0%となっています。



(8) 興味・関心のある福祉分野

- 回答者が興味・関心のある福祉分野は、「保健医療関係」が 57.1%と最も多く、次いで「高齢者関係」が 51.6%、「防災関係」が 30.9%となっています。
- 40歳以下では「子育て関係」が上位に挙がっています。



図表Ⅱ-1-12 興味・関心のある福祉分野（性別・年代別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=358)	保健医療関係 58.7%	高齢者関係 50.8%	防災関係 35.8%
女性 (n=425)	保健医療関係 56.5%	高齢者関係 52.2%	子育て関係 28.9%
10・20歳代(n=110)	子育て関係 36.4%	保健医療関係 33.6%	教育関係 23.6%
30歳代 (n=93)	子育て関係 61.3%	保健医療関係 57.0%	教育関係 36.6%
40歳代 (n=101)	保健医療関係 63.4%	高齢者関係 45.5%	子育て関係 43.6%
50歳代 (n=124)	保健医療関係 55.6%	高齢者関係 54.8%	環境関係/防災関係 26.6%
60～64歳 (n=87)	高齢者関係 75.9%	保健医療関係 73.6%	防災関係 33.3%
65～74歳 (n=180)	高齢者関係 65.0%	保健医療関係 62.2%	防災関係 33.3%
75歳以上 (n=99)	高齢者関係 70.7%	保健医療関係 56.6%	防災関係 36.4%

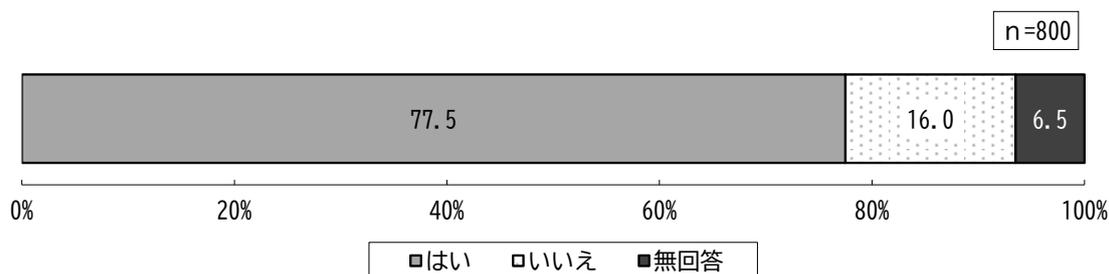
2 あなたと地域の関わりについて

(1) 地域の暮らしやすさ

問 あなたの住んでいる地域は、暮らしやすいですか。(1つに○)

- 居住地域の暮らしやすさについては、「はい(暮らしやすい)」が 77.5%、「いいえ(暮らしにくい)」が 16.0%となっています。
- 40歳代と 65～74歳は、「はい(暮らしやすい)」が 8割を超えています。

図表Ⅱ-2-1 地域の暮らしやすさ



図表Ⅱ-2-2 地域の暮らしやすさ(年代別)

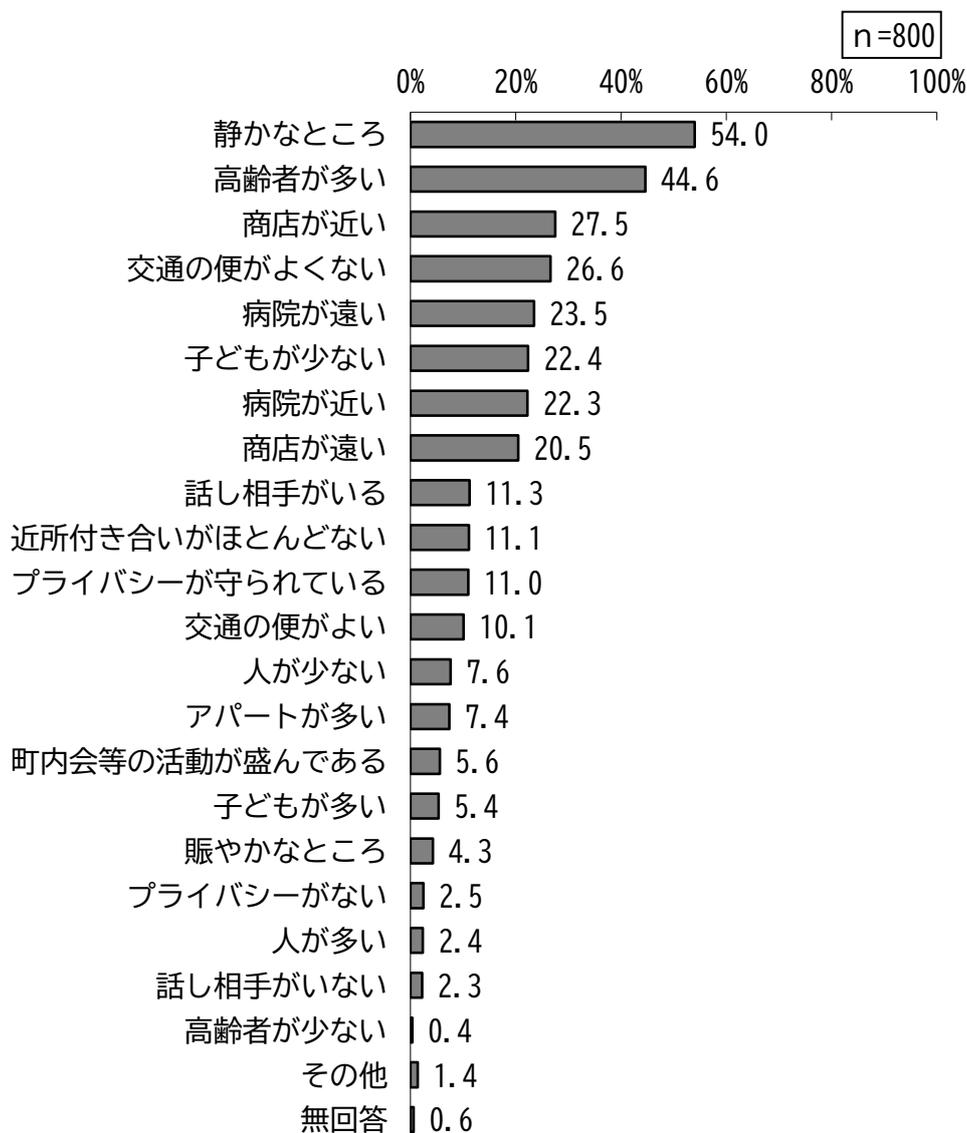
	はい	いいえ	無回答
10・20歳代 (n=110)	78.2%	20.0%	1.8%
30歳代 (n=93)	77.4%	20.4%	2.2%
40歳代 (n=101)	81.2%	13.9%	5.0%
50歳代 (n=124)	68.5%	26.6%	4.8%
60～64歳 (n=87)	77.0%	18.4%	4.6%
65～74歳 (n=180)	80.6%	7.8%	11.7%
75歳以上 (n=99)	78.8%	9.1%	12.1%

(2) 居住地域の特徴

問 あなたは、自分が住んでいる地域はどのようなところですか。
(あてはまるもの3つに○)

- 居住地域の特徴については、「静かなところ」が 54.0%と最も多くなっています。次いで「高齢者が多い」が 44.6%、「商店が近い」が 27.5%となっています。
- 居住地域が暮らしやすい人は「静かなところ」、「商店が近い」が、居住地域が暮らしにくい人は「交通の便がよくない」、「病院が遠い」が上位に挙がっています。

図表Ⅱ-2-3 居住地域の特徴



図表Ⅱ-2-4 居住地域の特徴（居住地域別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
第一田名部小学校区 (n=107)	静かなところ 57.0%	高齢者が多い 38.3%	商店が近い 29.9%
第二田名部小学校区 (n=141)	病院が近い 65.2%	静かなところ 56.0%	商店が近い 39.0%
苫生小学校区 (n=118)	商店が近い 54.2%	静かなところ 49.2%	高齢者が多い 33.9%
第三田名部小学校区 (n=41)	静かなところ 61.0%	病院が遠い/交通の便がよくない 31.7%	
奥内小学校区 (n=11)	病院が遠い/病院が遠い 72.7%		高齢者が多い 63.6%
関根小学校区 (n=22)	静かなところ 77.3%	高齢者が多い 59.1%	商店が遠い 54.5%
大平小学校区 (n=130)	静かなところ 56.9%	商店が近い/高齢者が多い 34.6%	
大湊小学校区 (n=65)	高齢者が多い 61.5%	商店が遠い 49.2%	静かなところ 47.7%
川内小学校区 (n=48)	高齢者が多い 66.7%	静かなところ/子どもが少ない 50.0%	
大畑小学校区 (n=71)	高齢者が多い 63.4%	静かなところ 52.1%	交通の便がよくない 43.7%
正津川小学校区 (n=10)	高齢者が多い 90.0%	交通の便がよくない 60.0%	商店が遠い 50.0%
二枚橋小学校区 (n=3)	高齢者が多い 90.0%	静かなところ/病院が遠い 66.7%	
脇野沢小学校区 (n=26)	高齢者が多い 73.1%	交通の便がよくない 61.5%	子どもが少ない 57.7%

図表Ⅱ-2-5 居住地域の特徴（居住地域の暮らしやすさ別：上位3項目）

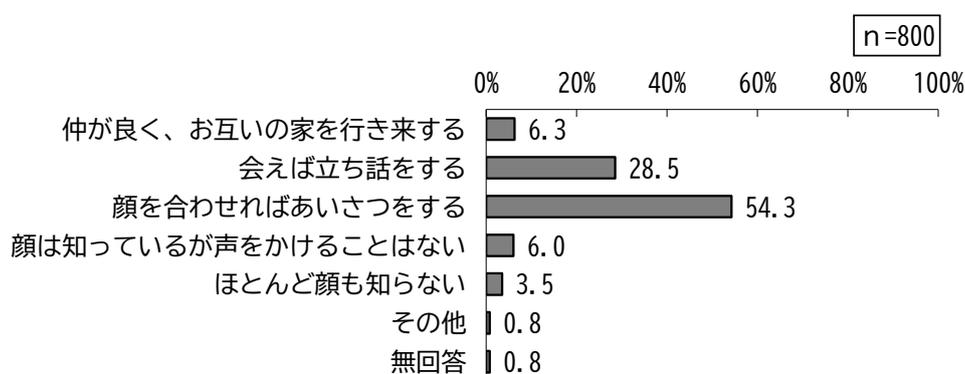
	第1位	第2位	第3位
はい（暮らしやすい） (n=107)	静かなところ 58.7%	高齢者が多い 42.6%	商店が近い 33.5%
いいえ（暮らしにくい） (n=141)	交通の便がよくない 58.6%	高齢者が多い 51.6%	病院が遠い 46.1%

(3) 隣近所との付き合い

問 あなたは、隣や向かいの人とどのような付き合いをしていますか。
(1つに○)

- 近所づきあいについては、「顔を合わせればあいさつをする」が 54.3%と最も多くなっています。次いで「会えば立ち話をする」が 28.5%、「仲が良く、お互いの家を行き来する」が 6.3%となっています。
- 年齢が上がるにつれて「仲が良く、お互いの家を行き来する」の割合が増加傾向にあります。

図表Ⅱ-2-6 隣近所との付き合い



図表Ⅱ-2-7 隣近所との付き合い（年代別）

	仲が良く、 お互いの家 を行き来す る	会えば立ち 話をする	顔を合わせ ればあいさ つをする	顔は知って いるが声を かけること はない	ほとんど顔 も知らない	その他	無回答
10・20歳代 (n=110)	0.9%	5.5%	66.4%	12.7%	10.9%	2.7%	0.9%
30歳代 (n=93)	3.2%	25.8%	54.8%	9.7%	5.4%	1.1%	0.0%
40歳代 (n=101)	6.9%	20.8%	64.4%	5.0%	3.0%	0.0%	0.0%
50歳代 (n=124)	4.8%	22.6%	63.7%	3.2%	4.0%	1.6%	0.0%
60～64歳 (n=87)	5.7%	35.6%	50.6%	5.7%	2.3%	0.0%	0.0%
65～74歳 (n=180)	6.7%	39.4%	47.8%	3.9%	0.0%	0.0%	2.2%
75歳以上 (n=99)	16.2%	45.5%	34.3%	2.0%	1.0%	0.0%	1.0%

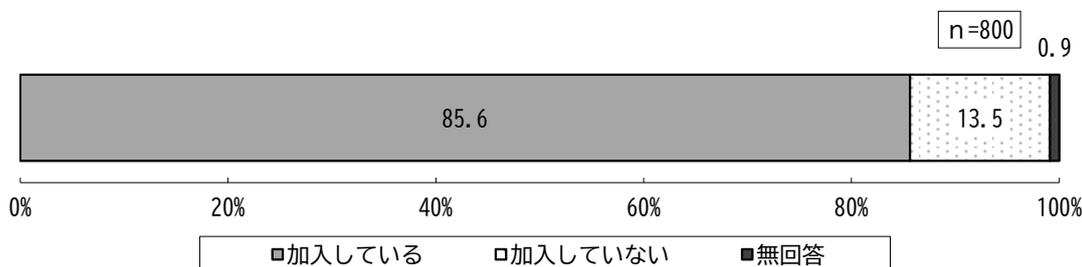
(4) 町内会の加入について

問 あなたの世帯は町内会に加入していますか。(1つに○)
また、「加入している」又は「加入していない」理由も教えてください。
(あてはまるもの2つまでに○)

① 町内会への加入状況

- 町内会への加入状況については、「加入している」が 85.6%、「加入していない」が 13.5%となっています。
- 単身世帯(10~64歳以下)は「加入していない」が半数を超えています。

図表Ⅱ-2-8 町内会への加入状況



図表Ⅱ-2-9 町内会への加入状況(家族構成(小分類)別)

	加入している	加入していない	無回答
単身世帯(10~64歳以下) (n=44)	47.7%	52.3%	0.0%
単身世帯(前期高齢者)	88.5%	11.5%	0.0%
単身世帯(後期高齢者)	100.0%	0.0%	0.0%
夫婦のみ世帯(回答者が10~64歳以下)	81.1%	17.6%	1.4%
夫婦のみ世帯(回答者が65歳以上)	93.4%	6.6%	0.0%
未就学児のいる世帯	74.5%	25.5%	0.0%
義務教育の子がいる世帯	83.3%	15.6%	1.1%
義務教育終了の子がいる世帯	91.9%	7.2%	0.9%
ひとり親の核家族世帯	88.2%	8.8%	2.9%
後期高齢者の親がいる世帯	94.4%	3.3%	2.2%
その他の世帯	85.1%	14.0%	0.8%

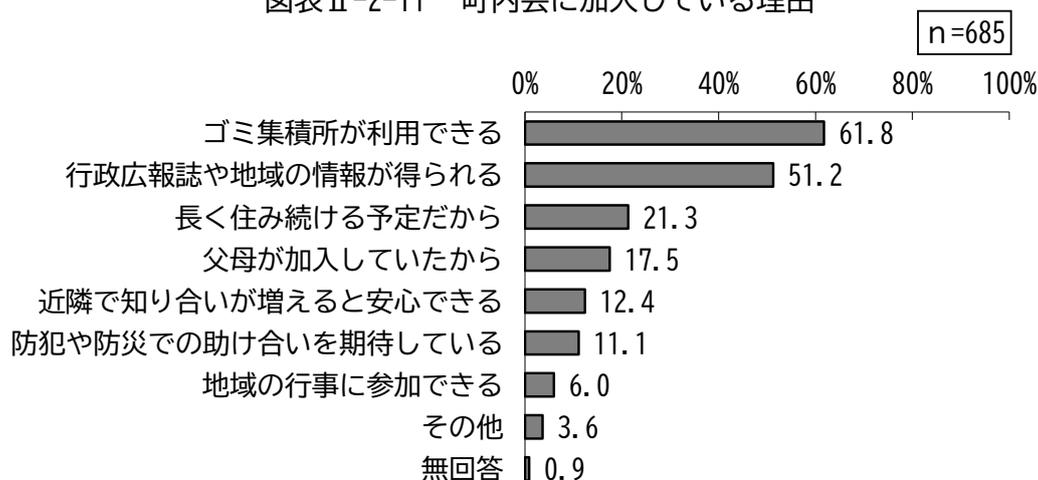
図表Ⅱ-2-10 町内会への加入状況（居住地域別）

	加入している	加入していない	無回答
第一田名部小学校区 (n=107)	80.4%	18.7%	0.9%
第二田名部小学校区 (n=141)	90.1%	9.2%	0.7%
苫生小学校区 (n=118)	77.1%	22.0%	0.8%
第三田名部小学校区 (n=41)	78.0%	19.5%	2.4%
奥内小学校区 (n=11)	90.9%	9.1%	0.0%
関根小学校区 (n=22)	100.0%	0.0%	0.0%
大平小学校区 (n=130)	84.6%	15.4%	0.0%
大湊小学校区 (n=65)	83.1%	16.9%	0.0%
川内小学校区 (n=48)	91.7%	8.3%	0.0%
大畑小学校区 (n=71)	97.2%	2.8%	0.0%
正津川小学校区 (n=10)	100.0%	0.0%	0.0%
二枚橋小学校区 (n=3)	66.7%	33.3%	0.0%
脇野沢小学校区 (n=26)	84.6%	7.7%	7.7%

② 町内会に加入している理由（あてはまるもの2つまでに○）

- 前問で町内会に「加入している」と回答した方（n=685）の加入している理由については、「ゴミ集積所が利用できる」が61.8%と最も多くなっています。次いで「行政広報誌や地域の情報が得られる」が51.2%、「長く住み続ける予定だから」が21.3%となっています。
- 64歳以下では「ゴミ集積所が利用できる」が、65歳以上では「行政広報誌や地域の情報が得られる」がそれぞれ最上位となっています。

図表Ⅱ-2-11 町内会に加入している理由



図表Ⅱ-2-12 町内会に加入している理由（年代別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=76)	ゴミ集積所が利用できる 46.1%	父母が加入していたから 40.8%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 34.2%
30歳代 (n=74)	ゴミ集積所が利用できる 63.5%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 33.8%	父母が加入していたから 28.4%
40歳代(n=77)	ゴミ集積所が利用できる 74.0%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 33.8%	長く住み続ける予定だから /父母が加入していたから 22.1%
50歳代 (n=113)	ゴミ集積所が利用できる 70.8%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 41.6%	長く住み続ける予定だから 19.5%
60～64歳 (n=76)	ゴミ集積所が利用できる 64.5%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 61.8%	防犯や防災での助け合いを 期待している 19.7%
65～74歳 (n=169)	行政広報誌や地域の情報が 得られる 65.7%	ゴミ集積所が利用できる 59.2%	長く住み続ける予定だから 24.3%
75歳以上 (n=94)	行政広報誌や地域の情報が 得られる 69.1%	ゴミ集積所が利用できる 56.4%	長く住み続ける予定だから 24.5%

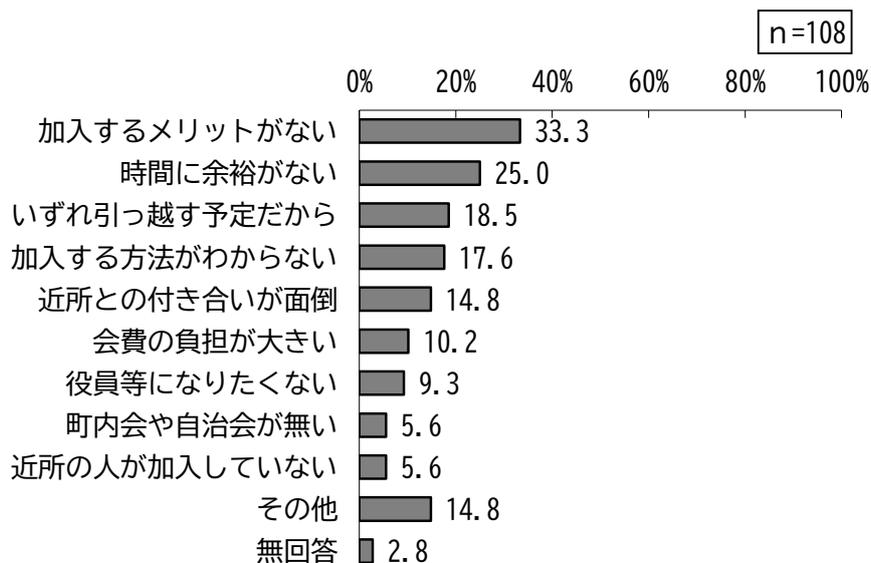
図表Ⅱ-2-13 町内会に加入している理由（居住地域別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
第一田名部小学校区 (n=86)	ゴミ集積所が利用できる 65.1%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 60.5%	長く住み続ける予定だから 23.3%
第二田名部小学校区 (n=127)	ゴミ集積所が利用できる 63.0%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 55.1%	近隣で知り合いが増えると 安心できる 19.7%
苫生小学校区 (n=91)	ゴミ集積所が利用できる 68.1%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 48.1%	長く住み続ける予定だから 30.8%
第三田名部小学校区 (n=32)	ゴミ集積所が利用できる 62.5%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 37.5%	長く住み続ける予定だから 31.3%
奥内小学校区 (n=10)	父母が加入していたから 60.0%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 40.0%	ゴミ集積所が利用できる 30.0%
関根小学校区 (n=22)	行政広報誌や地域の情報が 得られる 45.5%	ゴミ集積所が利用できる/父母が加入していたから 40.9%	
大平小学校区 (n=110)	ゴミ集積所が利用できる 64.5%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 45.5%	長く住み続ける予定だから 28.2%
大湊小学校区 (n=54)	ゴミ集積所が利用できる 59.3%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 55.6%	長く住み続ける予定だから /父母が加入していたから 20.4%
川内小学校区 (n=44)	ゴミ集積所が利用できる 61.4%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 43.2%	父母が加入していたから 29.5%
大畑小学校区 (n=69)	ゴミ集積所が利用できる 62.3%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 56.5%	父母が加入していたから 21.7%
正津川小学校区 (n=10)	ゴミ集積所が利用できる 80.0%	行政広報誌や地域の情報が 得られる 40.0%	長く住み続ける予定だから /父母が加入していたから 40.0%
二枚橋小学校区 (n=2)	行政広報誌や地域の情報が 得られる 100.0%	長く住み続ける予定だから/父母が加入していたから 50.0%	
脇野沢小学校区 (n=22)	行政広報誌や地域の情報が 得られる 45.5%	父母が加入していたから 40.9%	ゴミ集積所が利用できる 36.4%

③ 町内会に加入していない理由（あてはまるもの2つまでに○）

- 前問で町内会に「加入していない」と回答した方（n=108）の加入していない理由については、「加入するメリットがない」が 33.3%と最も多くなっています。次いで「時間に余裕がない」が 25.0%、「いずれ引っ越す予定だから」が 18.5%となっています。

図表Ⅱ-2-14 町内会に加入していない理由

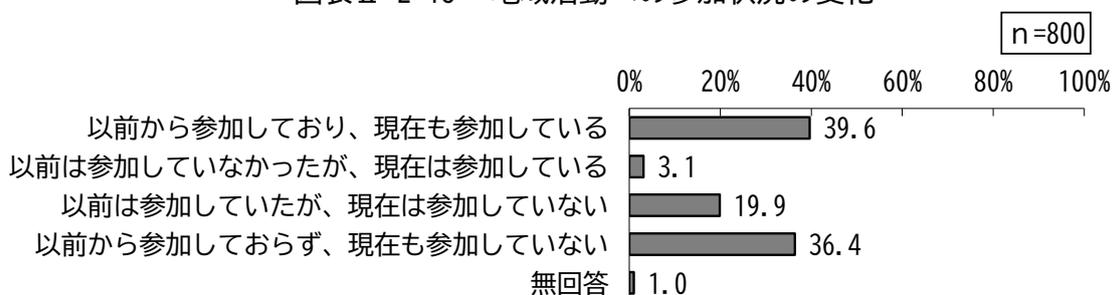


(5) 地域活動への参加状況の変化

問 過去2年間に振り返り、地域活動（清掃活動、町内行事、防災活動等）への参加状況に変化はありましたか。（1つに○）

- 地域活動への参加状況の変化については、「以前から参加しており、現在も参加している」が39.6%と最も多くなっています。次いで「以前から参加しておらず、現在も参加していない」が36.4%、「以前は参加していたが、現在は参加していない」が19.9%となっています。
- 50歳代以下では「以前から参加しておらず、現在も参加していない」が、60歳以上では「以前から参加しており、現在も参加している」がそれぞれ最上位となっています。

図表Ⅱ-2-15 地域活動への参加状況の変化



図表Ⅱ-2-16 地域活動への参加状況の変化（年代別）

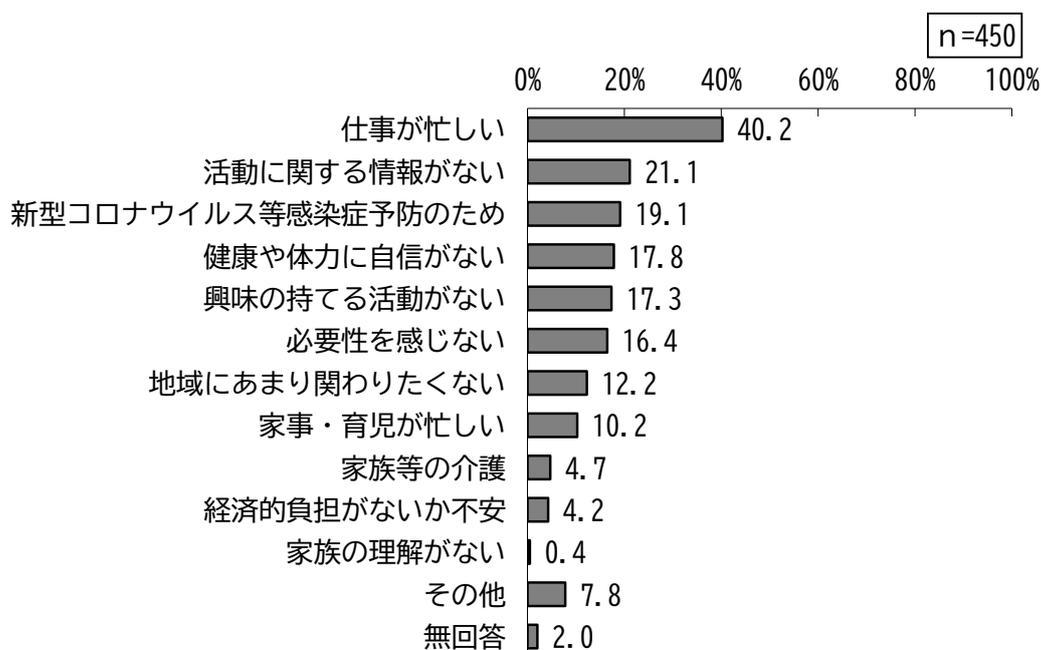
	以前から参加しており、現在も参加している	以前は参加していなかったが、現在は参加している	以前は参加していたが、現在は参加していない	以前から参加しておらず、現在も参加していない	無回答
10・20歳代 (n=110)	10.0%	3.6%	23.6%	61.8%	0.9%
30歳代 (n=93)	33.3%	2.2%	14.0%	50.5%	0.0%
40歳代 (n=101)	34.7%	2.0%	9.9%	52.5%	1.0%
50歳代 (n=124)	33.9%	4.8%	21.8%	39.5%	0.0%
60～64歳 (n=87)	51.7%	3.4%	20.7%	24.1%	0.0%
65～74歳 (n=180)	53.9%	3.3%	18.3%	22.8%	1.7%
75歳以上 (n=99)	54.5%	1.0%	32.3%	10.1%	2.0%

(6) 地域活動に参加していない理由

【前問で「以前は参加していたが、現在は参加していない」又は「以前から参加しておらず、現在も参加していない」(現在参加していない)を選んだ方のみ】
問 地域活動に参加していない理由を教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- 前問で地域活動に「参加していない」と回答した方(n=450)の参加していない理由については、「仕事が忙しい」が40.2%と最も多くなっています。次いで「活動に関する情報がない」が21.1%、「新型コロナウイルス等感染症予防のため」が19.1%となっています。
- 64歳以下では「仕事が忙しい」が、65歳以上では「健康や体力に自信がない」がそれぞれ最上位となっています。

図表Ⅱ-2-17 地域活動に参加していない理由



図表Ⅱ-2-18 地域活動に参加していない理由（年代別：上位3項目）

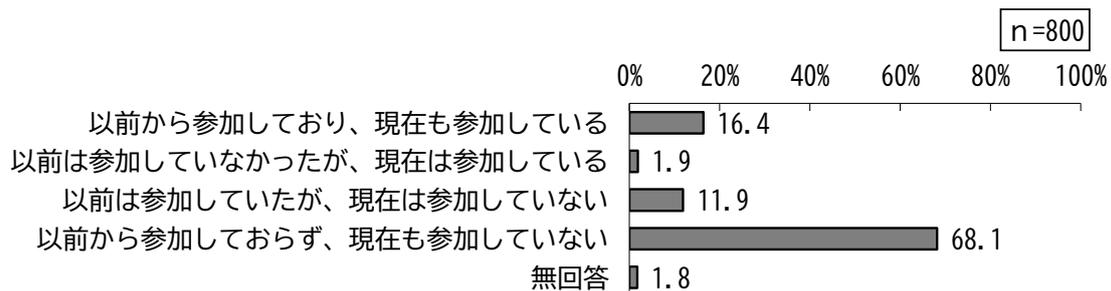
	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=94)	仕事が忙しい 42.6%	活動に関する情報がない 24.5%	新型コロナウイルス等感染症予防のため 22.3%
30歳代 (n=60)	仕事が忙しい 55.0%	活動に関する情報がない 28.3%	家事・育児が忙しい 23.3%
40歳代(n=63)	仕事が忙しい 61.9%	家事・育児が忙しい 20.6	新型コロナウイルス等感染症予防のため 17.5%
50歳代(n=76)	仕事が忙しい 51.3%	興味の持てる活動がない 27.6%	必要性を感じない 17.1%
60～64歳 (n=39)	仕事が忙しい 30.8%	必要性を感じない 25.6%	活動に関する情報がない 23.1%
65～74歳 (n=74)	健康や体力に自信がない 36.5%	活動に関する情報がない/新型コロナウイルス等感染症予防のため 20.3%	
75歳以上 (n=42)	健康や体力に自信がない 52.4%	活動に関する情報がない/新型コロナウイルス等感染症予防のため 20.3%	

(7) ボランティア活動への参加状況の変化

問 過去2年間に振り返り、ボランティア活動への参加状況に変化はありましたか。(1つに○)

- ボランティア活動への参加状況の変化については、「以前から参加しておらず、現在も参加していない」が68.1%と最も多くなっています。次いで「以前から参加しており、現在も参加している」が16.4%、「以前は参加していたが、現在は参加していない」が11.9%、「以前は参加していなかったが、現在は参加している」が1.9%、「無回答」が1.8%となっています。

図表Ⅱ-2-19 ボランティア活動への参加状況の変化



図表Ⅱ-2-20 ボランティア活動への参加状況の変化（年代別）

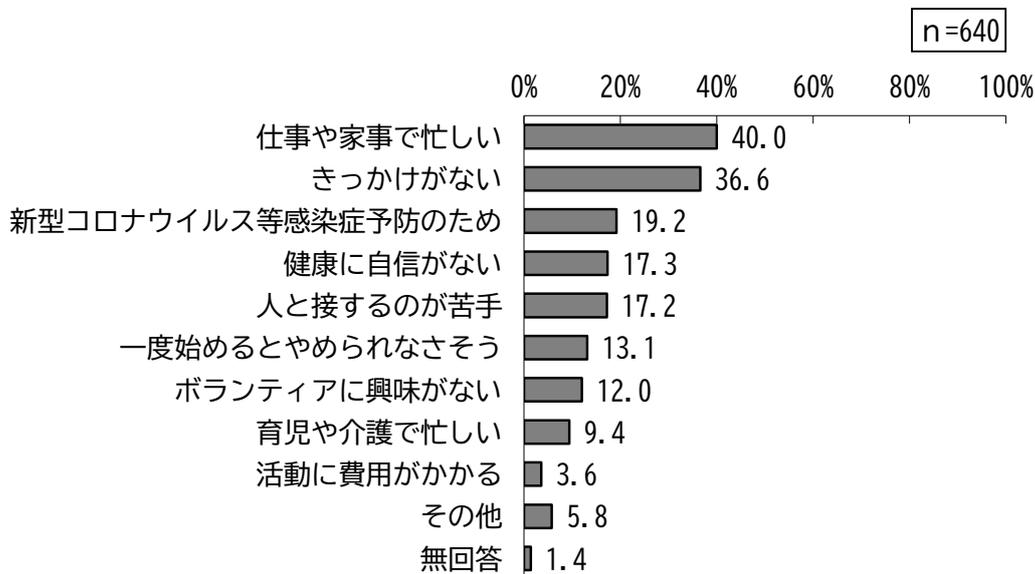
	以前から参加しており、現在も参加している	以前は参加していなかったが、現在は参加している	以前は参加していたが、現在は参加していない	以前から参加しておらず、現在も参加していない	無回答
10・20歳代 (n=110)	4.5%	0.0%	17.3%	78.2%	0.0%
30歳代 (n=93)	10.8%	3.2%	7.5%	78.5%	0.0%
40歳代 (n=101)	16.8%	0.0%	3.0%	77.2%	3.0%
50歳代 (n=124)	12.1%	2.4%	7.3%	76.6%	1.6%
60～64歳 (n=87)	11.5%	0.0%	12.6%	73.6%	2.3%
65～74歳 (n=180)	23.9%	1.7%	14.4%	57.8%	2.2%
75歳以上 (n=99)	31.3%	5.1%	20.2%	40.4%	3.0%

(8) ボランティア活動に参加していない理由

【前問で「3.」又は「4.」（現在参加していない）を選んだ方のみ】
問 ボランティア活動に参加していない理由を教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

- 前問でボランティア活動に「参加していない」と回答した方（n=640）の参加していない理由については、「仕事や家事で忙しい」が40.0%と最も多くなっています。次いで「きっかけがない」が36.6%、「新型コロナウイルス等感染症予防のため」が19.2%となっています。
- 10・20歳代、65～74歳では「きっかけがない」が、30～50歳代では「仕事や家事で忙しい」が、75歳以上では「健康に自信がない」がそれぞれ最上位となっています。

図表Ⅱ-2-21 ボランティア活動に参加していない理由



図表Ⅱ-2-22 地域活動に参加していない理由（年代別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=105)	きっかけがない 44.8%	仕事や家事で忙しい 31.4%	人と接するのが苦手 21.0%
30歳代 (n=80)	仕事や家事で忙しい 61.3%	きっかけがない 36.3%	育児や介護で忙しい 23.8%
40歳代(n=81)	仕事や家事で忙しい 59.3%	きっかけがない 33.3%	人と接するのが苦手 28.4%
50歳代 (n=104)	仕事や家事で忙しい 50.0%	きっかけがない 37.5%	一度始めるとやめられなさそう/ 新型コロナウイルス等感染症予防 のため 15.4%
60～64歳 (n=75)	仕事や家事で忙しい 45.3%	きっかけがない 32.0%	健康に自信がない/人と接するの が苦手/新型コロナウイルス等感 染症予防のため 18.7%
65～74歳 (n=130)	きっかけがない 40.0%	健康に自信がない 31.5%	仕事や家事で忙しい 21.5%
75歳以上 (n=60)	健康に自信がない 48.3%	きっかけがない 25.0%	仕事や家事で忙しい 18.3%

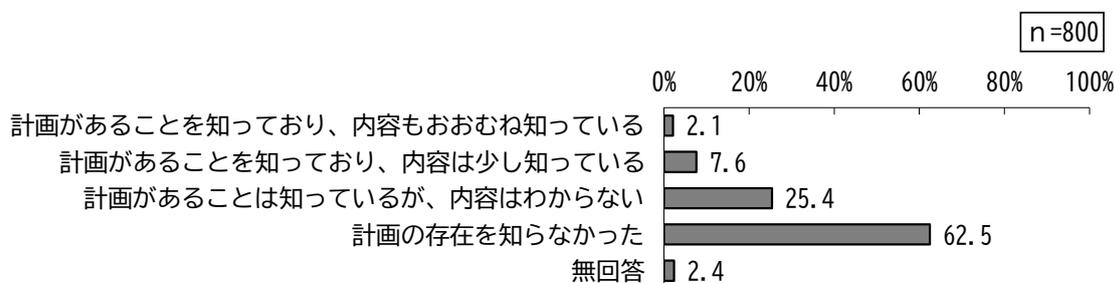
3 むつ市地域福祉計画について

(1) むつ市地域福祉計画の認知度

問 むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画を基に地域福祉に関する様々な施策を行っています。あなたはこの計画について知っていますか。(1つに○)

- むつ市地域福祉計画の認知度については、「計画の存在を知らなかった」が62.5%と最も多くなっています。次いで「計画があることは知っているが、内容はわからない」が25.4%、「計画があることを知っており、内容は少し知っている」が7.6%となっています。
- 年代が上がるにつれて計画を認知している割合も増加傾向にあります。

図表Ⅱ-3-1 むつ市地域福祉計画の認知度



図表Ⅱ-3-2 むつ市地域福祉計画の認知度（年代別）

	計画があることを知っており、内容もおおむね知っている	計画があることを知っており、内容は少し知っている	計画があることは知っているが、内容はわからない	計画の存在を知らなかった	無回答
10・20歳代 (n=110)	1.8%	1.8%	13.6%	81.8%	0.9%
30歳代 (n=93)	1.1%	4.3%	16.1%	76.3%	2.2%
40歳代 (n=101)	2.0%	5.0%	20.8%	72.3%	0.0%
50歳代 (n=124)	3.2%	3.2%	30.6%	61.3%	1.6%
60～64歳 (n=87)	2.3%	9.2%	21.8%	63.2%	3.4%
65～74歳 (n=180)	1.1%	10.6%	32.2%	50.6%	5.6%
75歳以上 (n=99)	4.0%	19.2%	36.4%	39.4%	1.0%

(2) 地域福祉に関する取り組み状況

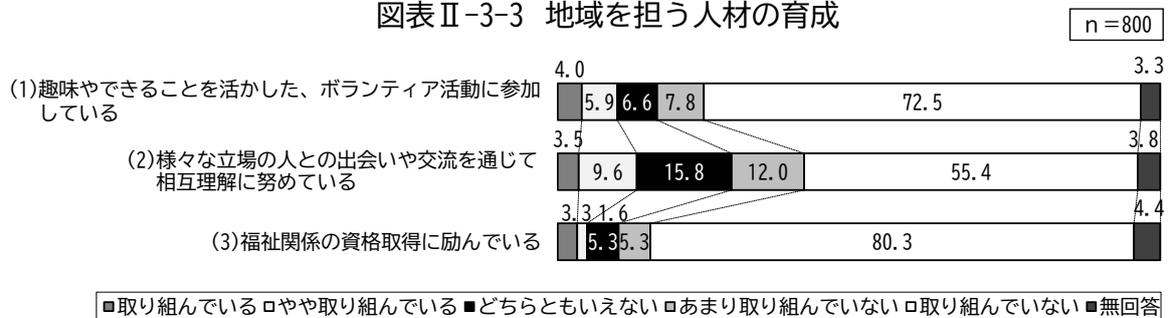
問 「むつ市地域福祉計画」では、行政が主体となって取り組む事業・施策のほか、住民の皆さんが主体となって取り組めることを記載しています。各項目についてあなたの取り組み状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

【基本目標1 理解と交流づくり】

施策1 地域を担う人材の育成

○ 地域を担う人材の育成のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)趣味やできることを活かした、ボランティア活動に参加している」(4.0%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3)福祉関係の資格取得に励んでいる」(80.3%)となっています。

図表Ⅱ-3-3 地域を担う人材の育成

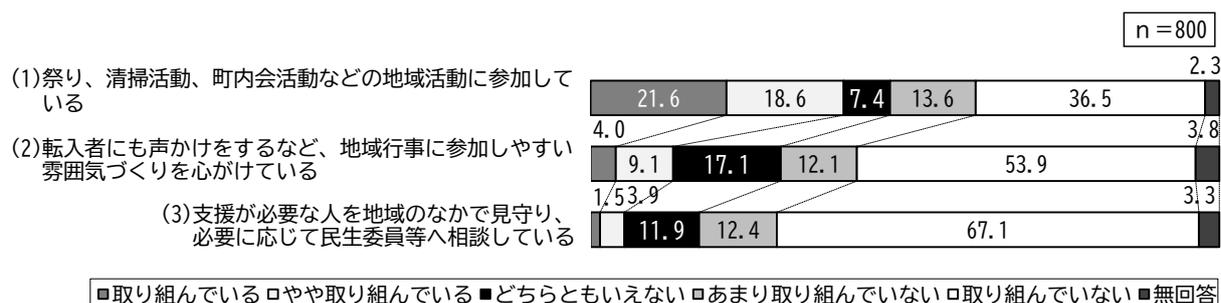


		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 趣味やできることを活かした、ボランティア活動に参加している	1 取り組んでいる	32	4.0%
	2 やや取り組んでいる	47	5.9%
	3 どちらともいえない	53	6.6%
	4 あまり取り組んでいない	62	7.8%
	5 取り組んでいない	580	72.5%
	無回答	26	3.3%
(2) 様々な立場の人との出会いや交流を通じて相互理解に努めている	1 取り組んでいる	28	3.5%
	2 やや取り組んでいる	77	9.6%
	3 どちらともいえない	126	15.8%
	4 あまり取り組んでいない	96	12.0%
	5 取り組んでいない	443	55.4%
	無回答	30	3.8%
(3) 福祉関係の資格取得に励んでいる	1 取り組んでいる	26	3.3%
	2 やや取り組んでいる	13	1.6%
	3 どちらともいえない	42	5.3%
	4 あまり取り組んでいない	42	5.3%
	5 取り組んでいない	642	80.3%
	無回答	35	4.4%

施策2 地域資源の維持と有効活用

- 地域資源の維持と有効活用のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1) 祭り、清掃活動、町内会活動などの地域活動に参加している」(21.6%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3) 支援が必要な人を地域のなかで見守り、必要に応じて民生委員等へ相談している」(67.1%)となっています。

図表Ⅱ-3-4 地域資源の維持と有効活用



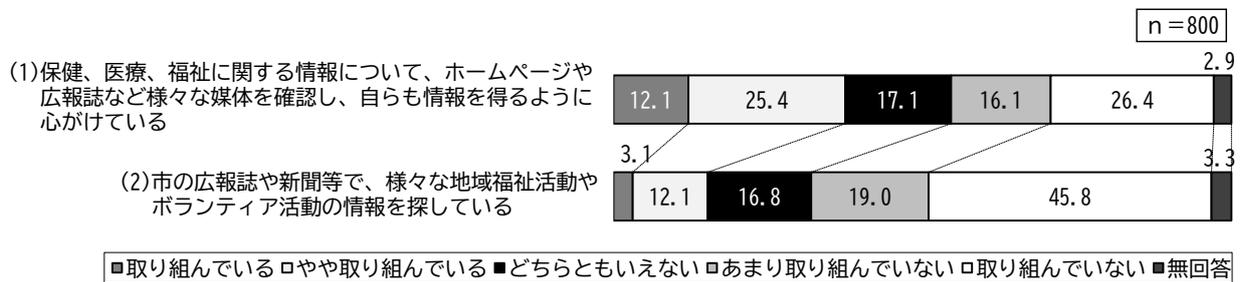
		(n=800)	
		回答数	構成比
(1)	祭り、清掃活動、町内会活動などの地域活動に参加している	1 取り組んでいる	21.6%
		2 やや取り組んでいる	18.6%
		3 どちらともいえない	7.4%
		4 あまり取り組んでいない	13.6%
		5 取り組んでいない	36.5%
		無回答	2.3%
(2)	転入者にも声かけをするなど、地域行事に参加しやすい雰囲気づくりを心がけている	1 取り組んでいる	4.0%
		2 やや取り組んでいる	9.1%
		3 どちらともいえない	17.1%
		4 あまり取り組んでいない	12.1%
		5 取り組んでいない	53.9%
		無回答	3.8%
(3)	支援が必要な人を地域のなかで見守り、必要に応じて民生委員等へ相談している	1 取り組んでいる	1.5%
		2 やや取り組んでいる	3.9%
		3 どちらともいえない	11.9%
		4 あまり取り組んでいない	12.4%
		5 取り組んでいない	67.1%
		無回答	3.3%

【基本目標2 参加と居場所づくり】

施策3 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくり

- 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくりのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)保健、医療、福祉に関する情報について、ホームページや広報誌など様々な媒体を確認し、自らも情報を得るように心がけている」(12.1%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2)市の広報誌や新聞等で、様々な地域福祉活動やボランティア活動の情報を探している」(45.8%)となっています。

図表Ⅱ-3-5 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくり



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 保健、医療、福祉に関する情報について、ホームページや広報誌など様々な媒体を確認し、自らも情報を得るように心がけている	1 取り組んでいる	97	12.1%
	2 やや取り組んでいる	203	25.4%
	3 どちらともいえない	137	17.1%
	4 あまり取り組んでいない	129	16.1%
	5 取り組んでいない	211	26.4%
	無回答	23	2.9%
(2) 市の広報誌や新聞等で、様々な地域福祉活動やボランティア活動の情報を探している	1 取り組んでいる	25	3.1%
	2 やや取り組んでいる	97	12.1%
	3 どちらともいえない	134	16.8%
	4 あまり取り組んでいない	152	19.0%
	5 取り組んでいない	366	45.8%
	無回答	26	3.3%

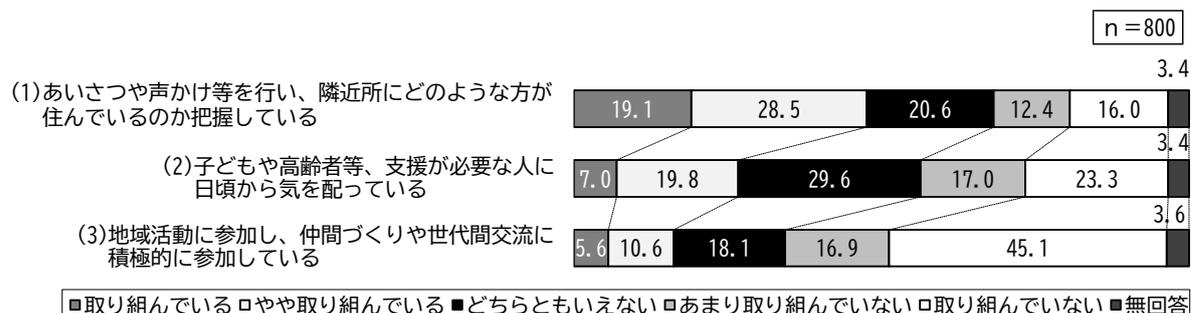
図表Ⅱ-3-6 保健、医療、福祉に関する情報について、ホームページや広報誌など様々な媒体を確認し、自らも情報を得るように心がけている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	9.1%	11.8%	17.3%	10.9%	50.0%	0.9%
30歳代 (n=93)	11.8%	21.5%	20.4%	16.1%	29.0%	1.1%
40歳代 (n=101)	10.9%	22.8%	28.7%	13.9%	23.8%	0.0%
50歳代 (n=124)	11.3%	25.8%	14.5%	19.4%	24.2%	4.8%
60～64歳 (n=87)	16.1%	29.9%	11.5%	16.1%	24.1%	2.3%
65～74歳 (n=180)	11.1%	31.1%	12.2%	21.7%	21.1%	2.8%
75歳以上 (n=99)	16.2%	32.3%	19.2%	11.1%	13.1%	8.1%

施策4 集いと憩い地域社会の保全

- 集いと憩い地域社会の保全のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1) あいさつや声かけ等を行い、隣近所にどのような方が住んでいるのか把握している」(19.1%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3) 地域活動に参加し、仲間づくりや世代間交流に積極的に参加している」(45.1%)となっています。

図表Ⅱ-3-7 集いと憩い地域社会の保全



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) あいさつや声かけ等を行い、隣近所にどのような方が住んでいるのか把握している	1 取り組んでいる	153	19.1%
	2 やや取り組んでいる	228	28.5%
	3 どちらともいえない	165	20.6%
	4 あまり取り組んでいない	99	12.4%
	5 取り組んでいない	128	16.0%
	無回答	27	3.4%
(2) 子どもや高齢者等、支援が必要な人に日頃から気を配っている	1 取り組んでいる	56	7.0%
	2 やや取り組んでいる	158	19.8%
	3 どちらともいえない	237	29.6%
	4 あまり取り組んでいない	136	17.0%
	5 取り組んでいない	186	23.3%
	無回答	27	3.4%
(3) 地域活動に参加し、仲間づくりや世代間交流に積極的に参加している	1 取り組んでいる	45	5.6%
	2 やや取り組んでいる	85	10.6%
	3 どちらともいえない	145	18.1%
	4 あまり取り組んでいない	135	16.9%
	5 取り組んでいない	361	45.1%
	無回答	29	3.6%

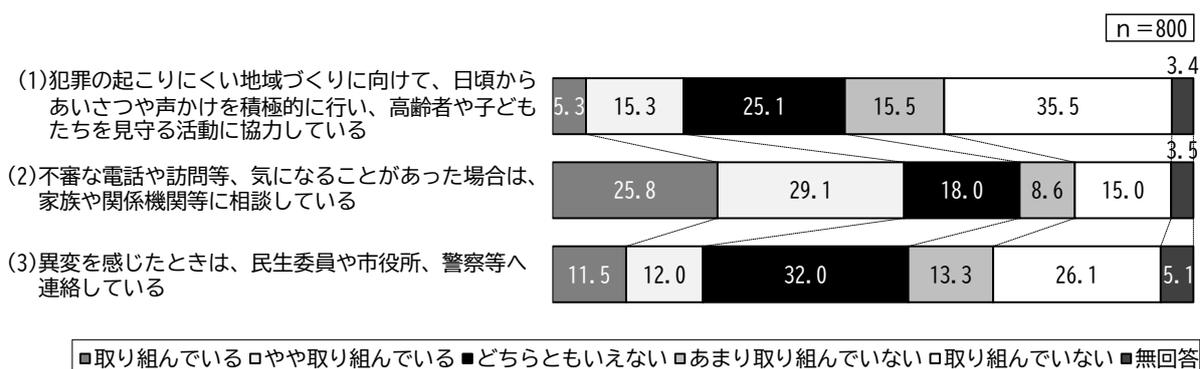
図表Ⅱ-3-8 あいさつや声かけ等を行い、隣近所にどのような方が住んでいるのか把握している（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	10.0%	19.1%	18.2%	18.2%	33.6%	0.9%
30歳代 (n=93)	18.3%	28.0%	23.7%	14.0%	15.1%	1.1%
40歳代 (n=101)	12.9%	23.8%	26.7%	14.9%	20.8%	1.0%
50歳代 (n=124)	17.7%	27.4%	21.0%	16.1%	13.7%	4.0%
60～64歳 (n=87)	14.9%	37.9%	21.8%	8.0%	14.9%	2.3%
65～74歳 (n=180)	23.9%	33.9%	16.1%	10.6%	10.6%	5.0%
75歳以上 (n=99)	34.3%	29.3%	18.2%	5.1%	5.1%	8.1%

施策5 地域の防犯力の向上

- 地域の防犯力の向上のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 不審な電話や訪問等、気になることがあった場合は、家族や関係機関等に相談している」(25.8%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、日頃からあいさつや声かけを積極的に行い、高齢者や子どもたちを見守る活動に協力している」(35.5%)となっています。

図表Ⅱ-3-9 地域の防犯力の向上

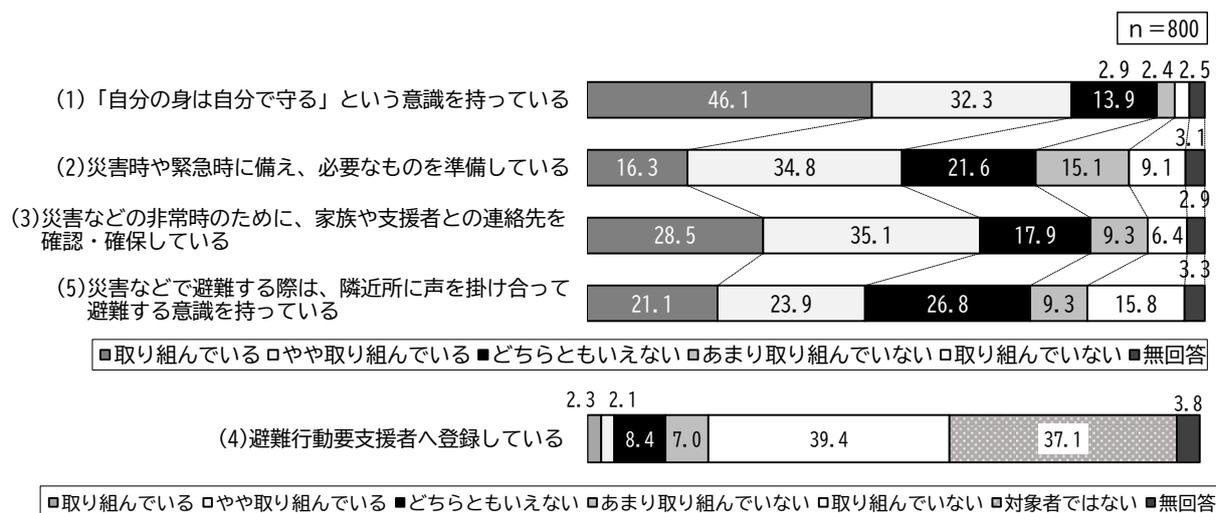


		(n=800)	
		回答数	構成比
(1)	犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、日頃からあいさつや声かけを積極的に行い、高齢者や子どもたちを見守る活動に協力している	1 取り組んでいる	42 5.3%
		2 やや取り組んでいる	122 15.3%
		3 どちらともいえない	201 25.1%
		4 あまり取り組んでいない	124 15.5%
		5 取り組んでいない	284 35.5%
		無回答	27 3.4%
(2)	不審な電話や訪問等、気になることがあった場合は、家族や関係機関等に相談している	1 取り組んでいる	206 25.8%
		2 やや取り組んでいる	233 29.1%
		3 どちらともいえない	144 18.0%
		4 あまり取り組んでいない	69 8.6%
		5 取り組んでいない	120 15.0%
		無回答	28 3.5%
(3)	異変を感じたときは、民生委員や市役所、警察等へ連絡している	1 取り組んでいる	92 11.5%
		2 やや取り組んでいる	96 12.0%
		3 どちらともいえない	256 32.0%
		4 あまり取り組んでいない	106 13.3%
		5 取り組んでいない	209 26.1%
		無回答	41 5.1%

施策6 地域の防災力の向上

- 地域の防災力の向上のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)「自分の身は自分で守る」という意識を持っている」(46.1%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(4)避難行動要支援者へ登録している」(39.4%)となっています。

図表Ⅱ-3-10 地域の防災力の向上



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 「自分の身は自分で守る」という意識を持っている	1 取り組んでいる	369	46.1%
	2 やや取り組んでいる	258	32.3%
	3 どちらともいえない	111	13.9%
	4 あまり取り組んでいない	23	2.9%
	5 取り組んでいない	19	2.4%
	無回答	20	2.5%
(2) 災害時や緊急時に備え、必要なものを準備している	1 取り組んでいる	130	16.3%
	2 やや取り組んでいる	278	34.8%
	3 どちらともいえない	173	21.6%
	4 あまり取り組んでいない	121	15.1%
	5 取り組んでいない	73	9.1%
	無回答	25	3.1%
(3) 災害などの非常時のために、家族や支援者との連絡先を確認・確保している	1 取り組んでいる	228	28.5%
	2 やや取り組んでいる	281	35.1%
	3 どちらともいえない	143	17.9%
	4 あまり取り組んでいない	74	9.3%
	5 取り組んでいない	51	6.4%
	無回答	23	2.9%

		回答数	構成比
(4) 避難行動要支援者へ登録している	1 取り組んでいる	18	2.3%
	2 やや取り組んでいる	17	2.1%
	3 どちらともいえない	67	8.4%
	4 あまり取り組んでいない	56	7.0%
	5 取り組んでいない	315	39.4%
	6 対象者ではない	297	37.1%
	無回答	30	3.8%
(5) 災害などで避難する際は、隣近所に声を掛け合って避難する意識を持っている	1 取り組んでいる	169	21.1%
	2 やや取り組んでいる	191	23.9%
	3 どちらともいえない	214	26.8%
	4 あまり取り組んでいない	74	9.3%
	5 取り組んでいない	126	15.8%
	無回答	26	3.3%

図表Ⅱ-3-11 「自分の身は自分で守る」という意識を持っている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	45.5%	28.2%	18.2%	4.5%	1.8%	1.8%
30歳代 (n=93)	45.2%	33.3%	14.0%	2.2%	4.3%	1.1%
40歳代 (n=101)	42.6%	34.7%	17.8%	3.0%	2.0%	0.0%
50歳代 (n=124)	41.9%	36.3%	12.1%	4.0%	2.4%	3.2%
60～64歳 (n=87)	37.9%	37.9%	18.4%	1.1%	3.4%	1.1%
65～74歳 (n=180)	50.0%	28.3%	13.9%	3.3%	1.1%	3.3%
75歳以上 (n=99)	56.6%	29.3%	4.0%	1.0%	3.0%	6.1%

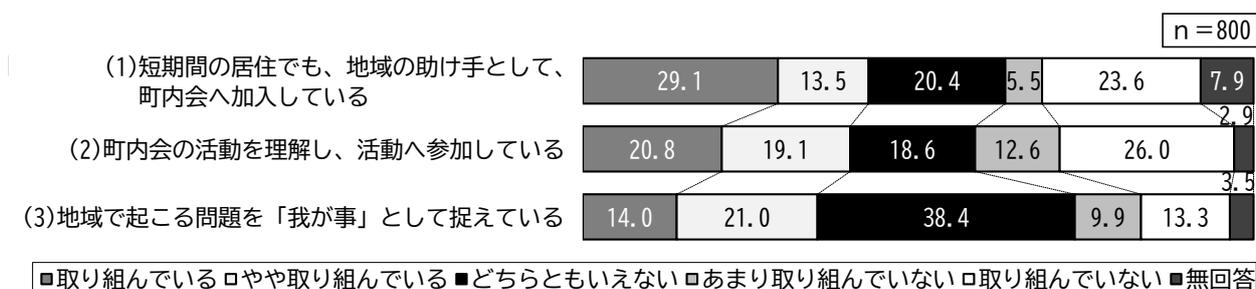
図表Ⅱ-3-12 災害時や緊急時に備え、必要なものを準備している（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	10.9%	23.6%	24.5%	21.8%	18.2%	0.9%
30歳代 (n=93)	16.1%	29.0%	20.4%	20.4%	11.8%	2.2%
40歳代 (n=101)	16.8%	36.6%	22.8%	13.9%	8.9%	1.0%
50歳代 (n=124)	15.3%	40.3%	23.4%	12.1%	4.8%	4.0%
60～64歳 (n=87)	16.1%	34.5%	21.8%	16.1%	9.2%	2.3%
65～74歳 (n=180)	20.0%	35.0%	20.0%	12.2%	8.9%	3.9%
75歳以上 (n=99)	14.1%	44.4%	18.2%	13.1%	3.0%	7.1%

施策7 地域活動の保全と交流の促進

- 地域活動の保全と交流の促進のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1) 短期間の居住でも、地域の助け手として、町内会へ加入している」(29.1%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2) 町内会の活動を理解し、活動へ参加している」(26.0%)となっています。

図表Ⅱ-3-13 地域活動の保全と交流の促進



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 短期間の居住でも、地域の助け手として、町内会へ加入している	1 取り組んでいる	233	29.1%
	2 やや取り組んでいる	108	13.5%
	3 どちらともいえない	163	20.4%
	4 あまり取り組んでいない	44	5.5%
	5 取り組んでいない	189	23.6%
	無回答	63	7.9%
	(2) 町内会の活動を理解し、活動へ参加している	1 取り組んでいる	166
2 やや取り組んでいる		153	19.1%
3 どちらともいえない		149	18.6%
4 あまり取り組んでいない		101	12.6%
5 取り組んでいない		208	26.0%
無回答		23	2.9%
(3) 地域で起こる問題を「我が事」として捉えている		1 取り組んでいる	112
	2 やや取り組んでいる	168	21.0%
	3 どちらともいえない	307	38.4%
	4 あまり取り組んでいない	79	9.9%
	5 取り組んでいない	106	13.3%
	無回答	28	3.5%

図表Ⅱ-3-14 地域で起こる問題を「我が事」として捉えている（年代別）

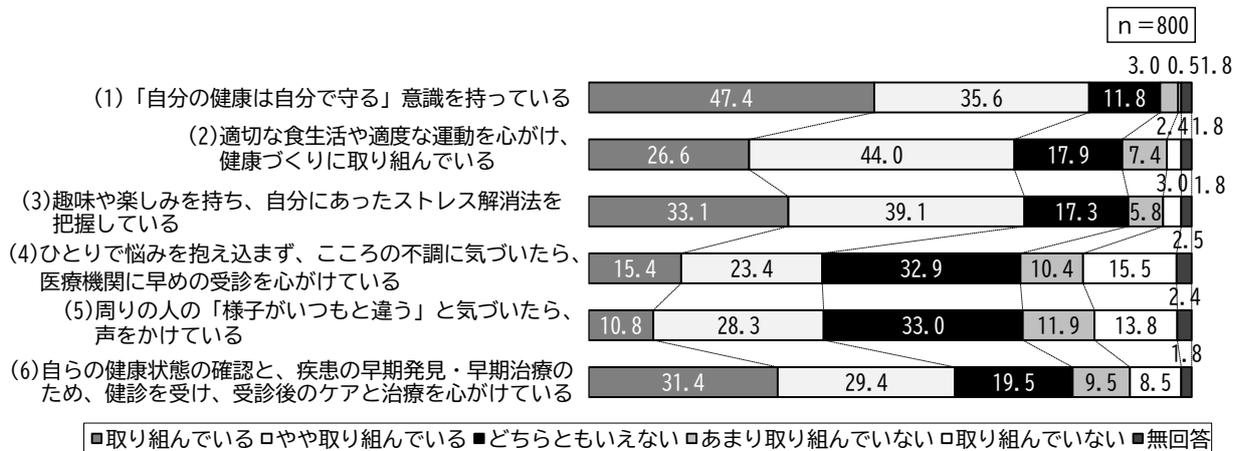
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	4.5%	7.3%	40.9%	16.4%	30.0%	0.9%
30歳代 (n=93)	7.5%	19.4%	35.5%	11.8%	24.7%	1.1%
40歳代 (n=101)	11.9%	20.8%	41.6%	9.9%	13.9%	2.0%
50歳代 (n=124)	4.8%	19.4%	50.0%	11.3%	10.5%	4.0%
60～64歳 (n=87)	17.2%	23.0%	39.1%	10.3%	6.9%	3.4%
65～74歳 (n=180)	20.6%	25.0%	35.6%	7.8%	6.1%	5.0%
75歳以上 (n=99)	30.3%	31.3%	24.2%	2.0%	5.1%	7.1%

【基本目標3 自立に向けた生活支援の継続】

施策8 健やかであるための生活習慣づくり

- 健やかであるための生活習慣づくりのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1)「自分の健康は自分で守る」意識を持っている」(47.4%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(4)ひとりで悩みを抱え込まず、こころの不調に気づいたら、医療機関に早めの受診を心がけている」(15.5%)となっています。

図表Ⅱ-3-15 健やかであるための生活習慣づくり



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 「自分の健康は自分で守る」意識を持っている	1 取り組んでいる	379	47.4%
	2 やや取り組んでいる	285	35.6%
	3 どちらともいえない	94	11.8%
	4 あまり取り組んでいない	24	3.0%
	5 取り組んでいない	4	0.5%
	無回答	14	1.8%
(2) 適切な食生活や適度な運動を心がけ、健康づくりに取り組んでいる	1 取り組んでいる	213	26.6%
	2 やや取り組んでいる	352	44.0%
	3 どちらともいえない	143	17.9%
	4 あまり取り組んでいない	59	7.4%
	5 取り組んでいない	19	2.4%
	無回答	14	1.8%
(3) 趣味や楽しみを持ち、自分にあったストレス解消法を把握している	1 取り組んでいる	265	33.1%
	2 やや取り組んでいる	313	39.1%
	3 どちらともいえない	138	17.3%
	4 あまり取り組んでいない	46	5.8%
	5 取り組んでいない	24	3.0%
	無回答	14	1.8%

		回答数	構成比
(4)	ひとりで悩みを抱え込まず、こころの不調に気づいたら、医療機関に早めの受診を心がけている	1 取り組んでいる	123 15.4%
		2 やや取り組んでいる	187 23.4%
		3 どちらともいえない	263 32.9%
		4 あまり取り組んでいない	83 10.4%
		5 取り組んでいない	124 15.5%
		無回答	20 2.5%
(5)	周りの人の「様子がいつもと違う」と気づいたら、声をかけている	1 取り組んでいる	86 10.8%
		2 やや取り組んでいる	226 28.3%
		3 どちらともいえない	264 33.0%
		4 あまり取り組んでいない	95 11.9%
		5 取り組んでいない	110 13.8%
		無回答	19 2.4%
(6)	自らの健康状態の確認と、疾患の早期発見・早期治療のため、健（検）診を受け、受診後のケアと治療を心がけている	1 取り組んでいる	251 31.4%
		2 やや取り組んでいる	235 29.4%
		3 どちらともいえない	156 19.5%
		4 あまり取り組んでいない	76 9.5%
		5 取り組んでいない	68 8.5%
		無回答	14 1.8%

図表Ⅱ-3-16 自らの健康状態の確認と、疾患の早期発見・早期治療のため、健（検）診を受け、受診後のケアと治療を心がけている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	18.2%	20.9%	28.2%	13.6%	19.1%	0.0%
30歳代 (n=93)	24.7%	26.9%	22.6%	9.7%	12.9%	3.2%
40歳代 (n=101)	27.7%	34.7%	19.8%	8.9%	8.9%	0.0%
50歳代 (n=124)	26.6%	38.7%	19.4%	6.5%	8.9%	0.0%
60～64歳 (n=87)	40.2%	32.2%	19.5%	3.4%	3.4%	1.1%
65～74歳 (n=180)	37.8%	26.7%	16.1%	13.3%	3.3%	2.8%
75歳以上 (n=99)	42.4%	28.3%	14.1%	8.1%	3.0%	4.0%

施策9 健康寿命を延ばす取り組み

- 健康寿命を延ばす取り組みの「市が開催する各種健康教室や介護予防活動等に積極的に参加している」取り組み状況は、「取り組んでいない」が57.0%と最も多くなっています。次いで「あまり取り組んでいない」が17.8%、「どちらともいえない」が16.6%となっています。

図表Ⅱ-3-17 健康寿命を延ばす取り組み

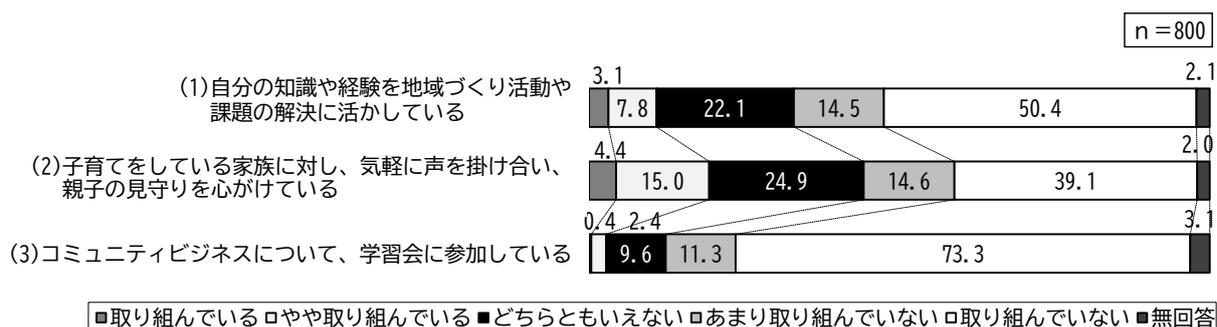


		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 市が開催する各種健康教室や介護予防活動等に積極的に参加している	1 取り組んでいる	14	1.8%
	2 やや取り組んでいる	41	5.1%
	3 どちらともいえない	133	16.6%
	4 あまり取り組んでいない	142	17.8%
	5 取り組んでいない	456	57.0%
	無回答	14	1.8%

施策 10 生きがいのある生活への支援

- 生きがいのある生活への支援のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2)子育てをしている家族に対し、気軽に声を掛け合い、親子の見守りを心がけている」(4.4%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3)コミュニティビジネスについて、学習会に参加している」(73.3%)となっています。

図表Ⅱ-3-18 生きがいのある生活への支援



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 自分の知識や経験を地域づくり活動や課題の解決に活かしている	1 取り組んでいる	25	3.1%
	2 やや取り組んでいる	62	7.8%
	3 どちらともいえない	177	22.1%
	4 あまり取り組んでいない	116	14.5%
	5 取り組んでいない	403	50.4%
	無回答	17	2.1%
(2) 子育てをしている家族に対し、気軽に声を掛け合い、親子の見守りを心がけている	1 取り組んでいる	35	4.4%
	2 やや取り組んでいる	120	15.0%
	3 どちらともいえない	199	24.9%
	4 あまり取り組んでいない	117	14.6%
	5 取り組んでいない	313	39.1%
	無回答	16	2.0%
(3) コミュニティビジネスについて、学習会に参加している	1 取り組んでいる	3	0.4%
	2 やや取り組んでいる	19	2.4%
	3 どちらともいえない	77	9.6%
	4 あまり取り組んでいない	90	11.3%
	5 取り組んでいない	586	73.3%
	無回答	25	3.1%

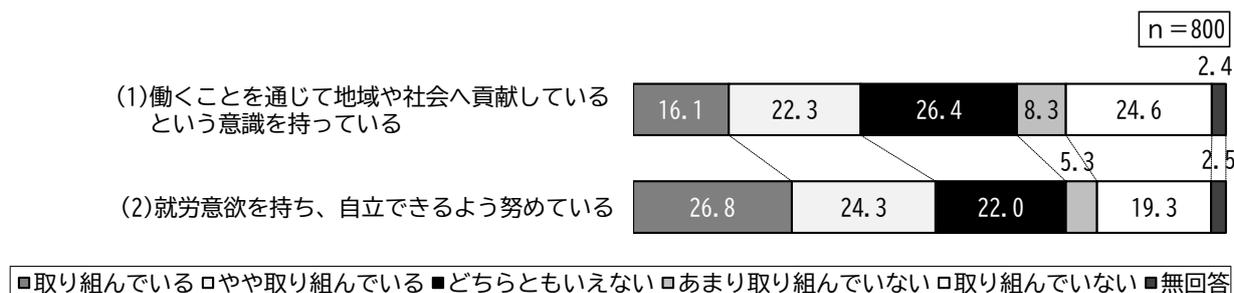
図表Ⅱ-3-19 自分の知識や経験を地域づくり活動や課題の解決に活かしている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	5.5%	3.6%	19.1%	6.4%	65.5%	0.0%
30歳代 (n=93)	2.2%	4.3%	25.8%	8.6%	57.0%	2.2%
40歳代 (n=101)	3.0%	11.9%	21.8%	10.9%	52.5%	0.0%
50歳代 (n=124)	1.6%	4.8%	15.3%	18.5%	59.7%	0.0%
60～64歳 (n=87)	1.1%	6.9%	25.3%	17.2%	48.3%	1.1%
65～74歳 (n=180)	3.9%	11.1%	23.3%	19.4%	38.3%	3.9%
75歳以上 (n=99)	4.0%	10.1%	26.3%	16.2%	36.4%	7.1%

施策 11 就労と社会的自立の支援

- 就労と社会的自立の支援のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(2) 就労意欲を持ち、自立できるよう努めている」(26.8%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(1) 働くことを通じて地域や社会へ貢献しているという意識を持っている」(24.6%)となっています。

図表Ⅱ-3-20 就労と社会的自立の支援



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 働くことを通じて地域や社会へ貢献しているという意識を持っている	1 取り組んでいる	129	16.1%
	2 やや取り組んでいる	178	22.3%
	3 どちらともいえない	211	26.4%
	4 あまり取り組んでいない	66	8.3%
	5 取り組んでいない	197	24.6%
	無回答	19	2.4%
(2) 就労意欲を持ち、自立できるよう努めている	1 取り組んでいる	214	26.8%
	2 やや取り組んでいる	194	24.3%
	3 どちらともいえない	176	22.0%
	4 あまり取り組んでいない	42	5.3%
	5 取り組んでいない	154	19.3%
	無回答	20	2.5%

【基本目標4 ゆりかご前から安心できる仕組みづくり】

施策12 総合的な相談機能の整備

- 総合的な相談機能の整備のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(3) 困りごとが生じた場合にどこへ相談すればよいか、最寄りの相談窓口を把握している」(10.3%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2) 問題を家族や個人で抱え込まず、近所の人や、民生委員、市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センター等に積極的に相談している」(48.1%)となっています。

図表Ⅱ-3-21 総合的な相談機能の整備

n=800



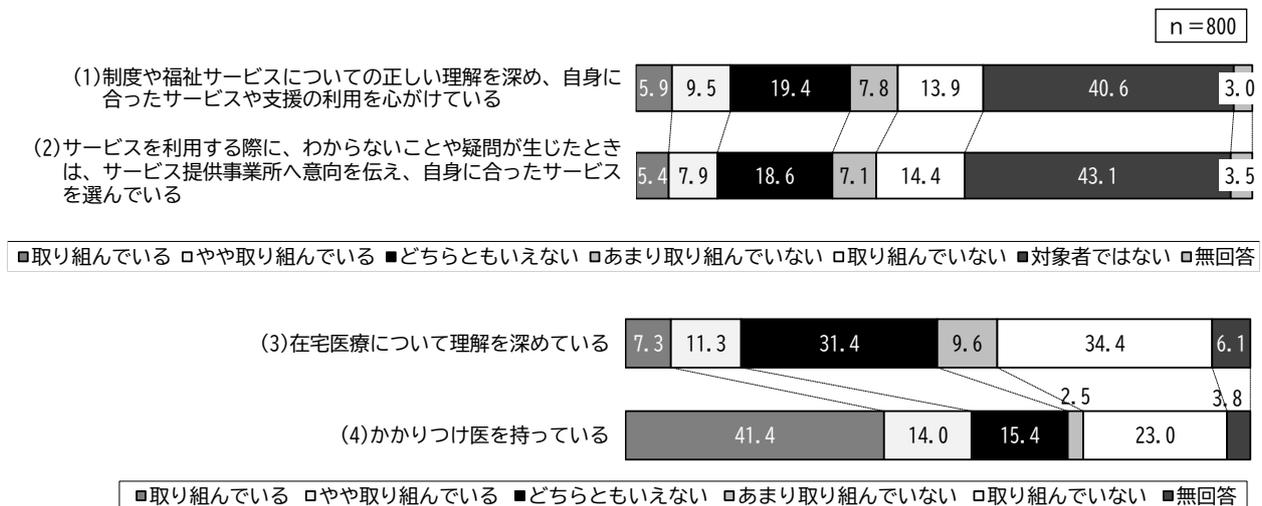
図表Ⅱ-3-22 困りごとが生じた場合にどこへ相談すればよいか、最寄りの相談窓口を把握している（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	6.4%	7.3%	19.1%	10.9%	53.6%	2.7%
30歳代 (n=93)	9.7%	14.0%	24.7%	7.5%	41.9%	2.2%
40歳代 (n=101)	10.9%	12.9%	22.8%	9.9%	39.6%	4.0%
50歳代 (n=124)	9.7%	14.5%	19.4%	16.1%	34.7%	5.6%
60～64歳 (n=87)	8.0%	14.9%	29.9%	4.6%	35.6%	6.9%
65～74歳 (n=180)	11.7%	16.1%	20.6%	12.2%	33.9%	5.6%
75歳以上 (n=99)	15.2%	22.2%	19.2%	7.1%	29.3%	7.1%

施策13 福祉・医療サービスの適切な利用推進

- 福祉・医療サービスの適切な利用推進のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(4) かかりつけ医を持っている」(41.4%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(3) 在宅医療について理解を深めている」(34.4%)となっています。

図表Ⅱ-3-23 福祉・医療サービスの適切な利用推進



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1)	制度や福祉サービスについての正しい理解を深め、自身に合ったサービスや支援の利用を心がけている	1 取り組んでいる	47 5.9%
		2 やや取り組んでいる	76 9.5%
		3 どちらともいえない	155 19.4%
		4 あまり取り組んでいない	62 7.8%
		5 取り組んでいない	111 13.9%
		6 対象者ではない	325 40.6%
		無回答	24 3.0%
(2)	サービスを利用する際に、わからないことや疑問が生じたときは、サービス提供事業所へ意向を伝え、自身に合ったサービスを選んでいる	1 取り組んでいる	43 5.4%
		2 やや取り組んでいる	63 7.9%
		3 どちらともいえない	149 18.6%
		4 あまり取り組んでいない	57 7.1%
		5 取り組んでいない	115 14.4%
		6 対象者ではない	345 43.1%
		無回答	28 3.5%
(3)	在宅医療について理解を深めている	1 取り組んでいる	58 7.3%
		2 やや取り組んでいる	90 11.3%
		3 どちらともいえない	251 31.4%
		4 あまり取り組んでいない	77 9.6%
		5 取り組んでいない	275 34.4%
		無回答	49 6.1%
(4)	かかりつけ医を持っている	1 取り組んでいる	331 41.4%
		2 やや取り組んでいる	112 14.0%
		3 どちらともいえない	123 15.4%
		4 あまり取り組んでいない	20 2.5%
		5 取り組んでいない	184 23.0%
		無回答	30 3.8%

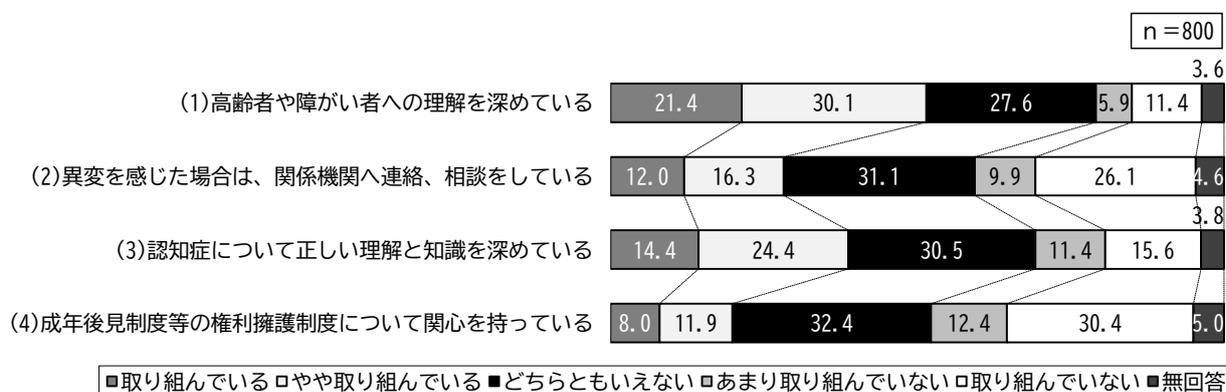
図表Ⅱ-3-24 かかりつけ医を持っている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	22.7%	9.1%	25.5%	2.7%	37.3%	2.7%
30歳代 (n=93)	21.5%	14.0%	22.6%	4.3%	36.6%	1.1%
40歳代 (n=101)	33.7%	18.8%	19.8%	4.0%	22.8%	1.0%
50歳代 (n=124)	37.9%	15.3%	14.5%	0.8%	26.6%	4.8%
60～64歳 (n=87)	43.7%	13.8%	13.8%	4.6%	19.5%	4.6%
65～74歳 (n=180)	57.8%	13.3%	8.9%	0.6%	15.6%	3.9%
75歳以上 (n=99)	22.7%	9.1%	25.5%	2.7%	37.3%	2.7%

施策14 権利擁護と見守りの体制

- 権利擁護と見守りの体制のすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(1) 高齢者や障がい者への理解を深めている」(21.4%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(4) 成年後見制度等の権利擁護制度について関心を持っている」(30.4%)となっています。

図表Ⅱ-3-25 権利擁護と見守りの体制



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 高齢者や障がい者への理解を深めている	1 取り組んでいる	171	21.4%
	2 やや取り組んでいる	241	30.1%
	3 どちらともいえない	221	27.6%
	4 あまり取り組んでいない	47	5.9%
	5 取り組んでいない	91	11.4%
	無回答	29	3.6%
(2) 異変を感じた場合は、関係機関へ連絡、相談をしている	1 取り組んでいる	96	12.0%
	2 やや取り組んでいる	130	16.3%
	3 どちらともいえない	249	31.1%
	4 あまり取り組んでいない	79	9.9%
	5 取り組んでいない	209	26.1%
	無回答	37	4.6%
(3) 認知症について正しい理解と知識を深めている	1 取り組んでいる	115	14.4%
	2 やや取り組んでいる	195	24.4%
	3 どちらともいえない	244	30.5%
	4 あまり取り組んでいない	91	11.4%
	5 取り組んでいない	125	15.6%
	無回答	30	3.8%
(4) 成年後見制度等の権利擁護制度について関心を持っている	1 取り組んでいる	64	8.0%
	2 やや取り組んでいる	95	11.9%
	3 どちらともいえない	259	32.4%
	4 あまり取り組んでいない	99	12.4%
	5 取り組んでいない	243	30.4%
	無回答	40	5.0%

図表Ⅱ-3-26 異変を感じた場合は、関係機関へ連絡、相談をしている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	11.8%	10.9%	30.9%	10.0%	33.6%	2.7%
30歳代 (n=93)	8.6%	17.2%	31.2%	8.6%	33.3%	1.1%
40歳代 (n=101)	10.9%	10.9%	41.6%	9.9%	24.8%	2.0%
50歳代 (n=124)	13.7%	16.1%	24.2%	11.3%	28.2%	6.5%
60～64歳 (n=87)	10.3%	20.7%	28.7%	5.7%	29.9%	4.6%
65～74歳 (n=180)	11.1%	18.9%	30.0%	11.7%	22.8%	5.6%
75歳以上 (n=99)	17.2%	18.2%	34.3%	9.1%	12.1%	9.1%

図表Ⅱ-3-27 認知症について正しい理解と知識を深めている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	16.4%	17.3%	28.2%	9.1%	26.4%	2.7%
30歳代 (n=93)	17.2%	19.4%	31.2%	11.8%	19.4%	1.1%
40歳代 (n=101)	10.9%	24.8%	34.7%	12.9%	14.9%	2.0%
50歳代 (n=124)	15.3%	19.4%	32.3%	13.7%	14.5%	4.8%
60～64歳 (n=87)	12.6%	33.3%	26.4%	11.5%	12.6%	3.4%
65～74歳 (n=180)	12.2%	28.3%	32.2%	10.0%	12.8%	4.4%
75歳以上 (n=99)	18.2%	28.3%	26.3%	11.1%	9.1%	7.1%

図表Ⅱ-3-28 成年後見制度等の権利擁護制度について関心を持っている（年代別）

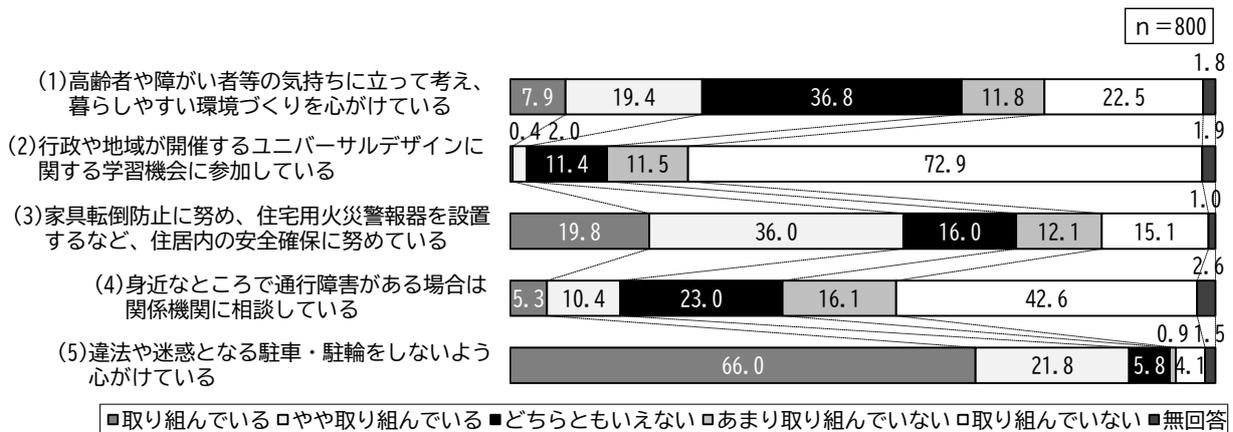
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	8.2%	7.3%	22.7%	12.7%	46.4%	2.7%
30歳代 (n=93)	6.5%	15.1%	32.3%	6.5%	38.7%	1.1%
40歳代 (n=101)	7.9%	8.9%	33.7%	14.9%	30.7%	4.0%
50歳代 (n=124)	6.5%	9.7%	32.3%	12.9%	32.3%	6.5%
60～64歳 (n=87)	10.3%	16.1%	35.6%	10.3%	23.0%	4.6%
65～74歳 (n=180)	7.8%	10.6%	37.2%	14.4%	24.4%	5.6%
75歳以上 (n=99)	10.1%	17.2%	31.3%	12.1%	19.2%	10.1%

【基本目標5 暮らしやすいまちづくり】

施策15 暮らしやすいまちづくり

- 暮らしやすいまちづくりのすべての項目のなかで、「取り組んでいる」と回答した割合が最も高いのは「(5) 違法や迷惑となる駐車・駐輪をしないよう心がけている」(66.0%)、「取り組んでいない」と回答した割合が最も高いのは「(2) 行政や地域が主催するユニバーサルデザインに関する学習機会に参加している」(72.9%)となっています。

図表Ⅱ-3-29 暮らしやすいまちづくり



		(n=800)	
		回答数	構成比
(1) 高齢者や障がい者等の気持ちに立って考え、暮らしやすい環境づくりを心がけている	1 取り組んでいる	63	7.9%
	2 やや取り組んでいる	155	19.4%
	3 どちらともいえない	294	36.8%
	4 あまり取り組んでいない	94	11.8%
	5 取り組んでいない	180	22.5%
	無回答	14	1.8%
(2) 行政や地域が主催するユニバーサルデザインに関する学習機会に参加している	1 取り組んでいる	3	0.4%
	2 やや取り組んでいる	16	2.0%
	3 どちらともいえない	91	11.4%
	4 あまり取り組んでいない	92	11.5%
	5 取り組んでいない	583	72.9%
	無回答	15	1.9%
(3) 家具転倒防止に努め、住宅用火災警報器を設置するなど、住居内の安全確保に努めている	1 取り組んでいる	158	19.8%
	2 やや取り組んでいる	288	36.0%
	3 どちらともいえない	128	16.0%
	4 あまり取り組んでいない	97	12.1%
	5 取り組んでいない	121	15.1%
	無回答	8	1.0%

		回答数	構成比
(4) 身近なところで通行障害がある場合は関係機関に相談している	1 取り組んでいる	42	5.3%
	2 やや取り組んでいる	83	10.4%
	3 どちらともいえない	184	23.0%
	4 あまり取り組んでいない	129	16.1%
	5 取り組んでいない	341	42.6%
	無回答	21	2.6%
(5) 違法や迷惑となる駐車・駐輪をしないよう心がけている	1 取り組んでいる	528	66.0%
	2 やや取り組んでいる	174	21.8%
	3 どちらともいえない	46	5.8%
	4 あまり取り組んでいない	7	0.9%
	5 取り組んでいない	33	4.1%
	無回答	12	1.5%

図表Ⅱ-3-30 高齢者や障がい者等の気持ちに立って考え、暮らしやすい環境づくりを心がけている（年代別）

	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	無回答
10・20歳代 (n=110)	8.2%	14.5%	30.0%	12.7%	34.5%	0.0%
30歳代 (n=93)	7.5%	15.1%	31.2%	8.6%	36.6%	1.1%
40歳代 (n=101)	8.9%	15.8%	42.6%	11.9%	19.8%	1.0%
50歳代 (n=124)	8.1%	17.7%	36.3%	15.3%	21.8%	0.8%
60～64歳 (n=87)	6.9%	21.8%	39.1%	10.3%	19.5%	2.3%
65～74歳 (n=180)	7.8%	23.3%	38.9%	10.6%	17.8%	1.7%
75歳以上 (n=99)	8.1%	25.3%	38.4%	13.1%	9.1%	6.1%

4 日常生活について

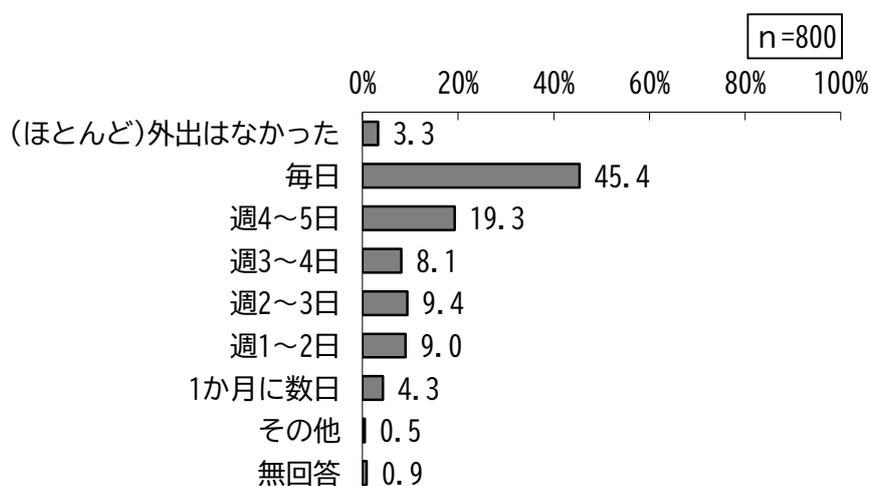
※ (1)～(5)は新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という。)拡大前の日常生活についてお聞きしています。

(1) 外出頻度

問 あなたは普段どの程度の外出がありましたか。(1つに○)

- 外出頻度については、「毎日」が45.4%と最も多くなっています。次いで「週4～5日」が19.3%、「週2～3日」が9.4%となっています。

図表Ⅱ-4-1 外出頻度



図表Ⅱ-4-2 外出頻度(年代別)

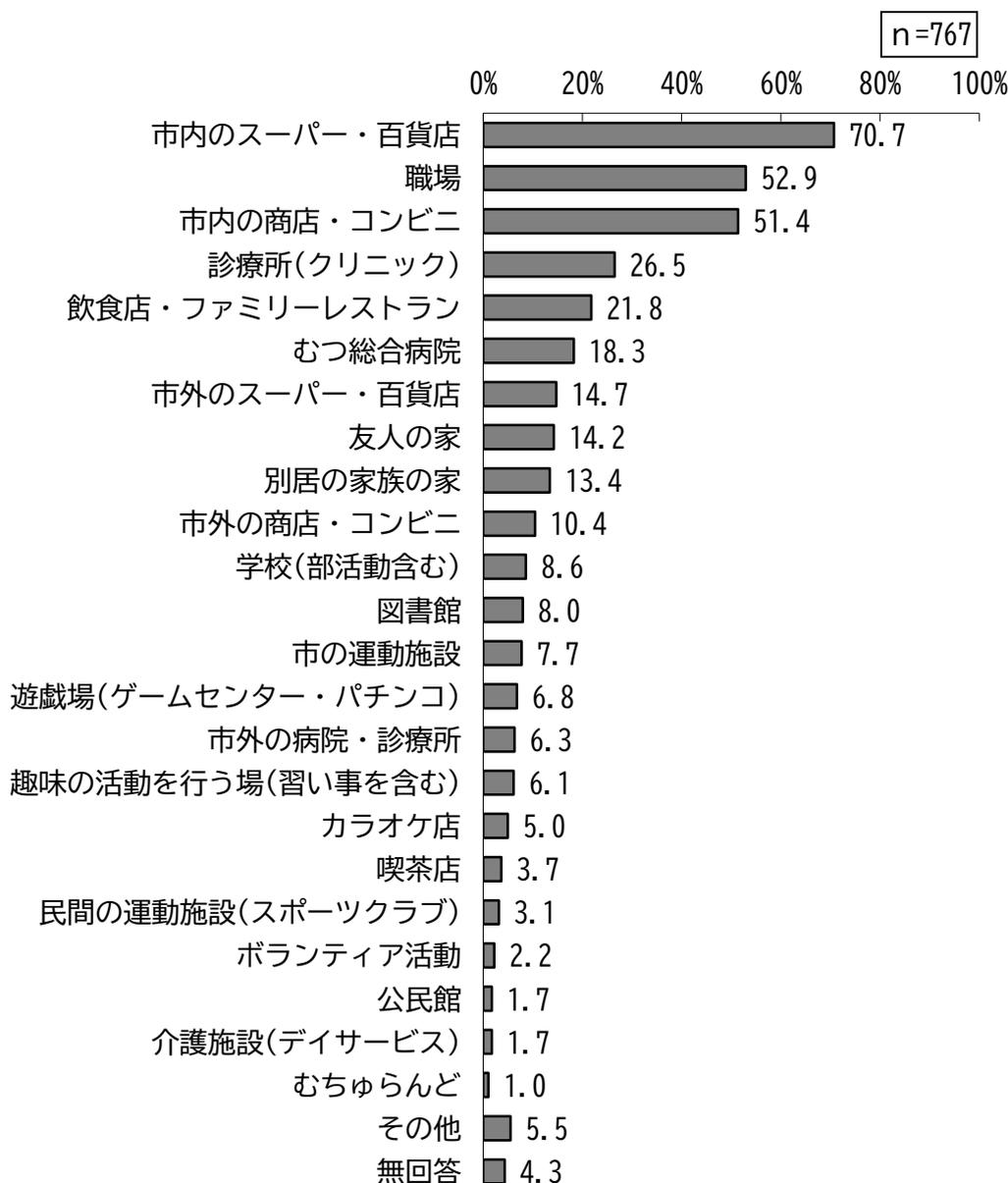
	(ほとんど)外出はなかった	毎日	週4～5日	週3～4日	週2～3日	週1～2日	1か月に数日	その他	無回答
10・20歳代 (n=110)	3.6%	50.9%	29.1%	4.5%	0.0%	7.3%	3.6%	0.0%	0.9%
30歳代 (n=93)	4.3%	61.3%	19.4%	3.2%	5.4%	4.3%	2.2%	0.0%	0.0%
40歳代 (n=101)	2.0%	66.3%	16.8%	3.0%	6.9%	2.0%	0.0%	1.0%	2.0%
50歳代 (n=124)	0.0%	62.1%	20.2%	6.5%	5.6%	2.4%	1.6%	0.0%	1.6%
60～64歳 (n=87)	3.4%	43.7%	16.1%	11.5%	12.6%	5.7%	4.6%	1.1%	1.1%
65～74歳 (n=180)	5.0%	26.1%	16.7%	15.0%	15.6%	14.4%	6.7%	0.6%	0.0%
75歳以上 (n=99)	4.0%	19.2%	16.2%	9.1%	17.2%	22.2%	10.1%	1.0%	1.0%

(2) 主な外出先

【前問で「2.」～「8.」(外出している)を選んだ方のみ】
 問 主な外出先を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 前問で普段「外出している」と回答した方(n=767)の主な外出先については、「市内のスーパー・百貨店」が70.7%と最も多くなっています。次いで「職場」が52.9%、「市内の商店・コンビニ」が51.4%となっています。

図表Ⅱ-4-3 主な外出先



図表Ⅱ-4-4 主な外出先（年代別：上位3項目）

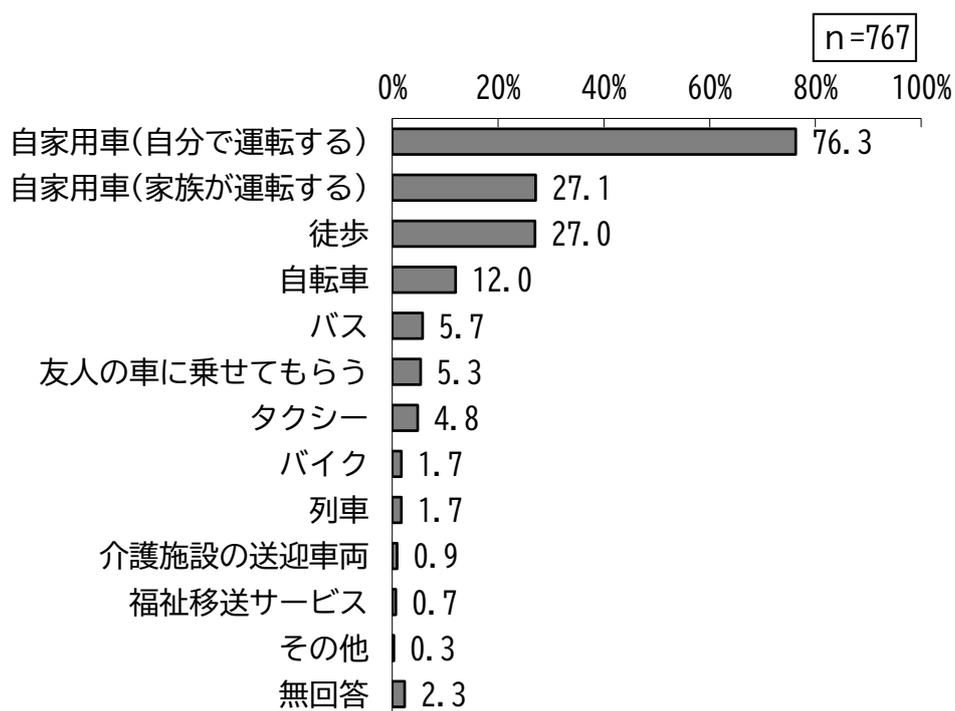
	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=105)	市内の商店・コンビニ 72.4%	市内のスーパー・百貨店 59.0%	職場 58.1%
30歳代 (n=89)	職場 86.5%	市内のスーパー・百貨店 78.7%	市内の商店・コンビニ 61.8%
40歳代(n=97)	職場 83.5%	市内のスーパー・百貨店 74.2%	市内の商店・コンビニ 58.8%
50歳代 (n=122)	市内のスーパー・百貨店 82.0%	職場 76.2%	市内の商店・コンビニ 57.4%
60～64歳 (n=83)	市内のスーパー・百貨店 71.1%	職場 56.6%	市内の商店・コンビニ 47.0%
65～74歳 (n=171)	市内のスーパー・百貨店 69.6%	市内の商店・コンビニ 38.0%	診療所（クリニック） 37.4%
75歳以上 (n=94)	市内のスーパー・百貨店 60.6%	診療所（クリニック） 36.2%	市内の商店・コンビニ 33.0%

(3) 外出時の移動手段

【前問で「2.」～「8.」(外出している)を選んだ方のみ】
問 外出時の主な移動手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 前問で普段「外出している」と回答した方(n=767)の主な移動手段については、「自家用車(自分で運転する)」が76.3%と最も多くなっています。次いで「自家用車(家族が運転する)」が27.1%、「徒歩」が27.0%となっています。

図表Ⅱ-4-5 外出時の移動手段

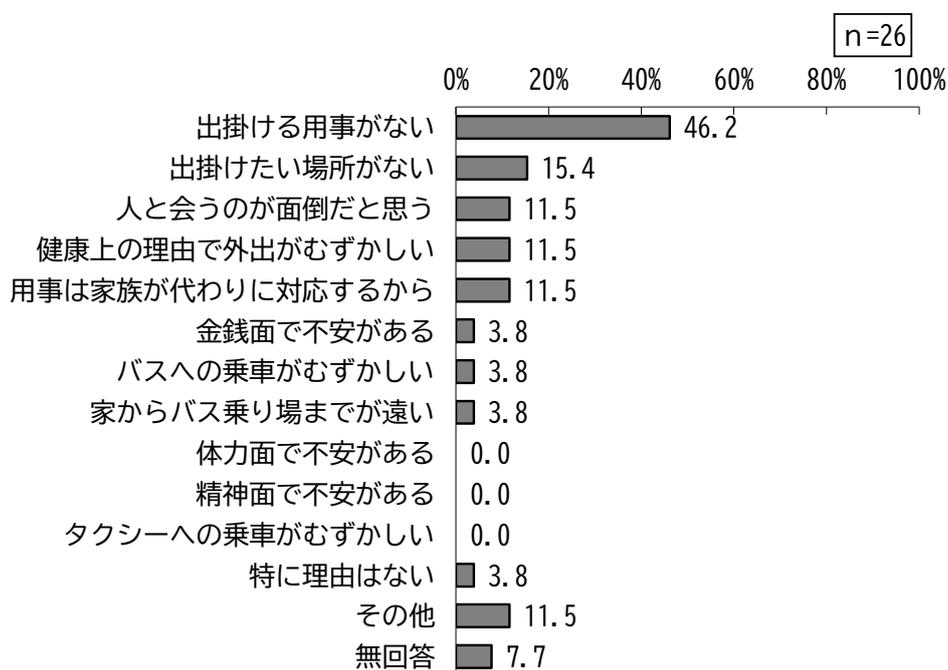


(4) 外出しない理由

【(1) で「1. (ほとんど) 外出はなかった」を選んだ方のみ】
問 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- (1) で普段が「(ほとんど) 外出しない」と回答した方 (n=26) の外出しない理由については、「出掛ける用事がない」が46.2%と最も多くなっています。次いで「出掛けたい場所がない」が15.4%、「人と会うのが面倒だと思う」、「健康上の理由で外出がむずかしい」、「用事は家族が代わりに対応するから」がそれぞれ11.5%となっています。

図表Ⅱ-4-6 外出しない理由



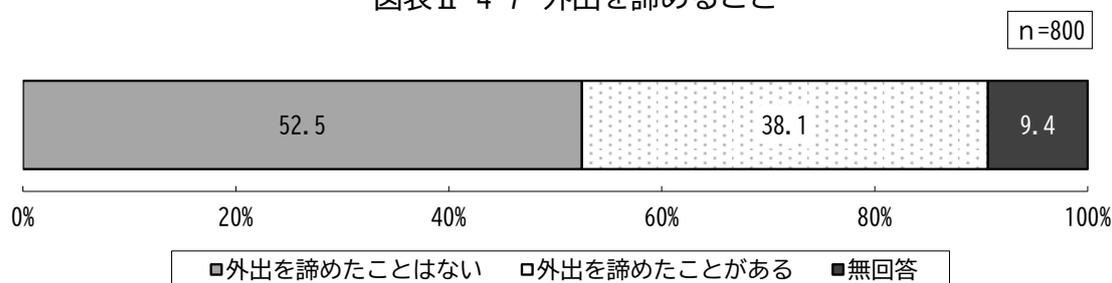
(5) 外出機会

問 あなたは、外出したいと思っても、諦めたことがありますか。(1つに○)
また、外出を諦めたことがある方はその理由をお答えください。
(あてはまるもの3つに○)

① 外出を諦めること

- 外出を諦めた経験については、「外出を諦めたことはない」が 52.5%、「外出を諦めたことがある」が 38.1%となっています。
- 単身世帯(10～64歳以下)、未就学児のいる世帯では「外出を諦めたことがある」割合の方が多くなっています。

図表Ⅱ-4-7 外出を諦めること



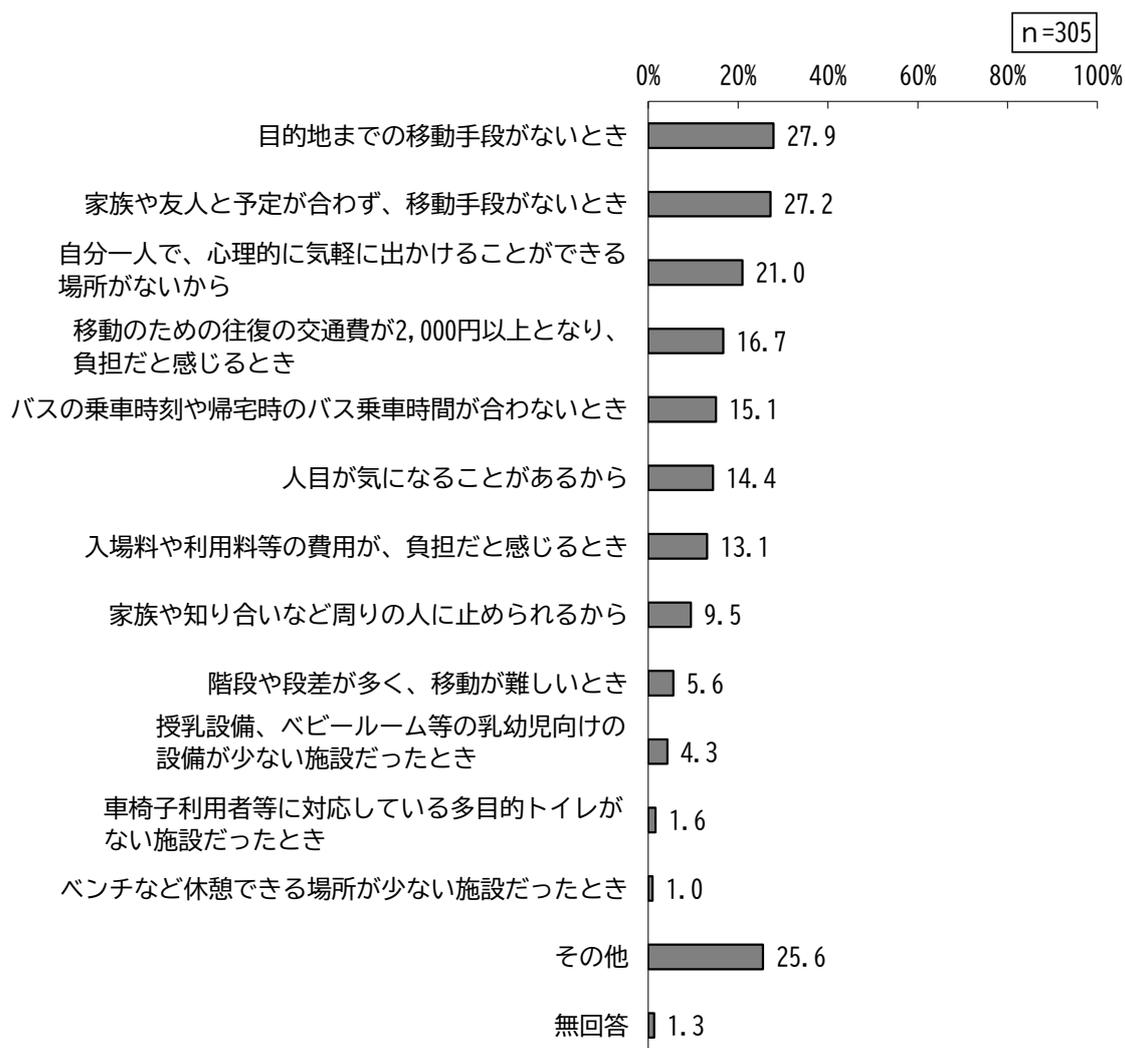
図表Ⅱ-4-8 外出を諦めること(家庭類型(小分類)別)

	外出を諦めたことはない	外出を諦めたことがある	無回答
単身世帯(10～64歳以下) (n=44)	38.6%	52.3%	9.1%
単身世帯(前期高齢者) (n=26)	53.8%	11.5%	34.6%
単身世帯(後期高齢者) (n=13)	53.8%	30.8%	15.4%
夫婦のみ世帯(回答者が 10～64歳以下)(n=74)	54.1%	39.2%	6.8%
夫婦のみ世帯(回答者が 65歳以上)(n=137)	60.6%	27.7%	11.7%
未就学児のいる世帯 (n=55)	43.6%	49.1%	7.3%
義務教育の子がいる世帯 (n=90)	58.9%	40.0%	1.1%
義務教育終了の子がいる 世帯(n=221)	54.3%	35.3%	10.4%
ひとり親の核家族世帯 (n=34)	44.1%	38.2%	17.6%
後期高齢者の親がいる世 帯(n=90)	56.7%	31.1%	12.2%
その他の世帯(n=121)	43.0%	52.1%	5.0%

② 外出を諦めた理由（○は3つまで）

- 前問で外出を諦めたことが「ある」と回答した方（n=305）の外出を諦めた理由については、「目的地までの移動手段がないとき」が27.9%と最も多くなっています。次いで「家族や友人と予定が合わず、移動手段がないとき」が27.2%、「自分一人で、心理的に気軽に出かけることができる場所がないから」が21.0%となっています。

図表Ⅱ-4-9 外出を諦めた理由



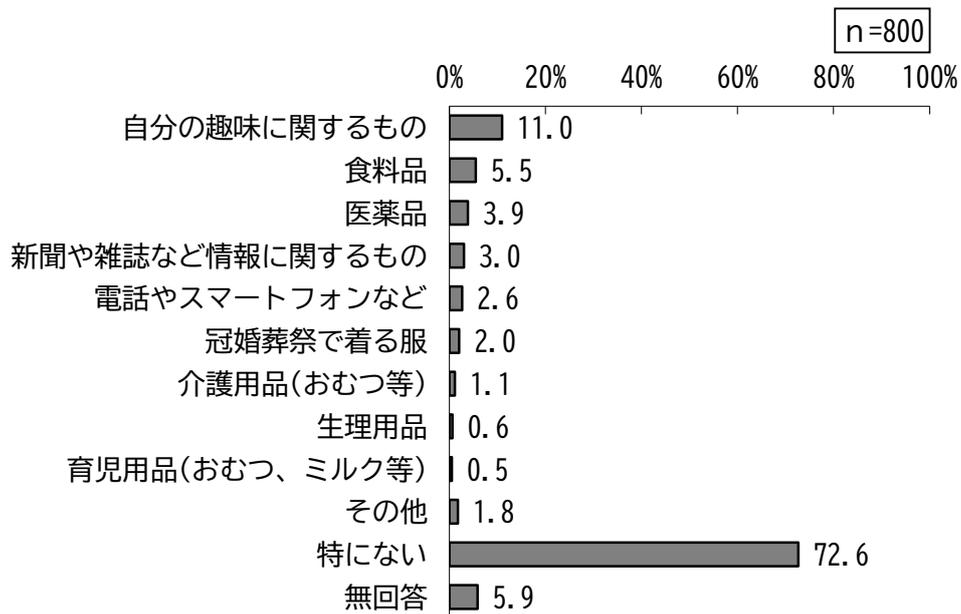
※ (6)～(9)は現在の日常生活についてお聞きしています。

(6) 入手が困難な生活必需品

問 日常生活で必要なものが手に入れないで困ったものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 入手が困難な生活必需品については、「自分の趣味に関するもの」が11.0%と最も多くなっています。次いで「食料品」が5.5%、「医薬品」が3.9%となっています。
- 「特にない」は72.6%となっています。

図表Ⅱ-4-10 入手が困難な生活必需品

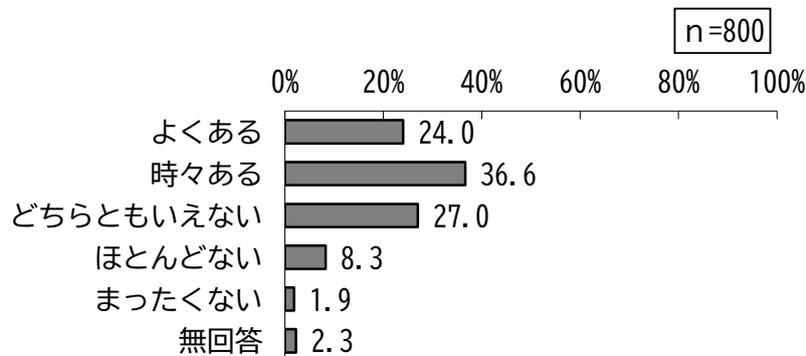


(7) 幸せを感じることに

問 あなたは、日常生活の中で、「幸せだな」「豊かだな」と感じることはありますか。(1つに○)

- 日常生活で幸せだと感じることは、「時々ある」が 36.6%と最も多くなっています。次いで「よくある」が 24.0%、「ほとんどない」が 8.3%となっています。
- 「どちらともいえない」は 27.0%となっています。
- 「よくある」と「時々ある」を合わせた、幸せを感じる割合は、『ある』割合は、年代が上がるにつれて減少する傾向にあります。

図表Ⅱ-4-11 幸せを感じることに



図表Ⅱ-4-12 幸せを感じることに (性別・年代別)

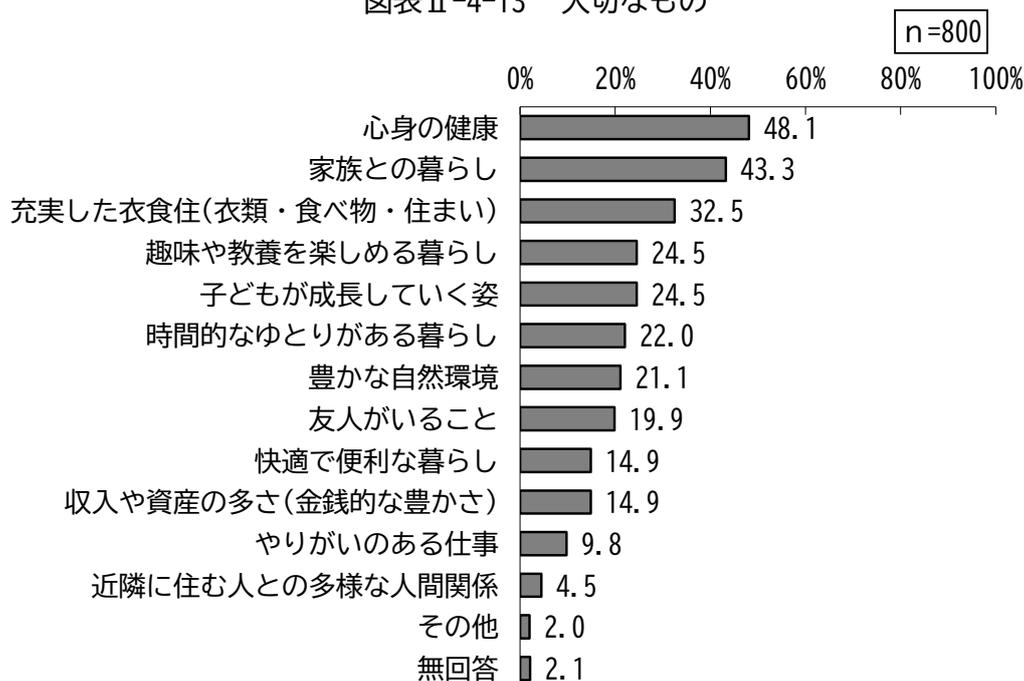
	よくある	時々ある	どちらともいえない	ほとんどない	まったくない	無回答
男性 (n=358)	18.7%	37.2%	29.6%	10.9%	1.4%	2.2%
女性 (n=425)	27.8%	36.5%	24.7%	6.4%	2.4%	2.4%
10・20歳代 (n=110)	28.2%	41.8%	25.5%	1.8%	2.7%	0.0%
30歳代 (n=93)	25.8%	39.8%	18.3%	11.8%	3.2%	1.1%
40歳代 (n=101)	27.7%	37.6%	17.8%	12.9%	2.0%	2.0%
50歳代 (n=124)	22.6%	30.6%	31.5%	9.7%	3.2%	2.4%
60～64歳 (n=87)	21.8%	35.6%	31.0%	5.7%	2.3%	3.4%
65～74歳 (n=180)	20.6%	37.2%	28.3%	8.9%	0.6%	4.4%
75歳以上 (n=99)	23.2%	33.3%	35.4%	7.1%	0.0%	1.0%

(8) 大切なもの

問 あなたにとって「幸せだな」「豊かだな」と感じるもの（大切なもの）は何ですか。（あてはまるもの3つまでに○）

- 大切だと思うものについては、「心身の健康」が 48.1%と最も多くなっています。次いで「家族との暮らし」が 43.3%、「充実した衣食住（衣類・食べ物・住まい）」が 32.5%となっています。

図表Ⅱ-4-13 大切なもの



図表Ⅱ-4-14 大切なもの（年代別：上位3項目）

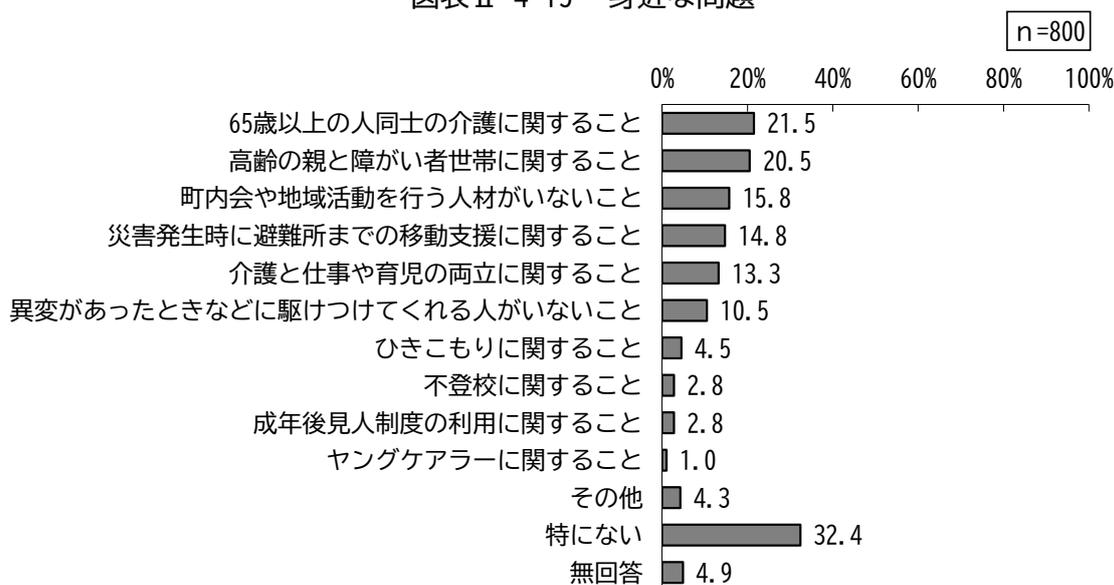
	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=110)	心身の健康 43.6%	趣味や教養を楽しめる暮らし 39.1%	時間的なゆとりがある暮らし 34.5%
30歳代 (n=93)	家族との暮らし 49.5%	子どもが成長していく姿 46.2%	充実した衣食住 38.7%
40歳代 (n=101)	家族との暮らし/子どもが成長していく姿 55.4%		心身の健康 39.6%
50歳代 (n=124)	心身の健康 54.8%	家族との暮らし 44.4%	子どもが成長していく姿 29.8%
60～64歳 (n=87)	心身の健康 57.5%	家族との暮らし 41.4%	充実した衣食住 27.6%
65～74歳 (n=180)	心身の健康 54.4%	家族との暮らし 38.9%	充実した衣食住 33.3%
75歳以上 (n=99)	心身の健康/家族との暮らし 44.4%		充実した衣食住 37.4%

(9) 身近な問題

問 日常生活の中で、あなたの身近な問題であると思うのは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- 日常生活の身近な問題については、「65 歳以上の人同士の介護に関すること」が 21.5%と最も多くなっています。次いで「高齢の親と障がい者世帯に関すること」が 20.5%、「町内会や地域活動を行う人材がいないこと」が 15.8%となっています。
- 「特にない」は 32.4%となっています。

図表Ⅱ-4-15 身近な問題



図表Ⅱ-4-16 身近な問題（家庭類型（大分類）別）

	第1位	第2位	第3位
単身 (n=83)	65歳以上の人同士の介護に関すること 20.5%	町内会や地域活動を行う人材がいないこと 15.7%	高齢の親と障がい者世帯に関すること 14.5%
夫婦のみ (n=211)	65歳以上の人同士の介護に関すること 31.8%	災害発生時に避難所までの移動支援に関すること 19.0%	町内会や地域活動を行う人材がいないこと 18.0%
2世代家族（子）(n=232)	高齢の親と障がい者世帯に関すること 22.4%	介護と仕事や育児の両立に関すること/65歳以上の人同士の介護に関すること 17.7%	
2世代家族（親）(n=157)	高齢の親と障がい者世帯に関すること 34.4%	65歳以上の人同士の介護に関すること 18.5%	介護と仕事や育児の両立に関すること/災害発生時に避難所までの移動支援に関すること 17.2%
3世代以上の家族 (n=81)	介護と仕事や育児の両立に関すること/高齢の親と障がい者世帯に関すること 22.2%		町内会や地域活動を行う人材がいないこと 19.8%
その他の家族構成 (n=26)	高齢の親と障がい者世帯に関すること 22.2%	町内会や地域活動を行う人材がいないこと/65歳以上の人同士の介護に関すること 15.4%	

※「その他」「特にない」を除く

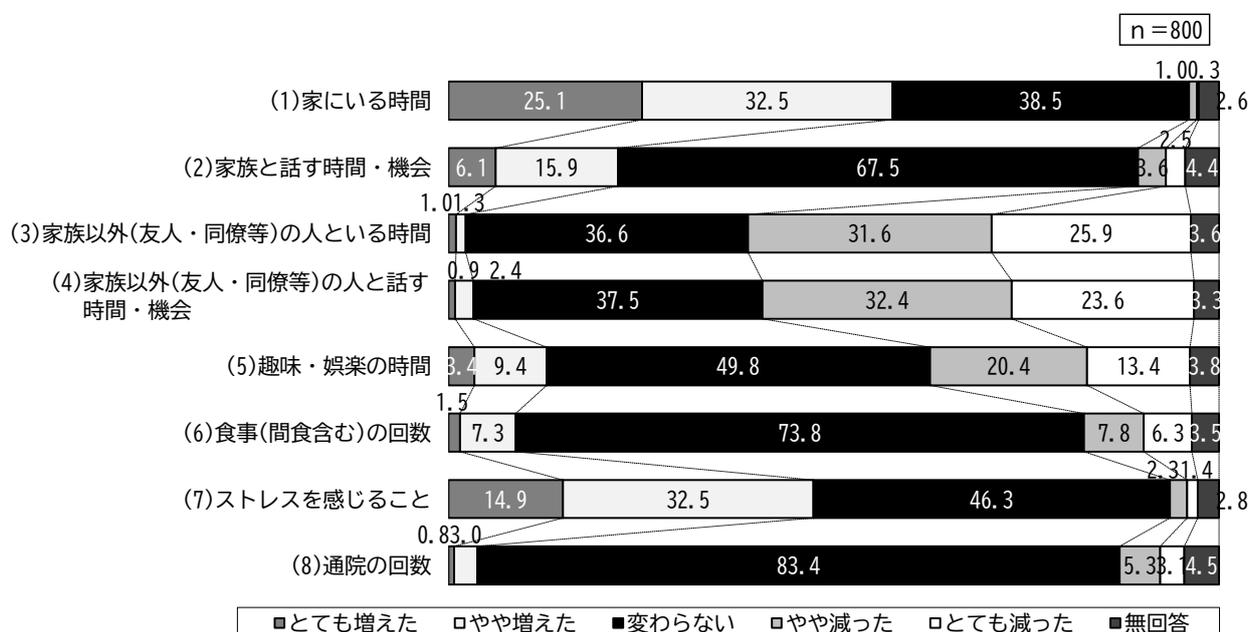
5 生活意識・行動の変化について

(1) 感染症拡大による生活の変化

問 感染症拡大の前と後で、あなたの生活に変化はありましたか。
(それぞれ1つに○)

- 感染症拡大による生活の変化のすべての項目のなかで、「とても増えた」と回答した割合が最も高いのは「(1) 家にいる時間」(25.1%)、「とても減った」と回答した割合が最も高いのは「(3) 家族以外(友人・同僚等)の人といる時間」(25.9%)となっています。

図表Ⅱ-5-1 感染症拡大による生活の変化



	(n=800)	
	回答数	構成比
(1) 家にいる時間	1 とても増えた	201 25.1%
	2 やや増えた	260 32.5%
	3 変わらない	308 38.5%
	4 やや減った	8 1.0%
	5 とても減った	2 0.3%
	無回答	21 2.6%
(2) 家族と話す時間・機会	1 とても増えた	49 6.1%
	2 やや増えた	127 15.9%
	3 変わらない	540 67.5%
	4 やや減った	29 3.6%
	5 とても減った	20 2.5%
	無回答	35 4.4%

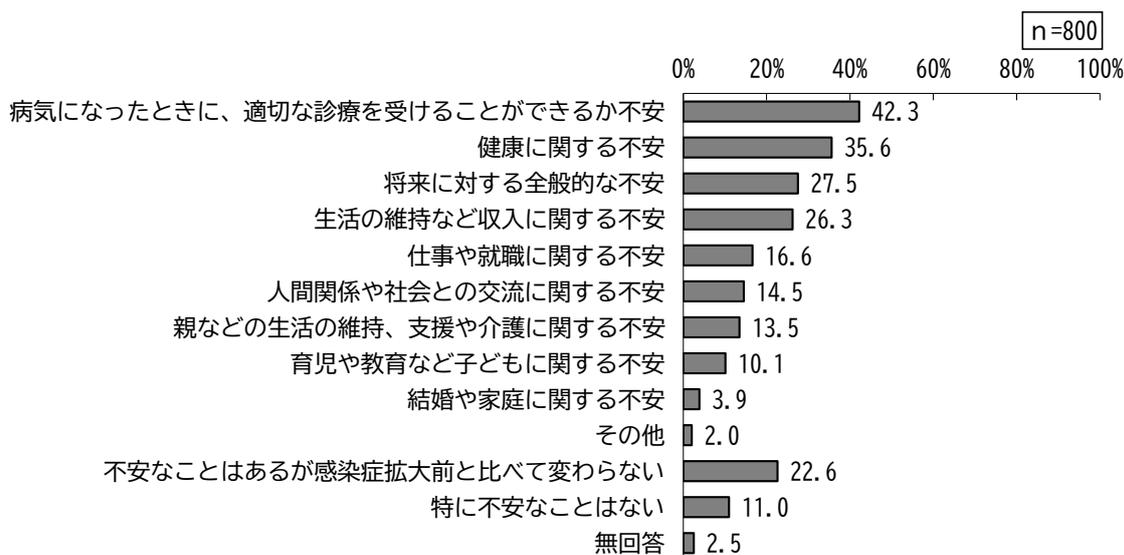
		回答数	構成比
(3) 家族以外（友人・同僚等）の人といる時間	1 とても増えた	8	1.0%
	2 やや増えた	10	1.3%
	3 変わらない	293	36.6%
	4 やや減った	253	31.6%
	5 とても減った	207	25.9%
	無回答	29	3.6%
	(4) 家族以外（友人・同僚等）の人と話す時間・機会	1 とても増えた	7
2 やや増えた		19	2.4%
3 変わらない		300	37.5%
4 やや減った		259	32.4%
5 とても減った		189	23.6%
無回答		26	3.3%
(5) 趣味・娯楽の時間		1 とても増えた	27
	2 やや増えた	75	9.4%
	3 変わらない	398	49.8%
	4 やや減った	163	20.4%
	5 とても減った	107	13.4%
	無回答	30	3.8%
	(6) 食事（間食含む）の回数	1 とても増えた	12
2 やや増えた		58	7.3%
3 変わらない		590	73.8%
4 やや減った		62	7.8%
5 とても減った		50	6.3%
無回答		28	3.5%
(7) ストレスを感じる事		1 とても増えた	119
	2 やや増えた	260	32.5%
	3 変わらない	370	46.3%
	4 やや減った	18	2.3%
	5 とても減った	11	1.4%
	無回答	22	2.8%
	(8) 通院の回数	1 とても増えた	6
2 やや増えた		24	3.0%
3 変わらない		667	83.4%
4 やや減った		42	5.3%
5 とても減った		25	3.1%
無回答		36	4.5%

(2) 感染症拡大により不安が増していること

問 感染症拡大の前に比べて不安が増していることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 感染症拡大により不安が増していることについては、「病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安」が 42.3%と最も多くなっています。次いで「健康に関する不安」が 35.6%、「将来に対する全般的な不安」が 27.5%となっています。

図表Ⅱ-5-2 感染症拡大により不安が増していること



図表Ⅱ-5-3 大切なもの（年代別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=110)	仕事や就職に関する不安 34.5%	生活の維持など収入に関する不安 33.6%	将来に対する全般的な不安 30.9%
30歳代 (n=93)	病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安 43.0%	生活の維持など収入に関する不安/健康に関する不安 35.5%	
40歳代 (n=101)	健康に関する不安/病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安 32.7%		将来に対する全般的な不安 30.7%
50歳代 (n=124)	病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安 50.5%	健康に関する不安 30.6%	生活の維持など収入に関する不安 29.8%
60～64歳 (n=87)	病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安 59.8%	健康に関する不安 42.5%	将来に対する全般的な不安 36.8%
65～74歳 (n=180)	病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安 43.9%	健康に関する不安 40.0%	不安なことはあるが感染症拡大前と比べて変わらない 32.2%
75歳以上 (n=99)	健康に関する不安 49.5%	病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安 43.4%	不安なことはあるが感染症拡大前と比べて変わらない 39.4%

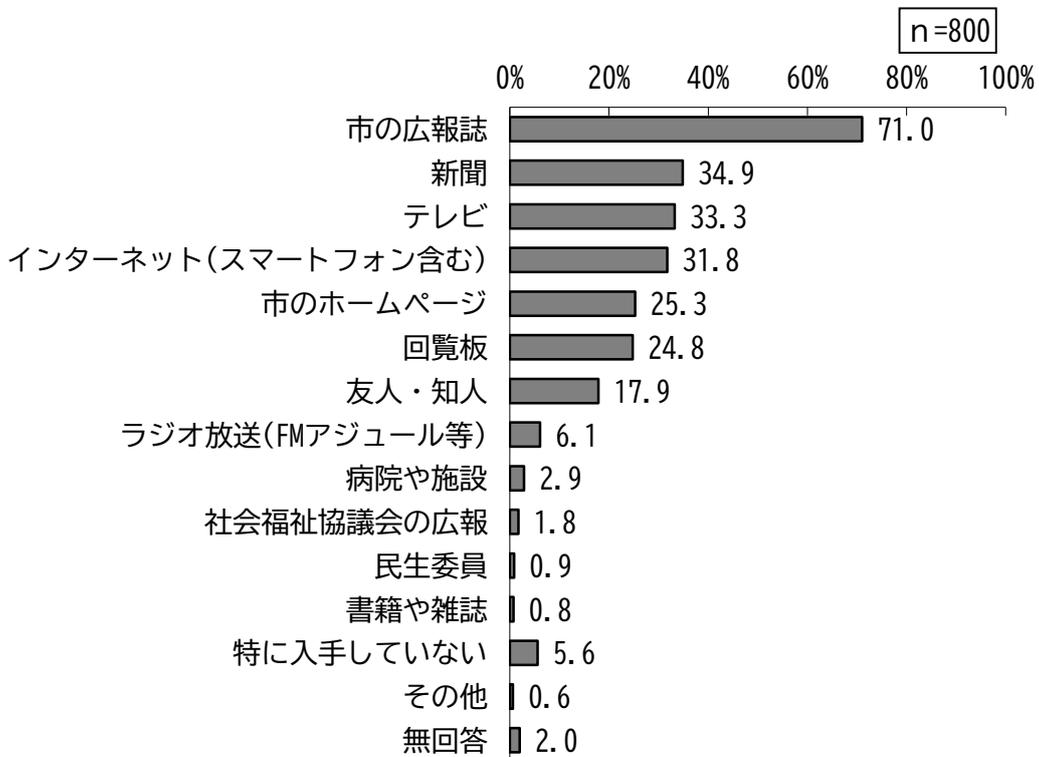
6 情報の収集と今後の福祉のあり方

(1) 情報の入手先

問 あなたは、生活に必要な情報やむつ市の事業・取組についての情報を何から入手していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- むつ市の事業・取組の情報の入手先については、「市の広報誌」が71.0%と最も多くなっています。次いで「新聞」が34.9%、「テレビ」が33.3%となっています。
- 50歳代以下では「インターネット」が、60歳以上では「新聞」が上位に挙がっています。

図表Ⅱ-6-1 情報の入手先



図表Ⅱ-6-2 情報の入手先（年代別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=110)	インターネット 44.5%	市の広報誌 37.3%	テレビ 29.1%
30歳代 (n=93)	市の広報誌 68.8%	インターネット 55.9%	市のホームページ 47.3%
40歳代 (n=101)	市の広報誌 68.3%	インターネット 50.5%	市のホームページ 41.6%
50歳代 (n=124)	市の広報誌 68.5%	インターネット 41.1%	市のホームページ 32.3%
60～64歳 (n=87)	市の広報誌 77.0%	新聞 40.2%	テレビ 36.8%
65～74歳 (n=180)	市の広報誌 82.2%	新聞 52.8%	回覧板/テレビ 38.3%
75歳以上 (n=99)	市の広報誌 89.9%	新聞 63.6%	回覧板 42.4%

図表Ⅱ-6-3 情報の入手先（むつ市地域福祉計画の認知度別：上位3項目）

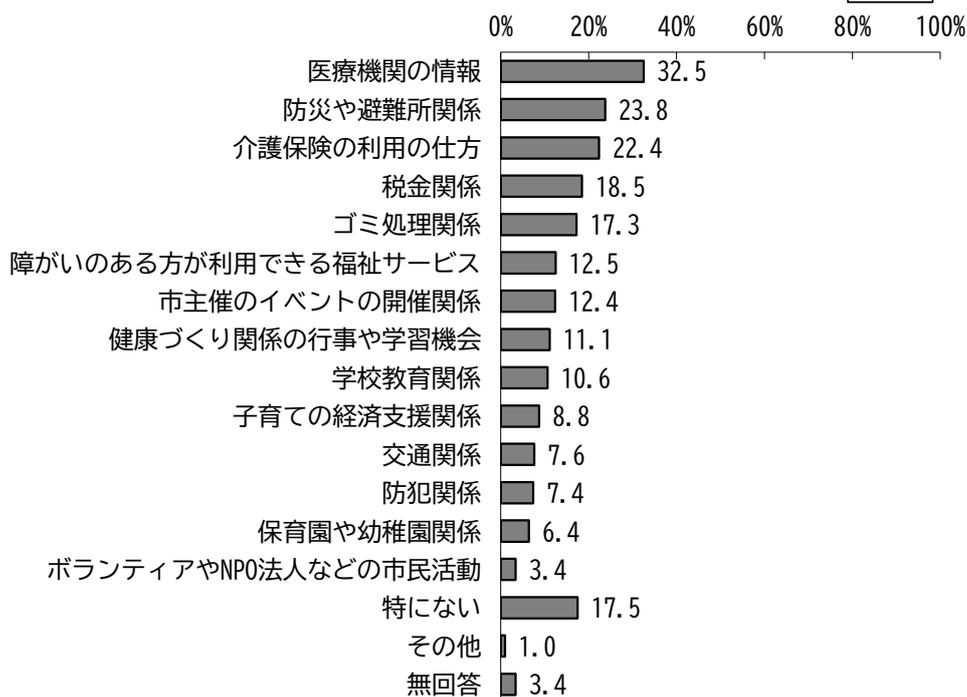
	第1位	第2位	第3位
計画があることを知っており、 内容もおおむね知っている (n=17)	市の広報誌 82.4%	市のホームページ/インターネット 47.1%	
計画があることを知っており、 内容は少し知っている (n=61)	市の広報誌 90.2%	新聞 50.8%	テレビ 39.3%
計画があることは知っている が、内容はわからない (n=203)	市の広報誌 77.3%	新聞 45.8%	テレビ 33.5%
計画の存在を知らなかった (n=500)	市の広報誌 66.0%	インターネット 34.6%	テレビ 32.2%

(2) 特に知りたいと思う福祉の情報

問 あなたが市の福祉に関する以下の項目で特に知りたいと思う情報は何か。(あてはまるもの3つまでに○)

- 特に知りたい福祉に関する情報については、「医療機関の情報」が 32.5%と最も多くなっています。次いで「防災の避難所関係」が 23.8%、「介護保険の利用の仕方」が 22.4%となっています。

図表Ⅱ-6-4 特に知りたいと思う福祉の情報 n=800



図表Ⅱ-6-5 特に知りたいと思う福祉の情報（年代別：上位3項目）

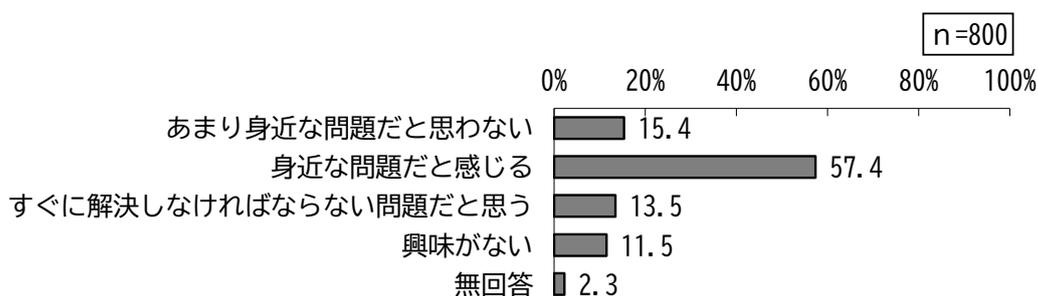
	第1位	第2位	第3位
10・20歳代 (n=110)	医療機関の情報 28.2%	保育園や幼稚園関係 16.4%	学校教育関係/防災や避難所関係/市主催のイベントの開催関係 14.5%
30歳代 (n=93)	子育ての経済支援関係 37.6%	医療機関の情報/学校教育関係 30.1%	
40歳代 (n=101)	医療機関の情報 36.6%	税金関係 24.8%	学校教育関係 23.8%
50歳代 (n=124)	医療機関の情報 35.5%	介護保険の利用の仕方 25.0%	防災や避難所関係 23.4%
60～64歳 (n=87)	医療機関の情報 40.2%	防災や避難所関係 33.3%	税金関係 31.0%
65～74歳 (n=180)	介護保険の利用の仕方 32.8%	医療機関の情報 30.0%	防災や避難所関係 28.9%
75歳以上 (n=99)	介護保険の利用の仕方 44.4%	医療機関の情報 30.3%	防災や避難所関係 28.3%

(3) 地域の人口が減少することに対して思うこと

問 令和2年に改定された「むつ市人口ビジョン」では、今後もむつ市の人口は減少が続くことが予想されていますが、お住まいの地域の人口が減ることについて、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

- 地域の人口が減少することに対して思うことについては、「身近な問題だと感じる」が57.4%と最も多くなっています。次いで「あまり身近な問題だと思わない」が15.4%、「すぐに解決しなければならない問題だと思う」が13.5%となっています。
- 年代が上がるにつれて「身近な問題だと感じる」割合が増加傾向となっています。

図表Ⅱ-6-6 地域の人口が減少することに対して思うこと



図表Ⅱ-6-7 地域の人口が減少することに対して思うこと (年代別)

	あまり身近な問題だと思わない	身近な問題だと感じる	すぐに解決しなければならない問題だと思う	興味がない	無回答
10・20歳代 (n=110)	11.8%	41.8%	16.4%	29.1%	0.9%
30歳代 (n=93)	14.0%	54.8%	12.9%	17.2%	1.1%
40歳代 (n=101)	22.8%	41.6%	16.8%	14.9%	4.0%
50歳代 (n=124)	21.8%	52.4%	13.7%	10.5%	1.6%
60～64歳 (n=87)	14.9%	65.5%	13.8%	4.6%	1.1%
65～74歳 (n=180)	14.4%	67.2%	11.7%	4.4%	2.2%
75歳以上 (n=99)	7.1%	73.7%	10.1%	4.0%	5.1%

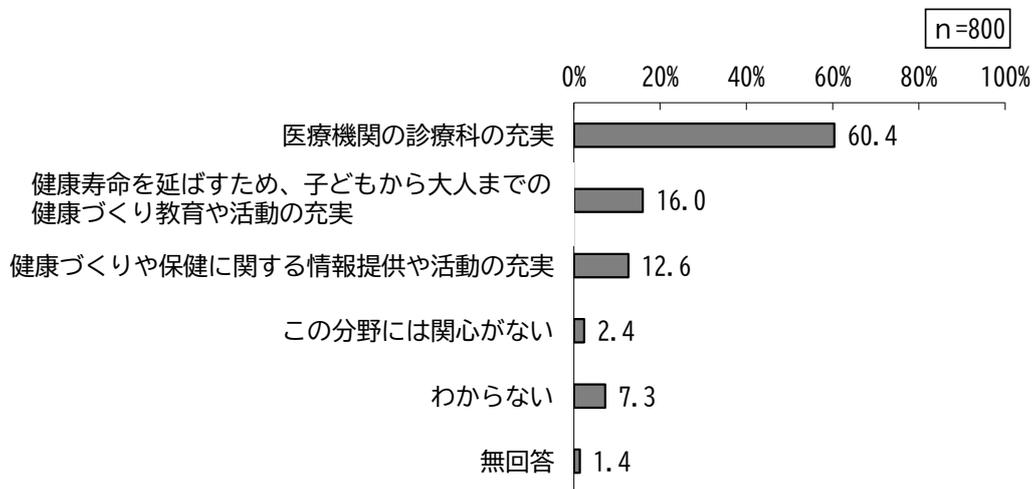
(4) むつ市に必要なだと思う取り組み

問 むつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思う項目を1つずつ選んで○をつけてください。

ア 保健医療関係

- むつ市に必要なと思う保健医療関係の取り組みについては、「医療機関の診療科の充実」が60.4%と最も多くなっています。次いで「健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実」が16.0%、「健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実」が12.6%となっています。

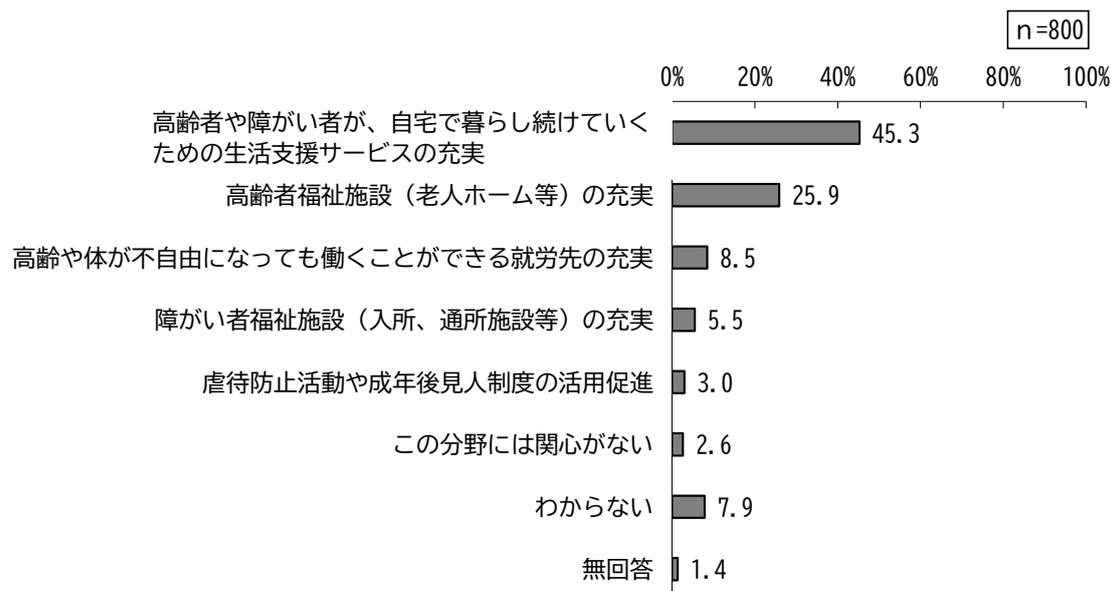
図表Ⅱ-6-8 保健医療関係



イ 高齢者・障がい者

- おつ市に必要だと思う高齢者・障がい者に関する取り組みについては、「高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実」が45.3%と最も多くなっています。次いで「高齢者福祉施設（老人ホーム等）の充実」が25.9%、「高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実」が8.5%となっています。

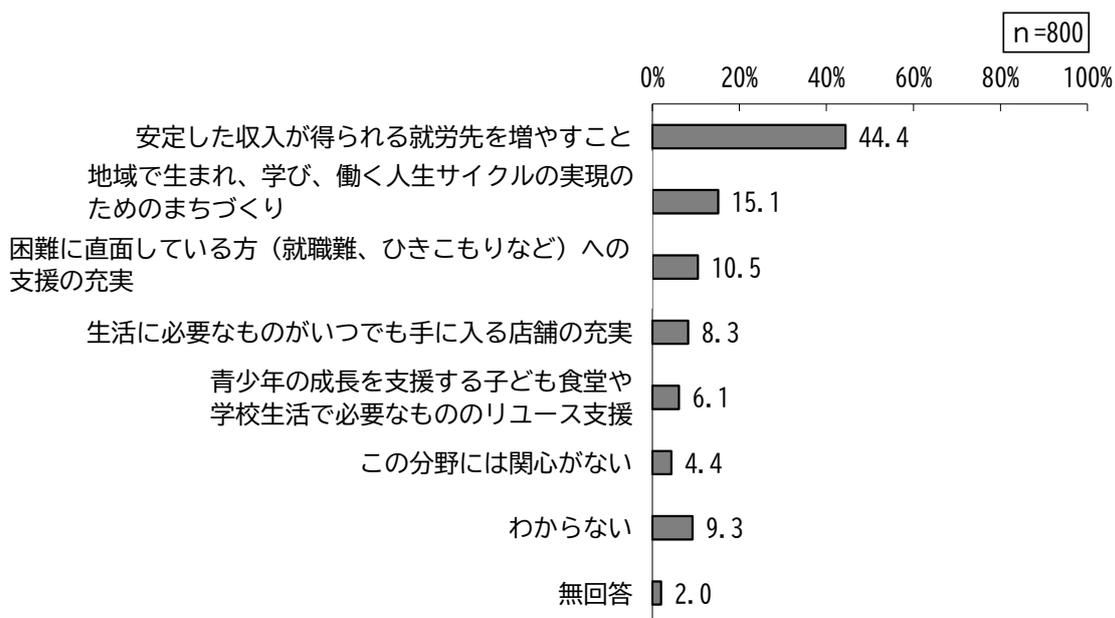
図表Ⅱ-6-9 高齢者・障がい者



ウ 生活困窮関係

- おつ市に必要なと思う生活困窮関係の取り組みについては、「安定した収入が得られる就労先を増やすこと」が 44.4%と最も多くなっています。次いで「地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり」が 15.1%、「困難に直面している方（就職難、ひきこもりなど）への支援の充実」が 10.5%となっています。

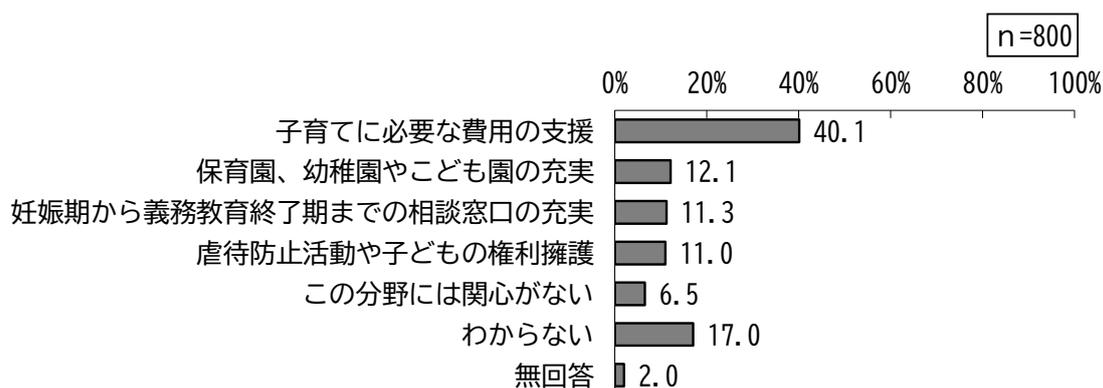
図表Ⅱ-6-10 生活困窮関係



エ 子育て関係

- おつ市に必要なと思う子育て関係の取り組みについては、「子育てに必要な費用の支援」が40.1%と最も多くなっています。次いで「保育園、幼稚園やこども園の充実」が12.1%、「妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実」が11.3%となっています。

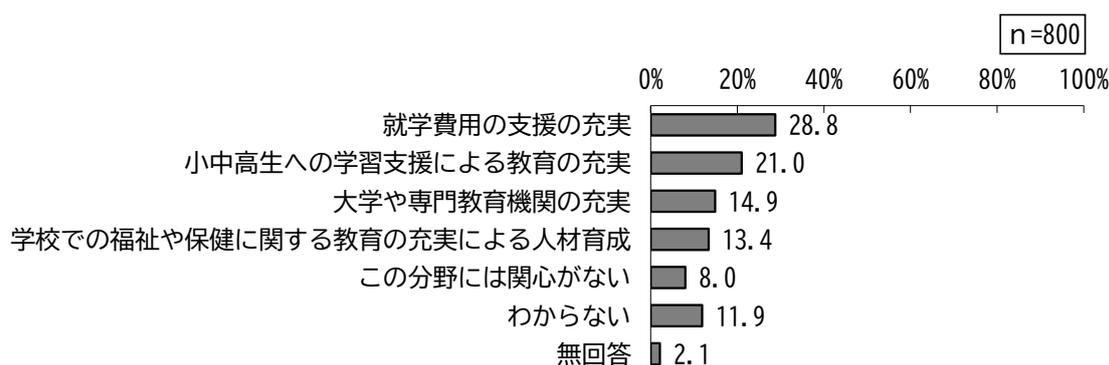
図表Ⅱ-6-11 子育て関係



オ 教育関係

- おつ市に必要なと思う教育関係の取り組みについては、「就学費用の支援の充実」が28.8%と最も多くなっています。次いで「小中高生への学習支援による教育の充実」が21.0%、「大学や専門教育機関の充実」が14.9%となっています。

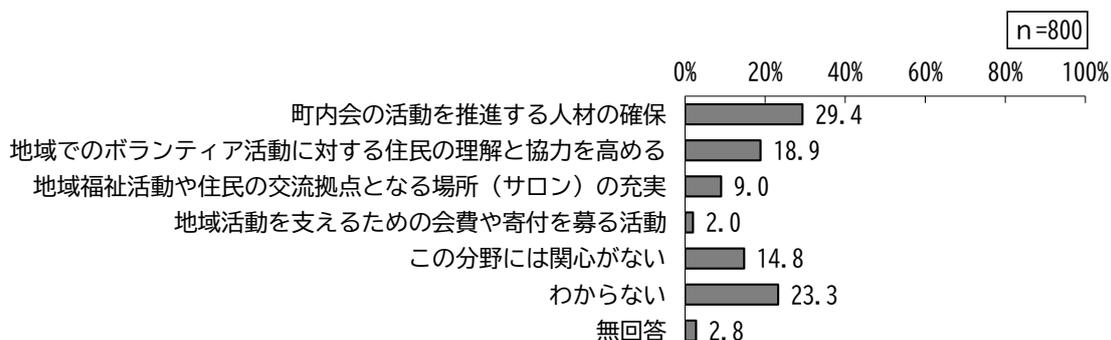
図表Ⅱ-6-12 教育関係



カ 地域活動関係

- おつ市に必要なと思う地域活動関係の取り組みについては、「町内会の活動を推進する人材の確保」が29.4%と最も多くなっています。次いで「地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める」が18.9%、「地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所(サロン)の充実」が9.0%となっています。

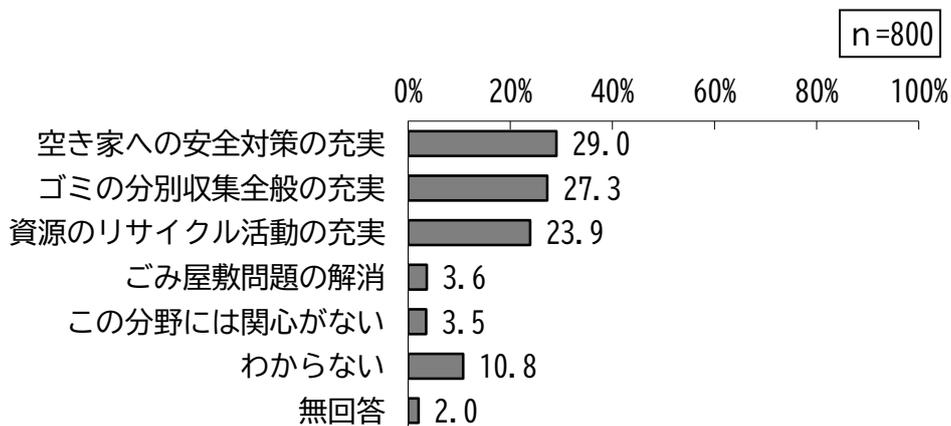
図表Ⅱ-6-13 地域活動関係



キ 環境関係

- おつ市に必要なと思う環境関係の取り組みについては、「空き家への安全対策の充実」が29.0%と最も多くなっています。次いで「ゴミの分別収集全般の充実」が27.3%、「資源のリサイクル活動の充実」が23.9%となっています。

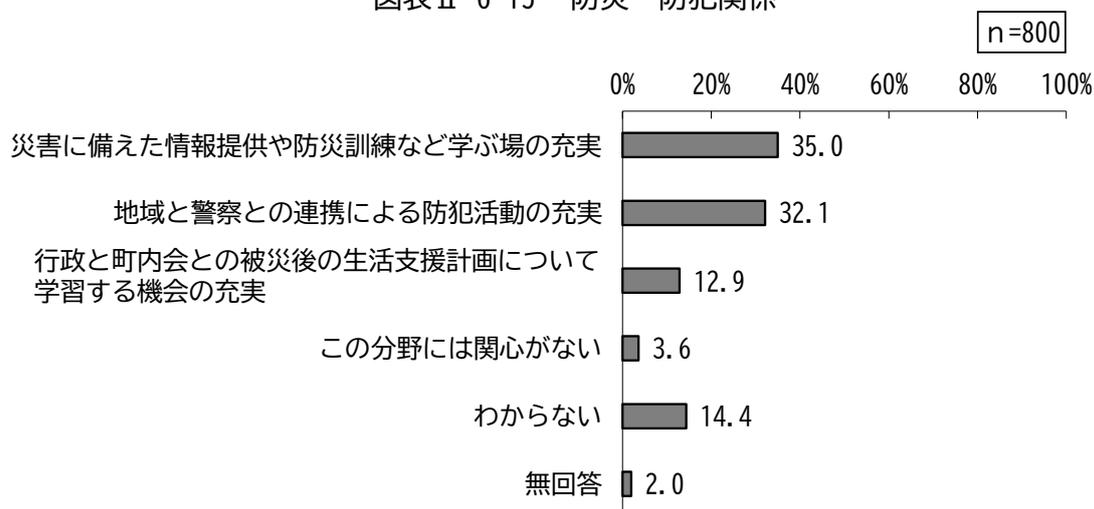
図表Ⅱ-6-14 環境関係



ク 防災・防犯関係

- おつ市に必要だと思う防災・防犯関係の取り組みについては、「災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実」が 35.0%と最も多くなっています。次いで「地域と警察との連携による防犯活動の充実」が 32.1%、「行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実」が 12.9%となっています。

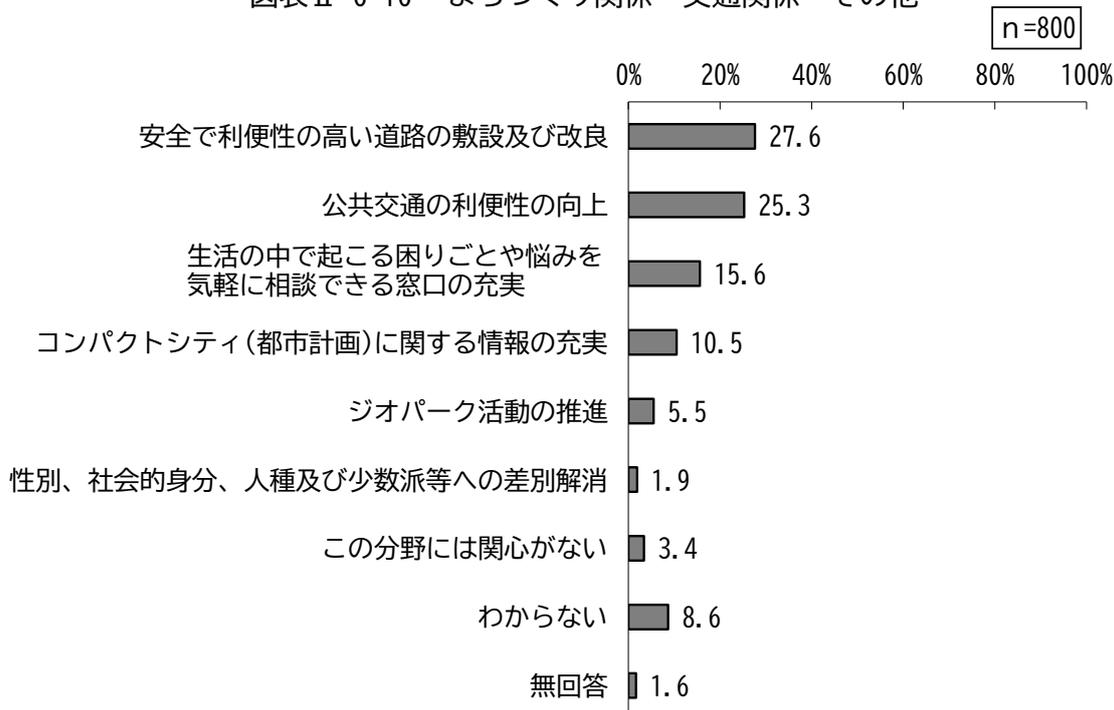
図表Ⅱ-6-15 防災・防犯関係



ケ まちづくり関係・交通関係・その他

- おつ市に必要だと思うまちづくり関係・交通関係・その他に関する取り組みについては、「安全で利便性の高い道路の敷設及び改良」が 27.6%と最も多くなっています。次いで「公共交通の利便性の向上」が 25.3%、「生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実」が 15.6%となっています。

図表Ⅱ-6-16 まちづくり関係・交通関係・その他

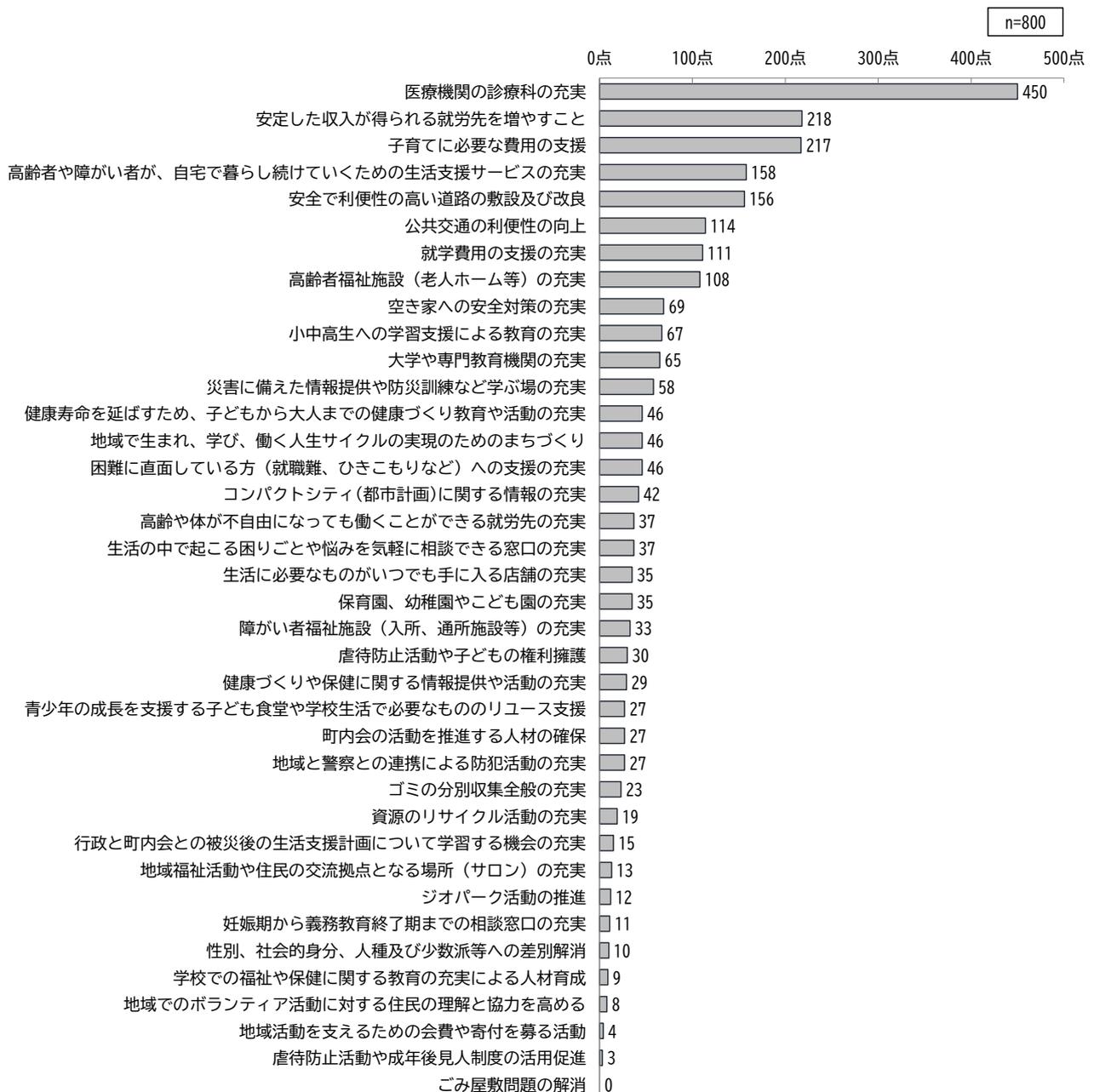


(5) むつ市に最も取り組んでほしいこと

問 前問で選んだ項目の中から、もっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選んでください。

- むつ市に最も取り組んでほしいことについては、「医療機関の診療科の充実」が450点と最も多くなっています。次いで「安定した収入が得られる就労先を増やすこと」が218点、「子育てに必要な費用の支援」が217点となっています。

図表Ⅱ-6-17 むつ市に最も取り組んでほしいこと



※1位を「3点」、2位を「2点」、3位を「1点」として合計点数を算出しています。

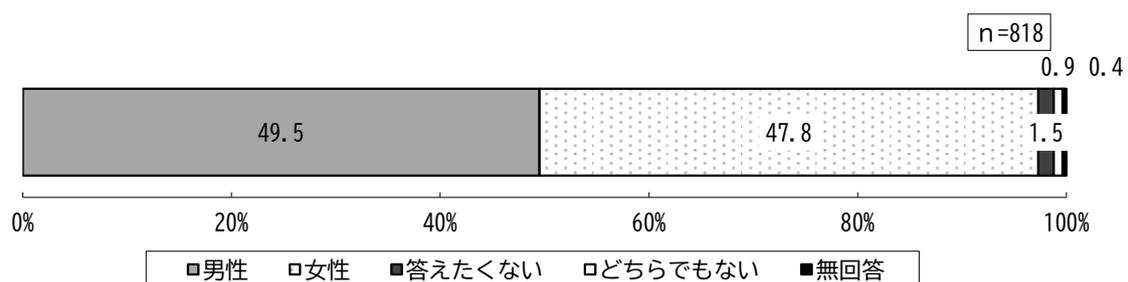
Ⅲ 中高生アンケートアンケート調査結果

1 あなた自身や家族のことについて

(1) 性別

- 回答者の性別は、「男性」が 49.5%、「女性」が 47.8%、「答えたくない」が 1.5%、「どちらでもない」が 0.9%となっています。

図表Ⅲ-1-1 性別

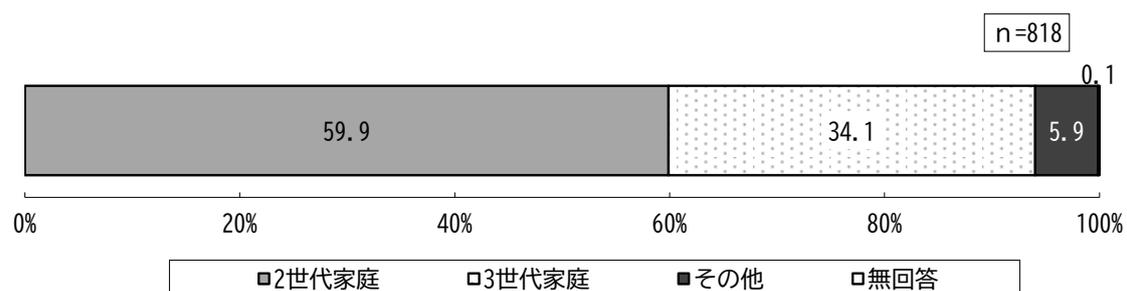


(2) 家族構成

① 大分類

- 回答者の家族構成(大分類)は、「2世代家庭」が 59.9%、「3世代家庭」が 34.1%となっています。

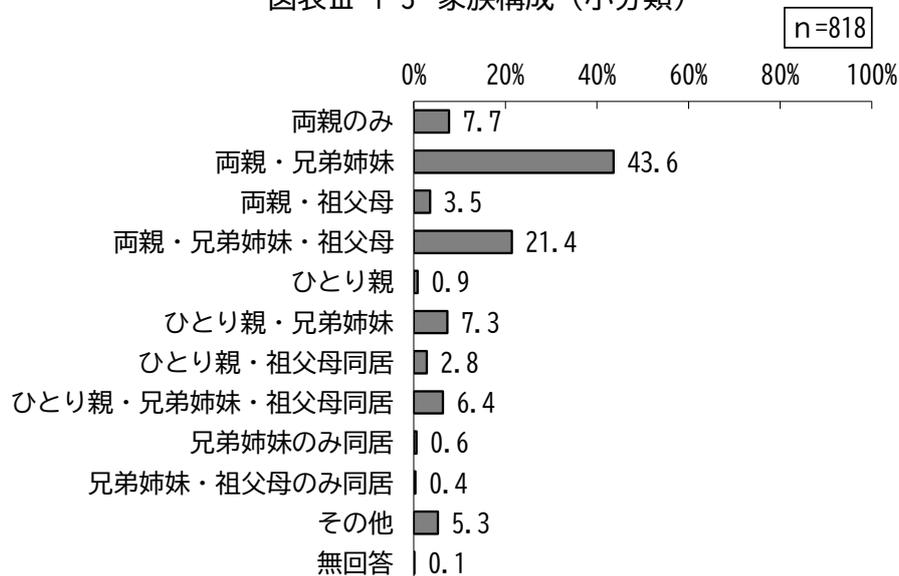
図表Ⅲ-1-2 家族構成(大分類)



② 小分類

- 回答者の家族構成（小分類）は、「両親・兄弟姉妹」が 43.6%と最も多く、次いで「両親・兄弟姉妹・祖父母」が 21.4%、「両親のみ」が 7.7%となっています。

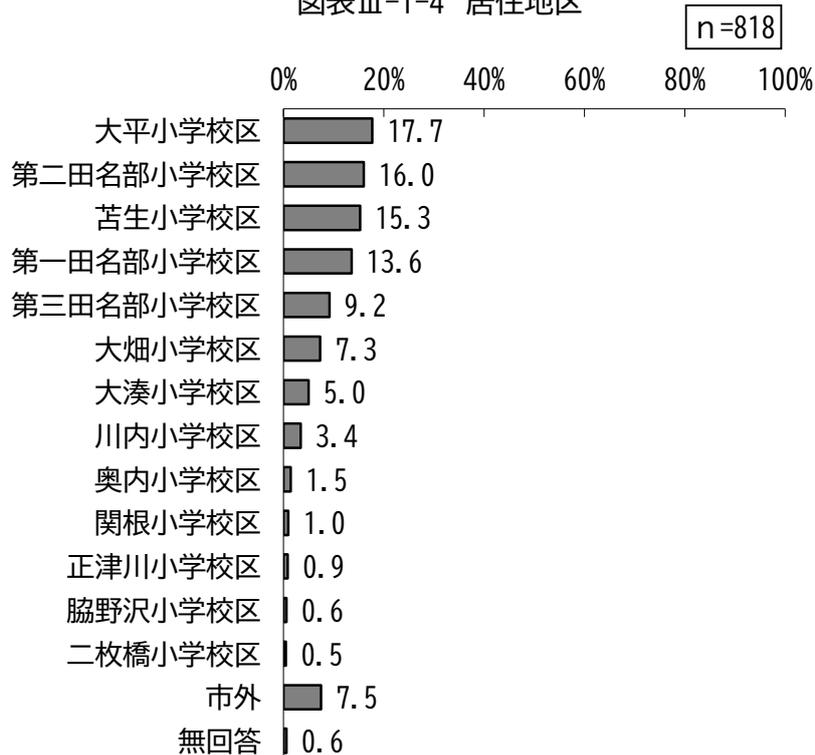
図表Ⅲ-1-3 家族構成（小分類）



(3) 居住地区

- 回答者の居住地区は、「大平小学校区」が 17.7%と最も多く、次いで「第二田名部小学校区」が 16.0%、「苫生小学校区」が 15.3%となっています。

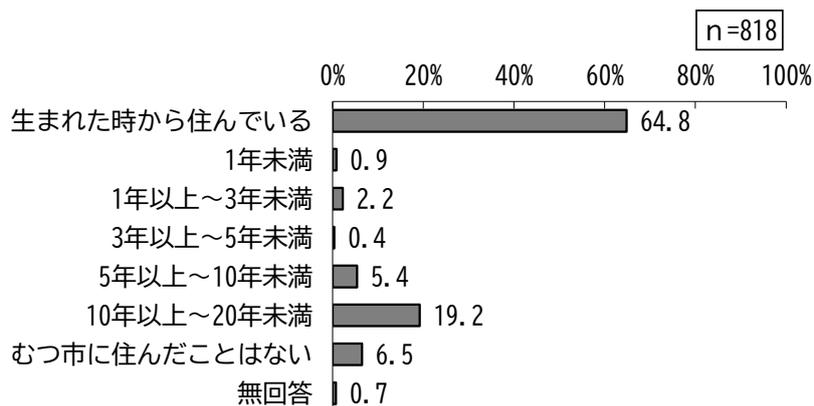
図表Ⅲ-1-4 居住地区



(4) 居住年数

- 回答者の居住年数は、「生まれた時から住んでいる」が 64.8%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」が 19.2%、「5年以上～10年未満」が 5.4%となっています。
- 「むつ市に住んだことはない」は 6.5%となっています。

図表Ⅲ-1-5 居住年数



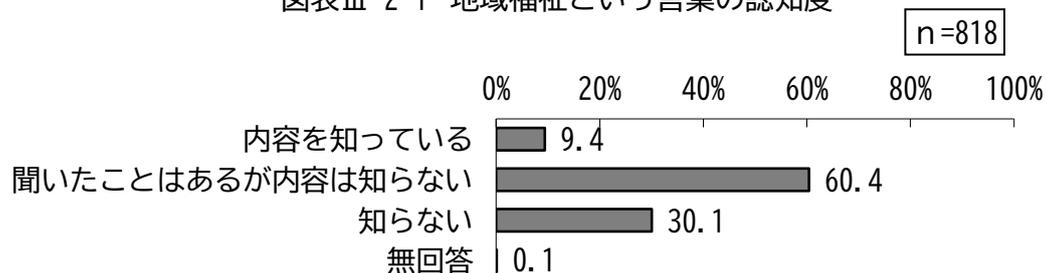
2 福祉に関する関心や理解

(1) 地域福祉の認知度

問 あなたは地域福祉という言葉を知っていますか。(1つに○)

- 地域福祉の認知度という言葉の認知度については、「聞いたことはあるが内容は知らない」が60.4%と最も多くなっています。次いで「知らない」が30.1%、「内容を知っている」が9.4%となっています。
- 学生区別にみると、高校生の方が認知している割合が高い傾向にあります。

図表Ⅲ-2-1 地域福祉という言葉の認知度



図表Ⅲ-2-2 地域福祉という言葉の認知度（学生区分別）

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
中学生 (n=399)	7.0%	56.4%	36.3%	0.3%
高校生 (n=419)	11.7%	64.2%	24.1%	0.0%

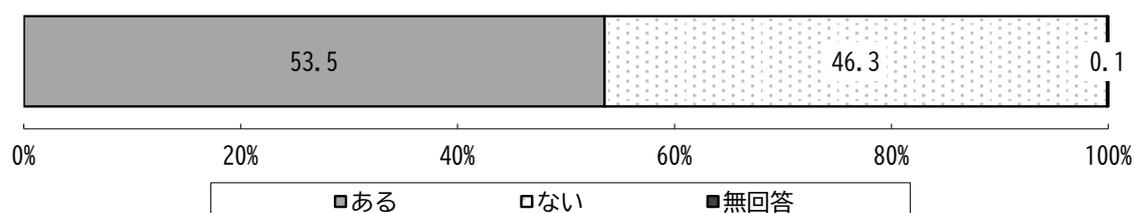
(2) 福祉への関心

問 あなたは福祉に関心がありますか。(1つに○)

- 福祉への関心については、「ある」が53.5%、「ない」が46.3%となっています。
- 男性の福祉に関心が「ある」割合は44.4%、女性は63.9%となっています。
- 中学生の福祉に関心が「ある」割合は58.9%、高校生は48.4%となっています。

図表Ⅲ-2-3 福祉への関心

n=818



図表Ⅲ-2-4 福祉への関心 (性別・学生区分別)

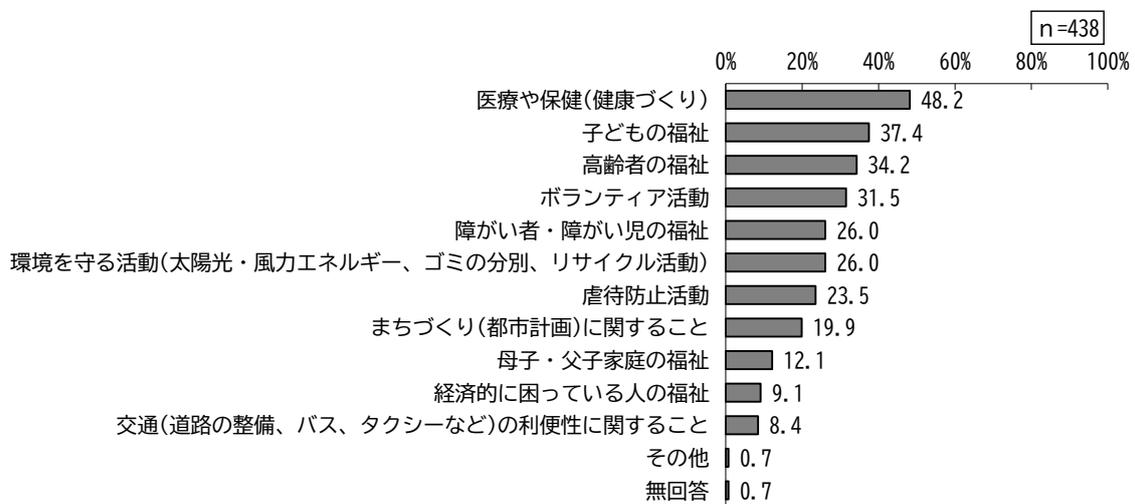
	ある	ない	無回答
男性 (n=405)	44.4%	55.3%	0.2%
女性 (n=391)	63.9%	36.1%	0.0%
中学生 (n=399)	58.9%	40.9%	0.3%
高校生 (n=419)	48.4%	51.6%	0.0%

(3) 関心のある福祉のテーマ

【前問で「ある」を選んだ方にお聞きします。】
 問 特に関心のあるテーマを教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- 前問で福祉に関心が「ある」と回答した方 (n=438) の関心のあるテーマについては、「医療や保健(健康づくり)」が 48.2%と最も多くなっています。次いで「子どもの福祉」が 37.4%、「高齢者の福祉」が 34.2%となっています。
- 全体の回答で多かった「医療や保健(健康づくり)」のほか、男性は「環境を守る活動」(38.3%)、「ボランティア活動」(37.8%)が上位に挙がっています。

図表Ⅲ-2-5 関心のある福祉のテーマ



図表Ⅲ-2-6 関心のある福祉のテーマ (性別・学生区分別：上位3項目)

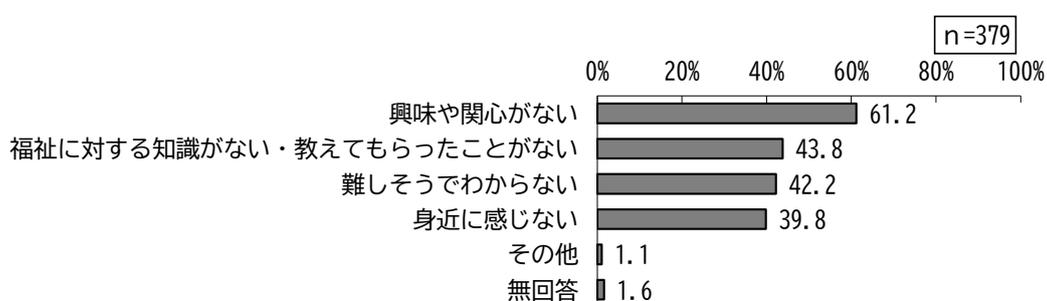
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=180)	医療や保健 43.9%	環境を守る活動 38.3%	ボランティア活動 37.8%
女性 (n=250)	医療や保健 51.2%	子どもの福祉 46.0%	高齢者の福祉 38.4%
中学生 (n=235)	医療や保健 43.0%	ボランティア活動 36.2%	高齢者の福祉 35.3%
高校生 (n=203)	医療や保健 54.2%	子どもの福祉 42.4%	高齢者の福祉 33.0%

(4) 福祉に関心を持たない理由

【(2) で「ない」を選んだ方にお聞きします。】
 問 福祉に関心を持たない理由を教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- 前問で福祉に関心が「ない」と回答した方 (n=379) の関心を持たない理由については、「興味や関心がない」が 61.2%と最も多くなっています。次いで「福祉に対する知識がない・教えてもらったことがない」が 43.8%、「難しそうでわからない」が 42.2%となっています。
- 中学生は「難しそうでわからない」が、高校生は「興味や関心がない」がそれぞれ最上位となっています。

図表Ⅲ-2-7 福祉に関心を持たない理由



図表Ⅲ-2-8 福祉に関心を持たない理由 (性別・学生区分別)

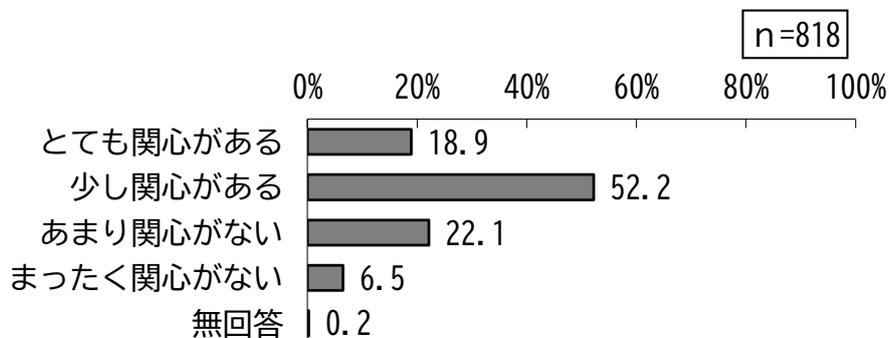
	身近に感じない	興味や関心がない	難しそうでわからない	福祉に対する知識がない・教えてもらったことがない	その他	無回答
男性 (n=224)	42.0%	56.7%	36.2%	44.6%	1.3%	1.3%
女性 (n=141)	36.9%	67.4%	53.9%	43.3%	0.7%	2.1%
中学生 (n=163)	44.8%	50.3%	54.6%	54.0%	1.2%	2.5%
高校生 (n=216)	36.1%	69.4%	32.9%	36.1%	0.9%	0.9%

(5) 地域行事や福祉・ボランティア活動などへの関心

問 あなたは住んでいる地域の行事や福祉・ボランティア活動などに関心はありますか。(1つに○)

- 地域行事や福祉・ボランティア活動などへの関心については、「少し関心がある」が52.2%と最も多くなっています。次いで「あまり関心がない」が22.1%、「とても関心がある」が18.9%となっています。
- 「とても関心がある」と「少し関心がある」を合わせた、地域行事や福祉・ボランティア活動に『関心がある』割合は、男性が65.5%、女性が77.7%、中学生が77.2%、高校生が65.4%となっています。

図表Ⅲ-2-9 地域行事や福祉・ボランティア活動などへの関心



図表Ⅲ-2-10 地域行事や福祉・ボランティア活動などへの関心(性別・学生区分別)

	とても関心がある	少し関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	無回答
男性 (n=405)	14.6%	50.9%	24.9%	9.1%	0.5%
女性 (n=391)	23.5%	54.2%	19.2%	3.1%	0.0%
中学生 (n=399)	21.8%	55.4%	18.5%	4.0%	0.3%
高校生 (n=419)	16.2%	49.2%	25.5%	8.8%	0.2%

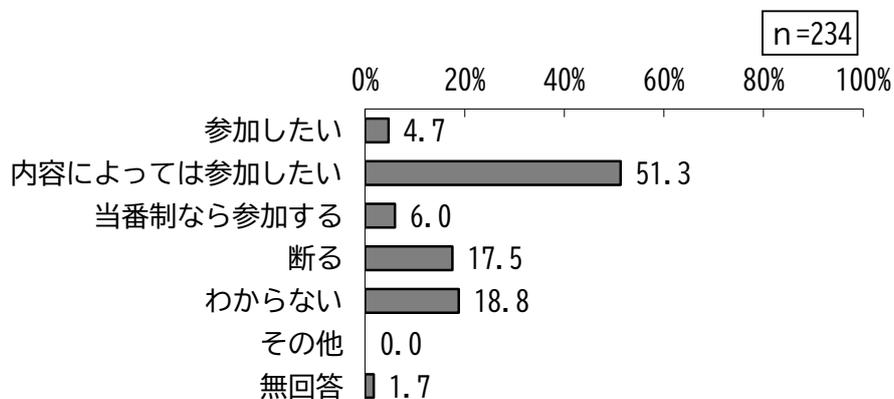
(6) 感染症収束後の地域行事などへの参加意向

【前問で「あまり関心がない」または「まったく関心がない」を選んだ方にお聞きします。】

問 新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の収束後に、もし、地域の行事やボランティア活動へ参加の依頼があった場合、あなたの考えに近いものを教えてください。（1つに○）

- 前問で地域行事に「関心がない」と回答した方（n=234）の感染症収束後の地域行事などへの参加意向については、「内容によっては参加したい」が51.3%と最も多くなっています。次いで「断る」が17.5%、「当番制なら参加する」が6.0%となっています。
- 「わからない」は18.8%となっています。

図表Ⅲ-2-11 感染症収束後の地域行事などへの参加意向

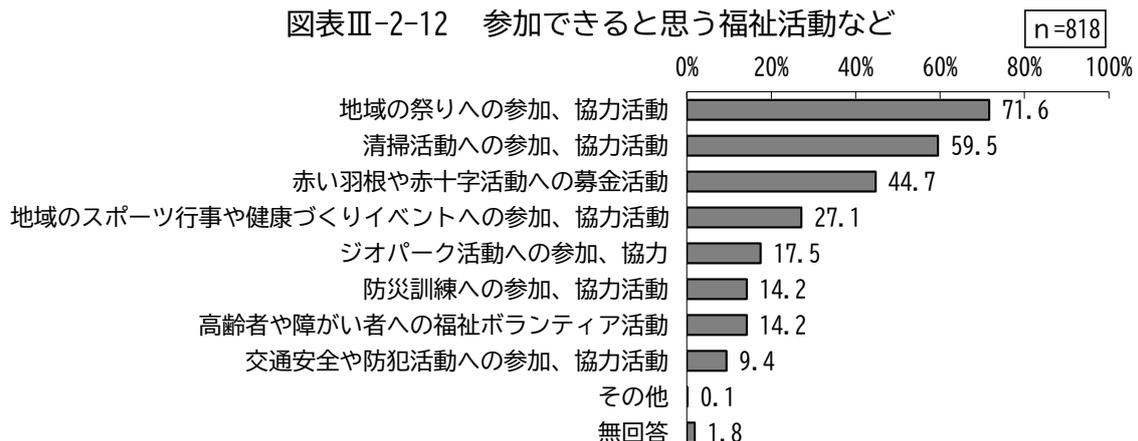


(7) 参加できると思う福祉活動などについて

問 あなたは、どのような活動に参加できると思いますか。感染症の流行前に参加していた活動や感染症収束後のことを想定してお答えください。（あてはまるものすべてに○）

- 参加できると思う福祉活動などについては、「地域の祭りへの参加、協力活動」が71.6%と最も多くなっています。次いで「清掃活動への参加、協力活動」が59.5%、「赤い羽根や赤十字活動への募金活動」が44.7%となっています。

図表Ⅲ-2-12 参加できると思う福祉活動など

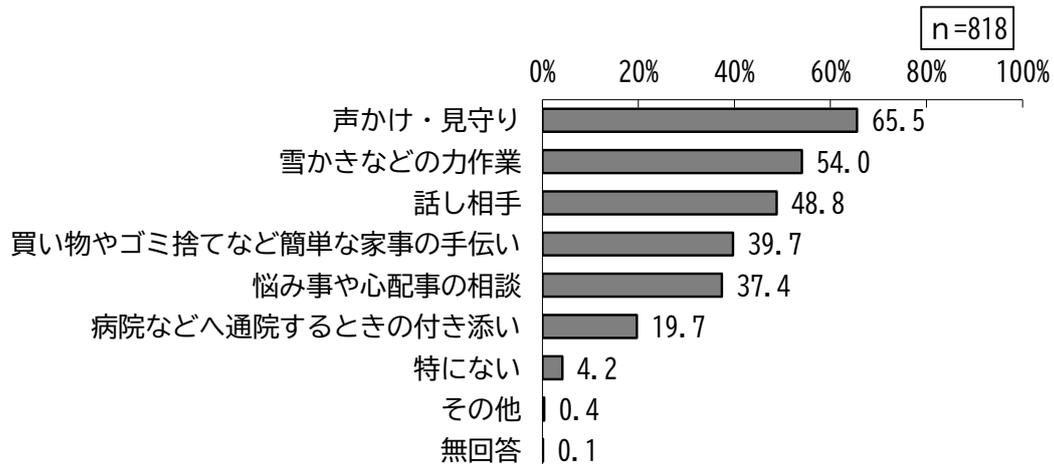


(8) 周りの人が困っている時にできると思うこと

問 家族以外の人で困っている人がいるとき、あなたができると思うこと、または、今はできなくても、将来、できると思うことお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- 周りの人が困っている時にできると思うことについては、「声かけ・見守り」が65.5%と最も多くなっています。次いで「雪かきなどの力作業」が54.0%、「話し相手」が48.8%となっています。

図表Ⅲ-2-13 周りの人が困っている時にできると思うこと

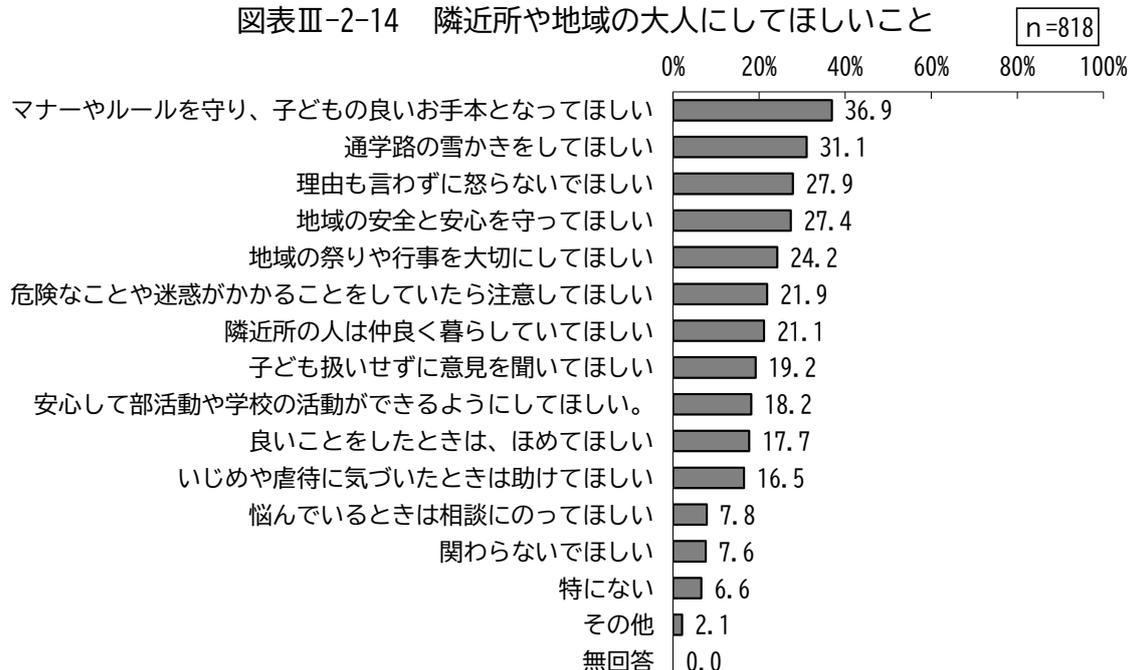


(9) 隣近所や地域の大人にしてほしいこと

問 隣近所や地域の大人にしてほしいことについて、あなたの考えに近いものを教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- 地域の大人にしてほしいことについては、「マナーやルールを守り、子どもの良いお手本となってほしい」が36.9%と最も多くなっています。次いで「通学路の雪かきをしてほしい」が31.1%、「理由も言わずに怒らないでほしい」が27.9%となっています。

図表Ⅲ-2-14 隣近所や地域の大人にしてほしいこと



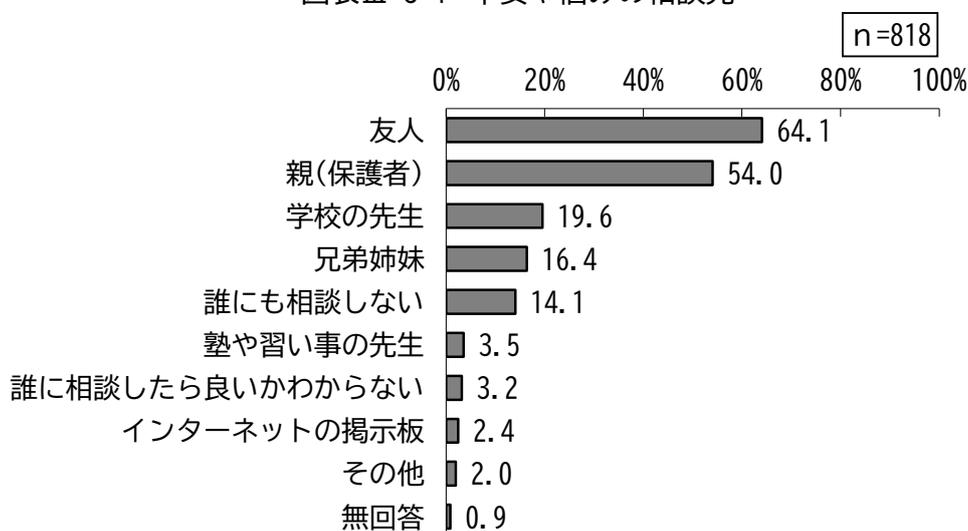
3 日常生活について

(1) 不安や悩みの相談先

問 あなたは不安や悩みを感じたときに、誰に相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 不安や悩みを感じたときの相談先については、「友人」が 64.1%と最も多くなっています。次いで「親(保護者)」が 54.0%、「学校の先生」が 19.6%となっています。
- 女性と高校生は、「友人」、「親(保護者)」のほかに、「兄弟姉妹」も上位に挙がっています。

図表Ⅲ-3-1 不安や悩みの相談先



図表Ⅲ-3-2 不安や悩みの相談先 (性別・学生区分別：上位3項目)

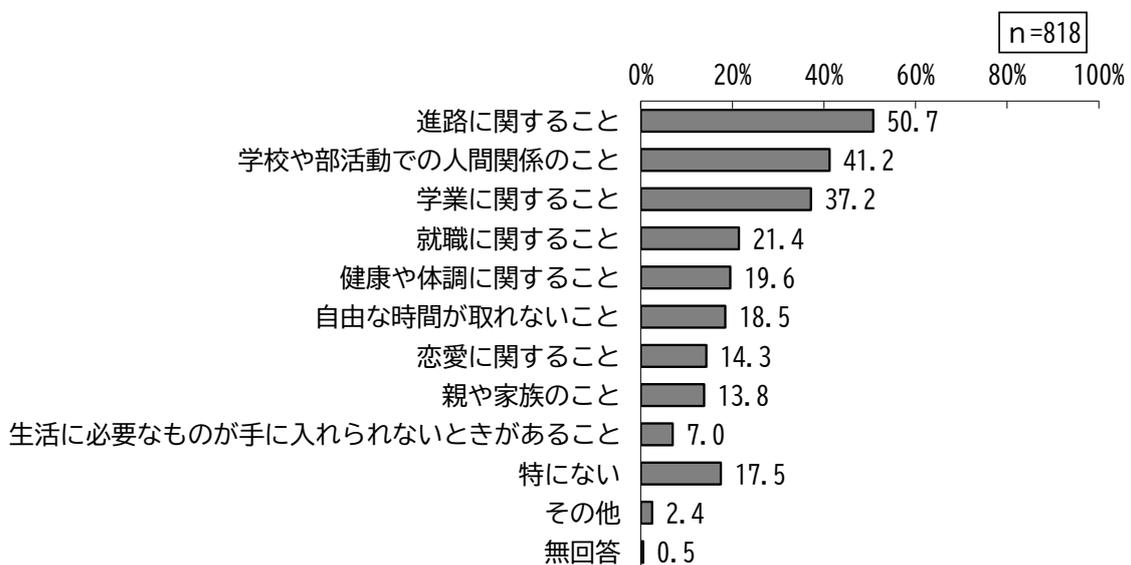
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=405)	友人 60.0%	親(保護者) 49.4%	学校の先生 18.8%
女性 (n=391)	友人 68.3%	親(保護者) 59.6%	兄弟姉妹 21.0%
中学生 (n=399)	友人 62.7%	親(保護者) 54.9%	学校の先生 25.8%
高校生 (n=419)	友人 65.4%	親(保護者) 53.2%	兄弟姉妹 15.8%

(2) 日常生活で感じている悩みや不安

問 あなたは日常生活の中で、どのような悩みや不安を感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 日常生活で感じている悩みや不安については、「進路に関すること」が 50.7%と最も多くなっています。次いで「学校や部活動での人間関係のこと」が 41.2%、「学業に関すること」が 37.2%となっています。
- 性別・学生区分にかかわらず「進路に関すること」、「学校や部活動での人間関係のこと」、「学業に関すること」が悩みや不安の上位に挙がっています。

図表Ⅲ-3-3 感じている悩みや不安



図表Ⅲ-3-4 感じている悩みや不安（性別・学生区分別：上位3項目）

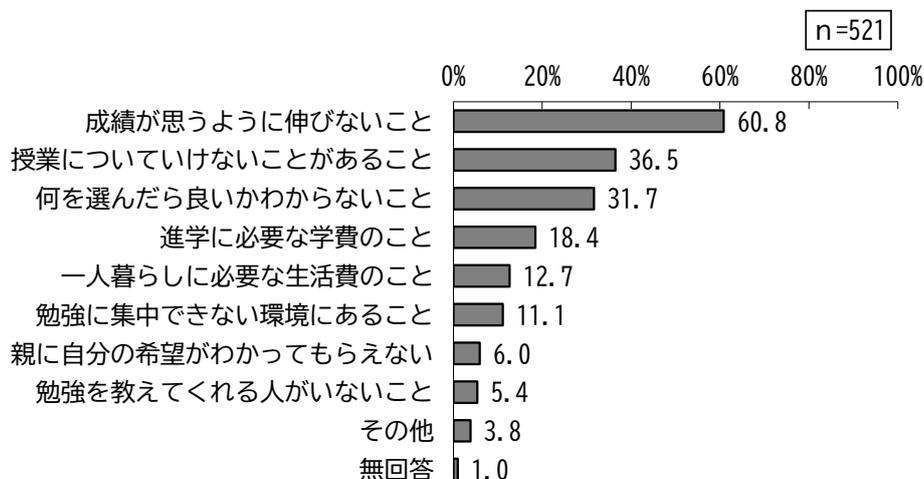
	第1位	第2位	第3位
男性 (n=405)	進路に関すること 43.0%	学業に関すること 30.6%	学校や部活動での人間関係のこと 26.9%
女性 (n=391)	進路に関すること 59.3%	学校や部活動での人間関係のこと 55.2%	学業に関すること 43.0%
中学生 (n=399)	進路に関すること 39.6%	学校や部活動での人間関係のこと 37.8%	学業に関すること 32.6%
高校生 (n=419)	進路に関すること 61.3%	学校や部活動での人間関係のこと 44.4%	学業に関すること 41.5%

(3) 進路や学業、就職に関する悩みの状況

【前問で「進路」「学業」「就職」を選んだ方にお聞きします。】
 問 選んだ理由としてあなたの現在の状況に近いもの教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

○ (2)で「進路や学業、就職に悩みや不安がある」と回答した方(n=521)の状況については、「成績が思うように伸びないこと」が60.8%と最も多くなっています。次いで「授業についていけないことがあること」が36.5%、「何を選んだら良いかわからないこと」が31.7%となっています。

図表Ⅲ-3-5 進路や学業、就職に関する悩みの状況

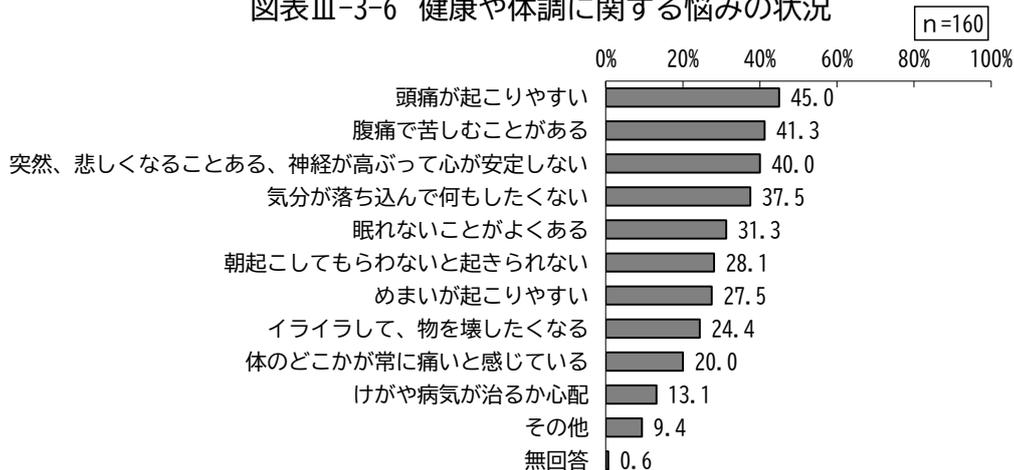


(4) 健康や体調に関する悩みの状況

【(2)で「健康や体調」を選んだ方にお聞きします。】
 問 選んだ理由としてあなたの現在の状況に近いもの教えてください。
 (あてはまるものすべてに○)

○ (2)で「健康や体調に悩みや不安がある」と回答した方(n=160)の状況については、「頭痛が起こりやすい」が45.0%と最も多くなっています。次いで「腹痛で苦しむことがある」が41.3%、「突然、悲しくなることある、神経が高ぶって心が安定しない」が40.0%となっています。

図表Ⅲ-3-6 健康や体調に関する悩みの状況

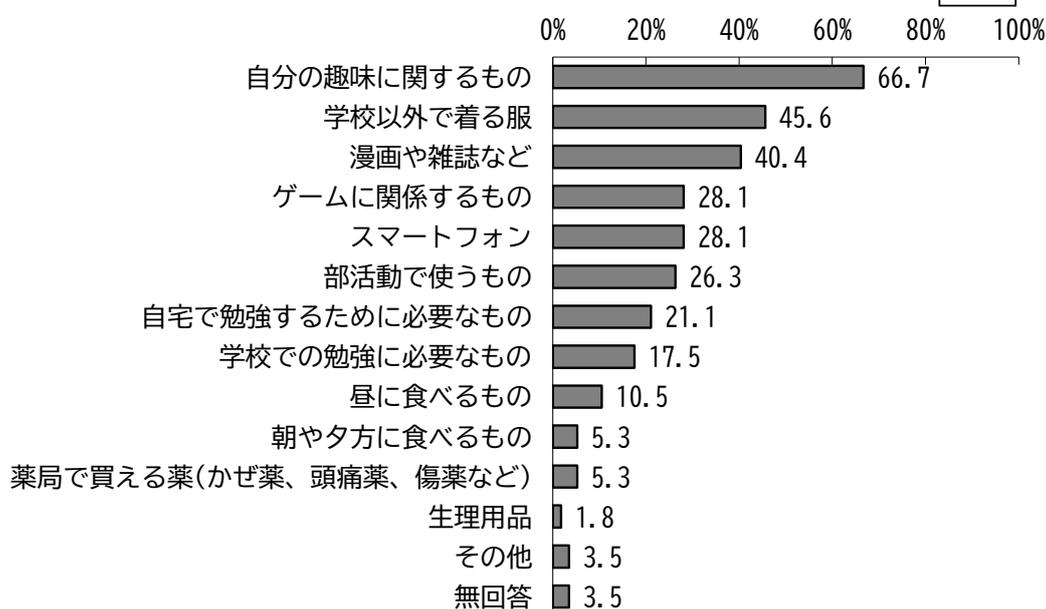


(5) 生活必需品が入手できない悩みの状況

【(2) で「生活に必要なものが手に入らない」を選んだ方にお聞きします。】
 問 選んだ理由として、どのようなものが手に入らないことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

○ (2)で「生活に必要なものが手に入らないことに悩みや不安がある」と回答した方(n=57)の状況については、「自分の趣味に関するもの」が66.7%と最も多くなっています。次いで「学校以外で着る服」が45.6%、「漫画や雑誌など」が40.4%となっています。

図表Ⅲ-3-7 生活必需品が入手できない悩みの状況 n=57

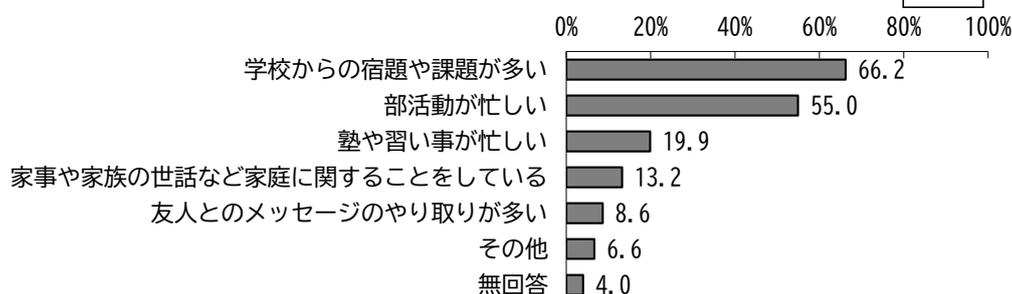


(6) 自由な時間が取れない理由

【(2) で「自由な時間が取れない」を選んだ方にお聞きします。】
 問 自由な時間が取れない理由として主にどのようなことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

○ (2)で「自由な時間が取れないことに悩みや不安がある」と回答した方(n=151)の状況については、「学校からの宿題や課題が多い」が66.2%と最も多くなっています。次いで「部活動が忙しい」が55.0%、「塾や習い事が忙しい」が19.9%となっています。

図表Ⅲ-3-8 自由な時間が取れない理由 n=151



(7) 家事や家族の世話などにかかっている時間・内容

【前問で「家庭に関すること」を選んだ方にお聞きします。】
 問 ①1日どれくらいの時間行っていますか。(数字で記入)
 ②どのようなことを日常的に行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

① 家事や家族の世話などにかかる時間

図表Ⅲ-3-9 家事や家族の世話などにかかる時間 (平均)

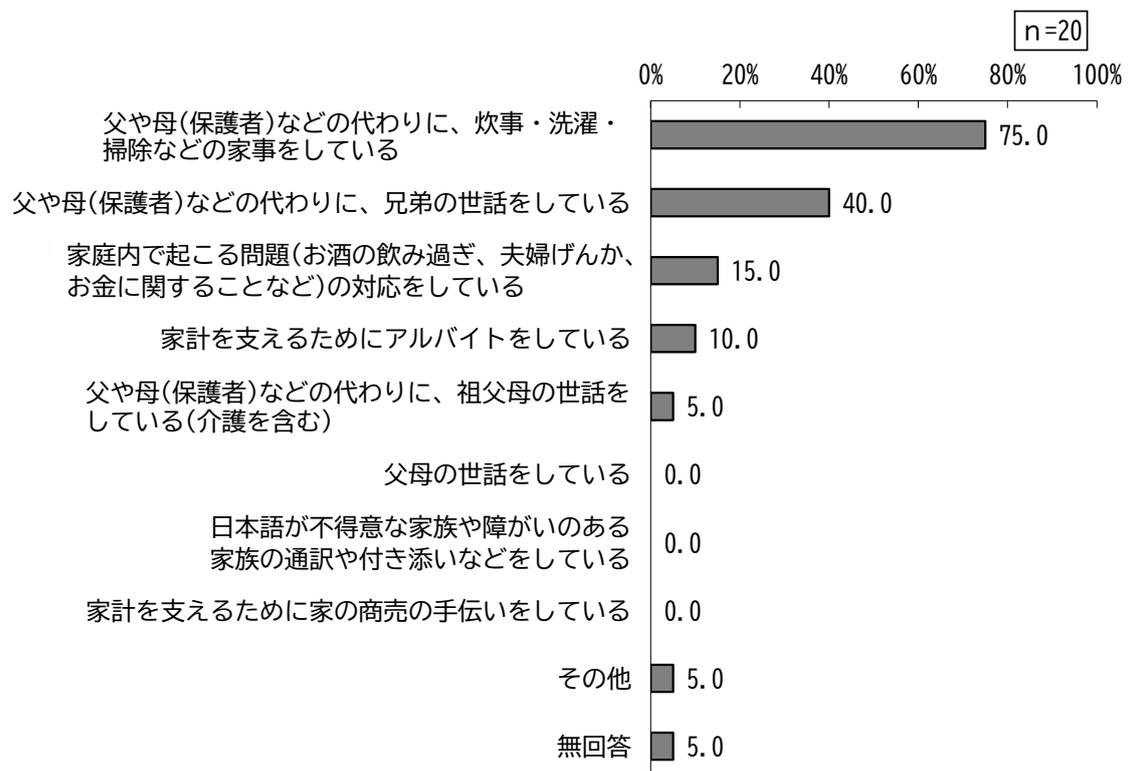
(n=20)

家事や家族の世話などにかかる時間	2.55 時間
------------------	---------

② 日常的に行っている家事や家族の世話 (あてはまるものすべてに○)

○ (6)で自由な時間が取れない理由として「家庭に関することをしている」と回答した方 (n=20)の日常的に行っている家事や家族の世話については、「父や母(保護者)などの代わりに、炊事・洗濯・掃除などの家事をしている」が75.0%と最も多くなっています。次いで「父や母(保護者)などの代わりに、兄弟の世話をしている」が40.0%、「家庭内で起こる問題(お酒の飲み過ぎ、夫婦げんか、お金に関することなど)の対応をしている」が15.0%となっています。

図表Ⅲ-3-10 日常的に行っている家事や家族の世話

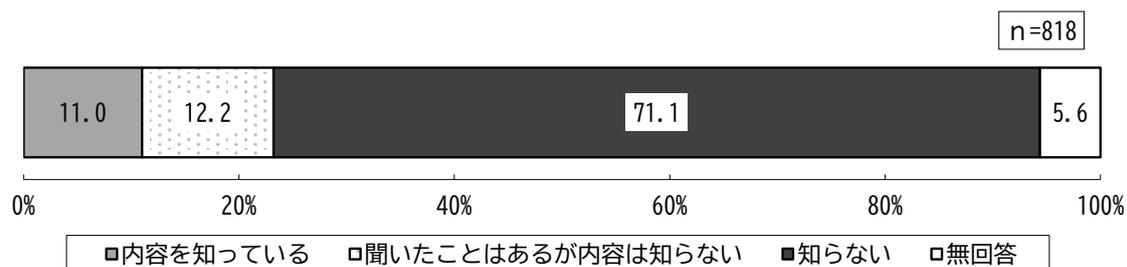


(8) ヤングケアラーの認知度

問 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

- ヤングケアラーの認知度については、「知らない」が 71.1%と最も多くなっています。次いで「聞いたことはあるが内容は知らない」が 12.2%、「内容を知っている」が 11.0%となっています。

図表Ⅲ-3-11 ヤングケアラーの認知度



図表Ⅲ-3-12 ヤングケアラーの認知度 (性別・学生区分別)

	内容を知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	知らない	無回答
男性 (n=405)	7.9%	9.6%	74.6%	7.9%
女性 (n=391)	13.8%	14.6%	68.0%	3.6%
中学生 (n=399)	3.3%	9.0%	82.5%	5.3%
高校生 (n=419)	18.4%	15.3%	60.4%	6.0%

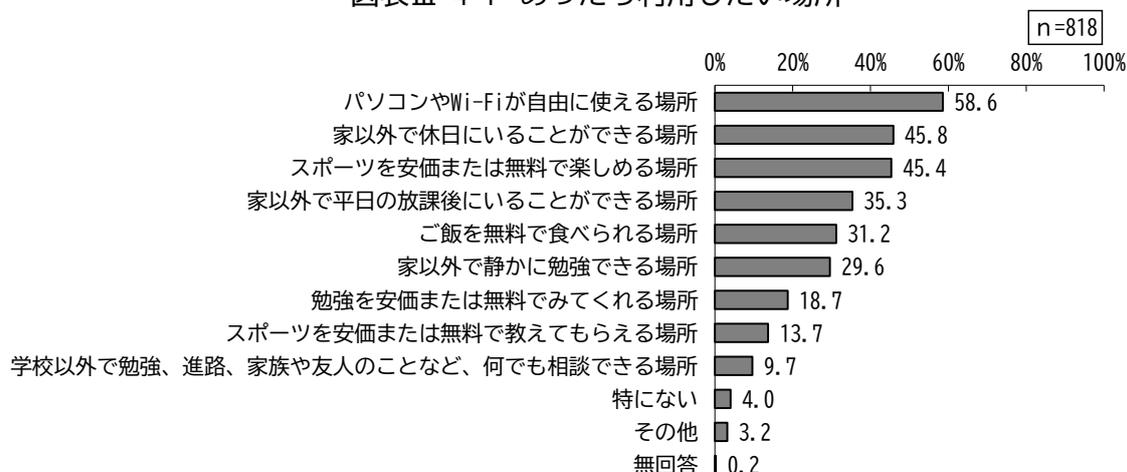
4 地域での居場所に関して

(1) あったら利用したい場所

問 あなたは、以下のような場所が市内にあったら利用したいと思いますか。
(あてはまるもの3つに○)

- あったら利用したい場所については、「パソコンや Wi-Fi が自由に使える場所」が 58.6%と最も多くなっています。次いで「家以外で休日にいることができる場所」が 45.8%、「スポーツを安価または無料で楽しめる場所」が 45.4%となっています。

図表Ⅲ-4-1 あったら利用したい場所

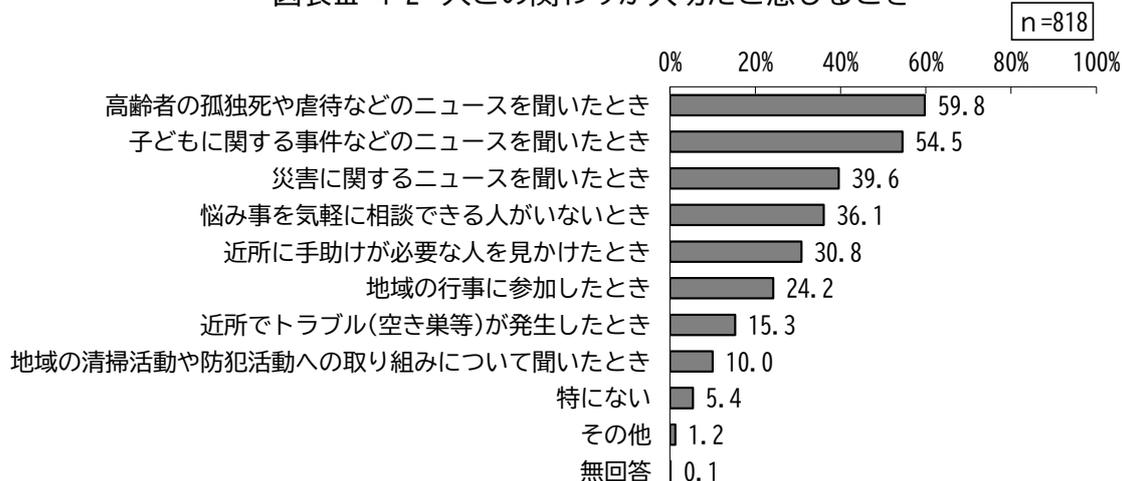


(2) 人との関わりが大切だと感じる時

問 あなたはどのようなときに、人との関わりが大切だと感じますか。
(あてはまるもの3つに○)

- 人との関わりが大切だと感じる時については、「高齢者の孤独死や虐待などのニュースを聞いたとき」が 59.8%と最も多くなっています。次いで「子どもに関する事件などのニュースを聞いたとき」が 54.5%、「災害に関するニュースを聞いたとき」が 39.6%となっています。

図表Ⅲ-4-2 人との関わりが大切だと感じる時



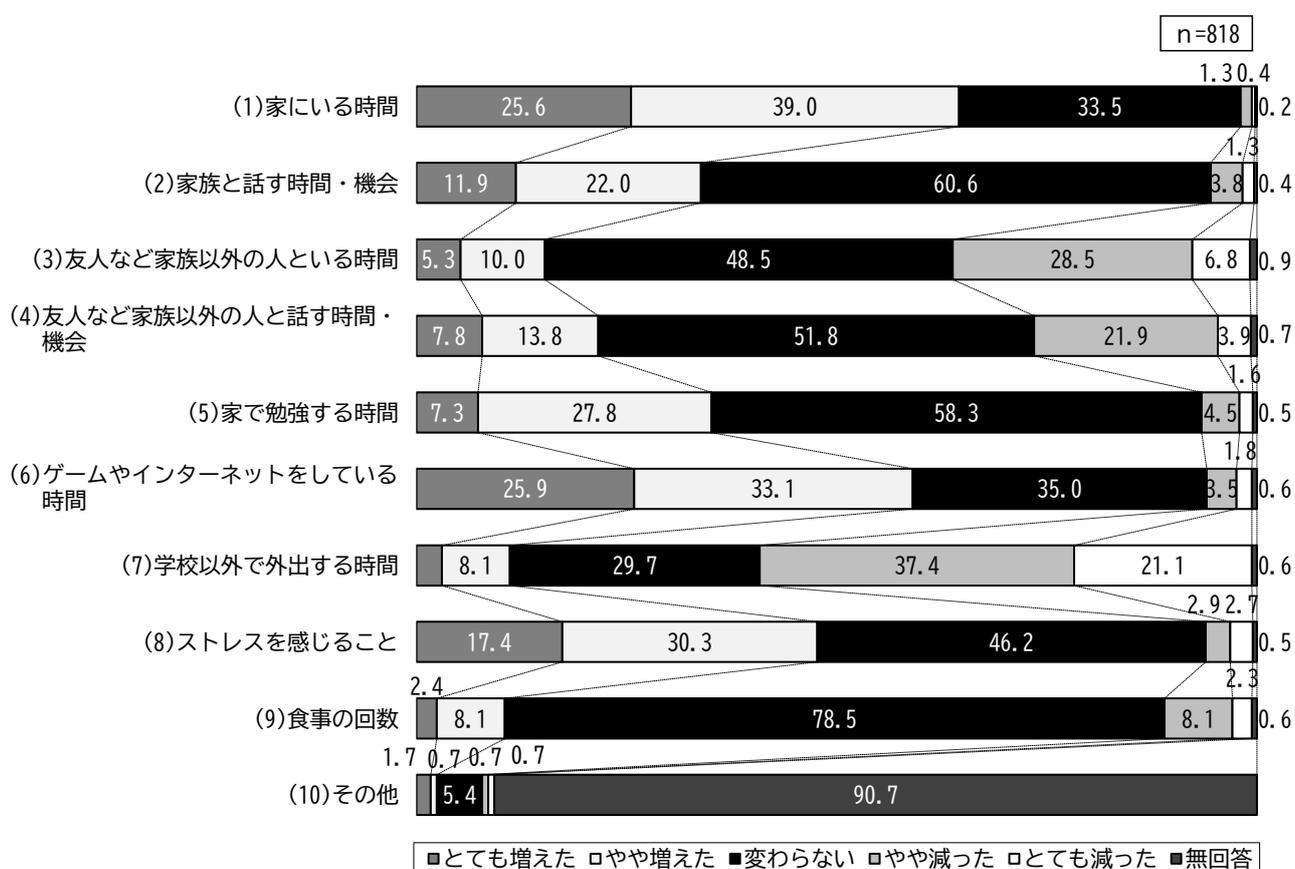
5 新型コロナウイルス感染症について

(1) 感染症拡大による日常の変化

問 感染症の流行により、現在のあなたの生活はどのように変わりましたか。
(1つに○)

○ 感染症拡大による日常の変化のすべての項目のなかで、「とても増えた」と回答した割合が最も高いのは「(1) 家にいる時間」(25.6%)、「とても減った」と回答した割合が最も高いのは「(7) 学校以外で外出する時間」(21.1%)となっています。

図表Ⅲ-5-1 感染症拡大による日常の変化



		(n=818)	
		回答数	構成比
(1) 家にいる時間	1	とても増えた	209 25.6%
	2	やや増えた	319 39.0%
	3	変わらない	274 33.5%
	4	やや減った	11 1.3%
	5	とても減った	3 0.4%
			無回答
(2) 家族と話す時間・機会	1	とても増えた	97 11.9%
	2	やや増えた	180 22.0%
	3	変わらない	496 60.6%
	4	やや減った	31 3.8%
	5	とても減った	11 1.3%
			無回答
(3) 友人など家族以外の人といる時間	1	とても増えた	43 5.3%
	2	やや増えた	82 10.0%
	3	変わらない	397 48.5%
	4	やや減った	233 28.5%
	5	とても減った	56 6.8%
			無回答
(4) 友人など家族以外の人と話す時間・機会	1	とても増えた	64 7.8%
	2	やや増えた	113 13.8%
	3	変わらない	424 51.8%
	4	やや減った	179 21.9%
	5	とても減った	32 3.9%
			無回答
(5) 家で勉強する時間	1	とても増えた	60 7.3%
	2	やや増えた	227 27.8%
	3	変わらない	477 58.3%
	4	やや減った	37 4.5%
	5	とても減った	13 1.6%
			無回答
(6) ゲームやインターネットをしている時間	1	とても増えた	212 25.9%
	2	やや増えた	271 33.1%
	3	変わらない	286 35.0%
	4	やや減った	29 3.5%
	5	とても減った	15 1.8%
			無回答

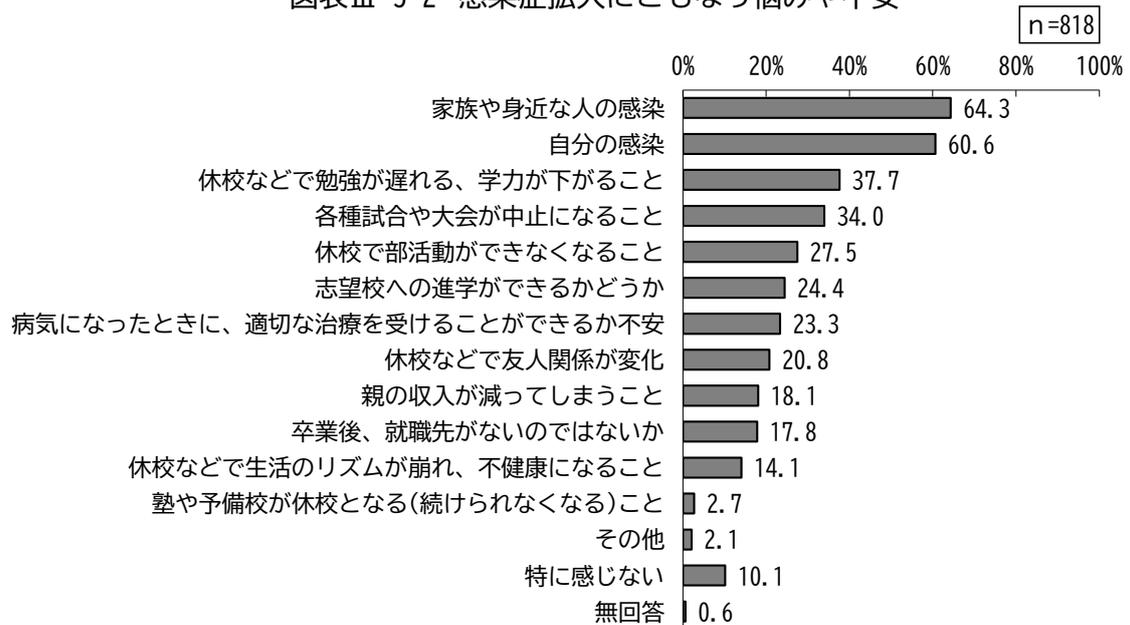
		回答数	構成比
(7) 学校以外で外出する時間	1 とても増えた	25	3.1%
	2 やや増えた	66	8.1%
	3 変わらない	243	29.7%
	4 やや減った	306	37.4%
	5 とても減った	173	21.1%
	無回答	5	0.6%
(8) ストレスを感じること	1 とても増えた	142	17.4%
	2 やや増えた	248	30.3%
	3 変わらない	378	46.2%
	4 やや減った	24	2.9%
	5 とても減った	22	2.7%
	無回答	4	0.5%
(9) 食事の回数	1 とても増えた	20	2.4%
	2 やや増えた	66	8.1%
	3 変わらない	642	78.5%
	4 やや減った	66	8.1%
	5 とても減った	19	2.3%
	無回答	5	0.6%
(10) その他	1 とても増えた	14	1.7%
	2 やや増えた	6	0.7%
	3 変わらない	44	5.4%
	4 やや減った	6	0.7%
	5 とても減った	6	0.7%
	無回答	742	90.7%

(2) 感染症拡大にともなう悩みや不安

問 感染症の流行により、不安や悩みを感じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 感染症拡大にともなう悩みや不安については、「家族や身近な人の感染」が64.3%と最も多くなっています。次いで「自分の感染」が60.6%、「休校などで勉強が遅れる、学力が下がること」が37.7%となっています。

図表Ⅲ-5-2 感染症拡大にともなう悩みや不安



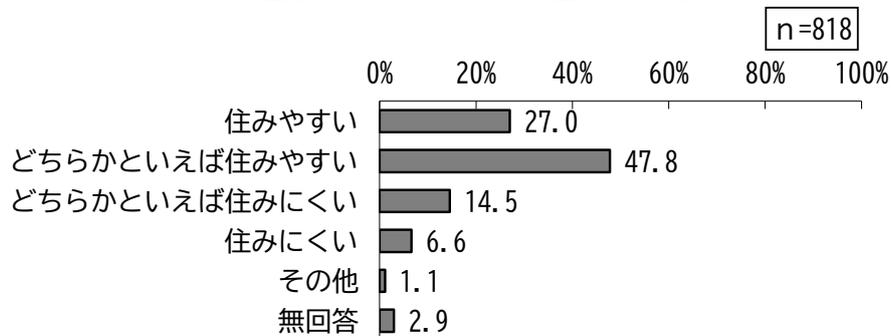
6 むつ市のことや将来のことについて

(1) むつ市の住みやすさ

問 総合的にみて、現在のむつ市の「住みやすさ」はいかがですか。市外に住んでいる方は、むつ市の住みやすさについてお聞かせください。(1つに○)

- むつ市の住みやすさについては、「どちらかといえば住みやすい」が 47.8%と最も多くなっています。次いで「住みやすい」が 27.0%、「どちらかといえば住みにくい」が 14.5%となっています。
- 「住みやすい」と「ちらかといえば住みやすい」を合わせた、むつ市が『住みやすい』割合は、男性が 72.1%、女性が 78.0%、中学生が 79.2%、高校生が 70.7%となっています。

図表Ⅲ-6-1 むつ市の住みやすさ



図表Ⅲ-6-2 むつ市の住みやすさ (性別・学生区分別)

	住みやすい	どちらかとい えば住み やすい	どちらかとい えば住み にくい	住みにくい	その他	無回答
男性 (n=405)	26.9%	45.2%	15.8%	6.4%	2.0%	3.7%
女性 (n=391)	27.4%	50.6%	12.8%	6.6%	0.3%	2.3%
中学生 (n=399)	36.1%	43.1%	11.8%	4.3%	0.8%	4.0%
高校生 (n=419)	18.4%	52.3%	17.2%	8.8%	1.4%	1.9%

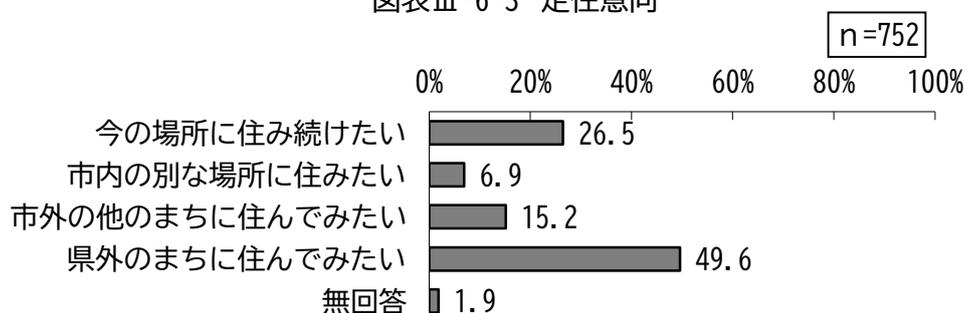
(2) 定住意向

【むつ市に住んでいる方のみ】

問 これからもむつ市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- むつ市に居住している方(n=752)の定住意向については、「県外のまちに住んでみたい」が49.6%と最も多くなっています。次いで「今の場所に住み続けたい」が26.5%、「市外の他のまちに住んでみたい」が15.2%となっています。
- 「今の場所に住み続けたい」と「市内の別な場所に住みたい」を合わせた、むつ市内に定住意向がある割合は、男性が35.0%、女性が32.4%、中学生が48.2%、高校生が16.9%となっています。

図表Ⅲ-6-3 定住意向



図表Ⅲ-6-4 定住意向（性別・学生区分別）

	今の場所に 住み続けたい	市内の別な場 所に住みたい	市外の他のま ちに住んでみ たい	県外のまちに 住んでみたい	無回答
男性 (n=372)	28.8%	6.2%	14.2%	48.1%	2.7%
女性 (n=361)	24.9%	7.5%	16.1%	50.4%	1.1%
中学生 (n=396)	39.4%	8.8%	13.9%	36.4%	1.5%
高校生 (n=356)	12.1%	4.8%	16.6%	64.3%	2.2%

図表Ⅲ-6-5 定住意向（むつ市の住みやすさ別）

	今の場所に 住み続けたい	市内の別な場 所に住みたい	市外の他のま ちに住んでみ たい	県外のまちに 住んでみたい	無回答
住みやすい (n=209)	49.3%	6.7%	11.0%	32.1%	1.0%
どちらかといえば 住みやすい (n=363)	22.3%	8.0%	17.6%	51.2%	0.8%
どちらかといえば 住みにくい (n=108)	9.3%	6.5%	14.8%	66.7%	2.8%
住みにくい(n=47)	0.0%	2.1%	10.6%	87.2%	0.0%

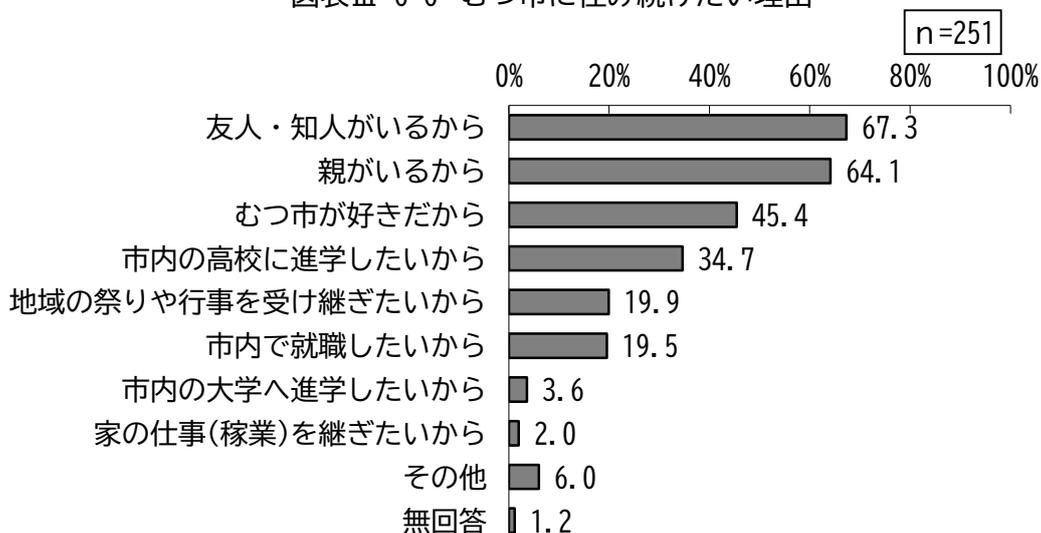
(3) むつ市に住み続けたい理由

【前問で「今の場所に住み続けたい」または「市内の別の場所に住みたい」を選んだ方のみ】

問 これからもむつ市に住み続けたい理由を教えてください。
(あてはまるもの3つに○)

- 前問でむつ市に「住み続けたい」と回答した方(n=251)のむつ市に住み続けたい理由については、「友人・知人がいるから」が67.3%と最も多くなっています。次いで「親がいるから」が64.1%、「むつ市が好きだから」が45.4%となっています。
- 中学生は「市内の高校に進学したいから」が上位に挙がっています。

図表Ⅲ-6-6 むつ市に住み続けたい理由



図表Ⅲ-6-7 むつ市に住み続けたい理由（性別・学生区分別：上位3項目）

	第1位	第2位	第3位
男性 (n=130)	友人・知人がいるから 66.9%	親がいるから 57.7%	むつ市が好きだから 47.7%
女性 (n=117)	親がいるから 71.8%	友人・知人がいるから 67.5%	むつ市が好きだから 43.6%
中学生 (n=191)	友人・知人がいるから 71.7%	親がいるから 67.0%	市内の高校に進学したいから 45.5%
高校生 (n=60)	親がいるから 55.0%	友人・知人がいるから 53.3%	むつ市が好きだから 46.7%

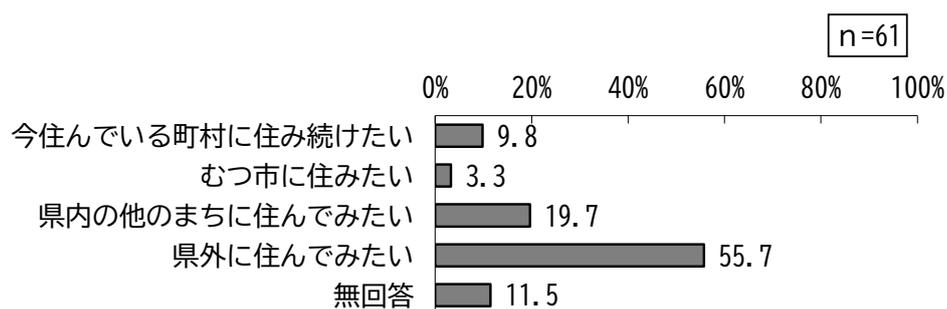
(4) 将来住みたいまち

【むつ市外に住んでいる方のみ】

問 あなたが将来、住みたいと思う場所はどこですか。(1つに○)

- おつ市以外に居住している方(n=61)の将来住みたいまちについては、「県外に住んでみたい」が55.7%と最も多くなっています。次いで「県内の他のまちに住んでみたい」が19.7%、「今住んでいる町村に住み続けたい」が9.8%となっています。

図表Ⅲ-6-8 将来住みたいまち



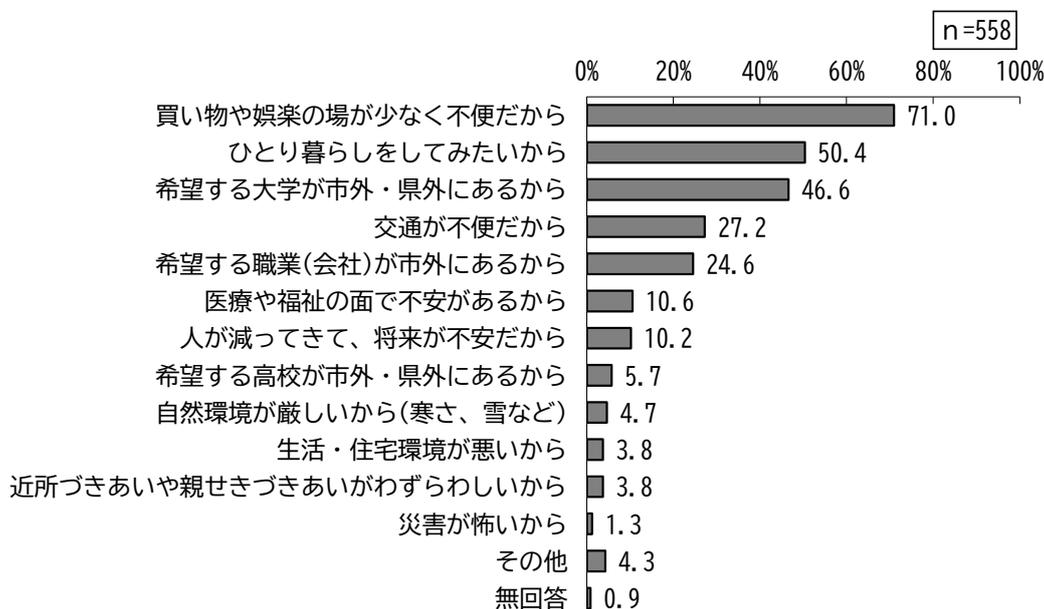
(5) むつ市に住み続けたいと思えない理由

【(2)・(4)で「むつ市外に住んでみたい」または「県外に住んでみたい」を選んだ方のみ】

問 県内の他のまちや県外に住んでみたい理由、むつ市に住み続けたいと思えない理由について、あなたの考えに近いものを教えてください。
(あてはまるものすべてに○)

- (2)・(4)で「むつ市または青森県外に住んでみたい」と回答した方(n=558)のむつ市に住み続けたいと思えない理由については、「買い物や娯楽の場が少なく不便だから」が71.0%と最も多くなっています。次いで「ひとり暮らしをしてみたいから」が50.4%、「希望する大学が市外・県外にあるから」が46.6%となっています。

図表Ⅲ-6-9 むつ市に住み続けたいと思えない理由



図表Ⅲ-6-10 むつ市に住み続けたいと思えない理由(学生区分別：上位3項目)

	第1位	第2位	第3位
中学生 (n=269)	買い物や娯楽の場が少なく不便だから 67.3%	ひとり暮らしをしてみたいから 44.4%	希望する大学が市外・県外にあるから 28.5%
高校生 (n=271)	買い物や娯楽の場が少なく不便だから 73.3%	希望する大学が市外・県外にあるから 57.8%	ひとり暮らしをしてみたいから 54.1%

(6) 将来就きたい職業

問 あなたは、将来どのような職業につきたいと考えていますか。
(あてはまるもの3つに○)

- 将来就きたい職業については、「医療関係(医師・看護師・薬剤師・理学療法士等)」が 21.0%と最も多くなっています。次いで「公務員」が 20.5%、「スポーツ関係」が 18.3%となっています。

図表Ⅲ-6-11 将来就きたい職業

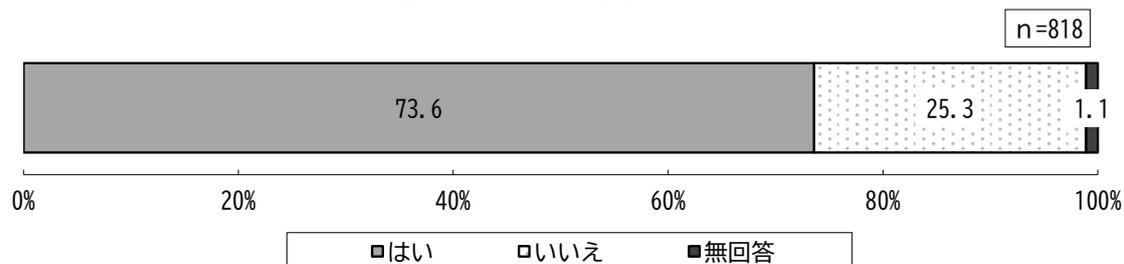


(7) 家族形成意向

問 あなたは、将来家族（親や兄弟以外）を持ちたいと思っていますか。理由もあわせて教えてください。（1つに○）

- 家族形成意向については、「はい（家族を持ちたい）」が73.6%、「いいえ（家族を持ちたくない）」が25.3%となっています。

図表Ⅲ-6-12 家族形成意向

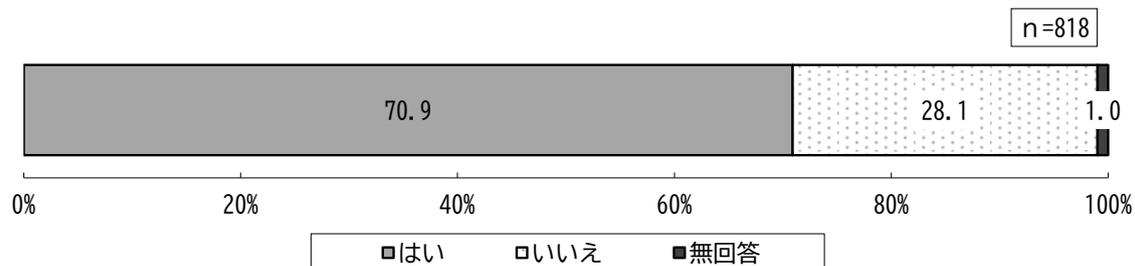


(8) 子育て意向

問 あなたは、将来子どもを育てたいと思いますか。理由もあわせて教えてください。（1つに○）

- 子育て意向については、「はい（子どもを育てたい）」が70.9%、「いいえ（子どもを育てたくない）」が28.1%となっています。

図表Ⅲ-6-13 子育て意向

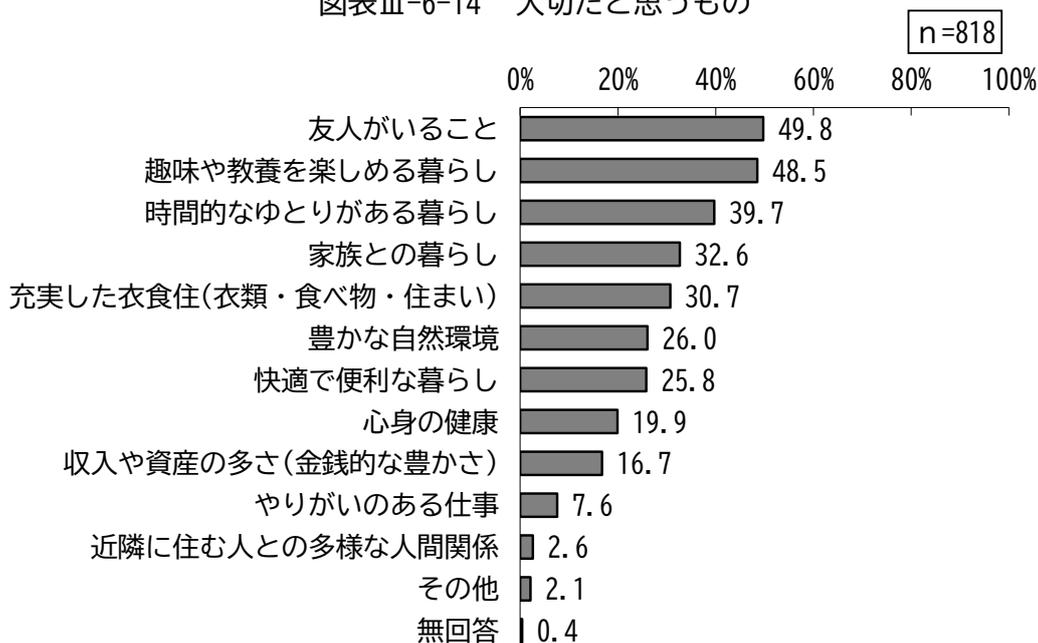


(9) 大切だと思うもの

問 あなたにとって「幸せだな」「豊かだな」と感じるもの（大切なもの）は何ですか。あなたの考えに近いものを教えてください。（あてはまるもの3つに○）

- 大切だと思うものについては、「友人がいること」が49.8%と最も多くなっています。次いで「趣味や教養を楽しめる暮らし」が48.5%、「時間的なゆとりがある暮らし」が39.7%となっています。

図表Ⅲ-6-14 大切だと思うもの

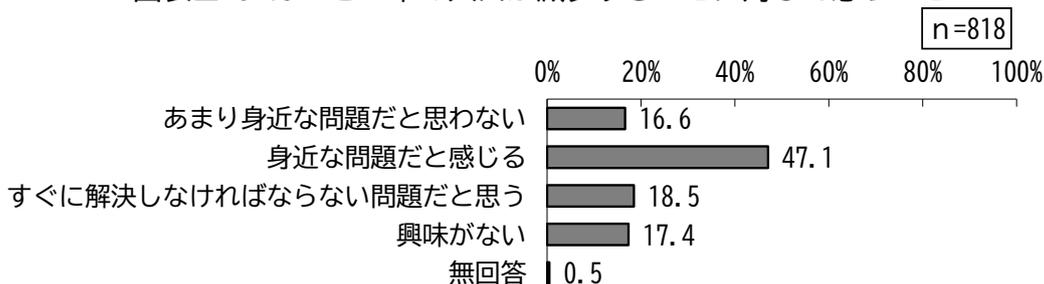


(10) むつ市の人口が減少することに対して思うこと

問 令和2年に改定された「むつ市人口ビジョン」では、今後もむつ市の人口は減少が続くことが予想されていますが、お住まいの地域の人口が減ることについて、あなたはどのように思いますか。（1つに○）

- 人口が減少することに対して思うことについては、「身近な問題だと感じる」が47.1%と最も多くなっています。次いで「すぐに解決しなければならない問題だと思う」が18.5%、「興味がない」が17.4%となっています。

図表Ⅲ-6-15 むつ市の人口が減少することに対して思うこと



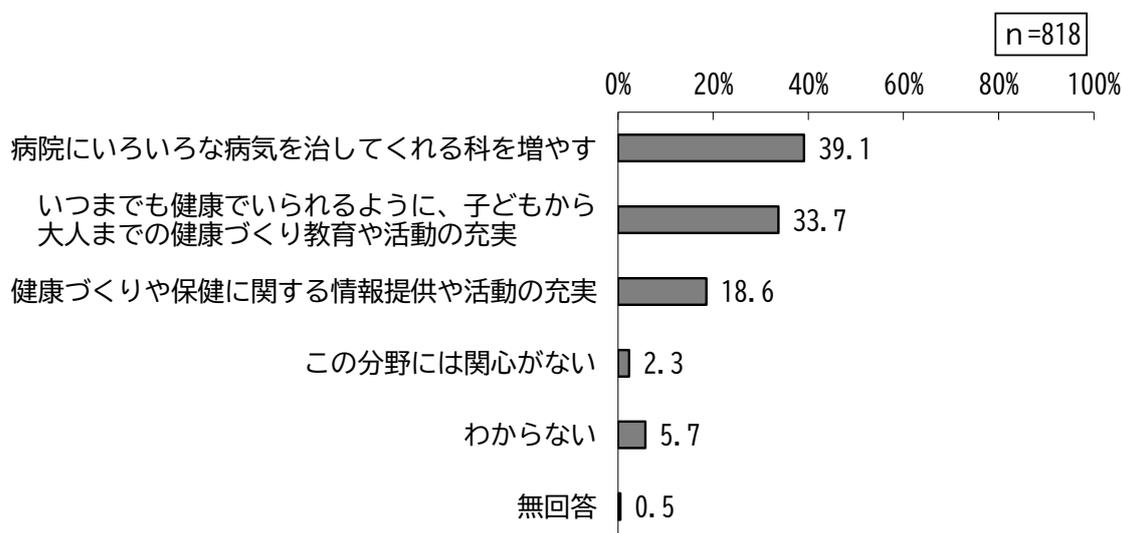
(11) むつ市に必要だと思う取り組み

問 むつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思う項目を1つずつ選んで○をつけてください。

ア 保健医療関係

○ むつ市に必要だと思う保健医療関係の取り組みについては、「病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やす」が39.1%と最も多くなっています。次いで「いつまでも健康でいられるように、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実」が33.7%、「健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実」が18.6%となっています。

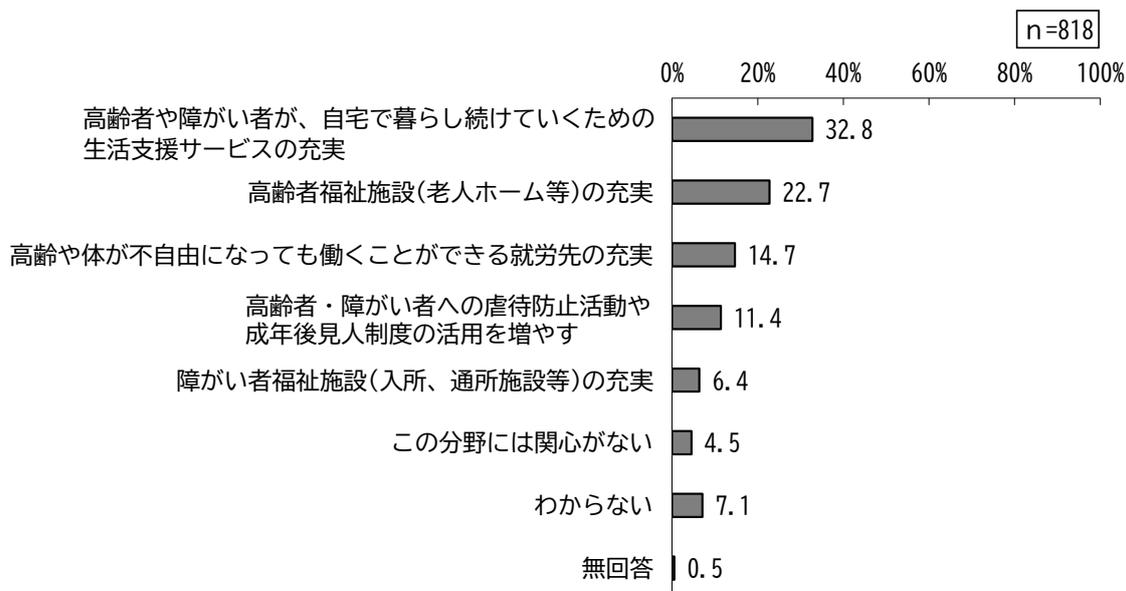
図表Ⅲ-6-16 保健医療関係



イ 高齢者・障がい者

- おつ市に必要なと思う高齢者・障がい者に関する取り組みについては、「高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実」が32.8%と最も多くなっています。次いで「高齢者福祉施設(老人ホーム等)の充実」が22.7%、「高高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実」が14.7%となっています。

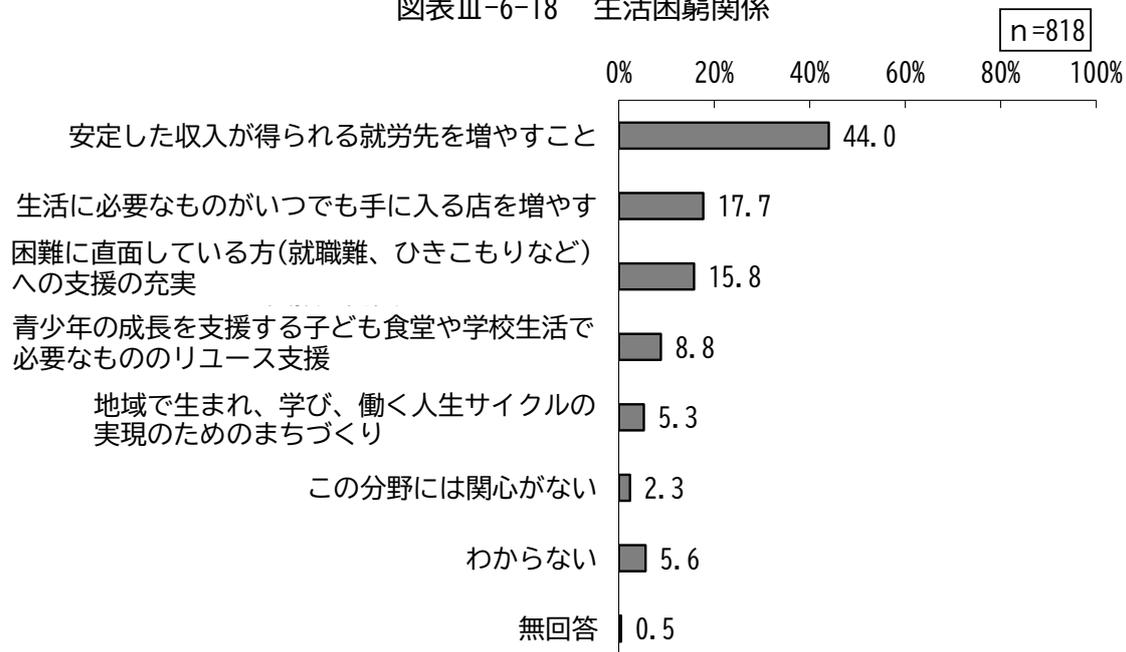
図表Ⅲ-6-17 高齢者・障がい者



ウ 生活困窮関係

- おつ市に必要なと思う生活困窮関係の取り組みについては、「安定した収入が得られる就労先を増やすこと」が44.0%と最も多くなっています。次いで「生活に必要なものがいつでも手に入る店を増やす」が17.7%、「困難に直面している方(就職難、ひきこもりなど)への支援の充実」が15.8%となっています。

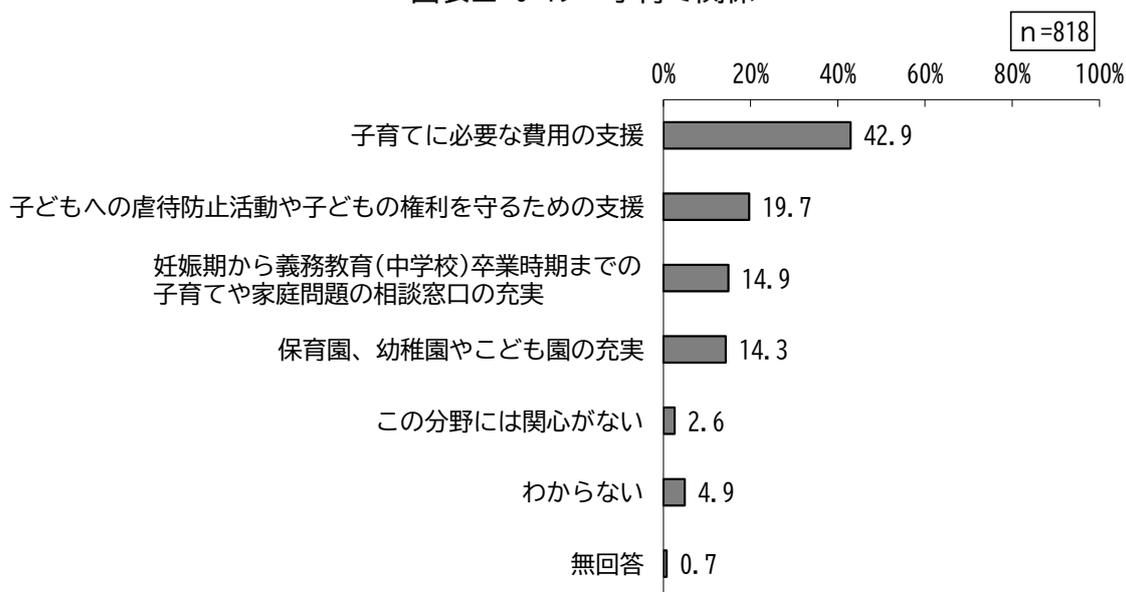
図表Ⅲ-6-18 生活困窮関係



エ 子育て関係

- おつ市に必要なだと思う子育て関係の取り組みについては、「子育てに必要な費用の支援」が 42.9%と最も多くなっています。次いで「子どもへの虐待防止活動や子どもの権利を守るための支援」が 19.7%、「妊娠期から義務教育(中学校)卒業時期までの子育てや家庭問題の相談窓口の充実」が 14.9%となっています。

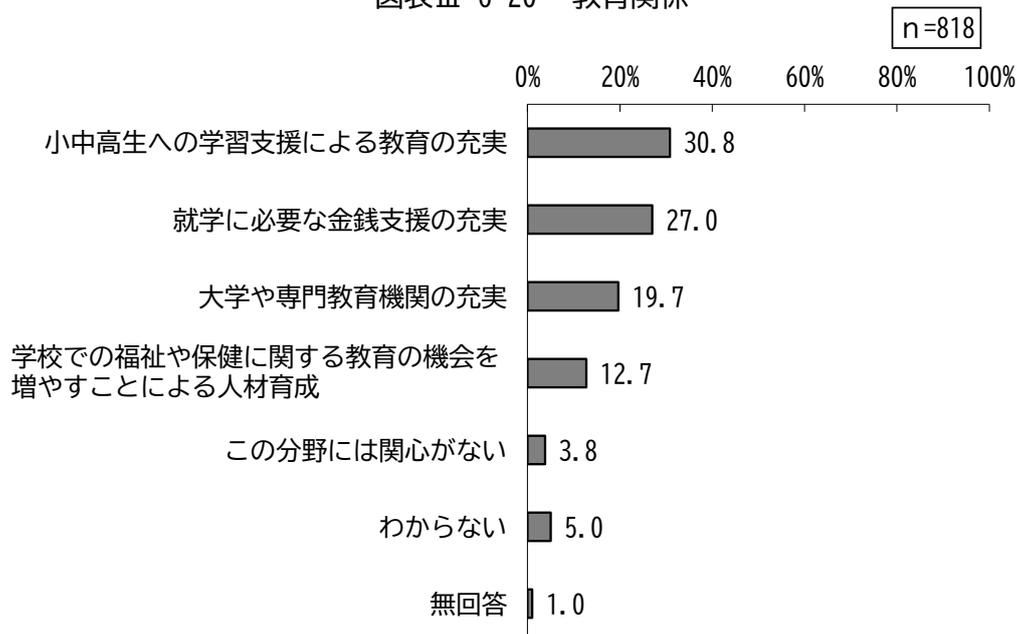
図表Ⅲ-6-19 子育て関係



オ 教育関係

- おつ市に必要なと思う教育関係の取り組みについては、「小中高生への学習支援による教育の充実」が 30.8%と最も多くなっています。次いで「就学に必要な金銭支援の充実」が 27.0%、「大学や専門教育機関の充実」が 19.7%となっています。

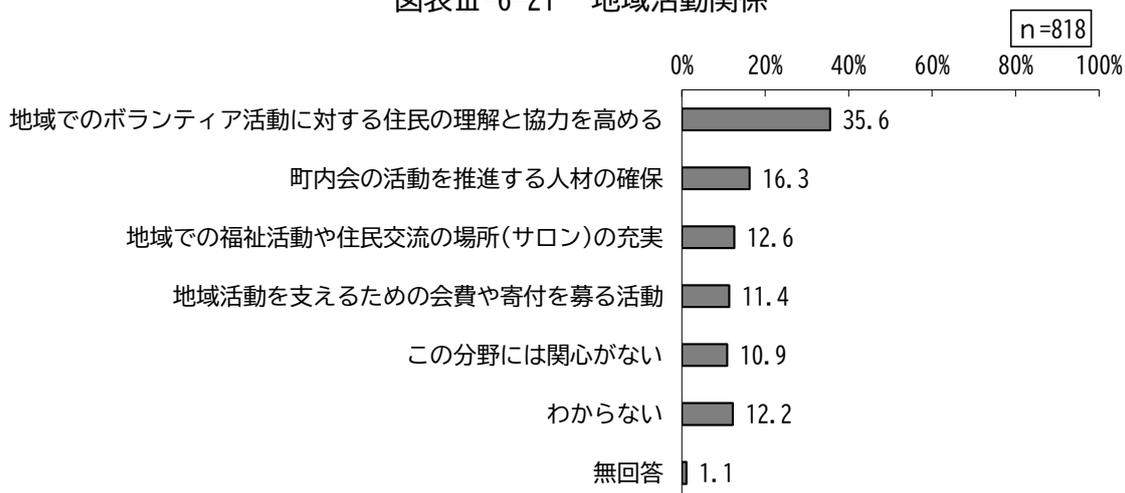
図表Ⅲ-6-20 教育関係



カ 地域活動関係

- むつ市に必要なと思う地域活動関係の取り組みについては、「地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める」が 35.6%と最も多くなっています。次いで「町内会の活動を推進する人材の確保」が 16.3%、「地域での福祉活動や住民交流の場所(サロン)の充実」が 12.6%となっています。

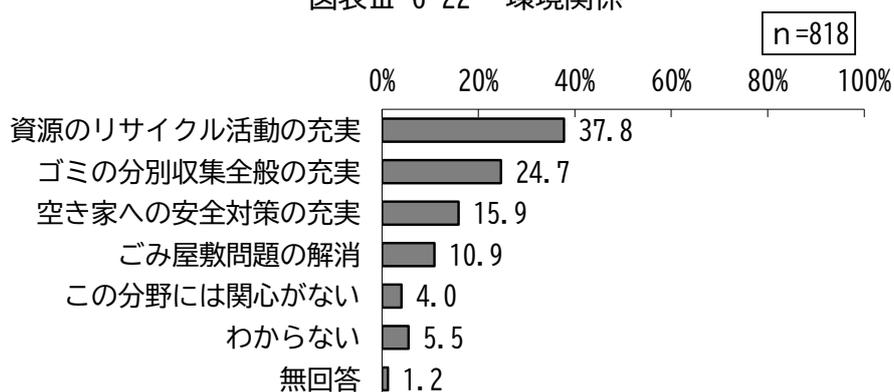
図表Ⅲ-6-21 地域活動関係



キ 環境関係

- むつ市に必要なと思う環境関係の取り組みについては、「資源のリサイクル活動の充実」が 37.8%と最も多くなっています。次いで「ゴミの分別収集全般の充実」が 24.7%、「空き家への安全対策の充実」が 15.9%となっています。

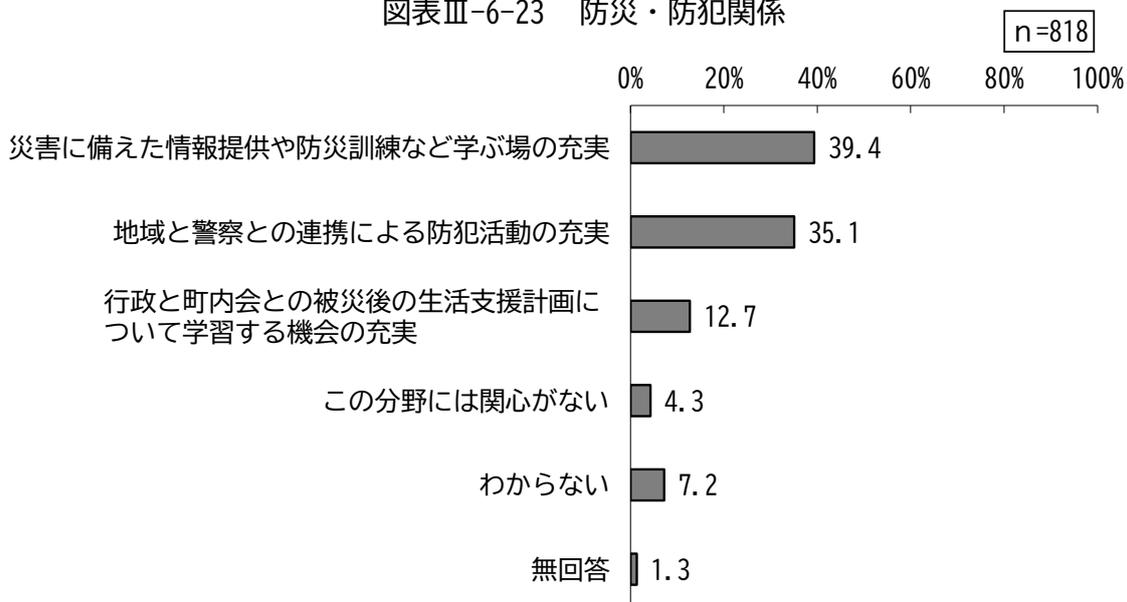
図表Ⅲ-6-22 環境関係



ク 防災・防犯関係

- おつ市に必要なと思う防災・防犯関係の取り組みについては、「災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実」が 39.4%と最も多くなっています。次いで「地域と警察との連携による防犯活動の充実」が 35.1%、「行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実」が 12.7%となっています。

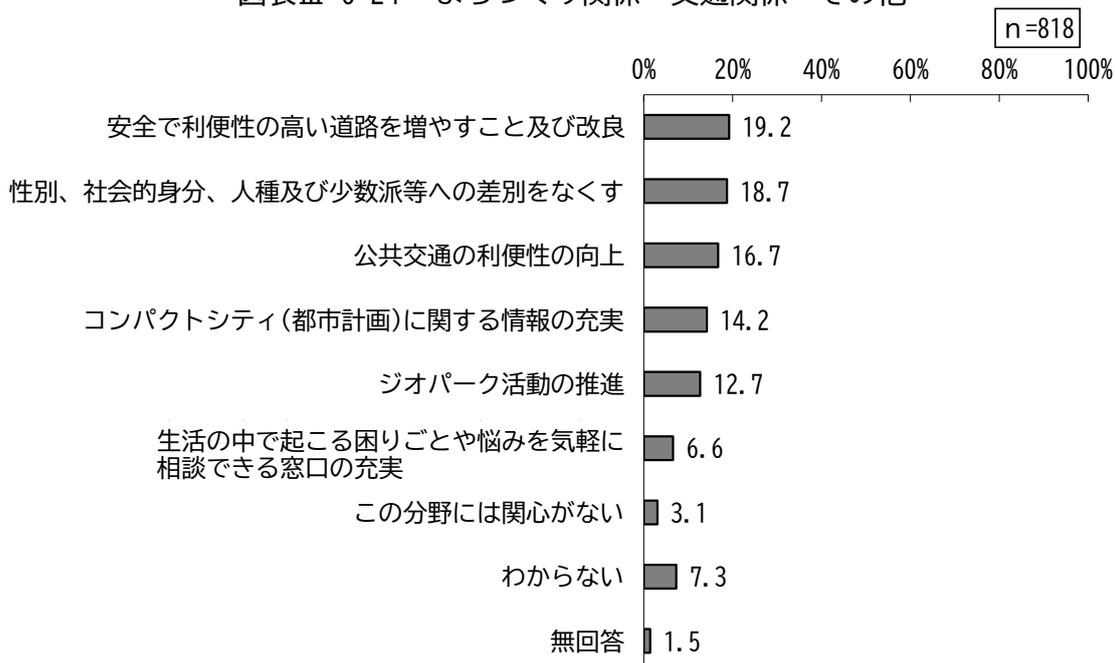
図表Ⅲ-6-23 防災・防犯関係



ケ まちづくり関係・交通関係・その他

- おつ市に必要なと思うまちづくり関係・交通関係・その他に関する取り組みについては、「安全で利便性の高い道路を増やすこと及び改良」が 19.2%と最も多くなっています。次いで「性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別をなくす」が 18.7%、「公共交通の利便性の向上」が 16.7%となっています。

図表Ⅲ-6-24 まちづくり関係・交通関係・その他

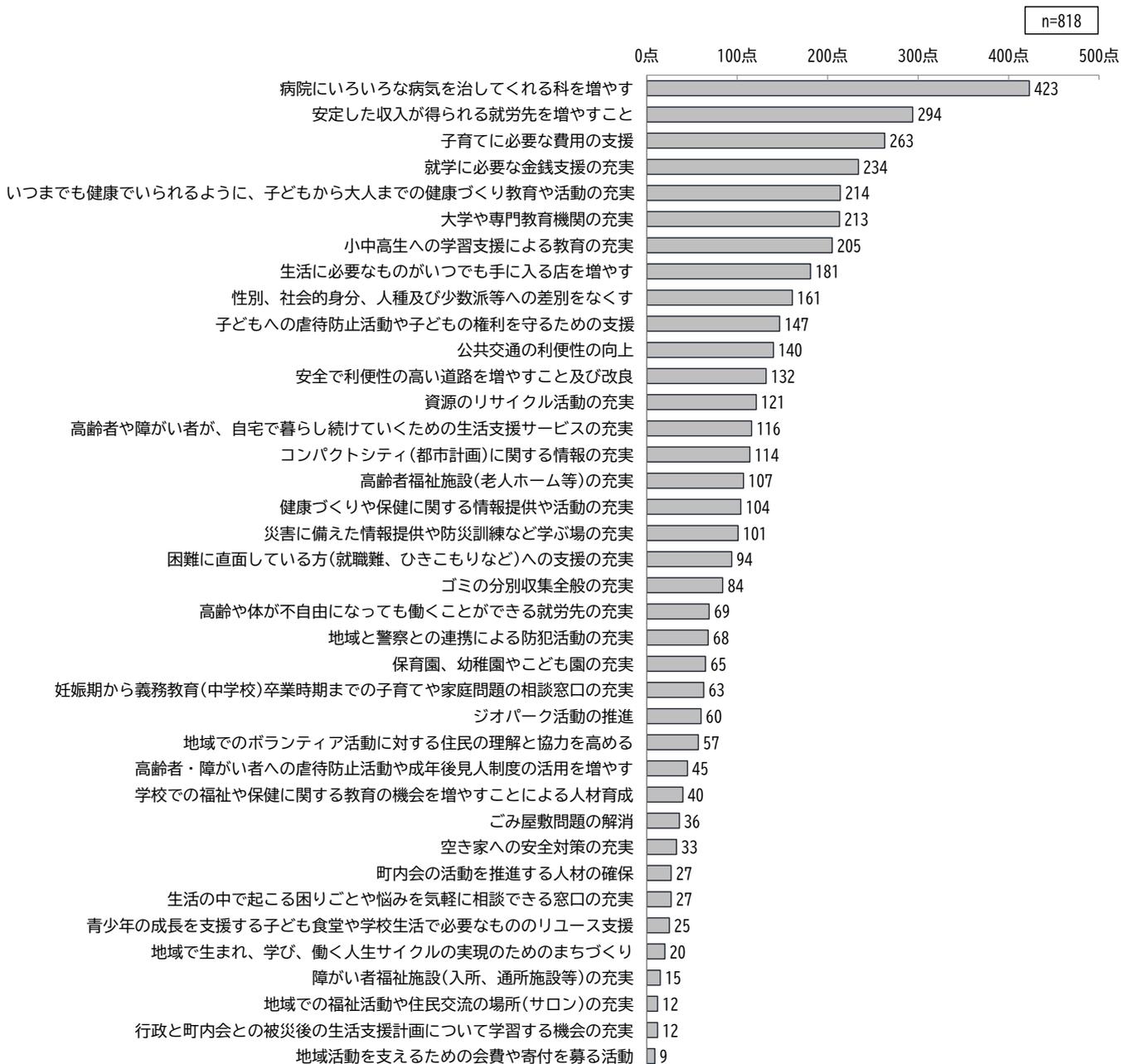


(12) むつ市に最も取り組んでほしいこと

問 前問で選んだ項目の中から、もっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選んでください。

- むつ市に最も取り組んでほしいことについては、「病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やす」が423点と最も多くなっています。次いで「安定した収入が得られる就労先を増やすこと」が294点、「子育てに必要な費用の支援」が263点となっています。

図表Ⅲ-6-25 むつ市に最も取り組んでほしいこと



※1位を「3点」、2位を「2点」、3位を「1点」として合計点数を算出しています。

IV 資料編

1 今後の地域福祉への意見

今後もっとも取り組んでほしいことについてアンケート調査に寄せられた、自由意見の抜粋を掲載します。(寄せられた意見は、原文をそのまま掲載しております)

(1) 一般市民

◎ 健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実

健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実に寄せられた自由意見
情報提供にとどまることなく、具体的な学習機会を設定してほしい。
広報等でもっと健康食のメニューを載せて欲しいです。
何より心身が健康であることが大事。健康教育活動で寝たきり老人、引きこもり、不登校を減らすべし。
退職者に対する健康指導の一環として、生涯スポーツの教育、指導。特にパチンコゲームの遊興者に対し、健康的な活動へ誘導する方策の検討を望む。
子供の医療費6歳以降も無料になってくれるとありがたいです。
未就学児童のうち医療費がかからないが、ケガや虫歯リスクが増える小学生、中学生も医療費の軽減をして欲しい。もともと体が弱い子や持病、アレルギーで通院するにも医療費が家計を圧迫しているので通うことができなくなります。
高齢化社会に向けて高齢者福祉施設の充実に取り組んでいただきたい。施設で終末医療を受ける方が増えていくと考えています。
健康に過ごす為の健康作りの勉強する機会を増やす(過去に参加して、勉強会の大切さを知り多くを学びました)。特に子供の頃から食育、健康に関する学習が大切と考える。
健康寿命延ばす子供から大人までの健康づくりに期待したと思っています。
コロナウイルスに関連して。小中高生やお年寄りが外でもほぼマスクしている時点で、健康寿命を延ばすどころか寿命縮めると思います。世界的にもマスクの健康被害が報告されてますし、市の方ももう少し周知した方がいいのではないのでしょうか。

◎ 医療機関の診療科の充実

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
皆が安心して受診できるように医療費を考えると助かります。
利用する立場として、多い出費だなと感じてしまうため。
むつ病院は診察するのが時間かかる。待ち時間が多くて大変のため。あと、厳しい医師、患者にも怖い医師はどうかと思います。そういう医師がいるというだけで、通院したくても通院できない人がいると思います。そうなると健康寿命に繋がらないし、患者のためにもならない。
病院が少ない。むつ病院での待ち時間が長すぎる。
現在でもむつ総合病院の診療科は充実していると思いますが、内科や整形外科などは待ち時間が長く、もし可能であれば患者数に応じたお医者様が必要かと思われる。
診療時間が短く、仕事終わりに利用できない。病院を選ぶほど数が少ない。
現在コロナで収入が減少している人がいる為、医療費の支払いできない人がいると思う。
医師不足の改善

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
専門医の確保
むつ病院の待ち時間が長い状況であり、オンライン(待ち時間2時間、診療に1分)診療の導入を検討していただきたい。
むつ総合病院の改善。高度な医療技術による診療。診療体制全般の見直し(電子カルテ導入、受付、待ち時間の短縮等)。
診療科の種類が少ない。
今後安心して暮らせる医療環境の充実(各地区の医療施設の存続)。
むつ病院でも稼働してない診療科がある。全て稼働するようにしてほしい。
むつ総合病院。診療科の充実というよりも質の向上。安心して入院できない現状がある。研修制度の充実。又、医療従事者以外の院内勤務者への秘密厳守義務も求める。
大学病院から医師が来てくださっているが、常時勤務してほしい。
医療の充実により市民の平均寿命が上がり、県民の平均又むつ市が県内トップになり、住んでみたいむつ市になります。
名医がいる病院。
むつ病院に関して予約で行っても待ち時間が長すぎる。
医療難民地域からの脱却。
医療機関の診療科の充実は、専門性を高めるとともに医療レベルの高度化に繋がる。
産婦人科。現在はお産するに、むつ病院しかないの、先生、助産婦の充実お願い。眼科なども。市長が頑張っているのは良く知っています。頭が下がります。体調に気を付け、これからも…。
細かい病気についての専門的な診療所が少ないです。
低所得者に対する医療機関の診療の充実。
むつ市で大きい病院がむつ病院しかないのは不安です。またむつ病院も大畑からは遠いので、祖父母と暮らしているのですが、何かあった時に不安が大きいです。あまり良いうわさも聞かないですし。
医療の進歩に期待しています(今後の)。
小児科(市内のクリニック)や耳鼻科など、連携がとれていないのか、かかりつけ医が休診だったので他の所に行くと不機嫌な顔をされたり、ちゃんと診てもらえない。安心して診てもらえる環境を整えて欲しい。
個人病院も安心して受診できる、信頼できる医者が少ない。他市から来るとすごく不便。特に小児科。クセが強すぎて、子供が体調悪くても行くのをためらってしまう。コロナ前は他市まで受診していた。
むつ市は、他の市から比べてフレンドリーな従業員が多い。いいところでもあるが疑問に思うことが多い。あまりむつで病院へ行こうと思わない。節度ある対応を求む。病院だけではなく飲食店含む。
全ての医療従事者の方にはとても感謝しています。本当にありがとうございます。ただ100%安心しているかと言えばそうではなくて…。対応の良い所もあったり、充実していない部分もあるので、むつ市内で大きな病気をした時に、頼りにならないと感じています。
医療機関が少ないので少しでも増やして医療充実してほしい。
免許がないので交通には不便です。
所得の差が激しいと思う。
むつ市内で受診して、その後青森、弘前、八戸と再検査、入院を勧められるが、むつ市内でも検査、治療できるような病院にしてほしいです。
産婦人科が少ない。子供を産み育てていく上で女性はとても不安だと思います。産婦人科が少ない事で安心して子供を産めない不安があり、市外への流出もありえると思います。そして人口が減っていくのではないのでしょうか。
コロナ禍で、例え通院であっても市外には行きづらい状況なので、どんな病気でも市内に通える病院がある方が安心。また、現状むつ総合病院の評判はあまり良いとは言えないので改善も必要かと思っています。

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
むつ総合病院は、申し訳ないですが信用できません。入院できる病院が、一つしかないというのも問題だと思えます。産院もなくなってしまいますし、コンタクトレンズ取り扱いの眼科も1件しかありません。医療機関の充実を望みます。
むつ病院に行くと、いつも待ち時間が長い。医師の数が圧倒的に少なすぎる。
病院を選ぶ事が出来ない。特に婦人科を増やしてほしい。セカンドオピニオンを気軽に出来る様にしてほしい。動物病院も同様、専門医の紹介などしてほしい。
むつは大きい病院がむつ病院しかないので、いろんな病院に対応できる。
下北地域では大きな病院と言えばむつ総合病院だけです。なのになぜ専門分野の科がないのでしょうか。私は以前肺炎になりむつ病院へ行ってきましたが、なかなか治らず、青森中央病院へ行きました。その時初めて呼吸器内科という科を知りました。又、むつ病院で治せなければ専門の病院へ紹介する事も一つの方法だと思えます。なぜに入院をさせて治せないのか。患者に苦痛を味わせるだけです。
むつ市の病院は何処も待ち時間が長く、むつ市以外の病院を利用している人が多いので、遠くの病院を利用しなくても良いようにしてほしい。
バスで市外の病院に、通うのは大変です。看護師も、あまり評判は良くありません。
むつ総合病院の医療体制の充実。特に入院病棟の看護のレベルアップ。
医療機関での診察時間の長さ(むつ総合病院)
診療科の充実もそうですが、研修医が多く、まともな医療が受けられていないのではないかと不安になる。忙しいのは理解できるが、外来等では、患者の顔を見ず、薬を出す先生もいる。
選んで通院できる様、眼科の数を増やしてほしい。
専門の医師、科があると良い。例えば整形外科でも膝専門、腰専門とか、内科なら呼吸器内科があると嬉しい。
重い病気になった時、むつ市に住んでいたら助からないかもと、多くの人が思っています。そのような事がない平等な医療サービスが受けれる地域になって欲しいとも思っています。
市内病院での手術、入院等の充実。
「市民が安心して暮らせるむつ市」を目指すと思いますが、住む人にはむつは良い所だと思いますが、医療の面ではむつ市に住んでいることが残念です。専門医が少ないしむつ病院の尋常ではない待ち時間。個人病院に何年も通院しても良くならないので違う目線で診てほしくて、思い切ってむつ病院に行きましたが期待外れの診察でまた元の病院に通院して同じ薬を何年も飲んでいました。医療費を無駄に使っている感じだし、自己負担もばかになりません。市外の整形クリニックにむつ市から大勢の人が行っているようです。無料送迎バスが出ているとはいえ、わざわざ遠くのクリニックに行かなければならない現状で果たして安心して暮らせるのでしょうか。
むつ総合病院での待ち時間の長さや医師不足は慢性的であり、将来自分が病気になった時のことを考え不安があります。医療面の充実が一番の関心事です。
医療の地域格差は仕方ないと思うが、少しでも充実させてほしい。
車の運転ができなくなった時、医療を受けられるか心配。交通費も高いと聞いているので、高齢になっても受診できる様に近くの医療機関の充実を願います。
現在むつ病院に呼吸器内科がないので県病まで通院中です。むつ病院の循環器の先生の初期対応には幻滅しました(肺癌の対応についてです)。
むつ病院の診療科充実してほしい。診察の待ち時間の短縮。
診療科の充実だけでなく、医師の診察能力もあげてほしい。身体の不調を年だからで済ませず、きちんと精査してほしい。
アンケートの趣旨と違うかもしれませんが、参考にして頂ければ幸いです。時間的な関係で、個人経営の病院を利用しています。全ての病院を利用したわけではありませんので、一概に言えませんが診療は色々な面で他市に比べ、充実しているとは思えません。書く欄が無いので、詳しく書けませんが、色々な科があります。全般的に見ての意見です。むつ市の医療機関は、総合病院だけのことではないと思います。
以前、今後ともいつも気になっています。
総合病院とはいえ専門に診てくれる医師が少なく、結局遠い県や弘前等へ行かなければならないという不便があり、時間、費用の負担が増えるばかりである。
むつ病院の受付、診察、会計まで、もう少しスムーズにできないか。

医療機関の診療科の充実に寄せられた自由意見
むつ病院に行くのに大変な時があるので、大畑町内の病院の充実。
切に思いますが、今のままでもありがたいと思います。ただ、高齢者が多くなる眼科とか整形とか充実してほしい。
最新の医療機器を取り入れてほしいです。

◎ 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実

高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実に寄せられた自由意見
コロナ禍で外出できず、食材や下着などの買い物に行けていない人が身近にもいた。
広報むつ 2021年2月号で初めて特別障害者手当の制度を知り手続きをしました。今まで何年もこの制度がある事を知らないし、誰も(計画相談員)知らないし、教えていただけませんでした。もっと広報活動、計画相談員の知識向上を願います。
どこまで自宅で生活できるか。支援がないとできないかも。元気なうちは良いが。
高齢者や障害者が、自宅で暮らし続けていく為の生活支援サービスの充実。
我が家は高齢夫妻と知的障害者長女の三人家族で、一人でも健康を害すると、生活パターンが変わり困難になる。また近所人は高齢夫妻のみの世帯が多数あり、どちらかが倒れても生活が困難となる。
高齢な夫婦二人暮らしなので、一方が病気などで動けなくなった時に不安を感じる。[例]冬の雪片付け、屋根の雪おろし、草刈り等。
目が不自由で一人暮らし。書けないので代筆してもらっている。ヘルパーを週1回利用しているがもっと見守りがほしい。
歳をとってきたのでいつまでも自宅で暮らしたいと思う。
おじいちゃん、おばあちゃんとか、買い物に行くあしがなかつたりすると大変なので、移動販売車をやってもいいと思う。毎日じゃなくても決まった曜日に〇〇時～〇〇時まで居みたいにした方が良く思う。後は、近所の人が代わりに買い物に行くとか出来るような環境づくり。
高齢者、障害者の生活支援の充実がなければ、自身の就労、ひいては生活に大きな支障が出るし、生活支援を受ける本人のQOLにも多大な影響がある。
在宅で利用できるサービス(デイサービスや短期入所、訪問入浴や訪問介護)の空きがないとよく耳にするので、需要と供給のバランスが今はよくないかなと感じている。近い未来に親世代に介護が必要になった際、自分も仕事をしているので、日中の在宅時のサービスが使えないのはきっと困ると思うので気になっている。
最期まで住み慣れた地域で生活できるような支援の推進と、サービスの充実を切に願っている。施設に入ることが全てでないし、やはり「その人らしい生活」の提供が望ましいから。
退職近い父が一人暮らしをしていて、老人ホームより自分の家が落ち着くという気持ちを叶えてあげたい。そのためにデイサービスなど利用しやすいと助かる。
身体障害について。目に見える身体障害、例えば車椅子や杖の使用があるような人には、支援やサービスがあるが、目に見えづらい障害、例えば障害者手帳4級以下になると、適切な配慮を受けられることが少ない。例えば、自分で歩くことはできて、長距離の歩行は難しい場合、外出するとき家からバス停まで歩くのも困難、バスに乗るステップを上げるのも困難、椅子に座れば良いが座れなかったら立ちっぱなしで、足が痛い。降りる時もステップを降りるのが大変。そこから目的の用事を足して…と、とても厳しい。そうゆう、目に見えづらい身体障害者がいることも忘れずに、施策やサービスを作ってほしい。そして、サービスと言っても、一般市民にはとても理解しづらい。具体的に、こんなことに困ったらこのサービスがある、という順で広報してほしい。いつも、行政のサービスは市政だよりを見ても「～サービスができました。」という感じで、それでは困っている人に届きづらいと思う。「～でお困りの方」「〇〇手帳をお持ちの方へ」等、当事者へ届きやすい周知が必要だと思います。
どのような支援があるかわからない。
実家で一人暮らしをしている親は、現在デイサービスを利用しています。今後も支援を受けていくことが増えると思うので、本人、家族が気軽に相談できて不安を解消していけるよう手助けしてほしい。

高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実に寄せられた自由意見
自分自身、主人の両親を介護していました。ちょっとした手助けが必要な時、面倒な手続きのいらないボランティアがあったら、自宅で暮らせる人が増えるのではないかと思います。介護サービスだと食事だけ、掃除だけとか決まりがあり、不便だと思う。現在は働いていますが、休日にボランティアだったら手伝いできる。介護者にもお休みが必要だと思う。
骨折し寝たきりとなった親を介護できずリハビリテーション病院に入院させたが、支援が充実していれば自宅で介護もできると思うため。
去年、膝の手術で介護認定の事を言われて、まだ先だと思っていたので少し考えますと言ったが、認定を受けて足りない所はお世話になって、動く間は、自分の生活を守って、できる事は自分で、足りない所は福祉の力でと安心して暮らしていけるサービスをお願いして、一人暮らしでも大丈夫だと思える生活をしたいです。
できれば、自宅で暮らし続けたいと願っています。そのための支援を手厚くしていただけると嬉しいです。具体的にはまだ必要なく、あまり思い浮かびませんが、冬季の道路の除雪の時に置いていかれる雪を片付けるのは「戦い」のようです。
通院や買い物、サークル活動や趣味の場所へ行くための手段がなくなると(車)、老化が進みそうという不安がある。バスやタクシー等の利用が低額で、自宅から利用できる制度が必要。
施設の不自由な生活より、自宅で支援を受けながら暮らしたい。
年金生活になり自分の健康の不安や介護の不安(義の母)、生活費の不安等がまとまって来ます。生活支援サービス充実を願います。
自宅で暮らし続けたいが、一人でできないことが多々あります。その都度、人を頼んでお金がかかります。月に一度でも声をかけ支援する人があったらいつも思っています。
明日がどうなるかわからない歳ですけど、地域の人達と助け合い暮らしたいと思う。
いつかは一人になるのですが、やはり見まわり支援が頼りになります。

◎ 高齢者福祉施設の充実

高齢者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
高齢者の人が安心して生活できる施設を増やすといいと思います。
施設を束ねる長の育成。
両親が高齢者施設を利用したが、一人あたり消耗品混みで月に12、3万円支払っていた。2人もほぼ年金でまかなえたが、我々夫婦は満額になっても両親より年金が少ないので、心配。施設を増やせば利用料金が安くなるとは思わないが、これからもっと高齢者が増えると思うので、安心した老後を迎えたいと切に思っている。
入所待ちの解消のための充実。
最期(亡くなる)まで介護していただける施設の充実を。
施設入居希望しても、希望者が多く入居できないのが現状です。その分家族への負担軽減に取り組んでいただきたい。
高齢者福祉施設の充実。施設利用の内容について複雑でよく理解できない。広報誌等でのわかる説明が必要です。
祖母が老人ホームに入っているが、そろそろ出なければなりません。介護度は低いと言われているが、家でみるのは各々仕事があり叶わない。誰かが辞めると経済的に大変なので、違う老人ホームに入れる予定だが、空きも少なく今より金額も上がるのですごく悩んでいる。年金でギリギリでも良いので入れるところがあれば良いのにと思う。
介護関係で働く労働者の賃金上昇。待遇の改善。
老人ホームに入所希望したらすぐに入所出来るようにして欲しい。
現在50才代で親(母)と二人暮らしです。将来的には福祉施設に自分も含めてお世話になると思うので。

高齢者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
現在むつ市下北地域によっては高齢者の独り暮らしが多く見られます。その為、認知症になるケースも増えてきている様にも思われ、その時施設に入居検討も家族のものは考えます。その手続きの多さにはびっくりし、又時間も無く認知症と向き合いながらの自分の仕事、本当に大変だと思います。認知度、介護度によって利用できるサービスや施設も限られ、入居させたくても料金の問題もあり、結局年金だけでは無理な状況になり、これから認知症の方が多くなると思うので、もっと施設を増やすべきです。
老人ホーム入所希望しても、なかなか順番が来なく、本人は不自由な思いをして生活している。
我が家にも高齢者と障害者がいるので、入りたい時に入れる施設があればと思います。
現在、コロナの対応で保健所が上十三地域に親の住所がある事で、むつ地域の在中が少し大変です。上十三の施設には良くして頂いております。むつ市の施設では所管が違うのでと断られました。
寝たきりの介護の母の介護をしているので、老人ホームの入所も頭に入れた方が良いのではないかと思います。
母親が認知症になり入所して5～6年になる。特養に入所できないため不安な毎日。
入居を希望してもすぐには入れないという実情です。費用の面でもなかなか厳しいと聞きます。
身近に高齢な親をかかえ、施設に空きがないとか、一度出ると同じ所には入れないとか、いろいろ聞きます。人生の最後を施設でむかえることが多くなりました。自分もそうだと思います。心穏やかに過ごせるよう、施設の充実をお願いします。
高齢者福祉施設が足りないと聞きます。核家族になり老人ホームが必要となります。安心して入所できるようになれば良いと思います。

◎ 障がい者福祉施設の充実

障がい者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
入所・通所だけでなく、家以外にサロンの様な居場所が必要。
入所したくてもすぐに入れないと聞いている。
障害者の施設はまちから遠いところや山の中にあるイメージである。もう少し恵まれた環境で充実したスタッフに囲まれて生活させてあげたい。看護師に憧れる子どもがいるように、介護スタッフにも憧れる子どもが出てくるような職場になってほしい。将来的には障害者が隔離されるのではなく、障害のある人もない人も、様々な人が集う、身近な明るい場所になってほしい。(障害者への心の壁をなくすには、子どものころからの共存が必要だと思う。)
家族のことなので深刻です。
将来利用するかもしれないので。

◎ 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実

高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実に寄せられた自由意見
高齢や体が不自由になった人でも差別なく、みんなが平等に働ける環境を作ってほしい。
親族に車椅子利用者の子どもがいる。 知能には問題ないが、肢体不自由と言うことで中学卒業後の進路はほぼ一択しかなく、市内を離れなければならない。 義務教育中はサポートする人がいたらしいが、卒業後はサポートする人がいなくなるため、親がトイレなどの介助ができるなら市内の普通高校は受験できるが、親の仕事などで、無理ならば万が一合格しても普通高校に通うことはできない。 市外の養護学校一択しかある意味選択できないので、心身的に、親もその子ども達も負担やストレス、不安になることが一番心配である。 肢体不自由の子ども達は今までも色々と偏見などに耐えてきたり、傷ついたりしていると思うが、中学卒業後は親とも離れて不安な環境で過ごす負担は大きいと思う。やはり高校などはスクールサポーターのような人を配置するのは難しいのでしょうか。
高齢でも年金が少なく働きたい人、働くことが好きな人はいるので、働ける「仕事」を作っていたきたいです。

◎ 高齢者・障がい者関係（その他）

高齢者・障がい者関係に寄せられた自由意見
高齢化により高齢者への支援が全体的に手厚い。病院や施設にいる寝たきり患者の多くは、家族に大事にされていない。病院や施設任せである現状を見てきた。そのような高齢者に関わる医療従事者や介護者の体力的、精神的苦労は大きい。命を選ぶわけではないが、高齢者に支援を手厚くするよりも誰からも期待されている希望がある子どもへの支援をより充実してはどうか。

◎ 安定した収入が得られる就労先を増やすこと

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
安定した収入が得られる就職先を増やすべきだと思います。
むつ市は働くところ、働けるところが少ないため、少しでも就労先を増やした方がいいと思う。
若者が都会へ離れる原因になっている。周りに生活困窮者がわりと多い。求人票の給料が低く、とても生活できないような条件の求人が多い。
就労先の充実。
一次産業の普及。
収入が安定しなければ豊かな生活とは言えない。是非充実させていただきたい。
仕事をしたくても仕事先が見つからない。
生活保護、本当に必要な人に出しているのか。必要ない不正な人に出しているのがあるのではないかと。再調査する必要があると思います。
若者の就労が増えることにより少子化も防げると思う。収入源のため年金や保健等の支払いが多い為、困っている若者がいる。
若い人が働ける場所（誘致企業等）を増やして、地元で生活出来るようにして欲しい。
健全、堅実で安定した職場、やりがいのある仕事は定住に不可欠。
安定した収入が得られる就労先を増やすこと。
就労先の確保により、人口減を防ぐことが急務である。
若者達が安定した収入を得られる様、就労先を増やしてもらいたい。地元の人々が居住できる様に。
医療機関の診療科の充実。「診療3分」「待ち3時間」では病気が加算です。むつ総合病院から他へ病院に行ける受診科を増やしてください。

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
最低賃金をもっと引き上げてほしい。
専門学校や大学で学んだ事が活かせる職業がむつ市になれば、県外で働く方が収入も安定するし、やりたい事ができてしまうので、働く場が大切だと思いました。
就労先、職種の数やレパートリーを増やしてほしいです。特にフルタイムで働ける所をもっと増やしてほしいです。
現在働いている所に限らず、あまり労働に見合ったお給料がもらえる仕事が少なく感じます。もう少し保育士の給料を上げて欲しい。
働く場所が少ない。給与が少ない。
むつ市での基本給が少ないし、昇給が見込めない所が多いのではないかと。経費が増える一方で収入が増えていかない。
父が70才過ぎている今も、年金受給と仕事もしているので安定した収入はある方だと思っています。
働きたいと思い仕事を探すとき、若いうちは働く場所も多少ありますが、50歳も近くなり、なかなか仕事に就くことが難しいと感じたことがあります。年齢を問わないと書いてあっても、実際は違うことが多いです。逆に若い時は、子育てで時間や休みが合わなくて働けないこともあります。子育て世代と時間が自由になる世代でうまく働ける職場があると多くの問題の一つは解消される気がします。
人口減少、若者流出対策としては、就労先の充実しかないと思う。リモートワークも定着してきているので、海外の成功例等を研究していただき、むつ市ならではの就労先を作りあげてほしい。 ※観光の観点から考えると、青森市は青森の東京、弘前市は青森の横浜(または京都)、八戸は青森の名古屋(または大阪)だと思う。そして、むつ市は青森の軽井沢になってほしい。
多くの人が安定な収入を得られれば、それに付随して税金、子育てや教育、経済の活性化、まちづくりの充実につながっていくと思う。市内既存の会社の力だけでは限度があるので企業誘致、商業施設などの誘致で雇用をもっと増やせたらと思います。
仕事が定年になった後の収入面が不安。年金も少なく65才以上になった時の働く場所がない。高齢になっても、もっと働ける所を増やしてほしい。
就労先が、不景気もあると思うが少なすぎる。中小企業だけではなく、全国的にある大企業が一つでもあるとずいぶん違うと思う。
安定した収入が得られる企業が少ない。働きたくとも正規社員にはなれずパートやアルバイトを選ぶことしかできない。働く意欲がある人が安定した雇用と収入があれば子供を育てることもできるし、税金も納める。市も豊かになる。いろんな補助や援助がなくなると生活ができるようになると思う。働く場所がほしい。若い人も残ってくれる(来てくれる)。
仕事がない為、大学へ行っても戻ってこれない。公務員になった人だけ帰るが…。
企業誘致等、若い人が少しでも地元で働ける場所を増やしてほしい。
よく救急車でむつ病院に行っても、その日に帰すとか、なんで救急で行っているにもかかわらず、何のために救急車を呼んでも行かなくては悪いのか、具合が悪いからですよ。もう少し先生様に様子見ることは出来ないのでしょうか。大きい病院、ましてや総合病院でもあるのですから親身になってくれる医療が出来ないのでしょうか。
安定した収入があれば、皆さん生き生き仕事ができ笑顔になれると思います。
高齢でも、ちょっとした収入で生活がすごく助かります。
若い人達が自分の家から通える仕事が増えてほしい。
楽しく働ける職場を、市営でつくれませんか。世界に売り出せる産業はないでしょうか。
青森は全体的に給料が安すぎます。給料が上げられないというのなら、家賃や物価を下げて下さい。
むつは異常に住民税が高いです。その理由が生活保護を受けている人が多いと聞きました。許せないことです。パチンコ屋で時間をつぶして遊んでいるということです。ただお金を出すのは、どう考えてもおかしいです。働かせることを条件にすべきです。仕事を必ず提供して下さい。

◎ 生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実

高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実に寄せられた自由意見
ネット販売の拡大や道路整備が進んで、青森や八戸へ行きやすくなり、市内で買い物をする人が減っている。市内で買い物をしたくなる様な大型商業施設を一つでも欲しい。そうすれば、市内でお金を循環させることが出来ると思う。
転売目的で買えないシステム
車がなくても買い物ができる町、出歩く、健康を培うもとなるので、そういう観点から。
近くに生活に必要なものを買えるお店がないから、お年寄りも車を手放せない。
市内へ行かないと品数が少ない事です。

◎ 青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活に必要なもののリユース支援

青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活に必要なもののリユース支援に寄せられた自由意見
個人情報保護の観点から、なかなか外には見えづらいですが、スマートフォンは持っていても、子供にちゃんと食べさせてあげられない親達がいると聞きました。何らかの支援は必要だと思います。
子どもが小中高と学校に入学する時に、そろえなければならない物をそろえてあげられるか不安です。必ずそろえなければならない物でも、学校生活ではあまり使わないものもあると聞いたので、そういうものはリユース支援があると助かります。
映画館、美術館等、むつ市にもあれば、近いので気軽に行ける。
子供達の中で本当に困っている家庭があると思う。親の都合やネグレクトで困っている子供を助けて欲しい。食べる事、勉強できる環境、身の回りの清潔をボランティアや市で支えてあげて欲しい。苦しい子供、幼児から高校生までが、自立するまで助けていける仕組みを作って欲しい。
30年前に子どもが使った机、衣服、スキー、自転車などいろいろな物を必要な方にあげて使ってもらいました。現在でも子供の衣服など欲しい人がいます。子供食堂はテレビで観て、むつ市でもあったら協力したいと思っています。
最近、テレビ等でも取りあげられている子供の貧困問題、むつ市の状況はわかりませんが、生活上の不安を抱えて勉強に取り組めない子供達のことを考えると心が痛みます。貧しい時代に育った私達は、無駄な経験ではなかったと今では思えますが、今の時代、せめて義務教育中は、子供が安心して勉強でき、成長していけるような環境をつくって頂きたいと思っています。
春に孫が中学生になり、制服やジャージ等大変お金がかかった事を聞いて、リユースが身近な所でいつでも利用出来たらいいのと思いました。学区ごとに市や町内の施設等で展示したら助かる人もいるのでは。
高齢になってきて、身辺整理をしようと思っています。不用品を捨てられず困っています。お金にならなくても交換できるような大きな店舗があれば良いと思います。

◎ 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり

地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見
地元で大手の工場の誘致など働く場所の安定があれば、将来設計しやすくなると思う。
人口流出を防ぐ対策が必要。一度流出したら戻りません。
下北で生まれ育ち、外(県外)に出たり戻ったりして下北の良さに気づき、将来も伝えて行って欲しい。
早く下北縦貫道路完成させ、就職できる会社を誘致してほしいです。
どんどん人口が減少しているので、魅力的な街作りが大切だと思います。交通の便利さ、就職のしやすさアミューズメントパークや映画館など数えればキリがないです。学びの場は増えてきましたが、何故、地元から出ていくのかと問えば、交通手段がマイカー基本、遊ぶところがない、給料が安い、だと思います。
まわり見てもあまり若い人はいなくて、都会から戻っても働く場所、仕事を探すのが大変だと聞きます。帰ってきたくるような町になってほしい。

地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見
高校を卒業しても正職員として長く勤められる職場が少ない。
仕事、子供と楽しめる娯楽施設、映画館が欲しい。

◎ 困難に直面している方への支援の充実

困難に直面している方への支援の充実に寄せられた自由意見
生活困窮者への扶助が甘いと思っている。本当に困っている人へのみ支給すべき。特に母子家庭は優遇されすぎている。
むつ市は働ける場所が少なすぎます。アルバイトで東京の方へ出向いたことがあります。コロナ関係なく時給なども高かったです。若者向けの町ではないです。
コロナのせいで収入が減った人や働きたくても働けない人に向けて取り組むべき。また、支払いなどの期限を伸ばすとか支給をしたらいいと思います。
22番でも書きましたが、就職していても生活困窮している(クレジットカードの返済が増えている)私のような者も居ます。各世帯が、何故、資金面で困窮しているのか把握していただき、適正な困窮理由であれば、何らかの物資に対して補助金があってもよいのではないかと思います(線引きが難しいですよね。衣類とか特に…)
以前テレビで引きこもりの人を支援する方達の日々を追った番組をみて、他人ごとではないと強く思いました。むつ市には豊かな方達もたくさんいるけど、暮らしやすいということ言えば、やっぱり困難な状況にある方達を支援したり、周囲も先入観でみないなど、ご本人や家族が相談しやすい、声を出しやすい、そういった町が私は真に豊かな町だと思っています。
ひきこもりについてはとてもデリケートな問題だと思います。学生生活を終え、社会に出て人間関係などで人格を否定され、心ない言葉を浴びせられ仕事する事が怖くなり、外に出なくなる方々もいます。その様な家族が相談できるシステムがある事は、一般の方は知りません。もっと市がアピールするべきです。支援する側も、その人に合った仕事などのアドバイスも必要かと思えます(一度ひきこもりになってしまうと、社会復帰は難しいです)。仕事の中に回答しましたので誤字、脱字、ありましたらすみません。
実際、身近に求職中の者がいるが、本人の能力を生かして働きやすい職場が見つけられたいと思っている。むつ市でこんな仕事や働き方があるよという情報発信を増やしてもらえたら地元で就職活動がしやすくなるかなと思う。

◎ 妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実

妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実に寄せられた自由意見
安心して育てられる子育て環境の充実が大事。施設、制度の充実はもちろん、子供は地域の宝物。親子に寄り添い地域こぞって育てる基本理念の具現化が大事。

◎ 保育園、幼稚園やこども園の充実

保育園、幼稚園やこども園の充実に寄せられた自由意見
自分たちも将来子どもをほしいと思っているので、その時には保育園や幼稚園を充実させてほしいと思う。
保育園を希望しても入れず幼稚園に入らざるを得ない状況があり、経済的に裕福な人たちが入園の許可が下りていると聞きおよび残念な気持ちがありました。低所得者ほど仕事に就きたい気持ちがあると思う。収入で入園者を決めているのでしょうか。
これから育児(出産)をする際に、保育所が入所できるか不安。
コロナで家にいる事が多くなり金がかかる事が多くなったので、何か商品券とか配ってもらえたら助かります。
日曜や祝日も仕事のある人がいるので、日曜、祝日も子供を預かってくれると、仕事をしやすいし、ストレスも減る。また保育園を休んだら保育園料を返金してくれると助かる。働いて、子供を保育園に預けてもほとんどが保育園料としてとられる。子供が病気だと仕事は休まないといけないのに保育園料もとられ、結局、働かないで幼稚園に入れた方がお金はかからないし、ストレスもたまらないのいいと思う。

保育園、幼稚園やこども園の充実に寄せられた自由意見
ただの預かりではなく「教育」に力を入れてほしい。きちんとした指導者によるスポーツや芸術（ピアノ、習字、茶道など）の指導。公文式などのメソッドを活用した学習をする。
両親共働きで子育てする時代です。子どもが入学しやすい環境、費用の支援をお願いしたいです。
人口増のための取り組み。結婚、出産、妊娠、育児に不安を感じることはない行政の施策が必要。そのための現状に対する不安、不満、苦情等を把握する施策をアンケートではなく、直接現場で聞ける機会を設ける。保育園の利用の仕方（ex. 仕事していないと利用できない等）

◎ 子育てに必要な費用の支援

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
子供を持って初めてわかったが子育てには本当にお金がかかる。子供（児童）手当はとてもありがたいが本当は足りていない。コロナが増えてからは全然足りない。できることなら4ヵ月ごとではなく2ヵ月か3ヵ月ごとにもらいたい。
医療費が子供はとにかくかかります。小学生、中学生も外来負担ないと助かります。
高校まで学費、医療費を無料にしてほしい。
受診費用無料化
子育てにかかる費用（医療）について、所得額で制限するのではなく、この年齢（15才まで）に対応した免許制度を設けることで、人口減少の歯止めになるのでは。むつ市は他の市町村と比免除制度が少なく感じます。
市町村で子育て費用の無料の所があるなしとバラバラなので、むつ市は子育てに関する費用は無料の市として活動してほしい。
今は子育てにお金がかかりすぎる。市等での支援が必要と思う。
子育てがしやすい環境作り（産まれてから高校卒業までの費用の支援）。
生活苦にならないように出産から保育、教育まで親が安心して働けるよう、補助、援助を充実して欲しい。
高校、大学へ進学したくても、家庭の事情で出来ない人もいる。進学に必要な費用を大いに支援してもらえない。
特に少子化の進みに対して、地元でも有意義に過ごせる環境（レジャー、学校）作りが必要と思います。子供が少なくなっていると、将来への不安が多いです。兄弟が多く、助け合い、自立できる大人へと成長できる環境があれば良い。
妊娠してからの子育て費用は少なく感じます。
子どもを産んだ後、失業だったり育休をした。収入が減る中、ミルク代やおむつ代等支出が増えた。経済的にストレスを感じたので、仕事を探すにも赤ちゃんがいるということで仕事が全然決まらないし、保育園に入れたくても仕事がないと入れない、卒もいっぱい入れずと、すごく苦労した。経済的に支援があればそのような苦労もストレスも少なくなると思う。将来の市の発展にも子どもたちのためにもお願いしたいです。もう一人産みたいけど、経済的に無理かなと思う。明石市の「医療費高校生まで全額無料」「給食費中学生完全無料」「保育料第2子以降完全無料」「遊び場の利用料無料」「おむつ満1才まで無料」など良い政策を出来るか限り真似て欲しい。
人口が減ると言われているが子育てに関する支援が手薄いと感じる。金銭的支援をもっと考えてほしい。子どもより高齢者への支援の方が手厚い。むつ市の将来を考え、人口を減らさないために出産～をもっと支援して欲しい。保育料は3才時、4月から無料だが、児童手当は3才の誕生日を過ぎれば減額となる。払うものは払わせ、あげるものはすぐに少なくし都合が良いと思う。
未満児の保育料も無償化してほしい。子育てだけでなく妊娠、出産時の費用等の支援もあればいいと思う。検診だけでなく切迫早産等で長期入院してしまった時なども何かあると助かるし、次の妊娠時も少し安心できそう。
子どもが小中高生と大きくなるにつれ、教育費も高くなるため支援があれば嬉しい。大学進学等を考えると、塾など習い事の費用を捻出しつつ、進学後の費用も貯えたい（市内や県内での進学先が進路とは限らないため）。

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
子供3人(8歳、7歳、1歳0ヵ月)、父、母(ともに無職)、高卒公務員と言えど、給料も安く、元夫からの養育費9万ではとても足りない。医療費が私らの世帯でも無償化になったことは非常にありがたいのですが、所得で見るのではなく、その家の家計支出の面から、ミルク、オムツ、衣類に対する補助がほしい。親へ3~5万の食費、電気代支払い2万円前後、食材の買い物1~2万、生協2~3万、車代の返済分4万、上の子供2人の文具や諸費 2.5 万、これらの固定支出から更に自分自身の支払いもあるので、公務員と言えど非常に苦しい現状です。
死別でひとり親なのですが、生活が少し苦しい。利用できる制度(進学時などに)ホームページでもわかりやすく提示して欲しい。
子育てに関して雨の日でも楽しめる施設がもっとほしい。
人口減少が進んでいるのなら、子供を産みたいと思えるような環境必要。医療費を中学入学前まで助成。公園や遊び場を増やす。小児科を増やす。習い事も選択肢が少ない。ここにずっと住みたいと思えるようにしないと永住する人は少ないと思う。
子育てにはお金が必要なので支援があると、とても助かります。妊娠にいたるまで(不妊治療)の支援もできる限り支援があるとありがたいです。
一人親家庭の為、奇数月には手当が入るが、所得に応じて減らされてしまう。仕方のない事かもしれないが、実際に手元に残るお金はほとんどない。所得を低くすればそれはそれで生活できない。どうしたら良いのか困っている。
どうしても子育てに係る費用を考えると出産をためらってしまう。そういう人が多数いるので少子化は進む一方と思うから。
私はシングルマザーで子供2人を育てています。支援は大変助かります。
国からの児童手当ではまかなえない子育てにかかる費用を、市でも保障、支給なりして欲しい。二人親で低所得者でなくても生活が厳しい家庭は厳しい。
子育てで働けなくなったのに、出費は増えるので費用の支援として他の地域でもやっているオムツやミルクの支給、もしくは代金の支援があると嬉しいです。
中学、せめて小学生のうちまでは医療費の負担を軽くしてほしい。アレルギー持ちで、月に一度は小児科受診、薬の処方×2人分で医療費の負担が大きい。毎月約1万円ずつかかる。
94 才の高齢者が土、日、ひ孫の面倒を見ています。シングルマザーにとってしかたない事ですが、感染症の事も心配です。

◎ 虐待防止活動や子どもの権利擁護

虐待防止活動や子どもの権利擁護に寄せられた自由意見
虐待をなくしてほしい。
テレビや新聞で見ていると多いので、どうにかならないか。
虐待されている子供の話を友人から聞いた。家に訪問に何度か来ているらしいが、何の解決もしていない。再婚した夫が連れ子の長男に食事を与えていない。真冬に外に出す。母親は夫が怖くて助けてあげられないらしい。身近にテレビで聞くような事が起きていても助けられないのに、何のために訪問しているのか。何かあった時に言い訳できるようになるのか。力のない子供達を救える手段を増やしてほしい。
近所の子育て家庭で、家庭環境が心配される家庭が複数ある。まず家の周りから乱雑で片付いていない。大きい声で叱っていたり、子どもの泣き声も聞こえてくる。正直、子育て中だから仕方ないことなのか、虐待なのか判断に困る。近隣住民も同じことを思っているが、どこに電話すれば良いのか?虐待判断はどこからか?町内会全体というか、地域住民で虐待に対する共通理解が必要だと思う。
ゴミの出し方(資源ゴミ)が分かりにくい。ゴミ袋に種類や注意事項を印刷したらどうか。
子供は絶対に虐待を受けてはいけません。もちろん大人もですが。いろいろな制約があると思いますが、何かあってからでは、その時はもう遅いので行政の強い介入が必要だと思います。
私は里親をしています。親の入院や虐待などいろいろな事情で親から保護しなければならない子を一時預かりしています。おつ市は里親も少なく、私も高齢になりあと2、3年も続けられれば良いかなと思っています。里親が増えることを願っています。
弱い立場の人達の幸せを考えたい。幸せは物やお金がたくさんあればいいという事ではない。普通に暮らせてそれが当たり前という社会になってほしい。普通でいいのです。

虐待防止活動や子どもの権利擁護に寄せられた自由意見
PTA や学校ではイジメや虐待は無いと言っていますが、下校時、休み時間など充分気をつけて下さい。身体の小さい者は大きい人には逆らえないのです。イジメをした者を転向させるのが正しいと思います。常に気を配って注意したいです。

◎ 子育て関係（その他）

子育て関係に寄せられたその他の意見
子どもの増加こそ最優先課題、福祉どころじゃない。地域崩壊につながると思う。
むつ市に学ぶ場所を増やそうとしているのがうれしい。今後、楽しみです。

◎ 学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成

学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成に寄せられた自由意見
学校教育の現状を把握し、生徒諸君にも現場を見て考えてもらうことが重要。若いうちから福祉関係に興味を持ってもらえるようなカリキュラムの充実を願う。

◎ 小中高生への学習支援による教育の充実

小中高生への学習支援による教育の充実に寄せられた自由意見
少子化なのであればなおさら、昔より一個人の子どもに使う金額は変わらないが量は減っているはずなので、子持ちの家庭を支えるべきだと感じるため。
時間はかかるが、教育が一番大切。人をつくらねば全てがうまく進まないから。
地域の発展充実には人づくりが大事。そのためには、まず教育レベルの向上と実践教育でたくましさ育成すべき。
小、中学生は学区内の入学が望ましい。部活等で外区外へ行く子供がいると聞くと、人数が集まれば色々な部活ができると思う。運動会を見に行っているが、特に大湊地区の小、中学校は淋しさを感じる。
子供達がもっと遊べる場所（特に室内）や、スポーツクラブ等の情報がわかりやすく、ホームページなどがほしいです。勉強のレベルが少し高い子が居る時は、そういう場所（教室等）を増やしてみしてほしい。
娘が学校でタブレットが1人1台使用できると、とても喜んでいました。調べ物や、英語の発音など、とても役立つと話しているのを聞き、とてもありがたいと感じています。
小学校の部活がなくなったので、習い事をさせているがスイミングスクールがなくなったり選択肢が少ない。
<中学校>
①学力レベルが低すぎる。長時間の部活動をやめ、勉強時間にあてるべき。習熟度別クラスにして、個々の生徒のレベルに合った授業を。
②部活動を廃止して放課後の生徒の多様な活動を認める。
勉強したくても、経済的に難しい家庭の子供や、遅れてあきらめた子供が、学校以外で能力を高められる場所や仕組みがあれば良いと思う。自分はスクールサポーターを以前してきたので、何かしら子供のためにボランティアがあれば、手伝いたいと思う。

◎ 大学や専門教育機関の充実

大学や専門教育機関の充実に寄せられた自由意見
専攻する学部があればむつ市外に行かず地元から通えるし、費用も削減できる。
低所得者の家庭でも安心して大学等へ進学できるように給付型の育成資金を作る(市が)。
看護系の大学等設立を希望します。自宅からの通学が可能のため。
進学時に、地元も選択出来る様にならないといけない。 でなければ、むつ市に先は無い。
看護師不足のため医療サービスに影響を与えている。看護学校を開設してほしい。
豊かな知識、教養を身につけることは心身ともに人を成長させる。
むつ市に大学、専門学校があれば良かった。自宅から大学や専門学校に通えたら経済的に助かったと思う。
せめて看護系の専門学校をもう一つ、理系の専門学校、大原のような職業系の専門学校がないと、若者はみんなむつから離れる。むつから出る人を少なくして、何なら進学のためにむつに来ましたと、未来の学生にいわせるぐらいの勢いがないと、死ぬと思う。
大学がないので、実家を出られない理由がある人などは、選択から外されてしまうと思います。大規模でなくても、一つあるだけで未来が開けるのではないかと。また若人が地元に残る理由にもなるのかなとも思います。
むつ市の人材を増やすために漁業関係の進学もあれば良いと思う。育てる漁業(?)。学生が増えれば、町も生き生きすると考える。
市内で教員免許の更新ができるようになってほしい。
むつにも明の星短大のキャンパスができましたが、もっと高校卒業後の大学や専門学校が充実していたら若者がむつに定着すると思う。特に看護学校とか。卒業したらむつ病院に…となれば人材定着も。
2大学むつにできることになり嬉しいですが、もっと学べる学部など増えると親の負担も少なくなり、むつからの人口の流出も抑えられるし、またアルバイトなどで若い力を得られると思います。
子供達が進学の為に市内から出なくても良くなる為。
子の市外、県外への進学においては親の経済的援助が不可欠であるが、自宅通学が出来るのであれば、その負担も少しは軽減されると思います。若者のむつ市離れを少しでも減らす意味でも、まずは教育機関の充実を希望します。

◎ 就学費用の支援の充実

就学費用の支援の充実に寄せられた自由意見
高校、大学でむつ市を離れてしまうと、多額の費用がかかることになり進路選択の幅が狭まってしまふ。そこで市からの援助などがあれば心強いと感じる。
他の地域より進学に対する負担が大きい。交通手段もないし。どうかしてほしい。
児童手当は中学までしか支給されないが、それからの方がお金がかかる。同じような手当は大学までほしいものだ。
大学、専門学校の知識をつけるには、お金が必要。これは事実として、収入の良し悪しで個人の教育に差が生まれる。人生においても、早い段階でこの差が出ないように金銭面で援助をすれば、優秀な人材、新しい知識の創生、問題取り組み等の分野で、長期的な面で効果があると思う。
大学や専門学校の費用が高いため将来の夢をあきらめる子供たちを見たくないで、むつ市として子供の将来を応援して下さい。
全ての子どもが夢を実現するためには、それぞれの希望する就学機会を得られることではないかと思う。それを最大限支援することも大切である。
多くの子ども達が、大学や専門学校に進学し、卒業後にむつ市や下北に帰ってきて活動できるよう、他町村とも協力してすすめてほしい。明の星、青森大、「むつ校」うれしく思います。市長、応援しています。
コロナ感染症の流行による親や親族の受給が減った為。以前より、日常生活が困窮するのかと不安があります。何らかの、むつ市からの助成金を要望します。

就学費用の支援の充実に寄せられた自由意見
就学には細かい準備物も含め費用がかかるため、支援を充実してもらえるとありがたい。支援してもらえると習い事などへの費用もまかなえ、子どもの可能性や興味を広げられる。
支援があればもっと大学や専門学校にも行きやすくなると思う。
学校や部活のものを頻繁に買い換えないといけないので大変です。
親が低収入でも、子供にやる気と能力があったら進学させ上を目指してもらいたいと思っている人が多いのではないかと。ただ、子供を進学させる費用がなく諦めたり、諦めさせたりしている場合があるだろうから、支援が充実していただければいいと思う。
母子家庭です。仕事はもちろんしていますが、1番の困り事はお金です。

◎ 町内会の活動を推進する人材の確保

町内会の活動を推進する人材の確保に寄せられた自由意見
コロナで町の祭りが中止になっていますが、対策して祭りをやらないと囃子の継承や伝統の継承が途切れてしまいます。祭りはやって下さい。現に子供が少なく、このまま中止にしてしまえば消滅の危機だと思います。下北の祭りを終わらせてはいけません。
会員になりたくない人の意識を変えるためにも、人を具体的に在職中から2~4年位、役員をやってもらえる人を選任しておく。
若手の流出により地域活動を行う人の平均年齢が70才以上。このままでは地域文化の継承もできない。
町内会事態が縮小傾向になっていて活動している人達も高齢化に直面しています。

◎ 地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所の充実

地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所の充実に寄せられた地涌意見
どの町内でも高齢者が増え、町内会の活動自体衰退してきている。市としても高齢者の集まりを推進し補助金を出して、高齢者相互の親睦が得られるよう支援を願いたい。1人500円ではなく1人1000円にアップされたい。
後期高齢者の方で、足腰は弱っていてもまだまだ元気な方はおられます。軽い作業、雑巾などの縫物等、社会との繋がり、人との繋がり、役割があったという事が週1回でも、来週も行く場所があると張り合いが出ます。私も後期高齢者をむかえた時に誰でも気軽に集える場所があったらと思います。

◎ ゴミの分別収集全般の充実

ゴミの分別収集全般の充実に寄せられた地涌意見
ゴミ収集の無償化。ゴミ収集の拡充(粗大ゴミ、有害物の収集等)。
分別収集は勿論の事ですが、ウォーキングの途中で見られるゴミのポイ捨て等、環境美化の為にも個人のモラルの向上の為に何か手は打てないものでしょうか。
分別をきちんとしている町としていない町があるのは変。全て同じにするべき。まじめに取り組んでいる人が報われない。
ゴミの分別をもっと徹底してほしい。町内でも守っていない人は多い(家具なども)。家庭のいらぬ物はフリーマーケットを開いて売る、あげるなどしてゴミを減らす(おつ市で大きいフリーマーケットを開催するなど)。
ゴミの分別や捨て方の講習会(集会所あるいは動画でもいいので)あったらいいと思う。捨てる側から聞きたいことや、処理する側からお願いしたいことがあると思うので。
資源ゴミは専用の袋に入れるのではなく、袋がいっぱいになるまで待たないといけない。袋に少ししか入れないで捨てるのはもったいない(袋が有料なので)。資源ゴミは家にあるどんな袋に入れても良い事にすれば、みんな資源ごみを資源として出すと思う。
アパート住民のゴミ小屋は分別が守られていない所が多く、いつも残っています。大家さんはもっと管理しても良いと思います。
近所にアパートが多いためにゴミの捨て方が悪くて困っています。ゴミの分別も悪くて、段ボールも、資源ゴミも混ざっています。アパートは町内会に入ってもいません。

◎ 資源のリサイクル活動の充実

資源のリサイクル活動の充実に寄せられた地涌意見
物を大切に作る心。何でも捨ててしまう。SDGsにも興味があり、取り組んでほしいです。
もう少し分別を多くしてもいい。家庭に眠ってる未使用の物を無料で提供し必要な人も無料又は気持ちのみ置ける様なスペースを市役所内に作り、市民の良識を信じ試験的に無人で半年位でも運営してみても、相手の顔が見えない分、必要な人は助かると思う。終活してる人多く資源がゴミとなっています。
資源ゴミの回収には協力しているが、時々ペットボトルの洗い、ラベルはがしが面倒くさいと感じることもある。特にビン類のラベルははがしにくく、水にしばらく浸す等しているが。後は、年齢的にも今の生活に満足しているので、普段あまり物事を深く考えることが少なくなってきた様に感じている。
分別して町内の集積所やスーパーに出しているがペットボトルや缶はつぶして出した方が集める業者が助かるのではないかな。

◎ 空き家への安全対策の充実

空き家への安全対策に寄せられた地涌意見
空き家が増えて、台風などが来るたび、不安になる。
安全対策とは多少違うかもしれないが、亡き両親の家等、現在空家 4 棟を所有しており、固定資産税を払っている(土地の方も)。老朽化して危険なので、解体したくても費用が莫大にかかり(6~700万円)できない。市と解体業者が連携して解体費用を抑えることや補助等があればいいと思う。子どもに負担はかけたくないの、自分たちが元気なうちに解体したいと思っているが、現状は大変厳しい。
電線が断線しそうになっているので改善して欲しい。
近年、市内でも空き家が散見されています。害虫予防及び防犯上対策が必要だと思います。
近所に空き家が多く、風の強い日などに屋根のトタンが飛んできたり、倒壊しそうな空き家もあり危険である。行政で処分出来ないものかと思う。
台風などで空き家の屋根等が飛ばされて困る。
空き家が現在も今後も増加すると思う。行方不明で空き家となった場合は、もっと強制力を持って取り壊しを市で行えるよう条例の変更はできないのか。
空き家のまわりの草木、道路沿いのゴミの処理に少し困っています。市内のゴミ収集小屋の改装を統一したものにしてください。
空き家の雑草について。野生動物の繁殖にも係り心配です。
高齢社会が進み独居となった高齢者が子供達のところに身を寄せ住居は空き家となり、風化、老朽化が進み、強風時には屋根や外壁材が散乱することもある。我が家に近くに3~4棟の空き家があり、いつも心配している。
市内の空き家が目立つようになってきた。私の住む町内もあります。風などの時は心配。
空き家がすごく増えていて老朽化していて、いつ崩れるか分からないものもあって怖い。
空き家の中でも屋根が落ちたり、家が傾いたりしている所は、強風や地震等で崩れる心配があるので気になります。あと、空き家ではないのですが、住宅に近い大きな木は持ち主の方にしっかり管理していただきたいと思っています。どちらも持ち主の方と相談なり対処が難しいとは思いますが。
空き家が多く見られます。古くて台風で強い風が吹けばとても危ない所もあります。安く処理できたり、何か利用できる制度ができれば活用する方も多くなり良いのではないのでしょうか。
私達が住んでいる地域は空き家が多く、衛生面は勿論のこと、風の強い日など、屋根から剥がれたトタンが飛んできて来たり、ハラハラすることがあります。色々な問題もあるかと思いますが、何か起きてから取り掛かるのではなく、起きる前に対処しなければならぬ重要な課題の一つだと思います。
空き家が多く放置され、衛生面、防犯、安全対策が心配。
最近一人暮らしの高齢者が亡くなったり、子供の所へ引っ越したりで、空き家になった事例が何件ありました。近くに管理する人がいない場合はとても心配になります。見回りだけでも市に登録出来る形があるといいのですが。

空き家への安全対策に寄せられた地涌意見
空き家が増えると想像する昨今、見回りでもしてくれたらありがたい。
自分の住んでいる家となりは空き家です。今でも強い風が吹くと自分の家の方へかすがり、倒れてくるようです。自分達も主人が79才、自分は75才、子供は町へ別に暮らしています。一つづつ年がいくので不安です。どうかこのような事も頭に入れて下さい。

◎ 環境関係（その他）

環境関係に寄せられたその他の意見
少数と思いますがゴミ袋の大きさ中サイズも欲しい。

◎ 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実

災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実に寄せられた自由意見
大湊桜木地区に住んでいるので、土砂災害が心配。ハザードマップを支給しているようだが、この地域には配布されていないのはどうしてか。市内の知人宅にはすでに配布されていたのだが、桜木には回っていない。
地域で予想される災害の情報の提供をより具体的により早く。そして、その対応についても納得できるような内容で欲しい。
避難ルートの確認。避難所への持ち込み物の確認。避難所生活のルール等を確認、共有する。
防災時の避難拠点の充実が望まれる。少なくとも、二階以上の建物で宿泊スペースが確保出来る所を増やして欲しい。
世の中には、いろんな自然災害があるので、地震、大雨、土石流など各自然災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実。
海抜が低い地域や、山に囲まれ橋を渡らないとどこにも避難できない地域に住宅が多くあると思う。津波や川の氾濫時は、避難場所の公園や学校も水没する可能性があると思う。例えば、アツギナイロンの工場や高層ホテルと市が、あらかじめ協定を結び、一時的に市民の避難者を受け入れてもらえるようにしてほしい。
いざと言う時に動けるためには、訓練が必要だと思います。同時に自力での避難が出来ない方を把握することも大切だと思います。一度だけ、避難所まで歩く訓練があったと記憶していますが、かなり前の事で、その頃とは状況も変わっていると思うので。
わかりやすく情報を提供してほしい。
実家では高齢の母が日中ひとりですが、津波や台風など災害が起こった時にどうなるのか、どう逃げればよいのか、心配がつきません。一人暮らしの方達をどのように災害から守っていくのか、地域ごとの連携は欠かせないと思うからです。宮下市長、コロナでの市長の言葉にとても感動しています。ありがとうございます。
各施設や学校に避難訓練があります。町内会でも訓練しておいたら、小さい子供がいるとか、高齢者がいて手助けが必要だと確認できるのではと思う。
避難所における感染症のリスクをどのように低くできるか。
高齢の多い町内ですが、自然災害が多くなり、防災について学習する場を小規模でもした方が良いのかと思います。
今後、災害が起こらないと思わないので。

◎ 地域と警察との連携による防犯活動の充実

地域と警察との連携による防犯活動の充実に寄せられた自由意見
自衛官が多いむつ市で不測の事態が起きてしまった場合に、その家族を守って欲しいです。
2、3年前と最近、車上荒らしがあり、町内の人が数人被害にあわれました。防犯活動よろしく願います。
夫が他界して3年目にこんなことがありました。深夜 24 時 40 分頃、寝ている部屋の窓を開けようと戸を叩いたり、廻りにある花の鉢を壊したり、中庭の池に鉢を投げたり等々のことありとても怖かった。友達に相談し警察に届けましたが未だにわかりません。家の廻りにはセンサーライト、防犯カメラを設置しました。時々深夜センサーライトがつかます。とても怖いので、警察と常にどんな場合でも連絡と相談したいと思っています。

◎ 防災・防犯関係（その他）

防災・防犯関係に寄せられたその他の意見
町内会用の放送が聞こえなくなって1年以上経ちます。市の方へはお願いしてあるとの事ですが、いつになったら修理(?)されるのかと思っています。
市役所からのお知らせの放送の塔の事で(下北町2号)、去年から放送がありません。時報もお知らせも聞こえません。そんな時はどうしたら良いものなんでしょうか。今回のアンケートとは関係ないかも知れませんが書いてみました。

◎ コンパクトシティに関する情報の充実

コンパクトシティに関する情報の充実に寄せられた自由意見
スキー場の夏場の活用方法。ロープウェイ、夜景。水源池のライトアップと安渡館のレストラン、宇田町児童公園とつながる様に。児童公園の建物は、旧大湊小学校、円い学校を再現してほしい。
何とか旧自治体の良さを生かした計画を考えてほしい。熱いスタッフを地域は育てなければならない。
コンパクトシティ(都市計画)に関する情報の充実。
新しい大型施設があつたら、若い人も子供連れも住みたいと考えます。例えばイオンとか。
むつ市にはイオンモール下田みたいな所があってもいいと思う。このコロナ時期に遠出も出来ず、家で過ごすのも増え、またドラッグストアがやけに多いしそんなにいらないと思う。逆に遊び場を増やして欲しい。映画館とかボーリングとかゲームセンターとかたくさんあつた方がいい。アスレチックなども1カ所あってもいい。
むつ市には魅力がありません。何かしらの大型施設などを設け、若者の人口確保などに努めていただきたい。

◎ ジオパーク活動の推進

ジオパーク活動の推進に寄せられた自由意見
下北には海産系の名産品が多く、時期になると祭りもやっており、遠方からも来られるので、同時にツアーも実施して魅力や資源の確保に繋げてもらいたい。
ジオパーク活動はとても大切なこと。地球の生い立ち下北の生い立ちを学ぶことの大切さを子供に伝えて欲しい。
継続して協力して参ります。頑張ってください。私も頑張ります。
掃除の参加者を PR していると思うが少々足りないように感じている。

◎ 公共交通の利便性の向上

公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
近所の老人の多くは車を持たず通院又は買い物等を、親戚や子供や孫等に頼らなければならないようです。交通手段が便利で安価で多様性のあるものならもっと暮らしやすいのではと思います。
自分が自衛官だからであるが車を持ってない状態で来て、交通の利便性が良くない。ここはとてもお店などにも気軽に通り辛くもなってしまうため。
高齢者が多く交通マナーが悪い。速度違反が多い(50キロ制限→30キロ)。
交通インフラの整備普及を高めることで企業誘致、商業の活性化が期待できるのでは。
市内巡回バスの利便性の向上や無料、又は低額料金でのバス運行の実施。
高齢運転者の事故が多発している昨今、自分も早めに免許返納を考えているが公共交通機関の利便性を考えると返納を考える高齢者は少ないのではないかと。危険な運転をする高齢者を減らすためには、100円バス等行政での手厚い支援が必要であると思います。
バスの本数が少ない。
まもなく72才となる男性です。今後、運転免許証の返納等が発生した場合、通院、買い物に不便となる事が予想されます。そこで公共交通機関の運行が現状より充実される事を期待している。
目が見えないのでJRのバスに乗れない。時刻もわからない。タクシーを利用するしかないが、金銭的な負担が大きい。
災害や事故発生時の緊急避難の為に道路網の充実。R338の早期延伸。下北道の早期完成等、又バス利用の時間帯の見直し等課題は山積みしております。
公共交通の利便性の向上。「マエダ・アリーナ」に行くのに車なし、バス停なし、自転車危険、徒歩遠い。津波襲来逃げ場なし。結果「年寄り」は行くなということか。バスの便を考慮して下さい。
バス代が高すぎる。だから車が手放せなくなる。外に出たくなくなる。ICカードを導入すべき。バス代が高くても本数も少ないので誰も利用せず、運賃を高くせざるを得ない。悪循環。
交通機関については、バスやタクシーはありますし、マエダなどの買い物バスなど以前よりは便利になって来たと思います。ですが、バスの時間もタクシー代もいろいろ考えると、やはり車を使用できない高齢者や小さい子どもがいる母子家庭など、不便に思う人もたくさんいると思いました。
セブンイレブンがむつ市に来るのは、下北自動車道が開通してからでしょうか。大湊工業(ローソン派)がセブンの参入を止めている。セブンは自動車道が開通しない限りは来ないだろうという見解が多いです。早期開通をお願いしたいところではありますが、職業上、むつ市内全域の人間同士のトラブル内容を把握する立場にあるため、毎日毎日むつ市に対して嫌気がさす日々です。
高齢者や学生など、昔と違ってバスや電車など便数が減っていると思うので不便だと思う。更に高齢者の車の運転はやはり危険だが、車の運転ができなくなる事で不便を感じ、免許の返却をしたくないのもわかるし、例えば家族が免許の返納したら、車を出して手助けするが、いつもすぐに対応できるわけでもないで、使いわけられるといいと思う。
将来免許返納した場合、バスを利用することが多くなると予想されます。高齢者も増え主要道路のバス停まで歩くことも大変です。大型バスからマイクロバス型など小型化して住宅街を回る路線ができると便利になり乗車客数も増えるのではないのでしょうか。検討していただきたいと思います。
高齢になり自家用車を手離さなくてはならなくなった時、バスや鉄道はとても重要です。大湊線は絶対廃止しないでほしい。
バス路線まで行くのに遠い。中の細かい道路までバスが来てくれると利用しやすい。年をとると外出が減るので、足が弱くならないように外出機会を増やしたいと思う。そのためには、バスが利用しやすいように路線を増やしてほしい。そもそもバス路線、どこを通っているのかわかりにくい。
高齢者の自動車免許返納には公共交通の利便性が不可欠だと思います。
ひざが悪いので、買い物したくても身内が運転する車に乗せてもらうしか手段がないです。身内が仕事しているので食事をするのに足りないものを買うには店まで歩いて行けません。市バスが何便かあれば不便を感じなくてすみます。特に冬は最悪です。
現在65~74歳で、自家用車を利用して必要な場所に出かけていますが、10年もしないうちに、さらに高齢となり、自分で運転しての移動ができなくなります。JRバス路線に出るまで、今でも15分位は歩かなくてはなりません。1日に2~3本でも良いので、バス等の路線が利用できるようになることを願っています(二田小学区のバイパスより山側に住んでいます)。
バス停が近くにないので免許返納したら通院に困ると思っています。乗合バスとか家から病院タクシー代片道500円だったら助かると思う。

公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
車の運転が困難になった時にやはり頼りになるのは公共の交通機関です。より良い充実を望みます。
今は運転できるが免許返納した場合、バス利用になると思うのでバスの本数がどうか。
大湊新町バイパス通りにバス停があると買い物、病院が便利に。以前バス通っていたのでごく便利でした(車のない人のため)。
バス停までの道のりが遠いので、町内巡回型にして下北交通さん接続できるような仕組みにしてほしい。バイパスの近くだと下のバス通りに入るまで冬などは本当に大変です。
むつに行くバスが本数が少なく(特に午後)困っている。
バス停まで歩いて10分です。スーパーまでは15分かかります。家の前は坂道です。買い物に行く時は歩いて行きます。帰りは荷物がありますのでタクシーを使います。タクシー代は700~900円前後です。週1回の買い物にしています。安い交通手段はできないのでしょうか。
公共交通の利便性の向上。もう少し細部の町内への交通を期待したい。高齢者なのでバスの利用をお願いします。
運転できなくなる年齢に近づいているので。
電車やバスなどをもっと増やしてください。せめて30分に1回は出してほしいです。高齢者が多いこのむつ市で、公共交通が不便なのは致命的だと思います。

◎ 安全で利便性の高い道路の敷設及び改良

安全で利便性の高い道路の敷設及び改良に寄せられた自由意見
利便性を考えると道路改良は必要だと思う。
道路がデコボコで体調が悪い時は、ますます具合が悪くなる。
町内の未舗装部分の整地を確実に行ってほしい。砂利道路だと粉塵が舞い体に害が出る。
道路の便が良い=都市としてのランクアップに繋がると思っている。大都市と呼ばれる街々はやはりこの点むつ市等比較にならない程、充実、徹底している。道路が増えれば、そこに住宅、店、不動産関連の動きが確実に活性化する。もっと積極的に取り組むべきだと思う。
災害時の道路の確保
早く、下北縦貫道の完成
むつ市の交通マナー是最悪です。渋滞対策を考え「右折をしない努力をする」「速度を落としたついでに横断者を保護する」ことができるようにしてほしい。
災害時のライフラインの確保の為、縦貫道の早期開通を要望しています。
特に冬期間の除排雪の充実(生活道)。
通学路指定されている道路も狭く、見通しの悪い交差点など危険な箇所がたくさんあります。これでは子供を守れません。早急に調査、改善を望みます。
①埃で窓を開けられない。②洗車が大変。
大湊バイパス線はいつ開通するのか。
上記の通り高齢者世帯の多い地域で、除雪作業に困っている。特に除雪車による積雪の片付け作業は大変である。融雪溝等の整備などで冬期間も快適な生活ができるようにしてほしい。
52に当てはまるかわかりませんが、下北町、仲町を良く、孫を連れて散歩している年金暮らしのものです。敷地から歩道まではみ出した庭木に困っています。時には朝露が落ちたり、蜘蛛が下がっていたりして、車道にはみ出での散歩です。運転手さんに横目で見られる時もあります。車にも人にも安全安心とは思いません。どうにかありませんか。私も緑や花は大好きですが。
大畑から田名部方面の国道279号線の他に、もう1本田名部方面へ行ける、ちゃんと整った道路を作ってほしいです。今年1月頃に国道279号線で事故があって通行止めになって、仕事に行けなくなった事がありました。山道を通して何とか行けましたが、とても不便だったので、道路を増やしてほしいです。
下北縦貫道路と大湊バイパスを早く完成させてほしい。

安全で利便性の高い道路の敷設及び改良に寄せられた自由意見
私は苫生学区に住んでいますが、クロネコヤマトからセカンドストリートまでの歩道がとても狭く、車を運転していても怖いです。時間帯によっては中学生が多く、なかなか道路を渡れず、かわいそうに感じる事もあります。以前、クロネコヤマト前の通りが冬になると除雪が入らず、轍ができて怖かったですが、最近頻りに除雪車が入り、安心して通行できるようになり、とてもありがたいです。
道路デコボコしているところ多い。大湊の国道カーブが遠心力で道路からはみ出しそうで怖い。特に冬。滑って行ってしまう。
下北半島から津軽半島への移動が大変。脇野沢から橋をかけてほしい。
何年前にあった豪雪で 279 号線が機能が失い大変でした。できれば迂回道路があれば、いざ災害にあった時に役立つとは思っています。
住宅街の舗装工事を順次行って欲しい。
下北縦貫道路の早期開通して欲しい。市外に出るのに時間がかかりすぎる為。
特に大湊地区は道幅が狭く、主要道路もあるのに危険だと思う。特に冬は、子供の通学路も無くなる程なので、早めの改善をお願いしたい。
冬になると雪などで除雪などが悪い。きれいに除雪してるところもあれば、下手な所もある。通勤時間帯など信号の所でかなり混雑している。
市道がでこぼこしている所が多い。冬の除雪もあまり行き届いていないと思う。
苫生町ローソン近くの横断歩道が出来た時、喜んだが信号機がない為、横断歩道に立っても、車はほとんど止まらず、私も困りましたが他の方々も多分困っていると思います。特に学生の方々は。信号機をつけてほしいと思います。お願いします。
南通り地区には道路が1本しかなく通行止めになると大変です。早期の道路建設をお願いします。
大湊方面でまだ道路が開通していないことがとても残念です。ジオパークを進めているのであれば道路はとても重要かと思いき、冬季のことを考えたり、住んでいる人のことを考えると、何故進められないのかと、とても不思議です。色々な事情もあるかもしれませんが、何か方法はあるのではないのでしょうか。
むつ総合病院の駐車場の改善を強く希望します。
道路がつぎはぎだらけで運転しづらい。
市外への買い物がしやすくなる。
陸の孤島とも言われる下北半島。どれだけ良い自然、食料があっても不便。青森七戸十和田の新幹線まで行くもの2時間、公共の交通手段がほぼほぼ使えない状態で誰が来ますか。下北、大湊の駅に降りても何も無い、休む所もない、何時間もの待ち時間。誰が来ますか。
下水を全然直してくれない。下水のふたがないため、ゴミ、草、土が入って流れが悪い。個人でそれをやっている。市役所に言っても全然改善無し。何とかして。
大きな災害が起きた時、避難ルートが少ない。
車社会になり道路も年々良くなっています。横道に入ると難しく雪道は大変です。入り口が問題のようです。
国道沿いの草刈り、清掃。
中央町～大湊方面への信号のあり方。十二林のマエダ前の信号は以前のように1回で変更できるように、中央町のアスティ前の信号、左折、直進、右折にしてみたい。大湊浜町～宇田までのバイパスの完成。

◎ 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実

生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実に寄せられた自由意見
むつ市役所、むつ病院で働く人の品格がなく、程度が低い。もう少し優秀な人材を採用すべき。
ペットに糞について。家の近くやウォーキング途中でも犬、猫の糞が目につきます。解決する良い方法はないですか。
とにかく相談するところがわかりません。
どこに相談して良いかわからない。

生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実に寄せられた自由意見
困りごとや悩みを気軽に相談できるようにアンケートなどを実施する。きっかけを作ることが大事だと思います。
生活をしている上で困難に直面時に、躊躇なく相談できる窓口があればと思いました。
一人暮らしです。高齢者です。ぜひお願いします。

◎ その他

その他の自由意見
陸上競技場の無料開放。エリアが区切られ使いにくい。スキー場の運営。営業時間を守る。毎日リフトを回す。営業する意識が見られない。
正直、アンケートが長すぎるような気がしました。 これを聞いて何の役に立つのか、よく分からない設問もあったように感じます。 アンケートの設問の意図や、回答内容が計画や施策にどのように反映される(た)か等、公表していただければと思います。
いろんな差別解消について田舎は遅いので今から取り組み始めてほしいもの。ジオパーク内の各公共トイレは常にきれいにしていしてほしい。
診療科の充実というよりは、特にむつ病院、待ち時間の改善、医師の技術、的確な判断の向上(診断ミスが多いと聞く)には早急に改善していただきたい。安心して受診することができない。
大湊地区のバイパスの早期完成。
夜の歩道等がとにかく暗い。防犯上よろしくない。外灯等の整備充実に望みます。
若者の都会進出に歯止めをかける事が難しいので、高齢者の介護対策として入所待ちの期間を短くして欲しいと思う。
子供たちに少しでも多く教育の機会を与えたい。
将来、適切な医療が受けられるか不安。
空き家だけでなく、古い工場がそのまま放置されている。屋根が飛んで来たら大事故に繋がりそう。大畑町正津川の事です。この機会に書きました。行政の人はどう考えてるのかな。
生活保護受給者の再審査と厳格な対応。朝からパチンコをやっている受給者をなんとかしろ。親の遺産を貰い10年以上受給しているやつがいるぞ。
高度医療が受けられない。
空き家がゴミ屋敷と化し、倒壊や火災の危険がある。
柳町ユニバース西側の道路が危険である。私道かもしれないが、あまりにも酷い。担当者の怠慢を感じる。子供達も利用しているので早く不正路面をなんとかしてくれ。
問題内容によって解答内容日その都度変えた方が良いのでは。
生活保護を受けている者が年金受給者より良い生活を送っているのはどういう訳か。
通院の際の交通手段を考えてほしい(高齢者の)。買い物も同様。
市役所からの情報発信の方法(多くの市民が得られる等)。
ゴミ分別を守らない人が増えた。ゴミが収集されず残される場合が多く、ゴミ小屋がいっぱいになる。アパート、借家の人が、町内会に入っていない人がルールを守っていない。
このアンケートは夫に来たものなんですけど入院中なので妻の私が答えました。(23)障害のある方が利用できるような福祉サービスを言うのはどういったものなのか詳しく知りたいと思います。
色々な事を相談したくても、相談に行けば表にすぐ漏れてしますので下手に相談に行けないし困っています。よく調べてからもう少し口の堅い人をおいてほしい欲しいと思います。
健康寿命を延ばすにも総合病院の診療科を多くして、毎週治療できる様にしてもらいたい。
特典はないのですか(大変でした)。
保育士としてむつ市は戻ってきて働きたいが、収入がやはり少ない。保育士の仕事内容に理解をもって収入をもう少し上げて欲しいと思う。

その他の自由意見
若者の都市流出の根本的な所に大学が少ないことが挙げられると思うから。
高齢者が多いので必須な事項だから。
子どもを増やすために子育て支援は大切だから。
小さい町なので品物を買う時はマエダなどに行かなくてはならないので、もう少し近くにお店があると便利です。
未満児を保育園に入れてますが高い保育料を取られると、なんだか産んだ人が損をしている気分になります。劇的な対策がないと少子化は解決しない問題だと思う。もっと産みたくなるよう、子育て世代に優しい市になって欲しい。
市営住宅新築移転の話はどうなったのですか。
むつ市はどこへ行くにも遠くて利便性が悪いからもったいないと思う。早く下北道が繋がればもっと魅力的な町になるのでは。
子育てをしながらの仕事に、理解や具体的な取り組みをしている一般企業が増えてくれたら良いと思う。子供の体調不良等で休む際、常に申し訳ないという気持ちが膨らみ、職場に居づらくなったりする。なので安心して働けて、ある程度で良いので安定して収入を得る事が出来たら良いのになとも思っている。
この理由から常にお金の心配をしている状態。
子供たちが選べる専門分野の選択がたくさんあると良いと思う。
子育てでお金がかかるので学校の学費とかも無料にしてもらいたい。
何も期待してない。
生活保護者の通院が多い。年金暮らしの者よりも裕福に生活している。見直しが必要と思う。
町内会に加入しているかどうかという質問がありましたが、加入すると順番で必ず班長がまわってきます。人付き合いが苦手で内向的でリーダーシップが苦手な人は重荷で無理です。正当な理由がないと断れないので辞めるしかありません。一人暮らしなので頼める人もいません。
むつ市には娯楽施設がありません。以前ボウリング場があった時は、楽しみながら運動もできるので、定期的に通っていました。今では運動するきっかけがなくなり、ほとんど運動していません。楽しみもなくなりました。
交通の便が悪い為、高齢者一人暮らしが不便を感じる事が多くなっている。
どの番号にも該当しなかったのですが番号の記入はできませんが、要望事項として記入させていただきます。以前より、当市の誇れる風光明媚なむつ湾（芦崎湾）の景色を見渡しながら憩える公園を作ってもらえないだろうかと思っていました。遊具、アスレチック、スポーツ、屋根の下にテーブルがあり日陰の中で芦崎湾を眺め癒される。何度でも行きたいと思える広い集いの場所。
町内在住者 80 才以上の高齢者がほとんどで、人材が不足し町内行事が負担になってきている。
町内空き家が増え、暴風時タンや木材がとんで危ない。家族はいない為そのまま様子見ている。どこに連絡するのかわからない。
むつ病院は時間がかかりすぎる。朝9時に行って昼2時 30 分頃までかかる。
バス代（本数が少ない交通の便）と料金がかかりすぎ。バス代1回通院すれば 3,000 円かかる。年金生活になれば病院にも行けなくなる。
パソコンの持っていない人も使えない人、スマホを持っていない人もたくさんいるのに、ホームページ見て下さいとよく言われますけど、この様な人もいっぱいいるって事わかっていますか。それと字を大きく見やすく出来ないものでしょうか。それもそうですし、車運転できない人のためにも、バスの本数、考えられないですかね。
安心して暮らすためには、医療機関の充実が重要。医師や看護師を確保するには、地元に必要な人材は地元で育てる必要がある。それを実現するには、オにも関連してくるが学習支援や奨学金の拡充が必要。この問題は時間がかかるので早急な対応が必要。
生まれ育った地元で生涯暮らせることは、幸福感に繋がる。若い人でも地元で暮らしたい人は多い。その望みを叶えるためには、安定した収入が得られる就労先を増やすことが重要だ。
子供の将来の希望を叶え、地元に必要な人材を確保するためには、学習支援による教育の充実は必要だ。人口減のカギはやはり若者や子供にある。
健康でいられる取り組み。気軽に通いえる体操教室等。

その他の自由意見
高齢の人々が安心して暮らせる所がほしい。
若い人々が安心して働ける場所がほしい。むつ市で働いていても生活できる場所。
元気なうちは働きたい人がたくさんいるし、少ない年金での生活は大変です。
子供を産む人が少なくなったのは、子育てにお金がかかりすぎるからではないのか。産む費用も大金すぎる。
ボランティア活動があれば出来る限り参加したいと思うが詳しくは知らない。
むつ総合病院の診療科の充実、技術向上を望みます。呼吸器科もないし開没している科も、毎日診療していない科もあり困る。県病との連携も充実しているが、実際病人を連れて行くのは大変です。
どれにもあてはまらないかも知れませんが、高齢者で独居の家に市役所から色々な郵便が届いておりますが、目もみえにくくなり外出もできなくなっているのに、市役所に聞きに行かなければ解らない物だらけです。私の母も一人暮らしですが、毎回郵便物を確認しに家に訪ねております。近くに誰も居ない高齢者は大変ですね。年金も減っているのに交通機関がタクシーかバスでは出ることも難しいと思います。
地域振興、人口安定の為に一番大切な事だと思う。
人口減少、高齢化、単人世帯が増える中、必要だと思う。
空き家がとても目につくようになり、道の方にいつガラスの破片が飛んで来るかわからないような所もあります。何か良い方法がありませんか、といつも思います。子育てに必要な費用の支援はもっとも必要だと思います(親世代も忙しく厳しい世の中です)。
私はゴミはできるだけ減らしたいと思う。紙1枚、段ボール紙1片でも資源ゴミに出したい。しかし忙しい毎日だついで、子どもに目がいき、けがをさせないように気を配っているとそのひまなく、ゴミ出しの曜日まで逃してしまいます。どちらが大切か、命や資源をはかりにかけてしまいます。
高齢者がだんだん多くなっています。皆様のお仕事の様子をわかってきています。どうかたいへんな職場で、大変な事だと思います。どうかよろしくお願いします。あてはまらない事もあると思いますが、よろしく願ひ致します。返答がちぐはぐかもしれません。
体が弱いため救急車を利用させてもらっています。むつ病院は内科、循環器、整形外科ときちんと行っています。川内からむつ病院まで50分、冬はもっとかかります。もう少し近くにあればと思います。それぞれの科の先生方はみんな良い人ばかりで感謝しています。
どれもこれから未来に向けて大切な事柄なのでできる事から取り組んで欲しいと思います。
番号の通りの事。生活苦もあり、車に乗ることが出来なくなるとの事で、障害で歩く事が難しい生活で年齢的には免許返納してもいいのですが、買い物も不自由なため、どうしたら自宅での生活出来るのか考えている事。私にとってはこれ一番の問題です。
人権や差別という言葉を使い、少数派が大きな顔をしているのはおかしいです。差別を受けているのは日本人です。外国人に生活保護を出すような国は、他に聞いたことがありません。特に共産黨員や軍人のみが、外国へ行ける余裕がある中国人を受け入れるのは絶対にやめていただきたいです。日本の土地が買い占められ、自衛隊の基地周辺が中国人に買い占められていますがおかしいと思いませんか。日本をウイグルのようにされたくありません。中国人を住まわせないで下さい。知らないなら調べて下さい。緊急で取り組むべきです。
高齢者、障害者に対する施設関係はもちろんとでも必要性を感じるが、それに関わる全ての人(支援員、家族等)のケアの問題を考えてほしい。その人達の相談、心の在り方、居場所の確保となる事業を始めてほしい。

(2) 中高生

◎ 健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実

健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実に寄せられた自由意見
青森県は短命県なので、生活習慣病が大人になっても続けば、直しにくいことを伝える。未成年でお酒を飲まない、たばこを吸わないこと、をしっかりと伝えることで、長生きするのかなと思う。
健康づくりや保健に関する情報提供をしてほしい。
誰もが健康で安心して暮らせるといいなと思います。
今日は新型コロナなどがはやっているし、医療が充実していると生活しやすいから。
こんなことをすれば良いなど、こんな施設があるなど知りたい。
皆がいつまでも健康に暮らせるようにしてほしいから。
青森県は短命県として有名になってしまっているの、むつ市から何か改善できることはないか考えてほしいです。
健康が一番大事だから。
コロナがあり、医療には特に取り組んでほしいから。
今の時代、早めに健康診断を受けた方がいい時代だと思うので、一番大事だなと思った。
健康がなにより一番であり、体調を崩すと、これからの影響するから。
むつ市は寿命が短く、もう少し知識が必要だと思う。また、塩分の摂り過ぎなどいろいろなことを知る必要があると思ったから。
健康づくりの活動をすることでみんなの健康意識が高まるから。
高齢化が進んでいるから、もっと充実させなければならない。
情報等をより頻繁に発信してほしい。

◎ いつまでも健康でいられるように、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実

いつまでも健康でいられるように、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実に寄せられた自由意見
体や生活に何の障害もなく過ごすために健康に関する教育をした方がいい。
たくさんの人たちが、この先ずっと健康な体でいられるような生活にしたいから。
みんな健康で楽しく過ごしたいから。
いつまでも健康でいると、みんなと遊べるし好きなことができるし、逆に体調不良とかになると、みんなとも遊べなくなるから。
青森やむつは、短命であるということなので、やはり健康であることが大切という活動をしっかり行ってほしい。
健康でいるのが一番なことだと思うから。
けがなどしたら遠くの病院まで行って治したりしないといけないから。病気などにかかりたくないから。
永久凍土が溶ける影響で、これからさらなるウイルスが出てくると思うので、もっと治せるものを増やしてほしい。
少子高齢化には健康状態なども加わってきていると思う。誰でも健康である必要があると思った。
子どもがしっかり育ち、健康づくりの充実をしっかりとしてほしいと思ったから。
コロナ禍なので、いつまでも健康でいられるようにしてほしいなと思ったから。

いつまでも健康でいられるように、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実に寄せられた自由意見
お金が少ない人も受けれるような金額にすれば、死者も減らせると思う。
子どもから大人の方々が健康でいられるように。
みんなが健康でいられるよう、そのための呼びかけ。
むつ市の人口が少しでも増えるように、健康についての関心をもっと深める活動がもっとあったら楽しいと思います。
健康で長生きできることが一番大切だから。
みんなが健康でいられるような、年に数回の健康のための行事をつくった方がいいと思ったから。
学校で保健などを通じてもっと身近なものと考えた方がいいと思うので、コロナが収束したら医療関係のキャリア教育など増やしてほしい。
小学校では部活動がなくなったため、運動する機会が減った子どもが増えたと思います。それにともない、子どもの親(大人)も運動する機会が減り、市内では運動不足の人が増加すると考えられます。そこで、子どもから大人が気軽に楽しめるスポーツジムをつくとよいと思います。
大畑やむつ市は人が少なく、子どもより老人などの方が多く、子どもの人数を増やした方がいいと思いました。
いつまでも健康でいられるように、小さい子でもわかるような健康に関する教室や、どこが健康といえるのか基準などをもう一度確認した方がいいと思います。家庭内、町内、市内でも健康を呼びかけられると思います。
健康していると人は安心するから。
健康でいられるまちであってほしいと思ったから。
老後の心配がなくなり、安心して暮らせるから。
施設や教育所をつくる。
みんなが健康に暮らして欲しいし、勉強をしたいのにできない人のために、ちゃんとしてほしいと思いました。
身近な人に長生きしてほしい。
みんなが元気で長生きできるようにしてほしいから。健康な体を保つために必要だなと感じた。

◎ 病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やす

病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やすに寄せられた自由意見
むつ病院でもっと医療を発達させてほしい。新たな技術を取り入れてほしい。
遠くまで行かないですむから。
むつ総合病院は、他市町村のと比べて、医療技術の進歩が少し遅れていると感じる。
医療費の支援をしてもらいたい。
いろいろな病気を治せるように。
自分が肩をけがしたとき十和田まで毎週行っていて、むつ市にもスポーツ科みたいな科がほしいと思った。
遠くまで行かないと、いい病院がないから。
むつ病院は質がよろしくはないから。
安心して暮らせるから。
自分にも障害があり八戸まで通っているが、八戸までが遠くて、とても不便で交通費もかかるし、とてもめんどうだから。
病気は怖いから何とかしてほしい。

病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やすに寄せられた自由意見
いろいろな病気を治してくれる科があると、みんな安心だし、短命県を脱出することもできると思うので、やってほしいと思う。
短命県で有名な青森なので、少しでも平均寿命を延ばして最下位から抜け出してほしいです。
むつ市は広く、病院に行くために時間がかかりかかるので、小規模でもいいので、分散させて病院をつくってほしい。
いろんな病気が流行してしまった時に対応が遅れたりしてほしくないから増やしてほしい。
むつ病院とかに、もっと科を増やして、どんな病気でも治してくれる所とか、そういう所があったら人口も増えると思います。
むつ市の市民の健康を守ってほしいから。
がんばってください。
大きな病気やけがで、いちいち市外の病院に行くのが大変だと思うので、難病やケガにも対応できるようにしてほしいと思う。
治すのが難しかったり、あまりない病気だと治せないかもしれないから、いろんな病気を治して少しでも病気で死んでしまう人を減らせればいいと思う。
もっと「一度かかったら治らない」という病気を減らしてほしい。
病院の科を増やして早期発見やたくさん病気を治せるように、科を増やしてほしい。
高齢や障がいのある人で、困難な生活を強いられるのは辛いことだと思うから、どんな人でも活躍できる場所をつくってほしい。
わざわざ市外の病院に行かなくてはいけいないから。
もっと治すのに難しい病気などでも治せるようになってほしい。
・たくさん病気がある中で、少ししか治すことのできない病院があったとしても、人口がどんどん減っていく。 ・少子高齢化にもつながると思った。
困っている人がいるから。
コロナが増えるかもしれないから。
病院内で病気などを完治することができないと、人口がもっと減ってしまうかもしれないから、もっとたくさんの科を持った方がいいと思います。
病院の各科の待ち時間が長い。もっと病院に行きやすくしてほしい。
いろいろな病気で悩んでいる人もいるだろうから。
重い病気やケガをしてしまったら市外の病院に行かなければいけないのは仕方がないことだが、もう少し科を増やすなどしてほしい。
今でもあるけど、もっと増やして、遠くて行けないなどを改善できると思うから。
病院で使っている器具だったり古かったり、どの病院でもほとんどの先生方に対する信用度がとても低いです。態度が悪かったりして、みてもらっても良い気分にならないです。
いざ自分がなったときに、3があると安心できるから。
病院が少ないから。
専門の科で診てもらえた方が患者としてはうれしいと思ったから。いろいろな科を増やせば、個人個人にあった治療が受けられると思うから、一つ一つのクリニックを合わせたところをつくった方が、移動を減らせて高齢者にやさしいと思う。
いつどんな病気になるかわからないから。
病院に行って、むつでは治せない病気があったら、青森に行かないといけなくなるので、大変だから。
曜日ごとに沢山の科を決めると行きやすいと思う。でも、月、金は、全科が居るといいと思います。
病気で困っている人たちのために医療機器を増やして、次の行くステップを踏み出して、元気になってほしい。

病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やすに寄せられた自由意見
専門的な医者がいろんな病気を治してほしい。
ここでは無理なので、他の所に行ってくださいって言われるよりも、科を増やして、そこで済ませられるようにすればいい。
今、こういう時代なので、医療関係を発達させてほしいです。
分からないなら分からないと、治せないなら治せないと、はっきりと言ってほしい。何か問題があるのなら、科を増やすなど取り組んでほしい。
病院にいろいろな科があったら、どんな病気でも県外に行かないで病気を治せるし、他県からの病人も来て仕事にやりがいがあるから。
医療に格差は必要ないから、お金がない人でも気軽に相談できるところを作ってほしい。
ジオパークより医療。
むつ病などにいくと、すぐに青森の方に行けと言われるので。
病院でホクロを取りたい。
人の死で悲しむ人は多いので、その悲しみが少なくなるといいと思います。
県外に行く必要をなくしてほしい。
病気を治すために必要だと思う。
今の時代、医療の改革は必要だから。
適当にやっているところがあるから、ちゃんと見てほしいから。
病院での印象が悪い。
様々な病気を治してくれる科が増えれば助かるから。
病院がいろいろ充実してくれるととても助かるから。
病気を治せる科が少なければ、その人もむつ市から出て行かなくてはいけなくなり、人口減少につながる。また、緊急の場合でも対応できるなら、安心、安全に生活できる。
・むつ市外に出ないとしっかりとちりょうしてくれる人がいないから。 ・もっと機械を増やしてほしい。
自分はよくけがをするから。
今すぐにも、となったときに施設が整っていないのはとても困るし、あってはならない。人の命に関わることは、いくらお金がかかったとしてもやるべき。頼りがいのない病院だと、市から人も出て行く。
医療の発達は大切。
もっと長生きする人が増えてほしい。
むつ病院の医療が遅れているから。
・むつ市にいる医者は態度が悪い人が多い。 ・医療ミスが目立つ。 ・がんも年々増えてきているから、がん専門で対応できる人もほしい。 ・人の命をあずかっているという自覚を持ってほしい。
むつから遠くの病院にわざわざ行っている人が身近に多いから。
むつ病院では診てくれないような病気の時に不便だから。
むつ病院では治せない病気もあるから。まず医師と看護師が不足しているため、患者一人一人にかかる時間が短くなっている。
むつ市は、とてもやぶ医者が多く、信用することができないから。
病院はあっても人手が少なく、病院で待つ時間が多いと親が言っていた。
みんな病気を治してもらうことを望んでいるし、長生きしてほしいと思うから。

病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やすに寄せられた自由意見
・病気にかかってむつ病院で見逃された人がいるから。 ・むつ病院が古すぎて、そこで死にたくない。もっときれいにしてほしい。
たくさん命を救ってほしいです。
むつだと適切な治療が受けられないため、市外の病院へ行くことが多いから。
治せる病気も治せなくなると思います。
むつ市では治療ができず、市外へ出るケースもある。
しっかりと診察して、その人の肌に合った薬を提供してくれる皮膚科があると助かります。
むつの病院ではみてもらえず、市外に行くことが多い人がいる。
今、コロナの中で病院に行きたくても行けない人などのために、しっかりと充実してほしい。お金か けいとか・・・。
将来の夢により近いことだと思った。
病気になったときに病院に行って、しっかり丈夫に治してくれるところがいいし。
1時間かけていかないとちゃんと治療のできる病院がないから、先生を増やしてほしい。
病院が少ない(むつ病院への負担が大きい)。

◎ 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実

高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実に寄せられた自由意見
高齢者に少しでも長生きしてほしいから。
高齢者は、年を取るにつれて仕事に使ってもらえないことをニュースで見ましたが、仕事をしなかつたらお金がもらえないし、障がい者というだけで雇ってくれない会社があるので、それだと差別だと思 うので、充実した生活を送ってほしいと思いました。
差別なく、みんな平等に暮らせる町づくり。
高齢者を介護できる人の数が減ってるから。
高齢者など、苦しませないよう、自宅で安全に暮らしていけたらいいと思った。
もっと日頃から高齢者に優しく接してほしい。
老人ホームとかじゃなくて、自宅で過ごしたいっていう人もいるから、快適に過ごせるようなサービスをし てほしい。
家族も一緒にいたいと思うから。特に大きな理由がなければ、病院や施設などよりも自宅の方が安 心できると思う。
高齢者が自宅で住んでいくための生活支援は必要だと思います。また、障がい者を支えてほしいで す。
高齢者が安心して暮らせるような町をつくってほしい。
高齢者が増えていくと思うし、障害者にも優しくなってほしい。
おじいちゃんが寝たきりでおばあちゃんとの老々介護になっているから、早く充実して、楽にさせてあ げたい。
この時代、高齢者が増えてきています。しかし、それと同時に、介護関係の職持ち、施設がどんど ん減っています。そうなる、自宅での介護になってしまうので、必要だと思いました。
一人で住んでいる高齢者のことを考えたサービスがあった方がいいと思います。

◎ 高齢者福祉施設の充実

高齢者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
待たなくても良いように。
病気を早く見つけて、治療できる人を増やし、多くの人の命を救うため。
今、高齢者だんだんと増えているので、老人ホームなどの福祉施設をもっと充実してほしい。
この先の人生を考えると、高齢者の福祉施設が発達すると、高齢者は楽に生活できてとてもいいと思います。
介護士が足りていない。
お年寄りの人たちが、老人ホームでのびのびと生活できるようにしてあげてほしい。
高齢者が増えたからこそ、老人ホームをもっと高齢者のために過ごしやすい場にしてほしい。
寝たきりの方とか、高齢者の方が、充実した生活を送れるように、老人ホームをもう少し充実させた方がいいと思う。
一人で暮らすよりだったら、皆で暮らしてほしい。
介護施設が足りず、サービスを受けられない人がたくさんいるから。
ジオパークに使う金があるならこっちの方がいいから。
高齢者が多すぎて、病院のベッドが埋まってしまっている。
高齢者が増えてきたので、高齢者にも安心して過ごせる老人ホームができてほしい。
年代を重ねていくことによって高齢者が増えていき、老人ホームなどがなくなれば暮らしていけないかもしれないから。
高齢者福祉施設で働く人を増やした方が良くと思う。
少子高齢化が進んでいる地域だと思うので、高齢者の方が安心して快適に過ごせるようにしてほしいと思ったから。
子どもが減少して高齢者が増加しているこの時代、高齢者一人一人が安心して暮らしていけるように、老人ホームの充実はもっとも大切だと思ったからです。

◎ 障がい者福祉施設の充実

障がい者福祉施設の充実に寄せられた自由意見
施設が少ないと思ったから。
障がい者が安全に住めるように施設を建てればいいと思います。
もっと一人一人が障がい者に対する考えを持ち、将来のことも考え体験などをしてみるといいかもしれないので、増やしてほしいです。
子どもが少なくなってきたにつれ、子どもの病院（小児科等）の先生たちが、変わらないから。
障がい者が一人で暮らしているのは、何かあっても見る人がいなくなるし、そういう人のためにも介護施設は充実して行って、高齢者の方でも元気に過ごしてほしいから。

◎ 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実

高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実に寄せられた自由意見
笑顔で働けば一生楽しいから。
むつ市に医療の発展がまだまだで、私の祖父もわざわざ遠くの病院に行っているから、もっと信用できるような病院をむつにもつくってほしい。
高齢者が障害をもっている人も安全でいられるように。

高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実に寄せられた自由意見
不自由な人や高齢者の人にも少しでも働ける場所があったら、一人の人にはお金が入っていいと思ったし、不自由な人は働けませんとかがあると困ると思ったから。
働きたくても働けなくて、生活できていけないとかわいそうだから。
不自由であってもその人がやりたいことがあるかもしれないから。
足の悪い人にのぼりやすいものをつくる。
体が不自由になったらお金に困ると思うから。
困っている人がたくさんいるから。

◎ 高齢者・障がい者への虐待防止活動や成年後見人制度の活用を増やす

高齢者・障がい者への虐待防止活動や成年後見人制度の活用を増やすに寄せられた自由意見
最近、ニュースなどで親が自分の子どもに虐待していることが取り上げられていて、それを見ると、心が痛くなったり、なぜ自分の子どもに虐待するのだろうかと思っています。なので、虐待をしないように、そして子どもが楽しく安全な暮らしをできるようにしてほしいと思います。それは、高齢者の人や、障がい者の人も同じで、親がくれた命を守ってほしいので、虐待をしないようにするための活動を増やしてほしいです。
高齢者だけでなく、看護・介護する側にも何かあってほしい。
将来が見えない障がい者のひとたちに少しでも希望を与えてほしい。
どんな現状なのだろうか。
認知症の高齢者や衰弱している人に対して、家族がいらいらして。

◎ 高齢者・障がい者関係

高齢者・障がい者関係に寄せられたその他の意見
介護施設の残業時間を少なくしてほしい。もっと給料が高くていいと思います。

◎ 安定した収入が得られる就労先を増やすこと

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
会社に入社したばかりだと手取りのお金が少ないから、最初から安定した収入を出す。
収入が安定した方がいいと思うから。
お金がほしい。
生活で困っている人たちがいる。
上の位の人が収入を多くもらうのではなく、位が上でも同じくらいの収入にすればいい。それが一番の差別だと思う。
むつ市内の人口が減っている原因は、『安定した収入が得られない』から都会などに出て行っていると思うので、むつ市内でも安定した収入が得られる場が増えたらとても嬉しいです。
むつ市の最低賃金がすごく少ないので暮らしが厳しい人もいるかもしれないから。もう少し最低賃金を増やす。
安定した収入をもらえず暮らしに困っている人を減らしてほしいから。
安定した収入がないと、将来不安だから。
もっと安定した仕事があれば、人口が増えると思います。

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
安定した収入が得られる場所を増やすことで、充実した生活を送れる人が増えると思ったから。
安定した収入をもらえる会社がないければ、生活できないから。
大学の後の就職先がむつ市にないから、人口がどんどん減ると思ったから。
将来のことで安心できるから。
コロナの影響もあり、職を失っている人は少なからずいると思います。安定した収入が得られる職業を増やしてみんなが安定した生活を送れるように。
生活が苦しいのはきついから。
コロナ禍で、安全でかつ安定して収入を得られる就職先をつくるのが大事だと思う。
安定した就労先があれば、むつ市に住み続ける人も増えると思うからです。
みんなが安定した収入で暮らせるような社会が良いから。
職場の充実は何より地域を底上げできるものだと思う。
収入が安定しないと、将来のこと、趣味、何もできねーよ。高校でバイトするところがなくて、一人暮らし中だけ金ねーよ。全部面接落ちたー。最低賃金上げてくれ…三村。
むつ市内で収入が多い就労先があると聞いたことが全然なかったので、資金を全体的に増やしてほしいと思った。
安定した収入がないと、生活していくにも何かしら不便だから。
安定した生活があればみんな助かる。
安定した収入があった方が嬉しいので選んだ。
むつ市に住み続けたいと思うためには、一番に安定して収入を得られる場が必要だと思ったから。
収入が少ないから多くすれば人が残る。
職場が少ないと思ったから。
青森県は収入が低いので、高くなるようにしてほしい。
コロナの影響で収入が減ることもあるし、安定した収入がもらえたらお金に困らないから。
安定した大手の会社がないと、人は出て行く一方。
生活に困ることがなくなり、暮らしやすくなるから。
時給を増やす。
給料、時給が少なすぎる。パワハラ、セクハラ、サービス残業など、私自身も友人からもよく話を聞くので、どうしたらいいか学校でも教えてほしい。
市内で収入がないなら市外に行くしかない。
むつ市に安定して収入が得られるところが少ない上に、職種も限られすぎている。
給料が低いイメージがある。
幸せになる人を増やしてほしいです。
もっといろいろな学科や仕事があれば、わざわざ市外に行かなくてもよくなるので、人口減少も少しは解決するのではないかな。
安定して収入が入り、豊かに暮らせる状態を保ってほしい。
むつ市は仕事が少なく、やりたい仕事がない場合もあって、仕事が少ないと生活ができなくて、むつ市から出て行く人も多くなると思った。
安定する収入がほしい。

安定した収入が得られる就労先を増やすことに寄せられた自由意見
むつ市はどことも給料が安い。安定したところも少ない。だからもっと安定し、給料がまあまあいいところを増やせばいい。病院など自分が住んでいる地域はまあまあ給料いいと聞かすが(事務でも)、でもむつ市は少し安いなあ〜って感じる。

◎ 生活に必要なものがいつでも手に入る店を増やす

生活に必要なものがいつでも手に入る店を増やすに寄せられた自由意見
からだの不自由な人でも、ほしいものなどを家(自宅)からすぐに行って買うことができるため。
むつにもう少し便利にものを買える店を増やしてほしい。
むつ市には東京などにある店があまりないので、増やしてほしいと思ったから。
欲しい物や必要な物が手に入らないこともあるから。
大型店を増やしてほしいなと思った。
むつ市が店や楽しむところがなさすぎて、都会で手に入るものが手に入らないや、有名人も来なく、むつ市の発展につながらないから。
むつ市には買い物をする大きなところはあるが、全体で見えていくところもないところもあるから、どこに行っても必要なものを買えるところを作った方がいい。
便利にしてほしいから。
子どもも大人も楽しめるような、大型のショッピングモールなどがあると、町のみなさんの生活も楽になると思います。
同じ店が何個もあるだけ(ドラッグストアなど)で、中高生たちが休日などに過ごせるところが少ないから。
遊べる場所が少なく、不便。
むつ市はお店はあるけど売っている物が少なかったりするので、増やしたりしてほしい。
生活に困っている人などがいたときなど。
こういう状況がいつ起こるかわからないので、困っている人を助ける取り組みをしてほしい。
もう少し本屋さんを増やしてほしい。TSUTAYA だけだとやっぱりドリル・ワークのバリエーションが少なく、自分に合った勉強の手助けとして行ってほしいなあ〜と思う。
・もっといろんな店を増やしてほしい。コンビニとかも、ローソンなどばかり増やすのではなく、セブンイレブンもたててほしい。
・中学生とかが遊べるところが限られているから増やしてほしい。
欲しい物があるのですが、それが市外にしかなく、ネットで買うか、その場に行くしか手段がありません。休日などにすぐ行けるような場所(スーパーマーケットなど)をもっと増やしてほしいです。また、動物の保護施設を増やしてほしいです。身近に見たいし、ペットがほしいと考えているからです。
川内にもコンビニなどをつくってほしい。
古い物だけでなく、最新も物もあるとすぐ買うことができると思う。
発売日に、むつの店はそれがなく、種類が少なく、いろいろな物を買えないから。
お店はたくさんあってうれしいけど、ほしいのが売っていない。
むつ市は店が少なく欲しい物があっても手に入らないときがあり、不便だからお店を増やしてほしい。買い物に不便。
店を増やしてほしい。
そのような店が少ないから。
必要なものを買うために青森市や弘前市や県外などへ行くのなら、そこへ住もうとなり、人口の減少につながると思うし、欲しいものは手軽に入手したいと思うから。
ネットに頼るのではなく、何でも買えることができる場所を見つけられたらいいと思ったから。

生活に必要なものがいつでも手に入る店を増やすに寄せられた自由意見
地域にコンビニや日常生活用品の店がない。
そのような店があると嬉しい。
イオンがほしい。
不便だから。
自分は下宿生活をしていて、生活に必要なもの、ティッシュペーパー、洗剤などあるので、買いに行くにも少し遠いし、近くを買えるところがあると便利だと思う。
ショッピングモールみたいなのを作ってほしい。
こっちは取り扱っていないものとかがあるから。
みんなが必要なものにお金をかける必要性とは？
むつにはないお店がいっぱいあるから。
ドン・キホーテがほしい。
夜中とか、急に必要になったものが手に入らないことがあるから、店を近くに増やしてほしい。
遠くに行かないと買えないもの（服とか）を売っている店が少なく、不便だと感じたから。
生活していく中で、足りない物がある人は多くいると思ったから。

◎ 青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活で必要なもののリユース支援

青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活で必要なもののリユース支援に寄せられた自由意見
その物を捨ててしまうより、誰かに再利用してほしい。
いろいろな理由で食べれないとかあるから、そういう子だけのための食堂とかをいろんな所につくってほしい。
子ども食堂がおもしろそう。
お金がないだけで将来が住みにくくなるのは良くないから。

◎ 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり

地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくりに寄せられた自由意見
むつ市の魅力をもっと全面的に表現すればいいと思う。
むつ市から人が出て行くのを防ぐために、学び、働くサイクルが実現となれば、人口減少を抑えられると思うから。
大学がないことで、一度市を離れなければならないため、大学の充実が必要だと感じている。

◎ 困難に直面している方への支援の充実

困難に直面している方への支援の充実に寄せられた自由意見
世の中には食べ物も食べられない人がたくさんいるので、そんな人たちを助けてほしいから。
職につけなければ生きて行くこともできないし、話す力、人との関わりができなくなってしまうから、一人でいるよりも、少しでも周りに助けを求められる存在をつくれるようにしなければいけないから。
引きこもりなど困難に直面している人は相談などをしにくかったりする。そのため、カウンセラーの人などがその人と少しずつ話をしていくことで、少しずつ解消できると思う。
ひきこもりで自殺してしまう人が多いので、そういう環境より皆で支え合っていける環境を作ってほしい。

困難に直面している方への支援の充実に寄せられた自由意見
一部の人が活躍できていない社会は、とてもよくないと思うから。もっと、辛い思いをしている人に目を向けてほしい。
中学校に入って学校に来ない人が増えたと思うので、そういった人たちを少しでも通わせるため、支援してあげてほしい。
不登校の子も学校に来やすいような環境をつくってほしいです。
ひきこもりのように、なかなか社会に出る勇気や意欲の持てない人の長所を活かせる支援をするべきだと思う。
誰もが安心して就職できる環境をつくることは、日本からしてもプラスだと思います。社会に不安を持っている人たちの心のケアも大事だと思います。
私の学校では学校に来ていない人がいるので、自分たちができることを知りたい。
少しでも自分に自信を持って生活をしてほしいから、少しでも自分が支援をする。
引きこもりや困難にあった人を助けてほしいため。
誰も頼れないのは苦しいから。
親の収入が少ない子どもに支援できるようにした方がよい。
ひきこもりや就職難で自殺してしまう人がいるかもしれないから。
今の時代には必要だと思う。
相談窓口を設置するだけでは何も解決しないと思う。
今のむつ市は、人としての常識が少し足りてないのかなと思った。例えば、ひきこもりで家から出られなかった人が勇気を出してアルバイトをしたのに、その職場でいじめに合い、さらに社会に出ることが困難になってしまったというのが実際、私の身近であった。なので、そのような人たちを助けるためにも、この課題に力を入れてほしい。
兄弟が多くてお金がギリギリで生活している人への支援などをしっかりしてほしい。
このご時世、就職したいがコロナのせいで就職が難しい人がたくさんいると思うから。
就職難などにより、お金がない方たちがいます。しかも、このご時世、クビになっていく人たちもいるので、その方たちの支援も必要だと思いました。

◎ 妊娠期から義務教育卒業時期までの子育てや家庭問題の相談窓口の充実

妊娠期から義務教育卒業時期までの子育てや家庭問題の相談窓口の充実に寄せられた自由意見
コロナなどのパニックで職を失い、収入が安定していないから。
今はコロナの関係もあるけど、しっかり幼児とかが通うところを充実してほしい。
子育てで悩んでいるママさんたちに相談窓口を作って少しでも悩みを減らしてほしい。
小さな命がたくさんなくなるよりなら、相談できれば小さな命も大切にしようとするんじゃないかと思ったから。
子育てで悩んでいるお母さんは結構いると思うから、うつ病になる前にでも助けてあげてほしい。子育てが楽しいと思えるようになれば、むつ市の人口は増えると思うから、気軽に相談できるようにネットに書き込めるなどの、いつでもできるものをつくったらいいと思います。
子どもを育てるのが大変だけど、がんばって育てるぞーって言って、育てるけど、大変で、子どもとトラブ的なことになったときに、相談窓口が大事だと思った。
家庭の悩みは誰にも相談できないから。
若い人が減っているのだから、子育てや妊娠などがしやすい町にすれば、若い人が増えると思ったから。
人口を増やすには、やはり子どもを増やすべきで、親が安心して子育てができる環境をつくるべき。
この町で子どもを育てたいか決めるとき、もし一人で全てをやる場合、相談できる所がほしい。

妊娠期から義務教育卒業時期までの子育てや家庭問題の相談窓口の充実に寄せられた自由意見
今、日本やむつ市がどんな現状なのか、どのような取り組みをしているのかが知りたい。
子どもの面倒をみる環境を充実させたい。

◎ 保育園、幼稚園やこども園の充実

保育園、幼稚園やこども園の充実に寄せられた自由意見
楽しく過ごすため。
小さいうちにいろいろ学んでいく中で、充実した生活を送ってほしいと思った。
子どもを増やしてほしい。
子どもの数は減るかもしれないけど、保育士さんが働く場所が減ったりしてしまうから。
もっと充実できるようにしてほしいから。
むつ市には、保育園や幼稚園をもっと増やし、子どもの教育に力を入れてほしいと思いました。
子どもに良い環境で育てほしい。
保育園などに遊具を増やしたりして、園児が楽しめるような保育園、幼稚園にしてほしい。
特に公園がほしい。鬼ごっことか体を動かせる広いところ。
まだむつ市にも待機児童がいるようなので、学力の差やコミュニケーション力の差を減らすために取り組んでほしい。
保育園や幼稚園に入れなくて困っている人がいるので、そこを改善してほしい。
待機児童がいて、親が働けないから。
少子化が進んでいるからこそ、保育の減少を抑え、充実させてほしい。
増やしてほしい。
保育園や幼稚園、児童館の空き数が全くなって、悩んでいる親が毎年たくさんいると思います。身寄りがなくどうしようもできなくなっている人がいるので、もう少し増やした方がいいと思います。
少子化だから、充実していたらよいと思って。

◎ 子育てに必要な費用の支援

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
子育てに困っている人たちを助けてほしいから。
子育てはお金がたくさんかかるから。
子育てにはお金がかかりすぎるから支援する→子育てしやすくなる→いい都市になる→人がやってくる→発展する
ぼくのような母子家庭では何が起こるかかわからないし、80 過ぎているばあちゃんもいつ働けなくなるかわからない。もしも余裕があるのであれば、もう少し母子家庭の給付金を増やしてもいいと思う。
シングルマザーとかだと子どもを育てるときにお金が足りなくなってしまうかもしれないから。
お金が足りなくなったりして、いろんな物が削られて大変になるから。
子育てにかかるお金は高いものだと思うので、安くなったらいいなと思いました。
子どもが学校に行けないことがなくなるようにしてほしい。
子育てをしている時は仕事ができなくなると思うので、少しでも子育てに必要な支援や費用があると助かると思います。

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
子育てだけでかなりのお金がかかり大変だから。
がんばってください。
少子化が進んでいる理由として、子育てにかかる費用も理由だと思うので、費用の支援をすると子育てしやすくなると思うから。
子どもが小さいうちは特に力を入れてほしい。
子育て支援をしないとお金に困っている人が子どもに虐待するかもしれないからです。
自分が子育てをするときに、もし金銭的余裕がないと困るから。
市や町で把握できていない夫婦間でのいざこざだったりがあるから、〇歳までは〇円を1年の間に寄付したり・・・。
子育てでは、たくさん費用がかかると思うので、子育てをしてる人を支えた方がいいと思ったから。
コロナ禍で大変そうだから。
お金がなくて保育園や幼稚園に入れられないのはかわいそうだから。
父子・母子家庭がいる中で、子育てのための支援も大切だと思うから。
私の親の、子育てのためのお金がだんだん不足しています。学校などのお金で、プライベートで使うお金が減って困っています。だから、支援してほしいです。自分や親のためにも、お願いしたいです。
安心して暮らせると思うから。
お金がなく、子どもを捨ててしまう人がいるから。
子どもは何よりも大切だから。
足りなくて困っている家庭もあると思うので、もう少し増やして、その家庭の不満、不安を無くすことがいいと思います。
不安しかない。
子育てはすごくお金がかかると聞いていて、実際兄の子どもが生まれたときに、お金がかかったときいていたから。
子育てがしやすいと人口が増えると思うし、将来子どもができたときに自分も住みたいと思う。
支援してほしいから。
一人親世帯が増えてきていると聞いているから。
子どもへの支援は必要だと思うから。
子育てにはお金がかかるので、支援してもらえば助かる人も増えると思う。
わからないのでない。
子育ては支援してあげるべき。
シングルマザー、シングルファーザーなども多くなっているこの世の中で、むつ市で暮らすとなると、金銭的に子育てが難しくなってくる(職業とかを考えると)。
コロナ禍で大変だと思ったから。
少子化の問題の一つだから。
子育てでは一番費用が心配だという人が多いと思うから、これに取り組めたら子育てに対する不安がかなり軽減されると思ったから。
増やしたほうが良いと思う。
そのような制度があっても、実際それを知っている人は少ない、ということもあるのかな、と思います。
子育てに関することで、金銭面で困る人が多いと思うから。

子育てに必要な費用の支援に寄せられた自由意見
お金がなくて子どもを傷つけるということがないように、シングルマザー、ファーザーの味方につく。困っている人を助けないと、いい市にはならない。
むつ市に人を呼び込むためには、子育て支援を充実させ、快適な暮らしをできるようにしなくてはならないと思ったから。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人親世帯や、子どもが多い家への支援に偏りすぎていると思う。 ・一人親世帯は、ただでさえ手当てがあると思う。 ・小さい子どもがいる家への支援が多いが、実際お金がかかるのは中学生や高校生だと思う。
金銭的な面で子どもがつくれず、少子化が進んでいるというのもあるのではないかな？
子どもの発育に必要な費用の支援をすることで、むつで子どもを産もうとする人が増えると思います。
子育ての費用に不安がなければ、安心して子どもを産めると思う。
子育てをしている人は自分の他に子どもにもお金をかけなければならないから、支援をしてあげればとても助かると思う。

◎ 子どもへの虐待防止活動や子どもの権利を守るための支援

子どもへの虐待防止活動や子どもの権利を守るための支援に寄せられた自由意見
虐待で亡くなっている子どもたちがいるから、保護施設をたくさんつくる。
むつ市の人口が減るのはこのようなことだから、すぐに取り組んだ方がいい。
子どもにも権利があることを主張してほしい。
最近子どもの虐待で子どもが死んだりするニュースを見て悲しかったから。
子どもという小さなときに苦しい経験をしてしまうと、この先もずっとこうなんだなどマイナス思考になってしまい、ひきこもりや自殺などにいたってしまうから。
いじめ(虐待)が発覚したら相談できる場所を増やしてほしい。
虐待は親として、大人として、絶対にダメな事。ぜってえすんな。
子どもに悪い影響を与えないようにし、しっかり育つため。
子どもへの虐待をなくすため。
最近ニュースでこのような事件を目のあたりにして、子どもが死亡することを防止できるのであれば、そのような支援があった方がいいと思ったからです。
ニュースとかでも結構見てて、死んでしまった子もたくさんいるから、いろいろな対策をしてほしい。
家族が仲良くしてほしい。
虐待された人は、ずっと心や体に傷がついたままだと思うし、それがきっかけで、人と関わるのが怖かったり、拒否したりする人がいるかもしれないから。誰でも気軽に相談できる場所をつくってほしい。
虐待されても、相談できない人がいる。学校などの先生や大人に相談しても改善されないケースがある。それは、周りも悪いが、親が一番悪いと思う。子どもは自分の道具ではない。感情もあるし、一回で無くなってしまう。年齢で、生きる価値や意味や権利は変わらないと思う。
虐待から子どもを守ってほしい。
地域で協力することが大切だから。
子どもの虐待はあってはいけないから。
虐待をなくして事件をなくしてほしいから。
小さい子どもでも相談できる施設がほしい。
虐待は大人になっても心に残るはず。
親のせいでも子どもが苦しむのはおかしいから。

子どもへの虐待防止活動や子どもの権利を守るための支援に寄せられた自由意見
虐待はとても悲しく、双方が得をしないことだから。
子どもへの虐待が増えるとかわいそうだから。
学校でも調査すべきだと思う。虐待があった場合、生徒から相談を受けた場合の先生たちの対処法も話し合っしてほしい。助けてくれないときが多いと思う。
子どもに権利はあると思う。親だからといって上に立つのはおかしいと思う。
子どもが親に恐怖心などを持たないで生活できるようにしてほしい。
子どもへの虐待のニュースなどを見ると、胸が痛くなるから、もっともっとこれを支援してほしいなと思ったから。

◎ 学校での福祉や保健に関する教育の機会を増やすことによる人材育成

学校での福祉や保健に関する教育の機会を増やすことによる人材育成に寄せられた自由意見
教育の差がなく、みんな同じくらいのレベルであることを育成する。
学生のストレスは学校や家だと思うから。
昔より学力は下がっているとされています。なので、むつ市から良い人材が出るためにも、むつ市全体の学力向上のためにも、大切だと思う。
子どもに夢を持たせるため。
福祉、保健に関するものはもう少し具体的に教えた方が良いと思う。
子育てには、教育も大事であるから、皆が質の良い平等な教育を受けられるようにするため。
ついていけない生徒にも成長できる環境がほしいため。
福祉や保健に関する機会を増やして人材育成してほしい。
子どもが減ってきているので、人材育成をし、将来のために生かしていければと思ったからです。

◎ 小中高生への学習支援による教育の充実

小中高生への学習支援による教育の充実に寄せられた自由意見
むつ市内には大学がほぼないため。
大人になったら学べないこともありそうだから。
学校を自由にしてほしい。
小中高生で勉強をしたりしないと、将来的にとっても大変なことになると思うから。
学校の備品をもっとよくしてほしい。
学校で受けたことは社会に行っても役立つと思うから。
将来のことを考えてほしい。
学校の遊具を新しくして、便利にしてほしい。
もっと学校生活を楽しくさせたいから。
教育が充実していなかったら、将来、役に立つ大人が少なくなっている可能性があるから。
学校で勉強したら、すべてが身につくぐらいの授業をしてほしい。
子どもたちが楽しいと思える学校にほしいから。
社会に出るためには、小中高による学校や家庭などの教育が必要だと思ったから。

小中高生への学習支援による教育の充実に寄せられた自由意見
大事なテストも充実した環境でできるようにしたい。
勉強で不安に感じることが多い。
勉強がしたくても、できない人がいると思うから、格安で教えてくれる場所があるといいと思います。
もっと安心して暮らしたい。
受験などをひかえた生徒にもう少し工夫をしてほしい。
小中学生の学力向上のためや、高校受験のために、学び合いの時間をもっと増やしてほしいです。
今の成績で高校に行けるか不安だからです。
生徒が自宅以外で学べるような場所を作っていただきたいです。学校や自宅で休日勉強しているのですが、時間による制限や環境等、個人の努力ではどうにもならないことがあるので、ぜひ作っていただきたいです。
自習スペースがほしいから。(塾に通わなくても利用できる)
むつ市全体での学力の向上のために、むつ市の小・中・高生でテストを行って、順位を出し、競争意識を高めさせてもよいと思うからです。
学力がないと、むつを出ても通用しないし、大学なども良いところに入れないから。
もっと効率よく勉強するために必要だから。
学力低下しないため。
さらに上をいかなければならないから。
みんな思っていると思う。
大学や予備校がないため、他の地域に比べると、情報が回ってくるのが遅いように感じる。
都心などの学校と比べるとレベルの低い教育をしていると思ったから。都心などの学校と同じような教育をしてほしい。
優秀な先生がいてほしい。教え方の上手な先生や、自分たちに年の近い先生がいてくれたらいい。
むつ市の塾は進学させたいという意識が少ないと思う。
お金がかかりすぎて親が大変だと感じます。特にコロナ禍で収入が減ってきているので、支援が充実したら嬉しいです。
小・中・高生への学習支援をもっとしてほしいから。
小中高生への学習支援による教育の充実は、子どもたちがたくさんのことを学ぶために学習ができる環境ってとても大切だと思ったからです。
小中高の学習支援がないと、進学、専門学校、就職して将来大人になったときに、しっかり仕事についていけなくなると思うので、必要だと思うから。
学力の低下が見られるから。
お金はやっぱり大切だから。

◎ 大学や専門教育機関の充実

大学や専門教育機関の充実に寄せられた自由意見
むつ市は大学や専門教育機関が少ないと思うから。
学校にかかるお金も高いものだと思うので、安くなってほしいと思いました。
今のおつ市は、専門的な知識をつけられる大学や教育機関がほとんどない。だから、若者はやむを得ず市外に出て行くことも多いと思う。この問題を解決すれば、人口の減少を、緩やかにできるのではないかと感じた。

大学や専門教育機関の充実に寄せられた自由意見
いろいろな分野の大学や専門学校が充実しないと、市外や県外に引っ越したりしないといけなくなって、たくさんお金がかかるから。
大学のためにむつ市から出る人が多いと思うので、色々な大学を作ってほしい。
むつ市には大学があまりないから、増やしてほしい。
将来の夢が看護師なのですが、むつ市に看護関係の大学がなく、どうしても県外に行かなくてはならない状況なので、むつ市に大学ができてほしいと思ったからです。
学びたいものの専門学校がない。
大学や専門教育機関が充実すると、むつ市で学ぶため、むつ市に住む人が増え、人口を増やすことができると思うから。
むつ市には、大学や専門学校などの、大学以上の学校が少なく、近くで学びたくても市外や県外まで行かないと、学べないから。
もっと大学とかを増やせば、むつ市の人口が減る原因が少なくなると思う。
大学や専門学校が少なく、進学したい人は市外に出ざるを得ないから。他の市や町の大学との交通の充実化をはかってほしい。
最近、大学の分校のようなものができたのは、すごく良いことだと思うので、これからも続けてほしい。
むつ市に大学とかがないから作ってほしい。
むつ市に大学がまだ一つしかないから。
大畑にはあまり大学や専門学校がないので、もう少し増やしてほしいと思います。
よい大学がないから市外へ出てしまっ、そのままそっちに行ってしまうと思う。大学があれば人口減少も少しは収まると思う。
むつ市まで進出してくる大学が少ないので、増やしてほしい。
大学がないから若者が離れていってしまう。
大学などの教育機関がないため、進学を希望している人はむつ市を出て行かざるを得ない状況になり、それが人口減少につながると思うから。
身近な所に学習することのできる施設が必要だと思うから。
大学などの機関を充実することによって、将来が変わってくると思うから。
むつ市に専門教育機関を増やしてほしい。
大学への進学のために市外へ出る人が多い。そこで大学などの施設をつくり、市内で進学できる体制があれば、人口減少にもつながると思う。
むつにも大学の科を増やして学びの場を増やすべき。
・自分がやりたい動物関係の学校が青森県にないので、一つでも作ってほしい。 ・動物だけじゃなく、もっと別の学科のある学校がほしい。
大学が少ないため、どうしても県外、市外に行く必要が出てきてしまう。
大学や専門学校がないと、どんどん若者が減っていくと思う。
むつには、大学や専門教育機関が充実していないから、県外、市外に出て行く人が増えると思ったから。
むつには大学や専門教育機関が少ないので、高校生以上はむつ市以外に行ってしまうと思う。
むつ市にも大学・専門を置いてほしい。
大学を増やせば人口減少を抑えられると思う。
教育機関を増やせば、多少、人口減少を抑えられると思う。
もっといろいろな学科や仕事があれば、わざわざ市外に行かなくてもよくなるので、人口減少も少しは解決するのではないかな。

大学や専門教育機関の充実に寄せられた自由意見
教育関係の大学や専門学校の充実、むつ市にはあまり自分が行きたい大学がなくて、その影響でむつ市から出て行く人も多いから、大学や専門を充実してほしい。
県外、市外に出なくても自分の将来が叶う大学が欲しいと思ったから。県外に一回出ると、むつ市に戻ってくる可能性が低くなると感じるから。

◎ 就学に必要な金銭支援の充実

就学に必要な金銭支援の充実に寄せられた自由意見
どうしても県外へ進学と思ったら、お金がだいぶかかってしまうから、その活動をサポートすることをしてほしいです。
お金がなくて大学に行かなかった人がいるから。頭がよくても金で大学に行けないのはひどいと思った。
いろんなところに就学できるように。
市内外で活躍する市民が増えるから。
ぼくのような地域では年寄りが多く町内会の祭りも最近やっていない。町内会や地域のことは、町内会があるのだからあまり干渉しなくてもいいと思う。ぼくの町内会は年寄のおしゃべり会になっているから、もうちょっと全体を見てがんばってほしい。
親が払えないで辞めたりなるかもしれないから。
兄弟姉妹が多い人がいるから。
片親は大変だから。
どうしても行きたい学校があるけど、お金がないから入れない、という人もいると思うので、少し、市から出すなどしたら、便利になると思う。
とにかく高すぎ!
就学の時にお金が足りなくなってしまう時のため金銭支援を充実してほしい。
将来のために支援して、その人が行きやすい環境を作ってあげる。
がんばってください。
金銭的なことで進学できない人がいることをなくしてほしい。
お金で進路をあきらめてしまって良い人材の育成ができなくなってしまうと、社会全体が困ってしまうから。
将来のことで安心できるから。
お金が足りず夢をあきらめる人がいると思うので取り組んでほしいです。色々事情があって生活が大変な人は少なくないと思うので、そういう助けがあるとありがたいと思います。
大学などのお金がなくて行けない人がいると思うから。
お金で困る人々もいるだろうから。
大学行く際に、片親だから金がなくてあまり遠くの大学に行くことができなくて、行きたい大学に行けないから。
お金ないと大学行けないよー。食費もないよー。金くれー。貧困な家庭が不利すぎる。
金銭的な関係で就学できない人などがたくさんいるから。
進学したくてもできなくても自分の力を発揮できずに終わってしまうのはものすごくもったいないから。
行きたい気持ちがあったり、行ける力があるのにあきらめざるを得ない状況をなくすために必要だと思ったから。
安定して収入を得られる上、教育面、特に進学などにかかわってくる金銭支援があればいいと思ったから。
子どもを多く作ると、学費が大変と感じ、子どもを一人か二人しか作らなくなり、少子化にもつながるから。

就学に必要な金銭支援の充実に寄せられた自由意見
金銭面で行けない学校などもあるから。
教養がないと社会で生きられないのに、金がないと教養も得られないなんて不自由だから。
お金が必要な時だから。
進学したいのにお金がなくていけない先輩や友達がいるから。
みんながみんなお金を持っているわけではないから。
大学を選ぶのに金銭面を気にせず選べるようになった方がよいと思う。
自分も今進学したいけど、お金の面で悩んでいるから。たくさんいると思うから。
大切な人材をむだにしないために、希望があり、努力できる人には金銭的な助けが必要だと思う。
奨学金制度を増やしてほしい。むつにある大学は行きたくないから。あと条件にむつで～年働く、というのはやめてほしい。
大学へ進学するときに必要な金銭関係が不安。
金銭の問題でやりたいことをあきらめるのは悔しいと思う。
お金のことで将来どのように学習するのか悩むことがあるから。
お金がなくていけない人もいるから。
就学の金銭に不安を感じています。わかりやすく、充実した支援がほしいです。
能力や意欲があるのに金銭的な面で進学をあきらめるということは、とてももったいないし、自分にとって世間にとっても損なことだと思っているから。
お金がかかるため。
少子高齢化が進み、子どもがむつ市からどんどん離れてしまっているのに、金銭支援を充実させることで、大学へ行っても卒業した後、むつ市へ帰って来る人が増えると思います。例えば、むつに帰って来る保証がある人は、利子なしでお金を借りたりなど。

◎ 町内会の活動を推進する人材の確保

町内会の活動を推進する人材の確保に寄せられた自由意見
祭りとかやってて、人数の少なさが感じられるのもっと増えてほしい。
町内会で祭りなどを伝える人がいないと、祭りなどがなくなってしまうと思うから。
町内会の活動はその地域の文化・伝統を引き継ぐところもあるから、たくさんの人材を確保して、むつ市なら「子どもねぶた」など。
町内会の子どもの人数がかなり減っているのに、何か楽しそうだと思うようなイベントをやるしかないと思った。
祭りなどの活動に参加する人が減ってきているのは身近で重大な問題だと思うので、広告をもっと増やすなどの対策をした方がいいと思います。
町内会の育成をすることで、その地区に残る郷土芸能などをなくさないようにする。

◎ 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める

地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高めるに寄せられた自由意見
地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高めると、地域がもっときれいになるから。
住民の理解と協力を高めるためのボランティアが少なく感じるのに、もう少し機会を増やしていただくとありがたいです。
広告とかを作ってほしい。

地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高めるに寄せられた自由意見
地域が平和になってほしいからです。
ボランティアで、人々とのコミュニケーションをしようと思った。
ボランティア活動があったらいいと思ったからです。
大畑で、自由に使える体育館が町民体育館しかない。しかもとても古いので、取り壊されるんじゃないかという話もありました。なので、町民体育館は残し、改装するという署名を集めて、できれば壊さないでほしいなと思いました。
ボランティアへの理解を深めたら、参加してくれる人が増えると思う。
ボランティア活動で地域の人と交流をしたい。
家の近くや山、草むら、どぶなどにごみを捨てる人がいる。
ボランティア活動が少ないから。
もっと近隣の人と関わりたい。
たくさんの人と関わりを持ち、コミュニケーションをとりたい。ボランティアで人を呼びこんだり楽しませたりしたい。
地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高めると、地域がもっときれいになるから。
住民の理解と協力を高めるためのボランティアが少なく感じるので、もう少し機会を増やしていただくとうれしいです。
広告とかを作ってほしい。
地域が平和になってほしいからです。
ボランティアで、人々とのコミュニケーションをしようと思った。
ボランティア活動があったらいいと思ったからです。
大畑で、自由に使える体育館が町民体育館しかない。しかもとても古いので、取り壊されるんじゃないかという話もありました。なので、町民体育館は残し、改装するという署名を集めて、できれば壊さないでほしいなと思いました。
ボランティアへの理解を深めたら、参加してくれる人が増えると思う。
ボランティア活動で地域の人と交流をしたい。
家の近くや山、草むら、どぶなどにごみを捨てる人がいる。
ボランティア活動が少ないから。
もっと近隣の人と関わりたい。
たくさんの人と関わりを持ち、コミュニケーションをとりたい。ボランティアで人を呼びこんだり楽しませたりしたい。

◎ 地域での福祉活動や住民交流の場所の充実

地域での福祉活動や住民交流の場所の充実に寄せられた自由意見
むつ市は高校があるので、他の地域から来ている人が多くいると思うので、交流の場が必要だと思った。
住民交流の場が少ない。
コロナの影響で、地域の方々と交流する機会が減っているため、近所の方と話をしたりする活動がしたい。高齢者の方でも一人で暮らしている方もいるので、話し相手になれる機会がほしい。

◎ 地域活動を支えるための会費や寄付を募る活動

地域活動を支えるための会費や寄付を募る活動に寄せられた自由意見
地域活動で支えるための会費はとても大事だと、たくさんの人たちを支えるという会費は大事だから、35にしました。
子ども会の人が足りない。

◎ ゴミの分別収集全般の充実

ゴミの分別収集全般の充実に寄せられた自由意見
環境への配慮が今問題になっているから。
町全体で川などにゴミが落ちているからもっとやってほしい。
リサイクル活動などが大切だと思うから。
ゴミを分別せず捨てる人がいるので、しっかり分けて捨ててほしいです。
分別表みたいなのを作ってほしい。(缶はこれ、紙はこれなど)
地球温暖化も防げるし、分別することで、ゴミを回収する人も楽なのかなと思ったから。
去年、地域のゴミ拾いのボランティアをしたのですが、タバコやお酒の缶などがとても多かったの で、大人へ向けての呼びかけをしっかりとすべきだと思います。
環境が汚いと落ち着いて生活ができないと思うので、取り組んでほしい。
道のゴミを拾う活動をしてほしい。
ゴミの分別と収集ももちろん、ポイ捨てなども減らしていった方がいいと思います。
ゴミの収集をしっかりしてきれいにしてほしいから。
身近にゴミが落ちているのはいやだから。
ゴミを置く所が遠すぎる。一緒にするとよい。
ゴミがなくなれば、自然と住みやすくなり、人口増加につながると思う。
地球やむつの自然を後世につなぐために必要だと思うから。
リサイクルをすると、地球温暖化防止につながる。
ゴミを捨てるところを増やしてほしい。
ゴミ箱を設置してほしい。
ちゃんと分別を呼びかけないといけないと思った。
ゴミの分別ができていない人がたくさんいるから。
違う日にだす人がいる。

◎ 資源のリサイクル活動の充実

資源のリサイクル活動の充実に寄せられた自由意見
資源は限りあるものなので、大切にしてほしいため。
資源には限りがあるので、今ある資源を無駄なく活用してほしいから。
リサイクルは資源にも大事だし、ごみも減ると思ったのでこれにしました。

資源のリサイクル活動の充実に寄せられた自由意見
資源のリサイクル活動は、地球にやさしいから。
むつ市内でもゴミのポイ捨てが増えているので、もう少し対策をしてほしい。
リサイクルをしないと環境的にもとても悪くなると思うから。
ゴミが多く地域に散らばっていて、リサイクルとかがないからです。
SDGsのことを見直す。
地球の資源には限りがあるので、リサイクル活動を充実させてほしい。
リサイクル活動で、実際にどんなことをしているのかが知りたい。
資源が捨てられたりして無駄になってほしくないからリサイクルを充実してほしい。
環境問題をなくしてみんながゆとりをもって生活できるから。
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクルをするだけで環境も良くなる。 ・新しい製品をつくることができる。 ・資源を大切に使う。
リサイクルできたらいいです。
私は、良い環境に暮らしたいです。今は、地球温暖化などの環境問題が話題になっていると思います。それを、どのように解決するのが課題だと思いますが、私は自分のできることをやっているのですが、もっと良い環境問題についての解決策をやってほしいです。そして、よりよい環境にしてほしいし、していきたいです。
カンやペットボトルのリサイクルをしっかりとる。
リサイクルはスーパーなどにしかないように思うので、大畑町内にもリサイクルBOXを増やしてほしいです。そうすればリサイクルのみならずポイ捨てもなくなってくるのではないかと思います。
他地区と比べて分別の種類が少ない。
リサイクルすることで、ゴミを出さず、再利用して環境に良いものを作るから。
むつ市にはとても豊かな自然があるから、きれいな環境を保って、その姿を色々な人に知ってもらいたいし、資源もむだなく使ってほしいから。
地球が減ぶから。
地球温暖化防止のために、むつ市ができることを精一杯やる。

◎ 空き家への安全対策の充実

空き家への安全対策の充実に寄せられた自由意見
草かりしてほしい。
古い建物が多い。空き家も多く、怖い。
たくさん空き家があるので、遊んでいて危険な所を知りたい。
たまに使われているかわからない家があるので、ちゃんと持ち主がしっかり管理しているようにしてほしい。
むつ市は空き家が多くて少し怖いので、早めに撤去してほしい。
近所の空き家にはハチの巣があったり、小学生がふざけて入っていくのを目にしたから。
倒壊などの危険性があるため、撤去などしてほしい。
むつ市の色々なところに空き家があるから、どうにかしてほしいと思う。
むつ市はすごく空き家が多いと感じた。

空き家への安全対策の充実に寄せられた自由意見
空き家や壊れているものを片づけてほしい。

◎ ごみ屋敷問題の解消

ごみ屋敷問題の解消に寄せられた自由意見
ゴミがよく道端に落ちているから。
町の景観を良くしてほしいので、相談や依頼がきたらすぐに対応してほしいです。
ごみ屋敷があると不潔で怖いから。
近くにあると、においなどで近所トラブルの原因となるから。
くさいところがある。
とまぶの近くにこわれた家があるから。
むつ市には空き家がたくさんあり、ごみ屋敷もたくさんあるから。

◎ 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実

災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実に寄せられた自由意見
いざ、津波や火事、地震が起きて、すぐに避難とかなければならないけど、どこに逃げればいいのかわからないので、しっかり訓練などをしたり、情報提供をすることで、亡くなる人や逃げ遅れる人が少なくなるというと思う。
地震で大きな被害がないからこそ、大きい災害が起こったときに必要だと思った。
災害はいつ起こるかかわからないので、やっぱり訓練は大事だと思いました。
災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場が充実すると、もし災害にあったときに冷静になって行動できると思うから。
災害に備えてほしい。
いつどこで災害が起こるかかわからないので、防災訓練など学ぶ場を充実させて災害に備えてほしい。
避難訓練でパニックになっている人がいるから。
今川内では災害が少ないため、地震速報が入っても他人事のように考えていることが多い。また、避難場所が充実されておらず、津波等が発生した時、川内公民館などに避難をした場合、川より低い場所にあるため、川があふれた時に呑み込まれてしまう。避難場所の安全性をきちんとしてほしい。
自然災害はいつ起きるかかわからないので、年寄りの人も小さい子どももちゃんと逃げられるような防災訓練をしたり、呼びかければ少しでも亡くなる人が減るかなと思ったから。
災害はいつ起こるかかわからないので、いつどこで起こっても良いように、学ぶ場を設けたらいいと思う。
東日本大震災をはじめに、その他にも様々な災害が起きているので、それがあったときのための訓練はたくさんやった方がいいと思ったからです。
今も静岡県の方で梅雨による土砂崩れが起きていて、住む家がなくなったりしているので、そういった人たちを少しでも助けてあげられるように募金活動も熱心にした方がいいと思う。
わかっていない人が多いと思うから。
災害ですばやく行動できるようにしたらいいと思ったからです。
大きな地震が起きるかもしれないから。
このむつ市でも、いつ災害が起こるかかわからないから。
大きい災害が起きる前に学んだ方がいい。

災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実に寄せられた自由意見
今、地震が増えてきているから、もう少し市で活動してもいいと思う。
今、豪雨の影響で熱海市内で土砂災害が起っています。過去、起こった災害の様子などを生かして災害に備えてほしいです。また、テレビなどで、家庭などでできる災害に備えるために必要な物を、放送を普段からしたり、地域での防災訓練の活動をしてほしいです。
車が見えないところや壁などで、車が飛び出してきたり、怖いことがある。
台風や地震など、万が一に備えた対策が必要だから。
先日の豪雨などで心配している方も多いのではないかと思います。地区ごとに防災訓練の義務付けを行ったりすると、安心できると感じた。
地域で防災訓練をやったことがなく、もし大災害が起こったら、自分たちで対策していなかったり、家族と話し合ったり、シミュレーションなどができていなかった人が多数あらわれて、困難な状況に陥る人であふれるのではないかと思います。
むつ市もここ数年で大きい地震が起こるであろう地域に入っていたから。
災害は、いつどこで起こるか分からないから。
いざというときに、自分が避難する場所などわかりやすくなっていた方が逃げやすいと思う。

◎ 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実

行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実に寄せられた自由意見
学校での防災訓練はあるけど、町内、市内での訓練がないような気がするので、もう少し防災に力を入れてほしい。

◎ 地域と警察との連携による防犯活動の充実

地域と警察との連携による防犯活動の充実に寄せられた自由意見
むつ市内は他と比べて高齢者の行方不明になることが多いです。その放送を聞くと怖くなるので、地域でしっかり連携して防犯の取り組みをすべき。
近頃何かと犯罪とかが増えているから。
犯罪をほぼ0にするために、警察との連携をもっと強めて、学校などに変な人が入ってきたときにすぐに警察が来るようなシステムとか、連携を強めてほしいです。
身近で犯罪が起きることほど怖いことはないので、防犯活動を強化してほしい。
これ以上犯罪や事故で命をなくす人がいたら、いやだから。
完全に防犯がなくなっているわけではないし、登下校時の子どもたちの安全を第一に考えている人が少なくないから。
この地域に住む私たちと、この地域を守る警察が協力し、互いに信頼できる関係にすることで、町の雰囲気も良くなって、何かあったときすぐ頼れるということができるようになると思いました。
最近事件が多くなっていると思うから。
常に何かあったとき、すぐかけつけてくれる警察の方がいると、とても心強いと思うから。
防犯活動をもっと増やしてほしい。

◎ コンパクトシティに関する情報の充実

コンパクトシティに関する情報の充実に寄せられた自由意見
人が住みやすい環境や人口が多くなってほしいから。
ゴミが落ちていたり、自由に遊べる所がなくなってきているから。

コンパクトシティに関する情報の充実に寄せられた自由意見
ショッピングモールや遊園地、子どもたちが遊べる場所を増やしてほしい。
むつ市は店が少ないから。
むつ市はいっちゃん田舎で、楽しめるもの、娯楽の場が少ない。もっと楽しめる施設を作してほしい。むつ市がどんな都市計画を立てているのか情報を知りたい。
むつ市にはあまりにも娯楽などが充実してなくて、いつまでもここにいてしまうと、あきてしまって別の市や県に行きたくなくなってしまうと思うから。
大畑をもっと充実させてほしい。大畑にはゲームとか大きなお店がない。わざわざむつのどっかに行かなきゃいけないし、その目的の物がなかったら青森とかに行かなきゃいけなくなる。だから店を作してほしい。
都市計画でアンケートをとったり、どんな意見がでてきているのかなどを知りたい。
むつ市の人口がへってくるということが予想されていて、それはきっと、もっとむつ市に色々な施設や娯楽の場が増えればむつから出る人が減ると思う。
もうちょっと買い物ができる場所をつくってほしい。
むつ市はいい町だけど、比べると遊べる場所が少ないし、栄えていない感じがする。→青森市などのように大きい店とかをつくってほしい。
SNS でつながった友達にコンビニや駅、遊べる場所がないことを教えると、かなり驚かれるから。もう少し各地域の都市化を早めてほしい。
まだできないことがこの市にはたくさんあるので、できることをたくさん増やしてほしい。
人口が減少しているから。
もっとお店などを増やしてほしい。
イオンのようなものがほしい。
もっと栄えてほしい。
・コロナ禍でない場合であっても、そうであっても、街中に娯楽施設が少ない。 ・学生が昼食などをとる際(休日など)、値段が高い。
コロナ禍で店が大変なのはわかりますが、コンパクトシティに関する情報がもう少し欲しいし、そういうのは伝えないとダメだと思う。

◎ ジオパーク活動の推進

ジオパーク活動の推進に寄せられた自由意見
むつ市は人が少なくなっているのに、ジオパーク活動をしっかりと、むつ市は自然が豊かな良い市だと言ってもらえるようにする。
下北ジオパークの活動をどんどん推進してほしい。
私は活動に参加して、楽しいと感じた。また、高齢者も活躍しやすいと思うので、この活動を続けてほしい。
自然は、地球温暖化対策にもなるし、生き物が生きていく中では、絶対に必要な事。
地域の人でも知らない自然などがあるので、これを進めることによって、むつ市外の人や、むつ市内の人でも自然のすごさがわかるから。
ジオパークをもっと市民に広げていって、自然の大切さを知ってもらいたいから。
ジオパークに関するイベントをもっと開催してほしい。
ジオパークの活動をたくさんしてむつ市を知ってほしい。
いろんな所を整備すれば、むつ市の評判も上がると思うから。
私は、小学6年生のときに、ジオガイドをしたことがあります。そのときに、ジオパークについて、もっと知っていきたくて思いました。そのため、もっとジオパークを守っていきたくて思っているの、いろいろなジオパークの活動をしてほしいと思います。
下北にジオパークがたくさんあるので、それを日本全国にPRすれば、少しずつ人も来ると思います。

ジオパーク活動の推進に寄せられた自由意見
下北の最大の強みだと思うから。
少しでも人が増えてほしいため。
むつ市の武器として持っているのに、それが広く伝わっていないのは非常に残念。しかし、ジオパークを活用した結婚式や、地元でとれたものをジオサイトで味わえるものなど、魅力的なものはたくさんあるので、さらに発展させていってほしい。
ジオパークを県外にPRしてほしい。
ジオパークを認定することでむつ市が有名になると思ったから。

◎ 公共交通の利便性の向上

公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
移動に時間がかかる、店や施設が少ない。
都会みたいになってほしいから。
むつ市にはスポーツショップなどが少ないので、他の市に行くときに行きにくいから。
道路だけじゃ遅いし大湊線も遅い→遠出しづらい、観光客来づらい→人はなれる、もうからない→市が衰退 だからいい交通機関が欲しい。
いろんなところへ車がなくても行けるようになってほしい。試合他に行きやすい環境にしてほしい。
冬に歩道が除雪されていなくて歩くのに困ったことがあるから。
バスの待合所などの環境が整っていないことが多い。トタン張りでボロボロだったり、待合所やベンチなどがなく、地面などに座っている人も多いため、バスの待合所などの整備をしてほしい。
むつ市をもっと栄えさせてほしい。
電車の数が少ない。
市外に行く公共交通が少ないから。
大畑から青森や八戸に行くまで2~3時間はかかってしまうので、もっと交通手段を便利にしてほしいと思います。
私はむつ市や大畑にも、高速道路を作ってほしいと思いました。理由は、もっと短い時間で遠出できるようになればいいなと思ったからです。
外で店などでくつろげる場があまりないので、カフェなどもっと店でくつろげる場所を増やしてほしい。
バスや電車が充実していない。
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪すぎる。 ・道が狭い。 ・電車の駅から駅が長すぎる。
毎日バスで通っているが、混雑しているとき座れない高齢者を目にするから。
交通面が向上すると、他の地域から人が来たり、むつ市内でも発展していくと思うから。
道路が基本1本しかなくて、チャリとか通るので道が狭くて大変。自衛隊が帰る時間とか渋滞ができて、しばらく先に進めない。
<ul style="list-style-type: none"> ・交通がとても不便。 ・道路がでこぼこ。
もっと安くいろんなところへ行けるようにしてほしい。
災害時に不便だから。
むつ市外に行くときに、すごく時間がかかってしまうので、娯楽施設などがほしくなる。そのため、市外、県外に住みたくなるので、もっと市外へ簡易に外出できれば、むつ市に住みながらも、不便じゃなくなると思う。

公共交通の利便性の向上に寄せられた自由意見
青森に行くまで車だと2時間かかるし、電車も高いから。
交通が不便で、観光客も少なくなる。
乗り換えとかいっぱいあってめんどくさいです。
これが改良できれば、地域に残る人も増えるのではないかと思う。
むつ市には店が少なく不便なので、道路ができて青森や八戸などへ行きやすくしてほしいです。
田名部方面のバス停が少なく不便。
・新幹線に乗ることができる駅まで遠い。 ・バス停を学校の近くにおいてほしい。
JRバスがくる回数が少ない。
十字路のところに鏡を置いてほしい。
通学でバスを利用しているため、高校生の使用が多い時間帯にバスを出してほしい。出している時間もあるが、混みすぎて乗れないこともある。
自分が今、交通機関が悪い、という理由で望んでいるから。
市外に行くのに時間がかかり、利用しにくい。

◎ 安全で利便性の高い道路を増やすこと及び改良

安全で利便性の高い道路を増やすこと及び改良に寄せられた自由意見
ぐねぐねの道路が多いから。
51の理由とほぼ同じで、むつから下北郡内に行くときや市外や県外に行くとき時間がかかるから。
地下鉄がほしい。
むつ市は利便性の高い道路が少ないと思うから。
道路をつくることで観光客も増えるから。
歩道を、狭い所と広い所があるので全て広くしてほしいです。
むつ市内は歩道の整備が行われておらず、たまに不便。冬場は車道だけ除雪されていて歩道が大変。だから、しっかり考えてほしい。小中学生は大変なんです。大人だけ楽をしないで。
通学などのときに道が狭くて危ないと思うこともたくさんあったので、広い道にして、安全で安心して通れるような道をつくってほしい。また、自転車とぶつかりそうになったことがあるので、歩道と、自転車が通る道を区別してほしい。
事故をなくするため。
安全な道路を作って事故を減らしてほしいから。
道路もそうだけど、歩道側もボコボコなところがあるから。
通学路が車と距離が近くて怖い。
久しぶりに通った道がすごくキレイになっていたということがあったので、これからも続けてほしい。
交通事故が減ってほしいから。
歩道がでこぼこしてる所があるから直してほしい。
道路がガタガタしてると危ないから。
もっと便利になれば、暮らしも快適になるから。
道路の段差が多いところがあるので、段差を少なくしてほしい。アスティ前の交差点など。

安全で利便性の高い道路を増やすこと及び改良に寄せられた自由意見
私の家の前は田名部高校が近く、朝や夕方になると送迎の車が通って、非常に混雑していて危険だと感じます。また道路幅も車2台分もなく、すれ違うときに非常に危険だと感じるからです。
青森市などにもっと早く行けるようになってほしいから。
中央町郵便局付近の横断歩道が、通学路にもかかわらず白線が消えかけている。児童がいてもろくに車が止まらない、1分以上なんて当たり前、止まったとしても反対方向の車が止まらない、止まった車の横から当たり前のように車が追い越してくる、等で大変不便で危険極まりないです。交通標識つけるだけの信号つけるだけのして下さい。事故がないのが不思議です。
道が悪い。狭い。冬とか、通学路がなくなってしまう。
安全性の高い道にすれば、住みやすい。
交通安全は当たり前にしてほしいから。
自転車での投稿の際、段差がたくさんあり、通りづらいので直してほしい。
・家の近くにある道路がガタガタなのに、私有地だからできないと言われた。私有地、じゃない関係なく、しっかり対策してほしい。 ・むつ市外に行くとき必ず2時間以上の移動で不便。
親が車を運転する際、「道路がガタガタで改善してほしい」とよく話しているし、信号があって便利だったところの信号が外されたり、信号がいらぬところに信号がついたり、よくわからないので、交通事故を予防するためにも、道路に関しては見直してほしいと思った。
通学路なのに危ない道路などが多い。
道路の舗装をして、歩道を広くしてほしい。
信号機がない場所が多い。
道が狭すぎたり、ガタガタの所や、曲がって来る車が見えない道がある。
脇野沢からむつ市内に向かう道路は一本しかなく、もしその道がふさがってしまえば生活が困難になってしまうから。病院に行くときも道路がぼこぼこしていると、救急車も大変だから、旧川内校下の道路をきれいにしてほしい。

◎ 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実

生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実に寄せられた自由意見
悩み事があっても、だれにも話せない人がいると思うので、気軽に話せる窓口があったらいいと思う。
私はたくさん悩みをかかえています。でも、なかなか人に相談できません。悩みをかかえているのは私だけはないと思います。だから、気軽にいつでも相談できる窓口の充実が必要だと思います。
誰かに相談するのは勇気が必要だと思うので、誰でも気軽に相談できる場所は必要だと思う。相談したくても誰にすればいいかわからない人もいると思うので、その人たちのためにも色々工夫して取り組んでほしい。
LINE 等での相談窓口。

◎ 性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別をなくす

性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別をなくすに寄せられた自由意見
男女によって口調や態度などを変えないでほしい。
ぼくは社会的身分が低いあまりバカにされないのがあまり深刻に考えなくてもいいと思う。
差別というものは、同じ生き物として見れていないから起こってしまうし、テレビであったように、白人だの黒人だのといっているけど、それは昔のことだから、今をしっかりとみて広い心を持たないといけないから。
差別ダメ、絶対。

性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別をなくすに寄せられた自由意見
女性の身分の低さもそうだが、学校での先生の態度が女子の方が良く、男子にだけ強い先生もいるので、そして男子の中でも身分の差が生まれるので、どうかしてほしい。
差別問題をなくしてみんなが幸せに生きてほしいから。
むつ市でもコロナ感染者が出たときに誹謗中傷の問題があったので、そういった差別的な行動をなくしてほしい。
人種や性別で差別するのは良くないと思ったからです。
差別は簡単に人を傷つけるので取り組んでほしい。恐怖や不安を持ったまま生活するのはダメだと思う。味方がいることをわかると安心して思う。
差別やいじめによる事件がないように、いじめなどがあつたらすぐに見つけられるようにしてほしいです。
みんな仲良くしてほしい。
学力向上テストなどの男か女のどちらかに丸をつけたり色を塗ったりするのはなぜやるのかを教えてほしい。
性別など関係なくしてほしいです。もしかしたらむつの中にももっと一人で抱え込んでいる人もいるかもしれないので、差別などをなくしていく活動。そして提案します。中学・高校の制服を選択制にしたら、体は女、心は男の人などが制服を自分の心に合わせてできると思います。無理かもしれませんが、お願いします。
月に1、2回くらい、交流会的なのをやって、たくさんの人との関わりを深めたいと思います。
LGBTの人や黒人への差別があると、少なくとも嫌な思いをする人がいます。そうすると、「誰もが住みやすい」には満たないと思うので、どうか皆と協力して、偏見や差別をなくしたいと思いました。
性別、社会的身分の差別はおかしいですし、人種及び少数派への差別をなくす工夫をしてほしいです。
トランスジェンダーの人たちの気持ちも理解してほしいし、もし自分がその場合だったら悲しい気持ちになるから、そういう人たちがこの世に増えてきているから、テレビや雑誌(チラシ)などで呼びかけをしてほしい。
差別ってどうやってもなくなるものだと思うんですが、同性の人が好きと言ったときに、世間的に見れば、なぜ気持ち悪いのかが、わからない。全員が理解するのは無理だとしても、「そういう人もいるのね」っていう受け入れがすごく大事だと思う。特に性のことについては、世界が考え直してほしい問題だと思います。
もとはみんな人間。どうして周りは、見た目や身分で人を差別するのでしょうか。考え方が違うのは、男女またはそれ以外の性別にしても、白人や黒人にしても、身分が同じ人でもあります。差別があるから、周りと比較してしまう。差別をなくして「自分自身」を大切にしてほしいです。だから、この活動に力を入れてほしいです。
みんなに合わせるのがめんどい。自分を出していきたい。
他の地域からこのむつ市に来ましたが、他地域と比べてむつ市の人は高校で人を差別するのが多くて驚いた。田高生ばかりが優しくされていたことにいらだちを覚えた。
近年では、性別違和への関心や「自分がそうだ」と言う人も増えてきていることで、むつ市で他市よりも早く、性別などの差別をなくすことで、そういった人たちでも暮らしやすいと思うから。
パートナーシップ制度が必要だと思う。
日本国内で進んでいる課題ではないため、条例などを制定していけば、それが町おこしにつながると考えているから。 もし、自分がむつに住み続けるとしたら、このような差別があつた状態では嫌だから。
実際にあるから。
今はいろんな人がいる中で、差別があつたら生きづらい世界になってしまうから。
差別など、偏見などをなくして、就職などに影響がないようにしてほしい。

◎ その他

その他の自由意見
ゴミが多いので、ゴミ拾いをしてほしい。
虐待で悩んで相談している人がいるのに、軽く考えないでほしい。
一人親世帯への支援の充実をしてほしい。

2 調査票

(1) 一般市民

ちいきふくし むつ市地域福祉計画施策中間評価に関するアンケート

【御協力をお願い】

日ごろより、市政に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市地域福祉計画」を策定し、計画に基づき「市民の皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らせるむつ市」を目指し、様々な事業を行っています。

「むつ市地域福祉計画」の推進にあたり、皆様のお考えや御意見をお伺いし、より効果的な取り組みが行えるよう、アンケートを実施することとしました。

今回のアンケートは、年齢が18歳以上80歳以下の方から、2,000名を無作為に選び、あなたに御協力をお願いすることになりました。

なお、この調査は無記名で、お答えいただいた項目はすべて統計的に処理され、内容や個人が特定されることは一切ありませんので、ぜひ率直な御意見をお聞かせください。

御多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

令和3年6月

むつ市

[回答にあたって] _____

- ◆この調査は、個人の方を対象に実施しています。あなた自身のお考えでお答えください。
- ◆この調査は、下の(1)または(2)の方法で**7月9日(金)**までに回答してください。
- ◆設問は全部で26問あります。

(1) この調査票に記入して郵送で提出される場合

- ・記入後は、この調査票を同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて封をして、無記名のまま郵便ポストに投函してください。(当日消印有効)
- ・回答は、該当する数字を○で囲んでください。なお、○の数は質問によって異なります。また、「その他」を選んだ場合は、()内になるべく具体的な内容を記入してください。
- ・回答用紙の「整理番号」の欄は、こちらで使用しますので、何も記載しないでください。

(2) ウェブで回答をされる場合

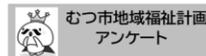
★御回答の最初の問の確認コード欄には、数字で **62** と入力してください。

◇スマートフォンの方 右のQRコードよりお進みください。 → → → →



◇パソコンの方

むつ市ホームページ⇒関連情報内(HP右下)のバナー



をクリックして
お進みください。

<調査についてのお問い合わせ先>

むつ市 福祉部福祉政策課

電話：0175-22-1111 (内線2511 ~ 2513)

学 区 一 覧

小学校区	行政区名
第一田名部小学校	本町、田名部町、柳町一・二・三・四丁目、横迎町一・二丁目、上川町、栗山町、女館、尻釜、宮後、椛山、赤坂、土手内、斗南岡、最花、品ノ木、酪農
第二田名部小学校	小川町一・二丁目、岩菜、長坂、金谷一・二丁目、松山町、緑ヶ丘、十二林、美里町、中央一丁目、海老川町、緑町、下北町
苫生小学校区	新町、苫生町一丁目、苫生町二丁目、昭和町、仲町、若松町、港町、金曲一丁目
第三田名部小学校	南町、赤川町、松原町、南赤川町、金曲二丁目・三丁目、大曲一・二・三丁目
奥内小学校	一里小屋、大室平、金谷沢、神山、今泉、二又、石蔵平、奥内、浜奥内、近川、中野沢、中野沢開拓
関根小学校	南名古平、清平、名古平、南関根、北関根、高梨、水川目、美付、浜関根、出戸、川代、烏沢、新田、上新田
大平小学校	山田町、真砂町、文京町、荒川町、松森町、旭町、並川町、大平町、大湊新町、中央二丁目、越葉沢
大湊小学校	大湊浜町、大湊上町、川守町、宇田町、桜木町、大湊町、宇曾利川、近沢、角違、堺田、新城ヶ沢、城ヶ沢、泉沢、永下
川内小学校	川内、休所、八右エ門沢、中道、中畑、板子塚、※しなの木、砂浜、熊ヶ平、隠里、高野川、石倉沢、田野沢、八木沢、館山下、裳川、家ノ辺、大川向、湯野川向、片貝、曾古部山、湯野川、戸沢、川代、板家戸、福浦山、松川稲沢、松川川代、松川横葉、家ノ上、宿野部穴畑平、宿野部一ノ渡平、宿野部上野下、宿野部上野松山、宿野部後田、宿野部上野平、宿野部川代、宿野部源次郎沢、宿野部、※しなの木平、宿野部下ノ畑、宿野部、宿野部高田、宿野部狸平、宿野部鶴沼平、宿野部中野平、宿野部目倉川、蛸崎合野、蛸崎、蛸崎川目、蛸崎香ノ木、蛸崎寺ノ前、蛸崎半右エ門沢、蛸崎半右エ門沢ノ内殿崎、蛸崎松山、蛸崎水呑沢、蛸崎弥之助沢、蛸崎山田、蛸崎山田スコロ谷地、下小倉平、大五、堀川、上小倉平、釜谷、一枚橋、立越、平中、獅子畑、曾古部山、高野川、新田、銀杏木、前田、仁左エ門沢、館山下、銀杏平、高野山
大畑小学区	孫次郎間、大畑道、湧館、湯坂下、八幡湯坂、兔沢、南町、観音堂、大畑村、松ノ木、松ノ木道、松ノ木ノ内土場、本町、庚申堂、東町、伊勢堂、本門寺前、筒万坂、新町、中島、湊村、上野、水木沢、戦敷、高橋川、奈良ノ木平、添木、小目名村、赤坂、小目名家ノ下、葉色、明神平、葉研、赤滝山、朝比奈岳関根橋、谷地道、大畑道、重兵エ沢、鳥谷場、柳沢、正津川道、四ツ谷
正津川小学区	正津川戦敷、正津川中道、正津川、正津川高待、正津川平
二枚橋小学区	釣屋浜、二枚橋、大畑道、赤川村、小赤川、大赤川、佐助川、木野部、鍵掛、赤岩
脇野沢小学区	本村、桂沢、渡向、田の頭、七引、滝山、源藤城、瀬野川目、黒岩、新井田、寄浪、蛸田、九艘泊、辰内、口広、赤坂、稲平、小サ沢、小沢、鹿間平
その他	むつ市以外の地域

整理番号

むつ市地域福祉計画中間評価に関する調査票【回答用紙】

◎ あなたご自身のことについて

1 あなたの性別について教えてください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|-------|-----------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない | 4. どちらでもない |
|-------|-------|-----------|------------|

2 あなたの年齢について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19 歳 | 4. 40～49 歳 | 7. 65～74 歳 |
| 2. 20～29 歳 | 5. 50～59 歳 | 8. 75～79 歳 |
| 3. 30～39 歳 | 6. 60～64 歳 | 9. 80 歳 |

3 あなたの職業、生計について教えてください。(1つに○)

- | | | |
|------------------------------|---------------|-----------------|
| 1. 自営業 | 6. 団体職員 | 11. 無職 (65 歳未満) |
| 2. 農業 | 7. 公務員 | 12. 定年退職者 |
| 3. 漁業 | 8. パート・アルバイト | 13. 年金生活者 |
| 4. 会社員 (民間企業体) | 9. 学生 | 14. その他 |
| 5. 経営者 (法人・従業員
5 名以上の事業主) | 10. 専業主婦 (主夫) | () |

4 あなたの家族構成を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. あなた | 7. 子ども (18 歳以上/学生) | 13. 配偶者の親 (75 歳以上) |
| 2. 配偶者 (パートナー) | 8. 子ども (18 歳以上/就業) | 14. あなたの兄弟姉妹 |
| 3. 子ども (未就学) | 9. 子ども (18 歳以上/無職) | 15. 配偶者の兄弟姉妹 |
| 4. 子ども (小学生) | 10. あなたの親 (74 歳以下) | 16. 子どもの配偶者 |
| 5. 子ども (中学生) | 11. あなたの親 (75 歳以上) | 17. あなたの孫 |
| 6. 子ども (16～18 歳未満) | 12. 配偶者の親 (74 歳以下) | 18. その他 () |

5 むつ市での居住年数を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|----------------|------------------|-----------|
| 1. 1 年未満 | 4. 5 年以上 ～10 年未満 | 7. 30 年以上 |
| 2. 1 年以上～3 年未満 | 5. 10 年以上～20 年未満 | |
| 3. 3 年以上～5 年未満 | 6. 20 年以上～30 年未満 | |

6 あなたがお住まいになっている小学校区を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 第一田名部小学校区 | 6. 関根小学校区 | 11. 正津川小学校区 |
| 2. 第二田名部小学校区 | 7. 大平小学校区 | 12. 二枚橋小学校区 |
| 3. 苫生小学校区 | 8. 大湊小学校区 | 13. 脇野沢小学校区 |
| 4. 第三田名部小学校区 | 9. 川内小学校区 | |
| 5. 奥内小学校区 | 10. 大畑小学校区 | |

※1 ページの「学区一覧」を参考にお答えください。

7 現在の地域(小学校区)での居住年数を教えてください。(1つに○)

- | | | |
|--------------|----------------|----------|
| 1. 1年未満 | 4. 5年以上～10年未満 | 7. 30年以上 |
| 2. 1年以上～3年未満 | 5. 10年以上～20年未満 | |
| 3. 3年以上～5年未満 | 6. 20年以上～30年未満 | |

8 あなたのお住まいは次のどれですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1. 持ち家(本人・家族含む) | 5. 社宅 |
| 2. 戸建て借家 | 6. 下宿・寮 |
| 3. 公営住宅 | 7. その他() |
| 4. 賃貸マンション・アパート | |

9 福祉分野のうち、どのようなことに関心をお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|------------|
| 1. 保健医療関係 | 5. 子育て関係 | 9. 環境関係 | 13. 交通関係 |
| 2. 高齢者関係 | 6. 教育関係 | 10. 防災関係 | 14. わからない |
| 3. 障がい者関係 | 7. 地域活動関係* | 11. 防犯関係 | 15. その他() |
| 4. 生活困窮関係 | 8. 権利擁護関係* | 12. まちづくり関係 | 16. 関心はない |

※「7. 地域活動関係」…地域活動関係とは、ボランティア活動、通学路見守り隊や民生委員活動、町内会活動など、地域のコミュニティの中で住民が主体的に行う活動です。

※「8. 権利擁護関係」…子どもや高齢者、障がい者等への虐待防止や成年後見人制度の活用など、人権や財産を守る活動です。

I あなたと地域の関わりについて

問1 あなたの住んでいる地域は、暮らしやすいですか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問2 あなたは、自分が住んでいる地域はどのようなところですか(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 賑やかなところ | 12. 静かなところ |
| 2. 商店が近い | 13. 商店が遠い |
| 3. 病院が近い | 14. 病院が遠い |
| 4. 交通の便がよい | 15. 交通の便がよくない |
| 5. 話し相手がいる | 16. 話し相手がいない |
| 6. 町内会等の活動が盛んである | 17. 近所付き合いがほとんどない |
| 7. 子どもが多い | 18. 子どもが少ない |
| 8. 高齢者が多い | 19. 高齢者が少ない |
| 9. 人が多い | 20. 人が少ない |
| 10. プライバシーが守られている | 21. プライバシーがない |
| 11. アパートが多い | 22. その他() |

問3 あなたは、隣や向かいの人とどのような付き合いをしていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 仲が良く、お互いの家を行き来する | 4. 顔は知っているが声をかけることはない |
| 2. 会えば立ち話をする | 5. ほとんど顔も知らない |
| 3. 顔を合わせればあいさつをする | 6. その他 () |

問4 あなたの世帯は町内会に加入していますか。(1つに○)

また、「加入している」又は「加入していない」理由も教えてください。

(あてはまるもの2つまでに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

(1) 加入している理由
(あてはまるもの2つまでに○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 行政広報誌や地域の情報が得られる |
| 2. 近隣で知り合いが増えると安心できる |
| 3. 地域の行事に参加できる |
| 4. 防犯や防災での助け合いを期待している |
| 5. ゴミ集積所が利用できる |
| 6. 長く住み続ける予定だから |
| 7. 父母が加入していたから |
| 8. その他 () |

(2) 加入していない理由
(あてはまるもの2つまでに○)

- | |
|-----------------|
| 1. 町内会や自治会が無い |
| 2. 加入する方法がわからない |
| 3. いずれ引っ越す予定だから |
| 4. 時間に余裕がない |
| 5. 会費の負担が大きい |
| 6. 近所との付き合いが面倒 |
| 7. 加入するメリットがない |
| 8. 近所の人加入していない |
| 9. 役員等になりたくない |
| 10. その他 () |

問5 過去2年間を振り返り、地域活動(清掃活動、町内行事、防災活動等)への参加状況に変化はありましたか。(1つに○)

- | |
|----------------------------|
| 1. 以前から参加しており、現在も参加している |
| 2. 以前は参加していなかったが、現在は参加している |
| 3. 以前は参加していたが、現在は参加していない |
| 4. 以前から参加しておらず、現在も参加していない |

【問5で「3.」又は「4.」(現在参加していない)を選んだ方のみ】

問6 地域活動に参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|------------------------|
| 1. 仕事が忙しい | 7. 家族等の介護 |
| 2. 活動に関する情報がない | 8. 家族の理解がない |
| 3. 興味を持てる活動がない | 9. 地域にあまり関わりたくない |
| 4. 健康や体力に自信がない | 10. 必要性を感じない |
| 5. 家事・育児が忙しい | 11. 新型コロナウイルス等感染症予防のため |
| 6. 経済的負担がないか不安 | 12. その他 () |

問7 過去2年間を振り返り、ボランティア活動への参加状況に変化はありましたか。
(1つに○)

1. 以前から参加しており、現在も参加している
2. 以前は参加していなかったが、現在は参加している
3. 以前は参加していたが、現在は参加していない
4. 以前から参加しておらず、現在も参加していない

【問7で「3.」又は「4.」(現在参加していない)を選んだ方のみ】

問8 ボランティア活動に参加していない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|---|
| 1. 育児や介護で忙しい | 6. きっかけがない |
| 2. 仕事や家事で忙しい | 7. 一度始めるとやめられなさそう |
| 3. 健康に自信がない | 8. ボランティアに興味がない |
| 4. 人と接するのが苦手 | 9. 新型コロナウイルス等感染 ^{かんせんしやう} 症予防のため |
| 5. 活動に費用がかかる | 10. その他 () |

II むつ市^{ちいきふくし}地域福祉計画について

問9 むつ市では、令和元年度を計画の初年度とする「むつ市^{ちいきふくし}地域福祉計画」を策定し、計画を基に^{ちいきふくし}地域福祉に関する様々な施策を行っています。あなたはこの計画について知っていますか。
(1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 計画があることを知っており、内容もおおむね知っている |
| 2. 計画があることを知っており、内容は少し知っている |
| 3. 計画があることは知っているが、内容はわからない |
| 4. 計画の存在を知らなかった |

問10 「むつ市^{ちいきふくし}地域福祉計画」では、行政が主体となって取り組む事業・施策のほかに、住民の皆さんが主体となって取り組めることを記載しています。

各項目についてあなたの取り組み状況を教えてください。(それぞれ1つに○)

【基本目標1 理解と交流づくり】

項目	取り組み状況				
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
(記入例) 趣味やできることを活かした、ボランティア活動に参加している	1	②	3	4	5
施策1 地域を担う人材の育成					
(1) 趣味やできることを活かした、ボランティア活動に参加している	1	2	3	4	5
(2) 様々な立場の人との出会いや交流を通じて相互理解に努めている	1	2	3	4	5
(3) ^{ふくし} 福祉関係の資格取得に励んでいる	1	2	3	4	5
施策2 地域資源の維持と有効活用					
(1) 祭り、 ^{せいそう} 清掃活動、町内会活動などの地域活動に参加している	1	2	3	4	5
(2) 転入者にも声かけをするなど、地域行事に参加しやすい雰囲気づくりを心がけている	1	2	3	4	5
(3) 支援が必要な人を地域のなかで見守り、必要に応じて民生委員等へ相談している	1	2	3	4	5

【基本目標2 参加と居場所づくり】

項目	取り組み状況					
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	対象者ではない
施策3 情報発信・情報共有・情報の適正管理の仕組みづくり						
(1) 保健、医療、福祉に関する情報について、ホームページや広報誌など様々な媒体を確認し、自らも情報を得るように心がけている	1	2	3	4	5	
(2) 市の広報誌や新聞等で、様々な地域福祉活動やボランティア活動の情報を探している	1	2	3	4	5	
施策4 集いと憩い地域社会の保全						
(1) あいさつや声かけ等を行い、隣近所にどのような方が住んでいるのか把握している	1	2	3	4	5	
(2) 子どもや高齢者等、支援が必要な人に日頃から気を配っている	1	2	3	4	5	
(3) 地域活動に参加し、仲間づくりや世代間交流に積極的に参加している	1	2	3	4	5	
施策5 地域の防犯力の向上						
(1) 犯罪の起こりにくい地域づくりに向けて、日頃からあいさつや声かけを積極的に行い、高齢者や子どもたちを見守る活動に協力している	1	2	3	4	5	
(2) 不審な電話や訪問等、気になることがあった場合は、家族や関係機関等に相談している	1	2	3	4	5	
(3) 異変を感じたときは、民生委員や市役所、警察等へ連絡している	1	2	3	4	5	
施策6 地域の防災力の向上						
(1) 「自分の身は自分で守る」という意識を持っている	1	2	3	4	5	
(2) 災害時や緊急時に備え、必要なものを準備している	1	2	3	4	5	
(3) 災害などの非常時のために、家族や支援者との連絡先を確認・確保している	1	2	3	4	5	
(4) 避難行動要支援者※へ登録している	1	2	3	4	5	6
(5) 災害などで避難する際は、隣近所に声を掛け合って避難する意識を持っている	1	2	3	4	5	

※「避難行動要支援者」…高齢者や障がいのある人、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する方（要配慮者）のうち、災害発生時の避難等に特に支援を要する方。

項 目	取り組み状況				
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
施策7 地域活動の保全と交流の促進					
(1) 短期間の居住でも、地域の助け手として、町内会へ加入している	1	2	3	4	5
(2) 町内会の活動を理解し、活動へ参加している	1	2	3	4	5
(3) 地域で起こる問題を「我が事」として捉えている	1	2	3	4	5

【基本目標3 自立に向けた生活支援の継続】

項目	取り組み状況				
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
施策8 健やかであるための生活習慣づくり					
(1)「自分の健康は自分で守る」意識を持っている	1	2	3	4	5
(2)適切な食生活や適度な運動を心がけ、健康づくりに取り組んでいる	1	2	3	4	5
(3)趣味や楽しみを持ち、自分にあったストレス解消法を把握している	1	2	3	4	5
(4)ひとりで悩みを抱え込まず、こころの不調に気づいたら、医療機関に早めの受診を心がけている	1	2	3	4	5
(5)周りの人の「様子がいつもと違う」と気づいたら、声をかけている	1	2	3	4	5
(6)自らの健康状態の確認と、疾患の早期発見・早期治療のため、健（検）診を受け、受診後のケアと治療を心がけている	1	2	3	4	5
施策9 健康寿命を延ばす取り組み					
(1)市が開催する各種健康教室や介護予防活動等に積極的に参加している	1	2	3	4	5
施策10 生きがいのある生活への支援					
(1)自分の知識や経験を地域づくり活動や課題の解決に活かしている	1	2	3	4	5
(2)子育てをしている家族に対し、気軽に声を掛け合い、親子の見守りを心がけている	1	2	3	4	5
(3)コミュニティビジネスについて、学習会に参加している	1	2	3	4	5
施策11 就労と社会的自立の支援					
(1)働くことを通じて地域や社会へ貢献しているという意識を持っている	1	2	3	4	5
(2)就労意欲を持ち、自立できるよう努めている	1	2	3	4	5

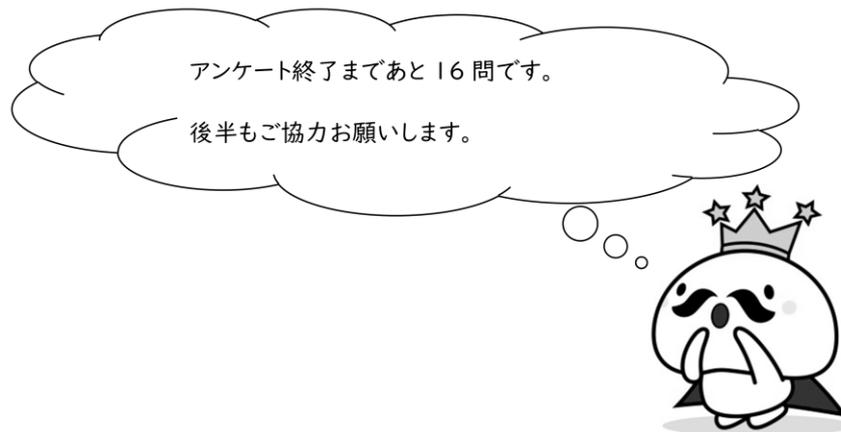
【基本目標4 ゆりかご前から安心できる仕組みづくり】

項 目	取り組み状況					
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない	対象者ではない
施策12 総合的な相談機能の整備						
(1) 福祉サービスを利用する際は、困りごとや自分が必要とすることをはっきり伝えている	1	2	3	4	5	6
(2) 問題を家族や個人で抱え込まず、近所の人や、民生委員、市役所、社会福祉協議会、地域包括支援センター等に積極的に相談している	1	2	3	4	5	
(3) 困りごとが生じた場合にどこへ相談すればよいか、最寄りの相談窓口を把握している	1	2	3	4	5	
施策13 福祉・医療サービスの適切な利用推進						
(1) 制度や福祉サービスについての正しい理解を深め、自身に合ったサービスや支援の利用を心がけている	1	2	3	4	5	6
(2) サービスを利用する際に、わからないことや疑問が生じたときは、サービス提供事業所へ意向を伝え、自身に合ったサービスを選んでいる	1	2	3	4	5	6
(3) 在宅医療について理解を深めている	1	2	3	4	5	
(4) かかりつけ医※を持っている	1	2	3	4	5	
施策14 権利擁護と見守りの体制						
(1) 高齢者や障がい者への理解を深めている	1	2	3	4	5	
(2) 異変を感じた場合は、関係機関へ連絡、相談をしている	1	2	3	4	5	
(3) 認知症について正しい理解と知識を深めている	1	2	3	4	5	
(4) 成年後見制度等の権利擁護制度について関心を持っている	1	2	3	4	5	

※「かかりつけ医」…病気や健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のことです。

【基本目標5 暮らしやすいまちづくり】

項目	取り組み状況				
	取り組んでいる	やや取り組んでいる	どちらともいえない	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
施策15 暮らしやすいまちづくり					
(1) 高齢者や障がい者等の気持ちに立って考え、暮らしやすい環境づくりを心がけている	1	2	3	4	5
(2) 行政や地域が開催するユニバーサルデザインに関する学習機会に参加している	1	2	3	4	5
(3) 家具転倒防止に努め、住宅用火災警報器を設置するなど、住居内の安全確保に努めている	1	2	3	4	5
(4) 身近なところで通行障害がある場合は関係機関に相談している	1	2	3	4	5
(5) 違法や迷惑となる駐車・駐輪をしないよう心がけている	1	2	3	4	5



Ⅲ 日常生活について

※ 問 11～問 15 では新型コロナウイルス^{かんせんしょう}感染症（以下、「^{かんせんしょう}感染症」という。）拡大前の日常生活について教えてください。

問 11 あなたは普段どの程度の外出がありましたか。（1つに○）

- | | | |
|----------------------------|-----------|------------|
| 1. (ほとんど) 外出はなかった → 問 14 へ | | |
| 2. 毎日 | 5. 週2～3日 | 8. その他 () |
| 3. 週4～5日 | 6. 週1～2日 | |
| 4. 週3～4日 | 7. 1か月に数日 | |

【問 12・13 は、問 11 で「2.」～「8.」を選んだ方のみ】

問 12 主な外出先を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. 職場 | 13. むちゅらんど |
| 2. 学校（部活動含む） | 14. 市の運動施設 |
| 3. 市内の商店・コンビニ | 15. 民間の運動施設（スポーツクラブ） |
| 4. 市内のスーパー・百貨店 | 16. 趣味の活動を行う場（習い事を含む） |
| 5. 市外の商店・コンビニ | 17. ボランティア活動 |
| 6. 市外のスーパー・百貨店 | 18. 別居の家族の家 |
| 7. むつ総合病院 | 19. 友人の家 |
| 8. 診療所（クリニック） | 20. 飲食店・ファミリーレストラン |
| 9. 市外の病院・診療所 | 21. 喫茶店 |
| 10. 図書館 | 22. カラオケ店 |
| 11. 公民館 | 23. 遊戯場（ゲームセンター・パチンコ） |
| 12. 介護施設（デイサービス） | 24. その他 () |

問 13 外出時の主な移動手段を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------------------|------------------------------|
| 1. 徒歩 | 7. タクシー |
| 2. 自転車 | 8. バス |
| 3. バイク | 9. 列車 |
| 4. 自家用車（自分で運転する） | 10. 福祉 ^{ふくし} 移送サービス |
| 5. 自家用車（家族が運転する） | 11. 介護施設の送迎車両 |
| 6. 友人の車に乗せてもらう | 12. その他 () |

【問 11 で「1.(ほとんど)外出はなかった」を選んだ方のみ】

問 14 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 出掛けたい場所がない | 8. タクシーへの乗車がむずかしい |
| 2. 出掛ける用事がない | 9. バスへの乗車がむずかしい |
| 3. 人と会うのが面倒だと思う | 10. 家からバス乗り場までが遠い |
| 4. 健康上の理由で外出がむずかしい | 11. 用事は家族が代わりに対応するから |
| 5. 体力面で不安がある | 12. 特に理由はない |
| 6. 精神面で不安がある | 13. その他 () |
| 7. 金銭面で不安がある | |

【すべての方が回答してください】

問 15 あなたは、外出したいと思っても、諦めたことがありますか。(1 つに○)

また、外出を諦めたことがある方はその理由をお答えください。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 1. 外出を諦めたことはない
→ 問 16 へ | 2. 外出を諦めたことがある
↓ |
|----------------------------|---------------------|

外出を諦めた理由 (○は3 つまで)

- ア. 目的地までの移動手段がないとき
イ. 家族や友人と予定が合わず、移動手段がないとき
ウ. 移動のための往復の交通費が2,000円以上となり、負担だと感じる時
エ. バスの乗車時刻や帰宅時のバス乗車時間が合わないとき
オ. 入場料や利用料等の費用が、負担だと感じる時
カ. 授乳設備、ベビールーム等の乳幼児向けの設備が少ない施設だったとき
キ. ベンチなど休憩できる場所が少ない施設だったとき
ク. 車椅子利用者等に対応している多目的トイレがない施設だったとき
ケ. 階段や段差が多く、移動が難しいとき
コ. 自分一人で、心理的に気軽に出かけることができる場所がないから
サ. 家族や知り合いなど周りの人に止められるから
シ. 人目が気になることがあるから
ス. その他 ()

※ 問 16～問 19 では現在の日常生活について教えてください。

問 16 日常生活で必要なものが手に入れないで困ったものはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 新聞や雑誌など情報に関するもの | 7. 介護用品 (おむつ等) |
| 2. 自分の趣味に関するもの | 8. 生理用品 |
| 3. 電話やスマートフォンなど | 9. 育児用品 (おむつ、ミルク等) |
| 4. 冠婚葬祭で着る服 | 10. その他
() |
| 5. 食料品 | 11. 特にない |
| 6. 医薬品 | |

問 17 あなたは、日常生活の中で、「幸せだな」「豊かだな」と感じることはありますか。
(1つに○)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. よくある | 4. ほとんどない |
| 2. 時々ある | 5. まったくない |
| 3. どちらともいえない | |

問 18 あなたにとって「幸せだな」「豊かだな」と感じるもの(大切なもの)は何ですか。
(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 豊かな自然環境 <small>かんきょう</small> | 8. 趣味や教養を楽しめる暮らし |
| 2. 心身の健康 | 9. 家族との暮らし |
| 3. 快適で便利な暮らし | 10. 子どもが成長していく姿 |
| 4. 充実した衣食住(衣類・食べ物・住まい) | 11. 友人がいること |
| 5. 収入や資産の多さ(金銭的な豊かさ) | 12. 近隣に住む人との多様な人間関係 |
| 6. やりがいのある仕事 | 13. その他
() |
| 7. 時間的なゆとりがある暮らし | |

問 19 日常生活の中で、あなたの身近な問題であると思うのは、どのようなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|---|
| 1. 町内会や地域活動を行う人材がないこと | 7. 65歳以上の人同士の介護に関する事 |
| 2. 異変があったときなどに駆けつけてくれる人がいないこと | 8. 高齢の親と障がい者世帯に関する事 <small>こうれい</small> |
| 3. ひきこもりに関する事 | 9. 成年後見人制度の利用に関する事 |
| 4. 不登校に関する事 | 10. 災害発生時に避難所までの移動支援に関する事 |
| 5. ヤングケアラー※に関する事 | 11. その他 () |
| 6. 介護と仕事や育児の両立に関する事 | 12. 特にない |

※「ヤングケアラー」…本来、大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の若者のことを指します。

IV 生活意識・行動の変化について

問 20 ^{かんせんしやう}感染症拡大の前と後で、あなたの生活に変化はありましたか。(それぞれ1つに○)

項 目	状 況				
	とても増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	とても減った
(1) 家にいる時間	1	2	3	4	5
(2) 家族と話す時間・機会	1	2	3	4	5
(3) 家族以外(友人・同僚等)の人といる時間	1	2	3	4	5
(4) 家族以外(友人・同僚等)の人と話す時間・機会	1	2	3	4	5
(5) 趣味・娯楽の時間	1	2	3	4	5
(6) 食事(間食含む)の回数	1	2	3	4	5
(7) ストレスを感じる事	1	2	3	4	5
(8) 通院の回数	1	2	3	4	5

問 21 ^{かんせんしやう}感染症拡大の前に比べて不安が増していることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 生活の維持など収入に関する不安
2. 仕事や就職に関する不安
3. 結婚や家庭に関する不安
4. 健康に関する不安
5. 病気になったときに、適切な診療を受けることができるか不安
6. 育児や教育など子どもに関する不安
7. 親などの生活の維持、支援や介護に関する不安
8. 人間関係や社会との交流に関する不安
9. 将来に対する全般的な不安
10. その他 ()
11. 不安なことはあるが^{かんせんしやう}感染症拡大前と比べて変わらない
12. 特に不安なことはない

V 情報の収集と今後の福祉のあり方

問 22 あなたは、生活に必要な情報やむつ市の事業・取組についての情報を何から入手していますか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 市の広報誌 | 8. 新聞 |
| 2. 市のホームページ | 9. テレビ |
| 3. ラジオ放送 (FM アジュール等) | 10. インターネット (スマートフォン含む) |
| 4. 友人・知人 | 11. 書籍や雑誌 |
| 5. 回覧板 | 12. 病院や施設 |
| 6. 社会福祉協議会の広報 | 13. 特に入手していない |
| 7. 民生委員 | 14. その他 () |

問 23 あなたが市の福祉に関する以下の項目で特に知りたいと思う情報は何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 健康づくり関係の行事や学習機会 | 9. 防災や避難所関係 |
| 2. 障がいのある方が利用できる福祉サービス | 10. ボランティアやNPO法人などの市民活動 |
| 3. 介護保険の利用の仕方 | 11. 市主催のイベントの開催関係 |
| 4. 医療機関の情報 | 12. ゴミ処理関係 |
| 5. 保育園や幼稚園関係 | 13. 税金関係 |
| 6. 子育ての経済支援関係 | 14. 交通関係 |
| 7. 学校教育関係 | 15. 特にない |
| 8. 防犯関係 | 16. その他 () |

問 24 令和2年に改定された「むつ市人口ビジョン」では、今後もむつ市の人口は減少が続くことが予想されていますが、お住まいの地域の人口が減ることについて、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

- | |
|-------------------------|
| 1. あまり身近な問題だと思わない |
| 2. 身近な問題だと感じる |
| 3. すぐに解決しなければならない問題だと思う |
| 4. 興味がない |

問 25 むつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思いませんか。
次のア～ケの分野ごとに、それぞれ 1 番必要だと思う項目を 1 つずつ選んで○をつけてください。

ア 保健医療関係 (1 つに○)
1. 健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実 2. 健康寿命を延ばすため、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実 3. 医療機関の診療科の充実 4. この分野には関心がない 5. わからない
イ 高齢者・障がい者 (1 つに○)
6. 高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実 7. 高齢者福祉施設 (老人ホーム等) の充実 8. 障がい者福祉施設 (入所、通所施設等) の充実 9. 高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実 10. 虐待防止活動や成年後見人制度の活用促進 11. この分野には関心がない 12. わからない
ウ 生活困窮関係 (1 つに○)
13. 安定した収入が得られる就労先を増やすこと 14. 生活に必要なものがいつでも手に入る店舗の充実 15. 青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活に必要なもののリユース*支援 16. 地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり 17. 困難に直面している方 (就職難、ひきこもりなど) への支援の充実 18. この分野には関心がない 19. わからない
エ 子育て関係 (1 つに○)
20. 妊娠期から義務教育終了期までの相談窓口の充実 21. 保育園、幼稚園やこども園の充実 22. 子育てに必要な費用の支援 23. 虐待防止活動や子どもの権利擁護 24. この分野には関心がない 25. わからない

*「リユース」…自身で繰り返し使うことだけではなく、自分が使わなくなっても、未だ使えるものを捨ててしまう前に寄付などすることで、必要な人のもとで再利用されることです。

オ 教育関係 (1つに○)

- 26. 学校での福祉や保健に関する教育の充実による人材育成
- 27. 小中高生への学習支援による教育の充実
- 28. 大学や専門教育機関の充実
- 29. 就学費用の支援の充実
- 30. この分野には関心がない
- 31. わからない

カ 地域活動関係 (1つに○)

- 32. 町内会の活動を推進する人材の確保
- 33. 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める
- 34. 地域福祉活動や住民の交流拠点となる場所（サロン）の充実
- 35. 地域活動を支えるための会費や寄付を募る活動
- 36. この分野には関心がない
- 37. わからない

キ 環境関係 (1つに○)

- 38. ゴミの分別収集全般の充実
- 39. 資源のリサイクル活動の充実
- 40. 空き家への安全対策の充実
- 41. ごみ屋敷問題の解消
- 42. この分野には関心がない
- 43. わからない

ク 防災・防犯関係 (1つに○)

- 44. 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実
- 45. 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実
- 46. 地域と警察との連携による防犯活動の充実
- 47. この分野には関心がない
- 48. わからない

ケ まちづくり関係・交通関係・その他 (1つに○)

- 49. コンパクトシティ（都市計画）に関する情報の充実
- 50. ジオパーク*活動の推進
- 51. 公共交通の利便性の向上
- 52. 安全で利便性の高い道路の敷設及び改良
- 53. 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実
- 54. 性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別解消
- 55. この分野には関心がない
- 56. わからない

※「ジオパーク」…世界各地に多く存在する特徴的な大地や地質の資源を守り、研究するとともに、学習の場や観光資源として整備し、活用していく活動です。

問 26 問 25 のア～ケで選んだ番号の中から、あなたがもっとも取り組んでほしいと思うもの上位3つを選び下表に番号で記入して、御意見・御要望がありましたら自由に記入してください。

1 位	2 位	3 位
(記入例) 3	52	20

問 25 で選んだ番号：

問 25 で選んだ番号：

問 25 で選んだ番号：

以上で質問は終わりです。
御協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、**7月9日（金）**までに御投函ください。

(2) 中高生

ちいきふくし むつ市地域福祉計画施策中間評価に関するアンケート

～あなたの声を聞かせてください！～

むつ市では、「市民のみなさんが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」を目指し、「むつ市地域福祉計画」(以下「福祉計画」という。)をつくり、様々な事業を行っています。

今年度は、本計画の事業が、安心して暮らせるまちづくりに、役立っているか状況を確認したり、新たな地域の課題などを確認したりするために中間評価を行うこととなりました。

つきましては、市内の中学校、高校に通う皆さんが、日頃から福祉やまちづくりについて思っていること、考えていることなどをお伺いいたしますので、アンケートにご協力くださるようよろしくをお願いします。(むつ市外から通われている方もご協力ください。)

<情報の取り扱いについて>

また、自由回答については、個人が特定されそうな事柄は削除しますので、特定されることはありません。

令和3年6月

むつ市

<記入上のご注意>

- ◆この調査は、個人の方を対象に実施しています。あなた自身のお考えでお答えください。
- ◆記入については、濃い鉛筆または黒のボールペン・万年筆でお願いいたします。
- ◆回答は、該当する数字を○で囲んでください。なお、○の数は質問によって異なります。また、「その他」を選んだ場合は、()内になるべく具体的な内容を記入してください。
- ◆回答用紙の「整理番号」の欄は、こちらで使用しますので、何も記載しないでください。
- ◆設問は全部で38問ありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

記入が終わった回答用紙は、担任の先生に提出してください。

7月15日(木)まで



<調査についてのお問い合わせ先>

むつ市福祉部福祉政策課

電話：0175-22-1111 (内線2511～2513)

学 区 一 覧

小学校区	行政区名
第一田名部小学校	本町、田名部町、柳町一・二・三・四丁目、横迎町一・二丁目、上川町、栗山町、女館、尻釜、宮後、栴山、赤坂、土手内、斗南岡、最花、品ノ木、酪農
第二田名部小学校	小川町一・二丁目、岩菜、長坂、金谷一・二丁目、松山町、緑ヶ丘、十二林、美里町、中央一丁目、海老川町、緑町、下北町
苫生小学校区	新町、苫生町一丁目、苫生町二丁目、昭和町、仲町、若松町、港町、金曲一丁目
第三田名部小学校	南町、赤川町、松原町、南赤川町、金曲二丁目・三丁目、大曲一・二・三丁目
奥内小学校	一里小屋、大室平、金谷沢、神山、今泉、二又、石蕨平、奥内、浜奥内、近川、中野沢、中野沢開拓
関根小学校	南名古平、清平、名古平、南関根、北関根、高梨、水川目、美付、浜関根、出戸、川代、烏沢、新田、上新田
大平小学校	山田町、真砂町、文京町、荒川町、松森町、旭町、並川町、大平町、大湊新町、中央二丁目、越葉沢
大湊小学校	大湊浜町、大湊上町、川守町、宇田町、桜木町、大湊町、宇曾利川、近沢、角違、堺田、新城ヶ沢、城ヶ沢、泉沢、永下
川内小学校	川内、休所、八右工門沢、中道、中畑、板子塚、※しなの木、砂浜、熊ヶ平、隠里、高野川、石倉沢、田野沢、八木沢、館山下、褰川、家ノ辺、大川向、湯野川向、片貝、曾古部山、湯野川、戸沢、川代、板家戸、福浦山、桧川稲沢、桧川川代、桧川横葉、家ノ上、宿野部穴畑平、宿野部一ノ渡平、宿野部上野下、宿野部上野松山、宿野部後田、宿野部上野平、宿野部川代、宿野部源次郎沢、宿野部、※しなの木平、宿野部下ノ畑、宿野部、宿野部高田、宿野部狸平、宿野部鶴沼平、宿野部中野平、宿野部目倉川、蛸崎合野、蛸崎、蛸崎川目、蛸崎香ノ木、蛸崎寺ノ前、蛸崎半右工門沢、蛸崎半右工門沢ノ内殿崎、蛸崎松山、蛸崎水呑沢、蛸崎弥之助沢、蛸崎山田、蛸崎山田スコロ谷地、下小倉平、大五、堀川、上小倉平、釜谷、一枚橋、立越、平中、獅子畑、曾古部山、高野川、新田、銀杏木、前田、仁左工門沢、館山下、銀杏平、高野山
大畑小学区	孫次郎間、大畑道、湧館、湯坂下、八幡湯坂、兔沢、南町、観音堂、大畑村、松ノ木、松ノ木道、松ノ木ノ内土場、本町、庚申堂、東町、伊勢堂、本門寺前、筒万坂、新町、中島、湊村、上野、水木沢、戦敷、高橋川、奈良ノ木平、添木、小目名村、赤坂、小目名家ノ下、葉色、明神平、葉研、赤滝山、朝比奈岳関根橋、谷地道、大畑道、重兵工沢、鳥谷場、柳沢、正津川道、四ツ谷
正津川小学区	正津川戦敷、正津川中道、正津川、正津川高待、正津川平
二枚橋小学区	釣屋浜、二枚橋、大畑道、赤川村、小赤川、大赤川、佐助川、木野部、鍵掛、赤岩
脇野沢小学区	本村、桂沢、渡向、田の頭、七引、滝山、源藤城、瀬野川目、黒岩、新井田、寄浪、蛸田、九艘泊、辰内、口広、赤坂、稲平、小サ沢、小沢、鹿間平
その他	むつ市以外の地域

4 あなたはむつ市にどのくらい住んでいますか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 生まれた時から住んでいる | 5. 5年以上～10年未満 |
| 2. 1年未満 | 6. 10年以上～20年未満 |
| 3. 1年以上～3年未満 | 7. むつ市に住んだことはない |
| 4. 3年以上～5年未満 | |

I 福祉に関する関心や理解

問1 あなたは地域福祉という言葉を知っていますか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 内容を知っている |
| 2. 聞いたことはあるが内容は知らない |
| 3. 知らない |

問2 あなたは福祉に関心がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問3 問2で「1」を選んだ方にお聞きします。

特に関心のあるテーマを教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|------------------|---------------------------------------|
| 1. 医療や保健(健康づくり) | 8. ボランティア活動 |
| 2. 子どもの福祉 | 9. 環境を守る活動(太陽光・風力エネルギー、ゴミの分別、リサイクル活動) |
| 3. 高齢者の福祉 | 10. まちづくり(都市計画)に関すること |
| 4. 障がい者・障がい児の福祉 | 11. 交通(道路の整備、バス、タクシーなど)の利便性に関すること |
| 5. 母子・父子家庭の福祉 | 12. その他() |
| 6. 経済的に困っている人の福祉 | |
| 7. 虐待防止活動 | |

問4 問2で「2」を選んだ方にお聞きします。

福祉に関心を持たない理由を教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|---------------|-----------------------------|
| 1. 身近に感じない | 4. 福祉に対する知識がない・教えてもらったことがない |
| 2. 興味や関心がない | 5. その他() |
| 3. 難しそうでわからない | |

問5 あなたは住んでいる地域の行事*や福祉・ボランティア活動*などに関心はありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. とても関心がある | 3. あまり関心がない |
| 2. 少し関心がある | 4. まったく関心がない |

*「地域の行事」…お祭り(引き手、踊り手、楽器演奏等)、スポーツ大会、町内一斉清掃など。

*「福祉・ボランティア活動」…高齢者の見守り、雪かき、ゴミ拾い活動など。

問6 問5で「3」または「4」を選んだ方にお聞きします。

新型コロナウイルス感染症(以下、「感染症」という。)の収束後に、もし、地域の行事やボランティア活動へ参加の依頼があった場合、あなたの考えに近いものを教えてください。(1つに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 参加したい | 4. 断る |
| 2. 内容によっては参加したい | 5. わからない |
| 3. 当番制なら参加する | 6. その他 () |

問7 あなたは、どのような活動に参加できると思いますか。感染症の流行前に参加していた活動や感染症収束後のことを想定してお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 清掃活動への参加、協力活動 | 6. 高齢者や障がい者への福祉ボランティア活動 |
| 2. 地域の祭りへの参加、協力活動 | 7. ジオパーク活動への参加、協力の活動 |
| 3. 地域のスポーツ行事や健康づくりイベントへの参加、協力活動 | 8. 赤い羽根や赤十字活動への募金活動 |
| 4. 防災訓練への参加、協力活動 | 9. その他 () |
| 5. 交通安全や防犯活動への参加、協力活動 | |

問8 家族以外の人で困っている人がいるとき、あなたができると思うこと、または、今はできなくても、将来、できると思うことお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 声かけ・見守り | 5. 雪かきなどの力作業 |
| 2. 話し相手 | 6. 病院などへ通院するときの付き添い |
| 3. 悩み事や心配事の相談 | 7. 特にない |
| 4. 買い物やゴミ捨てなど簡単な家事の手伝い | 8. その他 () |

問9 隣近所や地域の大人にしてほしいことについて、あなたの考えに近いものを教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 良いことをしたときは、ほめてほしい | 8. 危険なことや迷惑がかかることをして |
| 2. 子ども扱いせず意見を聞いてほしい | いたらずに注意してほしい |
| 3. 安心して部活動や学校の活動ができるようにしてほしい。 | 9. 悩んでいるときは相談にのってほしい |
| 4. 地域の安全と安心を守ってほしい | 10. 理由も言わずに怒らないでほしい |
| 5. 通学路の雪かきをしてほしい | 11. 隣近所の人とは仲良く暮らしてほしい |
| 6. いじめや虐待に気づいたときは助けてほしい | 12. 地域の祭りや行事を大切にしてほしい |
| 7. マナーやルールを守り、子どもの良いお手本となってほしい | 13. 関わらないでほしい |
| | 14. 特にない |
| | 15. その他 () |

問 14 問 11 で「7」を選んだ方にお聞きします。

選んだ理由として、どのようなものが手に入らないことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 漫画や雑誌など | 8. 部活動で使うもの |
| 2. ゲームに関係するもの | 9. 朝や夕方に食べるもの |
| 3. スマートフォン | 10. 昼に食べるもの |
| 4. 自分の趣味に関するもの | 11. 薬局で買える薬(かぜ薬、頭痛薬、傷薬など) |
| 5. 学校以外で着る服 | 12. 生理用品 |
| 6. 学校での勉強に必要なもの | 13. その他() |
| 7. 自宅で勉強するために必要なもの | |

問 15 問 11 で「8」を選んだ方にお聞きします。

自由な時間が取れない理由として主にどのようなことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 学校からの宿題や課題が多い | 5. 家事や家族の世話など家庭に関することをしている |
| 2. 部活動が忙しい | 6. その他() |
| 3. 塾や習い事が忙しい | |
| 4. 友人とのメッセージのやり取りが多い | |

問 16 問 15 で「5」を選んだ方にお聞きします。

(1) 1日どれくらいの時間行っていますか。(数字で記入)

(2) どのようなことを日常的に行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| (1) 1日【 】時間くらい |
| (2) 日常的に行っていること(以下の中からあてはまるものすべてに○) |
| 1. 父や母(保護者)などの代わりに、炊事・洗濯・掃除などの家事をしている |
| 2. 父や母(保護者)などの代わりに、兄弟の世話をしている |
| 3. 父や母(保護者)などの代わりに、祖父母の世話をしている(介護を含む) |
| 4. 父母の世話をしている |
| 5. 家庭内で起こる問題(お酒の飲み過ぎ、夫婦げんか、お金に関することなど)の対応をしている |
| 6. 日本語が不得意な家族や障がいのある家族の通訳や付き添いなどをしている |
| 7. 家計を支えるためにアルバイトをしている |
| 8. 家計を支えるために家の商売の手伝いをしている |
| 9. その他() |

問 17 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

- | | | |
|-------------|---------------------|---------|
| 1. 内容を知っている | 2. 聞いたことはあるが内容は知らない | 3. 知らない |
|-------------|---------------------|---------|

ヤングケアラーとは

本来、大人がすると想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の若者のことを指します。

Ⅲ 地域での居場所に関して

問 18 あなたは、以下のような場所が市内にあったら利用したいと思いますか。
(あてはまるもの 3 つに○)

1. 家以外で平日の放課後にいることができる場所
2. 家以外で休日にいることができる場所
3. 家以外で静かに勉強できる場所
4. 学校以外で勉強、進路、家族や友人のことなど、何でも相談できる場所
5. ご飯を無料で食べられる場所
6. 勉強を安価または無料でみてくれる場所
7. スポーツを安価または無料で教えてもらえる場所
8. スポーツを安価または無料で楽しめる場所
9. パソコンやWi-Fiが自由に使える場所
10. 特にない
11. その他 ()

問 19 あなたはどのようなときに、人との関わりが大切だと感じますか。
(あてはまるもの 3 つに○)

1. こうれいしゃ こどくし ぎゃくたい 高齢者の孤独死や虐待などのニュースを聞いたとき
2. 子どもに関する事件などのニュースを聞いたとき
3. なや 悩み事を気軽に相談できる人がいないとき
4. 地域の行事に参加したとき
5. 災害に関するニュースを聞いたとき
6. 近所に手助けが必要な人を見かけたとき
7. 近所でトラブル (空き巣等) が発生したとき
8. 地域の^{せいそう}清掃活動や防犯活動への取り組みについて聞いたとき
9. 特にない
10. その他 ()

あと半分! 後半もご協力お願いします。



~ 7 ~

IV 新型コロナウイルス^{かんせんしゅう}感染症^{かんせんしゅう}について

問 20 感染症^{かんせんしゅう}の流行により、現在のあなたの生活はどのように変わりましたか。
(それぞれ1つに○)

項目	状況				
	とても増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	とても減った
(1) 家にいる時間	1	2	3	4	5
(2) 家族と話す時間・機会	1	2	3	4	5
(3) 友人など家族以外の人といる時間	1	2	3	4	5
(4) 友人など家族以外の人と話す時間・機会	1	2	3	4	5
(5) 家で勉強する時間	1	2	3	4	5
(6) ゲームやインターネットをしている時間	1	2	3	4	5
(7) 学校以外で外出する時間	1	2	3	4	5
(8) ストレスを感じる事	1	2	3	4	5
(9) 食事の回数	1	2	3	4	5
(10) その他 ()	1	2	3	4	5

問 21 感染症^{かんせんしゅう}の流行により、不安や悩み^{なや}を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や身近な人の感染^{かんせん}
2. 自分の感染^{かんせん}
3. 病気になったときに、適切な治療^{ちりょう}を受けることができるか不安
4. 休校などで生活のリズムが崩れ、不健康になること
5. 休校などで勉強^{おく}が遅れる、学力が下がること
6. 休校などで友人関係が変化
7. 志望校への進学ができるかどうか
8. 卒業後、就職先がないのではないか
9. 休校で部活動ができなくなる事
10. 各種試合や大会が中止になる事
11. 親の収入が減ってしまうこと
12. 塾^{じゅく}や予備校が休校となる(続けられなくなる) こと
13. その他 ()
14. 特に感じない

V むつ市のことや将来のことについて

問 22 総合的にみて、現在のむつ市の「住みやすさ」はいかがですか。市外に住んでいる方は、むつ市の住みやすさについてお聞かせください。(1つに○)

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 住みやすい | 4. 住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みやすい | 5. その他 () |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問 23 (むつ市に住んでいる方にお聞きします。)

これからもむつ市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------------|--------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 3. 市外の他のまちに住んでみたい | → 問27へ |
| 2. 市内の別な場所に住みたい | 4. 県外のまちに住んでみたい | |

問 24 問 23 で「1」または「2」を選んだ方にお聞きします。

これからもむつ市に住み続けたい理由を教えてください。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 親がいるから | 6. 市内の大学へ進学したいから |
| 2. 友人・知人がいるから | 7. 市内で就職したいから |
| 3. むつ市が好きだから | 8. 家の仕事(稼業)を継ぎたいから |
| 4. 地域の祭りや行事を受け継ぎたいから | 9. その他 () |
| 5. 市内の高校に進学したいから | |

問 25 (むつ市外に住んでいる方にお聞きします。)

あなたが将来、住みたいと思う場所はどこですか。(1つに○)

- | | | |
|--------------------|-------------------|--------|
| 1. 今住んでいる町村に住み続けたい | 3. 県内の他のまちに住んでみたい | → 問27へ |
| 2. むつ市に住みたい | 4. 県外に住んでみたい | |

問 26 問 25 で「2.むつ市に住みたい」を選んだ方にお聞きします。

むつ市に住みたい理由を教えてください。

--

問 27 問 23・25 で「3」または「4」を選んだ方にお聞きします。

県内の他のまちや県外に住んでみたい理由、むつ市に住み続けたいとは思えない理由について、あなたの考えに近いものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------------|
| 1. ひとり暮らしをしてみたいから | 8. 希望する大学が市外・県外にあるから |
| 2. 買い物や娯楽の場が少なく不便だから | 9. 希望する高校が市外・県外にあるから |
| 3. 希望する職業(会社)が市外にあるから | 10. 近所づきあいや親せきづきあいがわずらわしいから |
| 4. 医療や福祉の面で不安があるから | 11. 自然環境が厳しいから(寒さ、雪など) |
| 5. 交通が不便だから | 12. 災害が怖いから |
| 6. 生活・住宅環境が悪いから | 13. その他() |
| 7. 人が減ってきて、将来が不安だから | |

問 28 あなたは、将来どのような職業につきたいと考えていますか。(あてはまるもの3つに○)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 農業・水産業・漁業 | 14. スポーツ関係 |
| 2. 製造業(工業)関係 | 15. 観光関係(レジャー・旅行会社) |
| 3. 建設業関係(設計・建築・土木など) | 16. 交通・運輸関係 |
| 4. IT・情報・通信関係 | 17. 幼稚園教諭・保育士 |
| 5. 商業関係(物を販売する仕事) | 18. 教師(小・中・高) |
| 6. 飲食業関係(調理師・お菓子職人) | 19. 医療関係(医師・看護師・薬剤師・理学療法士等) |
| 7. 金融関係(銀行・証券・保険など) | 20. 福祉・介護関係 |
| 8. エネルギー関係(電気・ガス・石油・原子力・再生可能エネルギーなど) | 21. 動物関連(獣医・トリマー) |
| 9. 理容・美容関係 | 22. 公務員 |
| 10. マスコミ関係(新聞・出版・放送など) | 23. 会社員(職業問わず) |
| 11. 文化・芸能関係(作家・俳優・歌手など) | 24. その他() |
| 12. 美術・CGデザイナー・アニメーター | 25. まだ決まっていない・特につきたい職業はない |
| 13. デザイン関係 | |

問 29 あなたは、将来家族（親や兄弟以外）を持ちたいと思っていますか。理由もあわせて教えてください。（1つに○）

1. はい	2. いいえ
理由	

問 30 あなたは、将来子どもを育てたいと思いますか。理由もあわせて教えてください。（1つに○）

1. はい	2. いいえ
理由	

問 31 あなたにとって「幸せだな」「豊かだな」と感じるもの（大切なもの）は何ですか。あなたの考えに近いものを教えてください。（あてはまるもの3つに○）

1. 豊かな自然環境 ^{かんきょう}	7. 時間的なゆとりがある暮らし
2. 心身の健康	8. 趣味や教養を楽しめる暮らし
3. 快適で便利な暮らし ^{かいてき}	9. 家族との暮らし
4. 充実した衣食住（衣類・食べ物・住まい） ^{じゅうじつ}	10. 友人がいること
5. 収入や資産の多さ（金銭的な豊かさ） ^{しさん}	11. 近隣に住む人との多様な人間関係 ^{きんりん}
6. やりがいのある仕事	12. その他（ ）

問 32 令和2年に改定された「むつ市人口ビジョン」では、今後もむつ市の人口は減少が続くことが予想されていますが、お住まいの地域の人口が減ることについて、あなたはどのように思いますか。（1つに○）

1. あまり身近な問題だと思わない
2. 身近な問題だと感じる
3. すぐに解決しなければならない問題だと思う
4. 興味がない ^{きょうみ}

問33 おつ市で誰もが安心して生活していくためには、どのようなことが必要だと思ひますか。
次のア～ケの分野ごとに、それぞれ1番必要だと思ひる項目を1つずつ選んで○をつけてください。

ア 保健医療関係 (1つに○)	
1.	健康づくりや保健に関する情報提供や活動の充実
2.	いつまでも健康でいられるように、子どもから大人までの健康づくり教育や活動の充実
3.	病院にいろいろな病気を治してくれる科を増やす
4.	この分野には関心がない
5.	わからない
イ 高齢者・障がい者 (1つに○)	
6.	高齢者や障がい者が、自宅で暮らし続けていくための生活支援サービスの充実
7.	高齢者福祉施設(老人ホーム等)の充実
8.	障がい者福祉施設(入所、通所施設等)の充実
9.	高齢や体が不自由になっても働くことができる就労先の充実
10.	高齢者・障がい者への虐待防止活動や成年後見人制度の活用を増やす
11.	この分野には関心がない
12.	わからない
ウ 生活困窮関係 (1つに○)	
13.	安定した収入が得られる就労先を増やすこと
14.	生活に必要なものがいつでも手に入る店を増やす
15.	青少年の成長を支援する子ども食堂や学校生活で必要なもののリユース※支援
16.	地域で生まれ、学び、働く人生サイクルの実現のためのまちづくり
17.	困難に直面している方(就職難、ひきこもりなど)への支援の充実
18.	この分野には関心がない
19.	わからない
エ 子育て関係 (1つに○)	
20.	妊娠期から義務教育(中学校)卒業時期までの子育てや家庭問題の相談窓口の充実
21.	保育園、幼稚園やこども園の充実
22.	子育てに必要な費用の支援
23.	子どもへの虐待防止活動や子どもの権利を守るための支援
24.	この分野には関心がない
25.	わからない

※「リユース」…自身で繰り返し使うことだけではなく、自分が使わなくなっても、未だ使えるものを捨ててしまう前に寄付などすることで、必要な人のもとで再利用されることです。

オ 教育関係 (1つに○)

- 26. 学校での福祉や保健に関する教育の機会を増やすことによる人材育成
- 27. 小中高生への学習支援による教育の充実
- 28. 大学や専門教育機関の充実
- 29. 就学に必要な金銭支援の充実
- 30. この分野には関心がない
- 31. わからない

カ 地域活動関係 (1つに○)

- 32. 町内会の活動を推進する人材の確保
- 33. 地域でのボランティア活動に対する住民の理解と協力を高める
- 34. 地域での福祉活動や住民交流の場所(サロン)の充実
- 35. 地域活動を支えるための会費や寄付を募る活動
- 36. この分野には関心がない
- 37. わからない

キ 環境関係 (1つに○)

- 38. ゴみの分別収集全般の充実
- 39. 資源のリサイクル活動の充実
- 40. 空き家への安全対策の充実
- 41. ごみ屋敷問題の解消
- 42. この分野には関心がない
- 43. わからない

ク 防災・防犯関係 (1つに○)

- 44. 災害に備えた情報提供や防災訓練など学ぶ場の充実
- 45. 行政と町内会との被災後の生活支援計画について学習する機会の充実
- 46. 地域と警察との連携による防犯活動の充実
- 47. この分野には関心がない
- 48. わからない

ケ まちづくり関係・交通関係・その他 (1つに○)

- 49. コンパクトシティ(都市計画)に関する情報の充実
- 50. ジオパーク※活動の推進
- 51. 公共交通の利便性の向上
- 52. 安全で利便性の高い道路を増やすこと及び改良
- 53. 生活の中で起こる困りごとや悩みを気軽に相談できる窓口の充実
- 54. 性別、社会的身分、人種及び少数派等への差別をなくす
- 55. この分野には関心がない
- 56. わからない

※「ジオパーク」…世界各地に多く存在する特徴的な大地や地質の資源を守り、研究するとともに、学習の場や観光資源として整備し、活用していく活動です。

問 34 問 33 のア～ケで、あなたが選んだ番号の中から、あなたがもっとも取り組んでほしいと思うもの上位 3 つを選び下表に番号で記入して、ご意見・ご要望がありましたら自由に記入してください。

1 位	2 位	3 位
(記入例) 3	52	20

問 33 で選んだ番号：

問 33 で選んだ番号：

問 33 で選んだ番号：

以上で質問は終わりです。
ご協力ありがとうございました。

むつ市地域福祉計画施策中間評価に関する
アンケート調査報告書
(市民・中高生)

令和4年3月発行

発行者 むつ市福祉部福祉政策課

〒035-8686 青森県むつ市中央1丁目8番1号

電話：0175-22-1111 FAX：0175-22-5044

ホームページ：<http://www.city.mutsu.lg.jp/>